

文 部 省 所 轄
国 立 大 学 附 置
文化財保護委員会附属

研 究 所 要 覽

昭和 38 年 10 月 1 日現在

文 部 省
大 学 学 術 局



377.21

M 753 ml

II



644480

目 次

I 文部省所轄研究所

国立教育研究所	(1)
緯度観測所	(3)
統計数理研究所	(5)
国立遺伝学研究所	(9)
国立国語研究所	(13)

II 国立大学附置研究所

北海道大学 低温科学研究所	(15)
応用電気研究所	(18)
触媒研究所	(21)
結核研究所	(23)
東北大学 金属材料研究所	(25)
農学研究所	(35)
選鉱製錬研究所	(37)
抗酸菌病研究所	(42)
科学計測研究所	(49)
高速力学研究所	(52)
電気通信研究所	(56)
非水溶液化学研究所	(62)
群馬大学 内分泌研究所	(65)
千葉大学 腐敗研究所	(67)
東京大学 伝染病研究所	(69)
東京天文台	(76)
地震研究所	(80)
東洋文化研究所	(87)
社会科学研究所	(91)
新聞研究所	(96)
生産技術研究所	(98)
史料編さん所	(108)
応用微生物研究所	(110)
航空研究所	(114)
東京医科歯科大学 歯科材料研究所	(122)
東京教育大学 光学研究所	(124)
東京工業大学 資源化学研究所	(126)
精密工学研究所	(131)
工業材料研究所	(135)
一橋大学 経済研究所	(140)

金沢大学	結核研究所	(143)
名古屋大学	環境医学研究所	(145)
	空電研究所	(147)
京都大学	化学研究所	(149)
	人文科学研究所	(156)
	結核研究所	(159)
	工学研究所	(163)
	木材研究所	(168)
	食糧科学研究所	(170)
	防災研究所	(172)
	ウイルス研究所	(179)
	経済研究所	(182)
大阪大学	微生物病研究所	(183)
	産業科学研究所	(188)
神戸大学	経済経営研究所	(194)
岡山大学	農業生物研究所	(197)
	温泉研究所	(199)
広島大学	理論物理学研究所	(202)
	原爆放射能医学研究所	(203)
九州大学	温泉治療学研究所	(205)
	応用力学研究所	(209)
	産業労働研究所	(212)
	生産科学研究所	(213)
長崎大学	風土病研究所	(216)
熊本大学	体質医学研究所	(218)

Ⅲ 国立大学附置共同利用研究施設

東京大学	宇宙線観測所	(220)
	原子核研究所	(221)
	物性研究所	(227)
	海洋研究所	(238)
名古屋大学	プラズマ研究所	(240)
京都大学	基礎物理学研究所	(244)
	数理解析研究所	(247)
	原子炉実験所	(248)
大阪大学	たんぱく質研究所	(249)

Ⅳ 文化財保護委員会附属機関

東京国立文化財研究所	(254)
奈良国立文化財研究所	(257)

(注) 本要覧各研究所の職員数欄は定員数を示す。
研究部門名に続くカッコ書は、昭和年37度まで使用した
旧研究部門名である。

I 文部省所轄研究所

国立教育研究所

The National Institute for Educational Research.

設置年月日 昭和24年6月1日
所在地 東京都品川区上大崎長者丸284 電話(441)3116~8番
目的 教育に関する实际的、基礎的研究調査
沿革 昭和24年6月 文部省設置法(法律第146号)により教育研修所を母体として設立(庶務部、研究調査部、指導普及部及び資料部)
昭和25年8月 文部省令(第23号)により資料部を国立教育研究所附属教育図書館と改称
昭和27年4月 文部省令(第8号)により青少年教育部を付置
昭和28年3月 文部省令(第12号)により " " を廃止
所長 平塚益徳 庶務部長 服部 稔
庶務課長 中村正義 会計課長 森田 清
職員数 教官36人、事務官20人、雇傭人17人、計73人
敷地 1,890坪 建物 建坪数 584坪 延坪数 948坪
刊行物 研究紀要 広報
予算 昭和37年度 55,326,000円 昭和38年度見込 63,040,000円
研究部(設置年度)、研究目的、研究者氏名

研究調査部(昭和24年度)

教育の内容方法および制度について、实际的、基礎的調査・研究を行なう。

手塚 六郎(部長)	飯島 篤信(室長)	矢口 新(室長)
岩井 竜也(室長)	久保 舜一(室長)	西堀 道雄(室長)
辻 信吉(室長)	湯浅 克己(室長)	主原正夫(主任研究官)
大野連太郎(教官)	新田 倫義(教官)	宮崎 孝一(教官)
山口 忠信(教官)	小島 繁男(教官)	松下 康夫(教官)
永岡 順(教官)	渋谷 憲一(教官)	最上 太門(教官)
手塚 武彦(教官)	元木 健(教官)	板倉 聖宣(教官)
永野 重史(教官)	森 隆夫(教官)	細谷 純(教官)
稲生 勁吾(教官)	三本 茂(教官)	和田登志子(教官)
曾我よう子(研究員)	小林 公子(研究員)	原田 秀子(研究員)
佐藤 君江(研究員)	加藤 輝子(研究員)	菅沼 良江(研究員)
平野 貴子(研究員)	内田 信子(研究員)	小沢 秀子(研究員)

甘利 栄子(研究員) 古閑 成(研究員)

指導普及部(昭和24年度)

教育関係機関および教育者に対する教育研究のあり方の指導および助言を行なう。

小沼 洋夫(部長) 原田 種雄(室長) 山田 清人(室長)

横山 宏(教官) 金沢 安子(教官) 会田たみ子(研究員)

研究事項

研究調査部

学習指導に関する研究

(飯島篤信, 大野連太郎, 宮崎孝一, 小林公子, 古閑成)

産業高校方式に関する調査

中学校技術科の学習過程に関する実験研究

(矢口新, 岩井竜也, 最上太門, 小沢秀子, 山口忠信, 元木建, 和田登志子, 菅沼良江, 主原正夫)

組立てんびんによる論理的思考と作業の関連について

自然科学の基礎的諸概念の認識過程とその実態に関する調査研究

(榊原茂樹, 小島繁男, 板倉聖宣, 曾我よう子)

青年の教育編成に関する調査研究

(岩井竜也, 主原正夫, 山口忠信, 元木健, 和田登志子, 菅沼良江)

児童生徒の発達段階に関する研究

(久保舜一, 新田倫義, 永野重史, 原田秀子, 内田信子)

大学入学者選抜方法に関する研究

学生指導に関する研究

(西堀道雄, 松下康夫, 稲生勁吾, 三本茂)

教頭職に関する調査

(辻信吉, 手塚武彦, 佐藤君江)

各国教育の比較研究 一初等教育に関する調査一

(湯浅克己, 永岡順, 森隆夫, 平野貴子)

高校生の素質能力の予測に関する研究

(原田種雄, 渋谷憲一, 細谷純, 甘利栄子)

共同研究

中学校高等学校の構成および機能を規定する社会的基盤に関する実証的研究

数学教育の国際比較研究

付 属 施 設

施設名 国立教育研究所附属教育図書館 設置年月日 昭和25年8月29日

所在地 国立教育研究所内 施設長 榊原 茂樹

業務内容 図書, 教材, 教具, 教授参考資料その他教育上参考となる資料を収集し, 保存し, およびこれらを職員, 教職員, 一般教育研究者等の利用に供する。

緯 度 観 測 所

International Latitude Observatory.

設置年月日 明治32年9月22日

所在地 岩手県水沢市字車田120番地 電話 水沢 2912・2913番

目的 緯度変化の観測, 計算及びその研究

沿革 明治31年10月 万国共同緯度観測事業に関し日本国政府と万国測地学協会との間に水沢万国共同緯度観測所設置の条約が締結さる。

明治32年9月22日 臨時緯度観測所官制公布

明治32年12月 万国共同緯度観測を開始

大正9年10月12日 官制改正により緯度観測所となり63年間国際共同緯度観測を継続実施

大正11年9月 ローマにおける万国天文学協会の決議により大正11年9月より昭和11年1月まで緯度観測所内に万国緯度変化中央局を設置

昭和37年1月6日 アメリカ合衆国バークレー市における国際天文学連合第11回総会の決議により緯度観測所内に国際極運動観測事業中央局を設置

所 長 奥田 豊三 庶務部長 柏崎 敏 庶務課長 千田 誠一

職 員 数 事務官14人, 技官23人, 雇傭人9人, 計46人 会計課長 千葉 梅松

敷 地 23,067坪 建 物 建坪数 1,055坪 延坪数 1,218坪

刊 行 物 Publications of the International Latitude Observatory of Mizusawa. Annual Report of the Meteorological and the Seismological Observations made at the International Latitude Observatory of Mizusawa. 緯度観測所彙報. Monthly Notes of the International Polar Motion Service.

予 算 昭和37年度 54,273,325円 昭和38年度見込 86,197,000円

研究部(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

観測研究部(大正9年度)

第一観測課 1 眠視天頂儀による緯度の観測及び研究を行なうこと。

2 浮游天頂儀による緯度の観測及び研究を行なうこと。

3 赤道儀による観測及び研究を行なうこと。

第二観測課 1 P.Z.T及び水晶時計による時刻の観測及び保時並びにこれらの観測及び保時に関する研究を行なうこと。

2 無線電信による報時受信及びその研究を行なうこと。

3 経度の研究を行なうこと。

計 算 課 1 天文観測に必要な計算並びに観測結果の整約及び研究に必要な計

算を行なうこと。

- 2 前項の計算に必要な計算方法の研究を行なうこと。
- 3 国際極運動観測事業中央局として極運動計算及びこれに必要な計算方法の研究、並びに内外の関係機関に対して計算結果を報告すること。

気象課 緯度観測に必要な地上気象、高層気象及び地震の観測並びに研究を行なうこと。

高木 重次(技官) 弓 滋(技官) 須川 力(技官)
 切田 正実(技官) 後藤 進(技官) 植前 繁美(技官)
 熊谷 巖(技官) 鈴木 克己(技官) 高橋久太郎(技官)
 角田 忠一(技官) 古川麒一郎(技官) 若生康二郎(技官)
 大川 泰(技官) 後藤 常男(技官) 大江 昌嗣(技官)
 原 忠徳(技官) 村上 源吉(技官) 佐々木 恒(技官)
 北郷 拓(技官) 石井 久(技官) 阿部 茂(技官)

研究事項

観測研究部

緯度の永年変化についての研究 (須川 力)
 浮游天頂儀乾板測定的光電式自動化についての研究 (須川力, 古川麒一郎, 大川泰)
 マイクロメーターテスターによるマイクロメーター常数の不整測定及びその研究 (大江昌嗣)
 星の視位置計算法, 特に直交座標による視位計算の研究 (古川麒一郎)
 Z項の特性についての研究 (須川 力)
 眼視, 浮游両天頂儀による緯度の同時観測結果の比較研究 (須川力, 古川麒一郎)
 1963年7月21日北海道網走における皆既日食の連続映画観測による接触時刻の測定及び月のプロファイルの研究 (須川力, 古川麒一郎)
 P.Z.T観測による経度緯度変化の研究 (高木重次)
 水沢時の研究 (I) (水沢の観測から求められる自転速度変化と緯度変化の関係) (")
 恒星赤経の精密測定の研究 (高木重次, 角田忠一)
 経緯度観測の結果から極軌道決定することの研究 (")
 P.Z.T観測に表われる誤差と外部条件との関係の研究 (切田正実)
 地球内部構造と自転運動との関係の研究 (角田忠一)
 水沢時の研究 (II) (水沢水晶時計より求められる自転速度変化の研究) (")
 VLF(超長波標準周波数)受信比較の研究 (原 忠徳)
 P.Z.T観測乾板の膜面の収縮が乾板の Scale Value に及ぼす影響についての研究 (村上源吉)
 極軌道の研究 (弓 滋, 高木重次, 須川力, 若生康二郎)
 恒星赤緯の精密観測および固有運動の研究 (弓 滋, 若生康二郎, 古川麒一郎)

極運動と局地的経緯度変化との関係 (弓 滋, 高木重次, 須川力)
 Astro1abeによる経緯度変化の研究 (弓 滋)
 各種望遠鏡器械誤差の研究 (")
 タルコットレベルの研究 (植前繁美)
 恒星視位置精密計算の研究 (")
 Z項の研究 (若生康二郎)
 極運動決定に必要な経度変化の研究 (弓 滋, 若生康二郎, 石井久)
 平均極の永年変化の研究 (")
 クロージングエラーの研究 (弓 滋, 若生康二郎)
 電子計算機による各種計算法研究 (若生康二郎, 石井久)
 天頂儀室南北面垂直日射量差観測及び室内屈折に及ぼす影響についての研究 (須川力, 後藤常男)
 浮游天頂儀, 水銀槽の南北温度差の研究 (後藤進)
 けい留気球による下層大気における異常屈折の研究 (後藤進, 高橋久太郎, 後藤常男, 佐々木恒)
 水沢の永年気候の研究 (須川力, 後藤常男)
 銀盤日射計による直接日射量観測及び日射量と夜間の星像良否との相関についての研究 (須川力, 小野寺栄喜)
 緯度観測率と天候の特異性についての研究 (菊地直吉)
 緯度観測における星像と天気の Synoptic 解析 (後藤常男, 小里寺栄喜)

特殊施設, 設備

視天頂儀, 浮游天頂儀, P.Z.T(写真天頂筒), 水晶時計, 相関係数計算機, 報時受信観測施設(報時用受信機, 報時用無線空中線, 過渡現象監視器, 電子計数比較器)

統計数理研究所

The Institute of Statistical Mathematics.

設置年月日 昭和19年6月5日
 所在地 東京都港区麻布富士見町1番地 電話(473)2176番
 目的 統計に関する数理及びその応用の研究をつかさどり, あわせてその研究の連絡及び促進をはかる。
 沿革 昭和19年6月5日 勅令第385号により設立
 昭和22年4月 附属統計技術員養成所を附置
 昭和30年9月15日 文部省令第21号(文部省設置法施行規則の一部改正)により, 研究第1部, 同第2部, 同第3部はそれぞれ

第1研究部, 第2研究部, 第3研究部と改称されると共に, 各研究部に研究室(合計10研究室)が置かれた。

所長 末綱 恕一 庶務部長 桜井 勝三
庶務課長 島田 武彦 会計課長 山浦 信治
職員数 教官44人, 事務官14人, 雇傭人16人, 計74人
敷地 1,518坪 建物 建坪数 563坪 延坪数 611坪
刊行物 Annals of the Institute of Statistical Mathematics
統計数理研究所彙報, 統計研究通信
予算 昭和37年度 143,945,016円 昭和38年度見込 60,920,000円

研究部(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

第1研究部(昭和24年度)

一般統計推論, 過程事象の解析, 統計推論の基礎となる確率論に関する研究を行なう。

松下嘉米男(部長) 赤池 弘次(室長) 藤本 熙(室長)
田口 時夫(教官) 石井 恵一(教官) 鈴木義一郎(教官)
早川 毅(教官) 藤本 和子(教官) 篠崎八重子(教官)
尾崎 睿子(教官) 石井 富江(教官) 内藤 孝子(教官)
副島 郁子(教官)

第2研究部()

標本調査法及び社会調査法, 統計に関する実験の計画法及び測定法, 一般統計事象の分析法及び管理法, 一般現象を数量的に取扱う方法及び現象予測法等に関する研究を行なう。

林 知己夫(部長) 石田 正次(室長) 西平 重喜(室長)
樋口伊佐夫(室長) 塩谷 実(室長) 崎野 滋樹(教官)
植松 俊夫(教官) 鈴木 達三(教官) 高橋 宏一(教官)
清水 良一(教官) 二宮 理憲(教官) 高倉 節子(教官)
瀬戸 衣子(教官) 郷古 輝子(教官)

第3研究部()

統計解析に必要な分析法, 統計解析の機械化及び統計計算に必要な計算機, 国及び地方公共団体の機関, 大学, 民間団体等の求めに応じ援助と助言, 統計の研究指導及び普及, 図書及び資料を収集整理し, 利用に供することなどを行なう。

青山博次郎(部長) 内田 良男(室長) 多賀 保志(室長)
鈴木 雪夫(室長) 渋谷 政昭(教官) 多賀三千代(教官)
千野 貞子(教官) 三好 嘉江(教官) 能城 昌子(教官)
丸山 愛子(教官) 駒沢 勉(教官)

附属統計技術員養成所(昭和22年度)

菅原 正巳(所長) 勝山ヨシ子(教官)

研究事項

第1研究部

推論と決定についての基本的考察 (松下嘉米男, 内藤孝子, 副島郁子)
距離概念にもとづく決定方式 (")
ノン・パラメトリック推論 (")
ノン・パラメトリック推論における分類の問題 (橋本熙, 早川毅, 藤本和子)
多重回帰とラテント変数の問題 (藤本 熙)
コンポネント・アナリシス (早川 毅)
周波数応答函数の統計的推定法の研究 (赤池弘次)
予測理論の研究 (")
O.R.の研究 (鈴木義一郎)
時系列データ処理の自動化の研究 (赤池弘次, 篠崎八重子, 石井富江)
非確率論的統計数学の研究 (田口時夫, 尾崎睿子)
統計推論の基礎となる確率論 (石井恵一, 尾崎睿子)
統計における諸種の不等式の研究 (")
マルコフ過程に関する統計理論 (石井富江)

第2研究部

統計的モデル解析の研究 (林知己夫, 石田正次, 樋口伊佐夫, 崎野滋樹, 植松俊夫, 高橋宏一, 二宮理憲, 郷古輝子, 雨宮多賀子, 坂本静子, 佐藤敬子)
数量化および予測に関する研究 (林知己夫, 石田正次, 植松俊夫, 高倉節子, 雨宮多賀子, 佐藤敬子)
選挙予測に関する研究 (林知己夫, 高倉節子, 雨宮多賀子, 佐藤敬子)
感覚の数量化に関する研究 (")
数量化に関する理論的実際的研究 (林知己夫)
事故対策のO.R.的研究 (林知己夫, 雨宮多賀子)
複雑な現象のフォーミュレーションの研究 (")
政治意識の統計数理的分析 (林知己夫, 佐藤敬子)
標本抽出法に関する研究 (林知己夫, 高倉節子)
回答誤差に関する研究 (")
日本人の国民性に関する統計数理的研究 (林知己夫, 西平重喜, 石田正次, 植松俊夫, 鈴木達三, 須藤慧子, 渡辺知子)
O.R.の研究 (林知己夫, 石田正次, 樋口伊佐夫, 植松俊夫, 鈴木達三, 高橋宏一, 二宮理憲)
マス・コミュニケーションの効果に関する研究 (林知己夫, 石田正次, 西平重喜, 鈴木達三, 須藤慧子, 渡辺知子)
選挙の統計的分析 (西平重喜)
モラルの研究 (")
社会常識の国際比較 (")
調査誤差の研究 (西平重喜, 鈴木達三)
面接調査法の研究 (")
質問紙法の研究 (")

社会的階層と社会的移動の研究	(西平重喜, 鈴木達三)
市場調査法の研究	(")
教育成果の国際比較	(鈴木達三)
計画修繕の研究	(鈴木達三, 高橋宏一)
部品の耐用年数の推定についての研究	(")
粒子統計の研究	(樋口伊佐夫)
機械精度ならびに公差に関する統計的研究	(")
電波伝播に関する統計的研究	(")
企業の近代化に関する研究	(")
実験の計画と測定法の研究	(樋口伊佐夫, 宮良哲男)
情報理論の開発とその応用の研究	(二宮理憲)
心電図の統計的解析	(")
多変量解析の研究	(塩谷 実)
多次元時系列の研究	(植松俊夫)
交通問題の統計的解析	(")
多変量分布論の研究	(清水良一)
森林調査法に関する研究	(林知己夫, 石田正次)
森林資源調査の企画	(")
森林伐採量の調査の企画	(")
物価に関する統計的研究	(石田正次)
品質管理法の研究	(")
計算機利用法に関する研究	(")
経済統計および経済モデルに関する研究	(")
色彩統計の研究	(石田正次, 高倉節子)
経済時系列に関する研究	(石田正次, 坂本静子)
エビデミック, モデルの研究	(崎野滋樹)
核分裂の統計モデルの研究	(")
船舶輸送量の調査法の研究	(高倉節子)
住宅調査法の研究	(高橋宏一)
損耗度の数量化に関する研究	(")
細菌増殖過程に関する研究	(")
最適修繕過程の研究	(")

第3 研究部

選挙報道の機械化についての研究	(青山博次郎)
在庫管理モデルの研究	(")
災害対策のための最適投資の決定理論の研究	(")
住宅コスト・プランニングの研究	(")
市場調査と需要予測の統計的研究 (冷蔵庫の需要予測)	(青山博次郎, 千野貞子)

防災対策に関する統計的研究	(青山博次郎, 千野貞子)
因子分析法に関する研究	(青山博次郎, 能城昌子)
O・R実態調査	(青山博次郎, 多賀保志)
日本人の国民性に関する統計数理的研究	(青山博次郎, 内田良男, 多賀保志)
数学的計画法	(鈴木雪夫)
企業における決定問題	(鈴木雪夫, 能代昌子)
数量化における相関比と的中率の関係	(千野貞子)
サンプリング理論の研究	(多賀保志)
装置の信頼度モデルの研究	(")
流入青少年実態調査	(多賀保志, 丸山愛子)
擬似乱数の発生法の研究	(渋谷政昭)
パラメータに制約条件があるときの推定法	(")
数値計算の誤差に関する研究	(駒沢 勉)
自動プログラミングの研究	(")
研究成果の評価に関する研究	(内田良男)
研究開発に関する統計的研究	(")
統計教育に関する研究	(内田良男, 多賀三千代, 三好嘉江)

附 属 施 設

施 設 名 統計数理研究所附属統計技術員養成所 設置年月日 昭和22年4月
 所 在 地 統計数理研究所内 施 設 長 教官 菅 原 正 巳
 業 務 内 容 統計技術員の養成を目的として統計数理に関する指導研究を行なう。

特殊施設, 設備

継電器式万能自動計算機, 電子計算機T・S・K・Ⅲ

国立遺伝学研究所

National Institute of Genetics.

設置年月日 昭和24年6月1日
 所在地 静岡県三島市谷田1111 電話 三島 (5)0771番
 目 的 遺伝に関する学理の総合研究及びその応用の基礎的研究をつかさどり, あわせて遺伝学研究所の指導, 連絡及び促進をはかる。
 沿 革 昭和22年5月 財団法人遺伝学研究所(母体)設立
 昭和24年6月1日 文部省直轄研究所として設置
 所 長 木 原 均 庶 務 部 長 森 永 徳 弘
 庶 務 課 長 南 口 豊 高 会 計 課 長 田 中 六 男
 職 員 数 教官39人, 事務官13人, 技官2人, 雇傭人39人, 計93人
 敷 地 24,524坪 建 物 建坪数 1,350坪 延坪数 2,105坪
 刊 行 物 国立遺伝学研究所年報, Annual Report

予 算 昭和37年度 84,211,000円 昭和38年度見込 138,443,000円

研究部 (設置年度), 研究目途, 研究者氏名

形質遺伝部 (昭和24年度)

生物における各種の遺伝形質の分析及びその遺伝様式に関する研究を行なう。

田島弥太郎 (部長) 坂口 文吾 (室長) 佐渡 敏彦 (教官)

細胞遺伝部 (")

生物細胞の核及び細胞質と遺伝に関する研究を行なう。

竹中 要 (部長) 吉田 俊秀 (室長) 森脇 和郎 (教官)

米田 芳秋 (教官)

生理遺伝部 (")

遺伝形質の表現に関する生理学的研究を行なう。

大島 長造 (部長) 平 俊文 (教官) 常脇恒一郎 (教官)

阪本 寧男 (教官)

生化学遺伝部 (昭和28年度)

生物の遺伝に関する生化学的研究を行なう。

辻田光雄 (部長) 名和 三郎 (室長) 小川 恕人 (室長)

遠藤 徹 (教官) 桜井 進 (教官)

応用遺伝部 (昭和29年度)

動物及び植物の改良に関する遺伝学的研究を行なう。

酒井 寛一 (部長) 山田 行雄 (室長) 岡 彦一 (室長)

宮沢 明 (教官) 井山 審也 (教官) 河原 孝忠 (教官)

沖野 啓子 (教官)

変異遺伝部 (昭和30年度)

生物に対する物理的及び化学的刺激による突然変異に関する研究を行なう。

松村 清二 (部長) 土川 清 (室長心得) 向井 輝美 (教官)

藤井 太朗 (教官) 石和 浩美 (教官)

人類遺伝部 (昭和35年度)

人類遺伝に関する形質, 統計に関する研究を行なう。

松永 英 (部長) 木村 資生 (室長) 外村 晶 (教官)

平泉雄一郎 (教官) 篠田 友孝 (教官)

微生物遺伝部 (昭和37年度)

微生物の遺伝に関する遺伝子の構造と変化に関する研究を行なう。

飯野 徹雄 (室長) 榎本 雅敏 (教官)

研究事項

形質遺伝部

カイコの遺伝子分析およびリンケージの研究 (田島弥太郎)

突然変異生成における放射線の線量率効果の基礎的研究 (")

放射線誘発突然変異率の線量率依存性に関する研究
(田島弥太郎, 佐渡敏彦, 村上昭雄)

化学物質による突然変異生成機構の研究 (田島弥太郎, 村上昭雄)

シヨウジョウバエの異常性比の遺伝的感染に関する研究 (坂口文吾)

昆虫の発生遺伝学的研究 (坂口文吾, 佐渡敏彦)

細胞遺伝部

ネズミ類の異常形質の遺伝学的研究 (吉田俊秀, 森脇和郎, 栗田義則)

体細胞の変異と癌性増殖 (")

化学薬品による突然変異誘発機構の細胞遺伝学的研究 (吉田俊秀, 森脇和郎)

ネズミ無毛性の遺伝生化学的研究 (森脇和郎)

高等植物の系統に関する細胞遺伝学的研究 (竹中要, 米田芳秋)

里桜の起原 (竹中 要)

高等植物における性の決定と分化 (竹中要, 米田芳秋)

植物癌細胞の細胞遺伝学的研究 (")

酵母菌の細胞学的研究 (米田芳秋)

タバコ属の細胞遺伝学的研究 (竹中 要)

植物成分による細胞の異常分裂誘起ならびに生長抑制 (")

生理遺伝部

シヨウジョウバエの殺虫剤抵抗性 (大島長造)

シヨウジョウバエの致死遺伝子の遺伝生化学的研究 (大島長造, 平俊文)

変動する環境における生物集団の適応度の研究 (大島長造)

シヨウジョウバエの眼色素生成機構 (平 俊文)

シヨウジョウバエの自然集団の有害遺伝子の研究 (大島長造, 渡辺恭州)

自然集団の遺伝的変異性の分析的研究 (木原均, 大島長造)

生態型の分化に関する研究 (阪本寧男)

合成コムギの遺伝学的研究 (木原均, 西川浩三, 常脇恒一郎)

雄性不稔性の遺伝学的研究 (木原均, 松村清二, 常脇恒一郎)

コムギおよび近縁種の細胞遺伝学的研究 (木原均, 阪本寧男, 常脇恒一郎)

コムギ異数体の遺伝学的研究 (常脇恒一郎, 松村清二)

笑気ガス処理による倍数体の育成 (木原均, 常脇恒一郎, 阪本寧男)

イネ属の細胞遺伝学的研究

(木原均, 竹中要, 松村清二, 阪本寧男, 片山忠夫, 馬淵智生, 米田芳秋)

イネおよび近縁種の生理形態学的研究 (木原均, 片山忠夫, 阪本寧男)

コムギの起原と分化 (木原均, 常脇恒一郎)

植物の左右性 (木原均, リリエンフェルド)

生化学遺伝部

植物ウイルスの寄生による寄生の表現変異 (小川恕人, 木原均)

カイコの致死突然変異体の発生学的ならびに遺伝生化学的研究 (辻田光雄)

昆虫のプテリジン代謝に関する遺伝生化学的研究

(名和三郎, 辻田光雄, 坂口文吾)

タバコによるアルカロイドの発散に関する研究 (辻田光雄)

骨格筋分化に関与する諸要因の生化学的研究	(小川恕人)
臓器組織特異性たんぱくの遺伝生化学的研究	(")
制癌性植物成分に関する研究	(")
植物花色に関する遺伝生化学的研究	(遠藤 徹)
電子顕微鏡による細胞の微細構造とその作用に関する研究	(辻田光雄)
細菌およびウイルスの遺伝学的研究	(桜井 進)
応用遺伝部	
鶏における経済形質の遺伝	(山田行雄, 河原孝忠)
量的形質における細胞質遺伝の研究	(酒井寛一, 井山審也)
育種理論の研究	(")
高等植物における発育安定性の遺伝学的研究	(酒井寛一, 井山審也, 島本義也)
タバコの発育遺伝学的研究	(酒井寛一, 島本義也)
イネの細胞学的および遺伝学的研究	(木原均, 酒井寛一, 岡彦一)
動植物の競争に関する研究	(酒井寛一, 井山審也)
栽培イネの系統発生的分化	(岡彦一, 森島啓子)
栽培および野生イネの集団遺伝学的研究	(")
変異遺伝部	
マウスによる線量率と突然変異率との関係	(土川 清)
マウスの劣性致死突然変異率の研究	(")
マウスと昆虫における放射線誘発ポリジーン突然変異率の推定	(土川清, 向井輝美, 吉川勲)
シヨウジョウバエにおける自然集団の遺伝的構成に関する集団遺 伝学的ならびに放射線遺伝学的研究	(向井輝美, 山崎常行)
シヨウジョウバエの生存力を支配する自然突然変異率の推定	(")
照射条件の差異による放射線障害の解析的研究	(松村清二, 藤井太郎)
有用突然変異の誘発とその利用	(松村清二, 藤井太郎, 馬淵智生)
禾穀類の放射線突然変異における線量率とRBE	(")
ガンマー線の連続弱照射による放射線障害の研究	(")
小麦の起原と進化に関する研究	(松村清二)
遺伝子突然変異の生成機構	(松村清二, 藤井太郎)
てん菜の三倍性育種	(")
放射性同位元素による内部照射と外部照射との遺伝的効果の比較	(")
放射線突然変異体の遺伝学的研究	(")
放射線の生物作用の物理過程の研究	(近藤宗平)
放射線線量測定とくにガラス線量計の研究	(近藤宗平, 池永満生)
放射線の線質(LET)と生物効果比(RBE)の研究	(近藤宗平)
ポリジーンに対する放射線効果の生物物理的考察	(近藤宗平, 石和浩美)
放射線および化学物質による突然変異生成機構の比較	(")

人類遺伝部	
日本人集団の遺伝学的研究	(松永英, 田島弥太郎, 平泉雄一郎, 外村晶)
悪性腫瘍の遺伝学的研究	(松永 英)
A B O血液型に働く淘汰について	(松永英, 平泉雄一郎)
血清蛋白の個体差に関する遺伝生化学的研究	(篠田友孝, 松永英)
先天性異常者の細胞遺伝学的研究	(外村 晶)
多核白血球の性染色質に関する研究	(")
性染色質による初期人胎児の性比	(外村晶, 松永英)
集団遺伝の理論	(木村資生)
放射線誘発突然変異の適応度への効果	(平泉雄一郎)
シヨウジョウバエSD因子の細胞遺伝学的ならびに集団遺伝学的 研究	(平泉雄一郎)
放射線の適応値におよぼす遺伝的影響	(")
微生物遺伝部	
サルモネラ菌の免疫遺伝学的研究	(飯野徹雄)
細菌およびウイルスの遺伝学的研究	(飯野徹雄, 辻田光雄)
腸内細菌の多剤性因子に関する研究	(飯野徹雄, 榎本雅敏)
細菌抗原の遺伝学的研究	(")
細菌の運動性の遺伝学的研究	(榎本雅敏)

特殊施設, 設備

微生物実験室空気調整設備, 隔離温室空気調整設備, 第2ネズミ飼育室空気調整設備, 水田温室空気調整設備, 水田自動遮蔽装置, 研究本館空気調整設備, 電子顕微鏡, Cs¹³⁷照射装置, 顕微鏡映画撮影装置

国立国語研究所

National Language Research Institute.

設置年月日	昭和23年12月20日
所在地	東京都北区稻付西山町 電話(901)8154番
目的	国語及び国民の言語生活に関する科学的調査研究を行ない, あわせて国語の合理化の確実な基礎を築く
沿革	昭和23年12月20日 国立国語研究所設置法(法律第254号)により設置
所長	岩淵悦太郎 庶務部長 尾崎源之助
庶務課長	三島良兼 会計課長 出牛清次郎
職員数	教官33人, 事務官15人, 雇傭人23人, 計71人
敷地	3,099坪 建物 建坪数 777坪 延坪数 1,036坪
刊行物	国立国語研究所年報, 国立国語研究所報告(現代雑誌90種の用語用字2) 第二分冊

国立国語研究所報告(話しことばの文型2)国語年鑑, 沖繩語辞典
予 算 昭和37年度 56,975,185円 昭和38年度見込 59,709,000円
研究部(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

第1研究部(昭和23年度)

現代の話しことばの実態を解明するために, 放送・講演・日常談話などの話しことばについて, その音韻・語彙・文法を研究する。

現代の書きことばの実態を解明するために, 主として印刷刊行されたものを資料として, 語彙・文法を研究する。

言語変化の要因と過程を解明するために, 各地の方言および地域社会の言語を研究する。

林 大(部長) 大石初太郎(室長) 宮地 裕(教官)
南 不二男(教官) 鈴木 重幸(教官) 見坊 豪紀(室長)
水谷 静夫(教官) 石綿 敏雄(教官) 宮島 達夫(教官)
柴田 武(室長) 野元 菊雄(教官) 上村 幸雄(教官)
徳川 宗賢(教官)

第2研究部()

国語教育の発展と改善の方途を解明するために, 現在の学校教育における国語教育の目的, 方法および結果について研究する。

マス・コミにおける言語の機能を解明するために, 新聞・放送の類の文章・用語・用字等について, 表現と理解の問題を研究する。

輿水 実(部長) 芦沢 節(室長) 村石 昭三(教官)
永野 賢(室長) 高橋 太郎(教官) 渡辺 友左(教官)

第3研究部()

室町時代から明治時代にいたる各時代の言語の実態を解明するために, 新聞その他の文献資料について研究する。

鎌倉時代以前の言語の実態を解明するために, 各種の資料について研究する。

山田 巖(部長) 林 四郎(室長) 広浜 文雄(教官)
進藤 咲子(教官)

第4研究部()

現代の用語に関する各種の問題を解明するために, 同音語・類義語等特殊問題について調査研究する。

国語を書き表わす文字に関する各種の問題を解明するために, 雑誌等について, 用字・表記を調査研究する。

国語および国語問題に関する各種の問題点を解明するために, 年間の刊行物, 雑誌論文・新聞等について調査研究する。

岩淵悦太郎(兼部長) 松尾 拾(室長) 西尾 寅弥(教官)
田中 章夫(教官) 飯豊 毅一(室長) 高田 正治(教官)
大久保 愛(教官) 斎賀 秀夫(室長) 松本 昭(教官)

研究事項

第1研究部

話しことばの文法に関する調査研究

(大石初太郎, 宮地 裕, 南不二男, 鈴木重幸)

現代語の語彙調査 (林 大, 見坊豪紀, 水谷静夫, 石綿敏雄, 宮島達夫)

日本語地図作成のための調査 (柴田武, 野元菊雄, 上村幸雄, 徳川宗賢)

第2研究部

中学校生徒の言語能力の発達に関する調査研究(輿水 実, 芦沢 節, 村石昭三)

言語の伝達過程, 伝達効果に関する調査研究 (永野賢, 高橋太郎, 渡辺友左)

第3研究部

明治時代語の研究 (山田巖, 林四郎, 進藤咲子)

古辞書索引の作成 (広浜文雄)

第4研究部

類義語の調査研究 (松尾拾, 西尾寅弥, 田中章夫)

現代語における漢字ならびに用字法に関する調査研究 (斎賀秀夫, 松本 昭)

国語および国語問題に関する資料・情報に関する調査研究(継続) (大久保愛)

研究成果の編集刊行 (飯豊毅一, 高田正治)

その他

国民各層の言語生活の実態調査(各部共通)

教育基本文型の研究 (宮島達夫)

言語地理学的方法についての検証 (柴田 武)

特殊施設, 設備

ソナグラフ, ピッチレコーダー

II 国立大学附置研究所

北海道大学低温科学研究所

The Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University.

設置年月日 昭和16年11月25日

所在地 北海道札幌市北11条西7丁目 電話(71)2111番

目的 低温における科学的現象に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和10年10月常時低温実験室(母体)設立

昭和16年11月勅令第1001号をもって官制により北海道帝国大学に設置

昭和24年5月国立学校設置法施行により北海道大学附置研究所となる。

所 長 吉田順五 (任期 昭和37.4.1~40.3.31) 事務長 田口 豊
職 員 数 教授 7人, 助教授 7人, 講師 2人, 助手 16人, 事務官 9人, 技官 5人,
雇傭人 20人, 計 66人

敷 地 7,586坪 建 物 延坪数 1,768坪

刊 行 物 低温科学 A, 同 B, 欧文報告

予 算 昭和37年度 78,840,638円 昭和38年度見込 102,675,938円

研究部門 (設置年度), 研究目途, 研究者氏名

物理学 (純正物理学) (昭和16年度)

氷の腐蝕と転位ピットの研究及び氷の内部摩擦に関する研究

黒岩 大助 (教授) 洪 悦郎 (併教授) 小林 禎作 (助教授)

鈴木 義男 (助手)

応用物理学 (")

積雪と凍上の基礎的研究を行なっている。

吉田 順五 (教授) 横田 廉一 (併教授) 木下 誠一 (助教授)

若浜 五郎 (助教授) 中村 勉 (助手)

気象学 (")

高空における氷晶の生成及び降雪に至るその成長過程の研究

大浦 浩文 (教授) 孫野 長治 (併教授) 石田 完 (助教授)

小島 賢治 (助教授)

海洋学 (")

高緯度海域 (北氷洋, 南氷洋, オホーツク海) の特色である海水, 海霧, 着氷等を
中心とする海洋学的, 雪氷学的研究を行なう。

田畑 忠司 (教授) 福富 孝治 (併教授) 楠 宏 (助教授)

小野 延雄 (助手) 藤野 和夫 (助手)

雪害科学 (昭和38年度)

雪崩発生機構の基礎的研究を行なう。

藤岡 敏夫 (教授) 清水 弘 (講師) 秋田谷英次 (助手)

生物学 (昭和16年度)

生物細胞の耐凍性と凍害の機構を明らかにする。

朝比奈英三 (教授) 村井 延雄 (併教授) 酒井 昭 (助教授)

照本 勲 (助手) 竹原 一郎 (助手) 丹野 皓三 (助手)

医学 (")

微生物, 血球, 精子等各種生細胞が凍結及び乾燥によってどんな影響をうけるかを
形態学的, 機能的にしらべる。

根井外喜男 (教授) 伊藤 真次 (併教授) 僧都 博 (助手)

小島 義夫 (助手) 花房 尚史 (助手) 荒木 忠 (助手)

研究事項

物理学 (純正物理学)

氷の内部摩擦並びに転位蝕像に関する研究 (黒岩大助)

氷の表面の磨耗に関する研究 (黒岩大助)

氷の成長にともなう空洞の形成 (黒岩大助, 前野紀一)

雪・氷晶の成長と結晶習性に関する研究 (小林禎作)

風のせん断応力に関する研究 (鈴木義男)

応用物理学

斜面積雪の内部応力, 匍匐流動の理論的研究 (吉田順五)

積雪の圧縮実験 (木下誠一)

しまり雪からざらめ雪への変態過程の研究 (若浜五郎)

積雪の摩擦 (中村 勉)

気象学

L・L・ (昭和基地東南東30kmの大陸氷上の観測点) における雪温
の研究 (大浦浩文)

雪氷の音響学的研究 (石田 完)

積雪の粘性圧縮の研究 (小島賢治)

海洋学

総合研究: 海洋大循環とその変動に関する研究

分担課題: 海洋大循環における海水の役割の研究 (田畑忠司, 楠 宏)

海水の力学的性質の研究 (田畑忠司)

船体着氷に関する研究 (田畑忠司, 小野延雄)

海水の漂流に関する研究 (田畑忠司, 楠 宏, 小野延雄, 藤野和夫)

海水の熱的性質に関する研究 (小野延雄)

海水の電気的性質に関する研究 (藤野和夫)

海水中のブラインの研究 (楠 宏)

南氷洋の海水の研究 (楠 宏, 小野延雄)

北氷洋の海洋学的研究 (楠 宏)

雪害科学

雪崩の発生機構の研究 (藤岡敏夫)

積雪の通気度に関する研究 (清水 弘)

霜ざらめ雪の生成機構の研究 (秋田谷英次)

生物学

越冬動物の耐凍性 (朝比奈英三, 竹原一郎, 丹野皓三)

越冬植物の耐凍性 (朝比奈英三, 酒井 昭, 照本 勲)

医学

凍結及び凍結乾燥機構の (電子顕微鏡による) 形態学的研究
(根井外喜男, 小島義夫)

赤血球の凍結障害に関する研究 (根井外喜男, 花房尚史)

凍結乾燥機構の物理学的生物学的研究 (根井外喜男, 僧都 博, 荒木 忠)

酵母の凍結障害に関する生化学的研究 (僧都 博)

凍結によるたんぱくの変性と水との関連についての研究 (花房尚史)
凍結による酵母の機能変化に対する研究 (荒木 忠)
血球及び生物材料の凍結の機構に関する研究 (根井外喜男)

附属施設

施設名 北海道大学低温科学研究所実験工場 (板金室, 木工室, ガラス工室, 金工室)

設置年月日 昭和17年4月1日 所在地 北海道札幌市北11条西7丁目

施設長 教授 田畑忠司

業務内容 各研究部門より発注される研究実験遂行に必要な機械器具の設計並びに製作修理, 改造等。

北海道大学応用電気研究所

Research Institute of Applied Electricity, Hokkaido University.

設置年月日 昭和18年1月30日

所在地 北海道札幌市北12条西6丁目 電話 (71) 1444番

目的 電気の応用に関する総合研究

沿革 昭和16年2月16日 超短波研究室発足

昭和18年1月30日 勅令第56号官制により超短波研究所として北海道帝国大学に附置

昭和21年3月30日 勅令第155号により超短波研究所官制の一部が改正され, 応用電気研究所と改称

所長 松本 秋 男 (任期 昭和38.8.1~41.7.31) 事務長 青 坂 藤 実
職員数 教授9人, 助教授9人, 助手20人, 事務官8人, 技官5人, 雇傭人25人, 計76人

敷地 3,000坪 建物 建坪数 393坪 延坪数 526坪

刊行物 応電彙報, 英文紀要

予算 昭和37年度 66,386,000円 昭和38年度見込 112,000,000円

研究部門 (設置年度), 研究目途, 研究者氏名

電子回路 (昭和18年度)

超高周波回路設計の基礎を確立するため導波管分岐等の特性を解析する。

超広帯域増幅技術開発のため負抵抗素子の性質を解析する。

松本 秋男 (教授) 羽鳥 孝三 (助教授) 川瀬 泰 (助手)

小野幸次郎 (助手) 矢島 昭三 (技官)

電波応用 (電気第二) (昭和19年度)

ミリ波の大気中伝播現象を解明するため降雪による減衰を実験する。

レーザーによって連続波光を得るため電子レーザーを試作実験する。

松本 正 (併教授) 黒部 貞一 (併教授) 仲丸 由正 (併教授)
鈴木 道雄 (併教授) 西辻 昭 (助教授) 永井 信夫 (助手)
物 理 (昭和18年度)

固体中の電子及び核のエネルギー構造を解明するために電子及び核スピン共鳴の研究を行なう。

横沢弥三郎 (教授) 達崎 達 (助教授) 石坂 孜 (助手)

東藤 勇 (助手) 加土 武 (技官) 佐藤 隆征 (技官)

樺島 年保 (技官)

化 学 (")

物質の電気構造を解明するために, 化学の立場から理論及び実験的に研究を行なう。

馬場 宏明 (教授) 国分 決 (助教授) 鈴木 哲 (助手)

竹村 健 (助手) 三浦 茂男 (技官) 小林美佐子 (技官)

生理 (医学及生理第一) (")

医用電子技術開発のための基礎 (生理的) 研究を行なう。

望月 政司 (教授) 安保 寿 (併教授) 若林 勝 (併教授)

小山 富康 (助教授) 青木 高志 (併講師) 上村芳太郎 (助手)

八反田洋子 (技官)

生体物理 (医学及生理第二) (")

生体電子の動きを解明するために, これに関係する物質間の電子の授受を物理化学的に解析する。

山崎 勇夫 (教授) 横田健之助 (助手) 間瀬 亮 (助手)

応用数学 (")

時系列理論の追究における理論の具体性をためすための諸種の測定値 (風速, 雨量, 学業成績等) の行動の調査研究

鈴木 好明 (助教授) 加地 郁夫 (併講師) 安藤 毅 (助手)

伊崎美保子 (技官)

メディカルエレクトロニクス (昭和36年度)

医用電子技術の開発研究

吉本 千禎 (教授) 三上 智久 (助教授) 近田 伸一 (助手)

電子機器分析 (昭和37年度)

電子機器による化学分析法の基礎及びその応用に関する研究

東 健一 (教授) 坂本 三郎 (併教授) 荒川 泓 (助教授)

千徳 一夫 (助手) 竹中 信夫 (助手) 鈴木 智子 (技官)

メディカルトランスデューサ (昭和38年度)

生体と電子計測回路を結合する変換器及び電極に関する研究

沖野 遙 (助教授) 石坂 高英 (技官)

研 究 事 項

電子回路

情報信号の忠実な伝送の研究	(松本秋男, 羽鳥孝三)
パルス伝送技術の研究	(")
フルイド・マッパーの基礎及び応用研究	(羽鳥孝三)
超高周波立体伝送系の研究	(松本秋男, 羽鳥孝三, 松本正, 鈴木道雄)
電波応用 (電気第二)	
ミリ波伝播の研究	(松本秋男, 西辻昭)
ミリ波超多重通信の研究	(松本秋男, 松本正)
レーザーの研究	(西辻 昭)
物 理	
磁気共鳴吸収に関する研究	(横沢弥三郎, 達崎 達)
核磁気共鳴吸収による団体構造の研究	(東藤 勇)
エレクトロニクス材料の物性論的研究	(達崎 達, 石坂 孜)
化 学	
有機分子の電子構造に関する理論及び実験的研究	(馬場宏明, 国分決, 鈴木哲, 竹村健)
蛍光スペクトルに関する研究	(")
電子スペクトルによる分子間相互作用の研究	(")
化学分析用電子機器の試作に関する基礎研究	(")
生理 (医学及生理第一)	
Body plethysmograph の試作研究	(望月政司, 上村芳太郎)
血流計の試作並びに応用	(望月政司, 小山富康, 上村芳太郎)
赤血球の酸素化の速度の測定	(望月政司, 小山富康)
生体物理 (医学及生理第二)	
生体内電子伝達系の研究	(山崎勇夫, 横田健之助, 間瀬亮)
応用数学	
階位ある空間の理論とその応用	(鈴木好明, 加地郁夫)
電波伝播理論, 場の量子理論の研究	(加地郁夫)
情報理論の研究とその応用	(鈴木好明)
資料整理の理論的研究と時系列解析器の試作	(")
プラズマ現象の理論的, 実験的研究	(加地郁夫)
函数解析の研究と応用	(安藤 毅)
メディカルエレクトロニクス	
水銀界面電位型変換素子の基礎及び応用	(吉本千禎, 近田伸一)
医学における適応制御の研究	(吉本千禎, 三上智久)
呼吸ガス分析装置	(吉本千禎, 近田伸一)
生体情報の有線伝送	(吉本千禎, 三上智久, 近田伸一)
電子機器分析	
有機液体の誘電緩和現象の研究	(東 健一, 千徳一夫)
有機化合物の双極子能率の研究	(")

液体及び溶液の力学的並びに電氣的緩和現象の研究	(荒川 泓)
物性研究用電子機器装置に関する基礎研究	(")
メディカルトランスデューサ	
電気血流計	(沖野遙, 石坂高英)
特殊施設, 設備	

ミリ波及びマイクロ波伝播試験装置, 誘電体測定装置各種, 電子磁気共鳴吸収測定装置, 核磁気共鳴吸収測定装置, 直示分光光度計, 微小電極装置各種, オキソグラフ装置, 血流計, アナログ計算機

北海道大学触媒研究所

The Reserch Institute for Catalysis, Hokkaido University.

設置年月日	昭和18年1月30日
所在地	北海道札幌市北11条西7丁目 電話(71)2111, 2139番
目的	触媒に関する学理及びその応用の研究
沿革	昭和18年1月 勅令第57号官制により北海道帝国大学に設置 昭和24年5月 国立学校設置法により北海道大学附置研究所となる。 昭和29年3月 液体窒素工場設置
所長	堀内 寿郎 (任期 昭和38.4.1~40.3.31) 事務長 村井 正一
職員数	教授5人, 助教授5人, 助手12人, 事務官4人, 技官4人, 雇傭人15人, 計45人
敷地	239坪 建物 延坪数 231坪
刊行物	紀 要
予算	昭和37年度 36,463,117円 昭和38年度見込 20,848,000円

研究部門 (設置年度), 研究目的, 研究者氏名

理論化学 (昭和18年度)

触媒研究の理論的武器反応論の一般化, 発展に努めると共に, その基礎となる吸着の研究を理論並びに実験的に進めている。

堀内 寿郎 (教授) 北川正太郎 (助手) 竹沢 暢恒 (助手)

触媒構造学 (")

不均一触媒の構造を理論的に研究する一方, X線および電子線回折, 電子顕微鏡, 電界放射顕微鏡並びにイオン顕微鏡により, その構造をその上の反応動力学および吸着と結びつけて実験的に研究している。

戸谷 富之 (教授) 松井 敏二 (助教授) 東 克彦 (助教授)

石塚 和彦 (助手)

物理化学 (")

金属触媒によるアンモニア合成反応を, 第一部門の研究が生み出した研究法を用いて, 実験的に研究している。

中村 孝(教授) 田中 一範(助手)

化学動力学(昭和18年度)

本研究所設立以前からの水素電極反応, その成果から派生した酸塩基触媒反応並びにその延長の酸素電極反応の調査を行なっている。

田部 浩三(教授) 松田 秋八(教授) 延与三知夫(助教授)

喜多 英明(助教授) 横山 隆允(助手) 小寺 琢朗(助手)

佐野 朝子(助手) 能登谷玲子(助手)

有機触媒(昭和36年度)

金属触媒存在におけるオレフィンの水素添加反応並びにそれと関連する諸反応, 特に一酸化炭素と水素からの炭化水素を合成する Fischer-Tropsch 反応の機作研究を進めている。

宮原孝四郎(助教授) 豊嶋 勇(助教授) 松崎五三男(助手)

升田真木彦(助手)

研究事項

理論化学

定常反応の研究 (堀内寿郎)

化学反応の基礎理論の研究 (中村 孝)

吸着の量子力学的研究 (戸谷富之)

吸着の統計学的研究 (堀内寿郎, 戸谷富之)

吸着の測定 (竹沢暢恒, 石塚和彦, 門脇通)

触媒構造学

金属構造の理論的研究 (戸谷富之)

電子線, X線回折による触媒構造の研究 (松井敏二)

電子顕微鏡による触媒反応の研究 (")

電界放射顕微鏡による反応機作の研究 (東 克彦, 石塚和彦)

イオン顕微鏡の試作と応用 (")

低速電子線回折による吸着の研究 (松井敏二, 東克彦, 石塚和彦)

清浄な金属面上の吸着の研究 (")

物理化学

アンモニア合成及び分解反応の律速段階の化学量数決定 (堀内寿郎, 田中一範)

工業用アンモニア合成触媒存在におけるアンモニア分触反応の動力学 (豊嶋勇, 竹沢暢恒)

化学動力学

均一酸塩基触媒反応の研究 (田部浩三, 佐野朝子, 井土忠厚)

固体酸塩基触媒の研究 (田部浩三, 麦谷千恵)

均一触媒, 不均一触媒の比較研究 (堀内寿郎, 田部浩三, 大西隆一郎)

水素電極反応の飽和電流の測定 (喜多英明, 山崎忠良)

接触機作の理論的研究 (堀内寿郎, 喜多英明)

ニッケル水素電極の微分容量の測定 (松田秋八, 大森唯義, 吉岡潤三)

白金水素電極反応の律速段階の化学量数決定 (松田秋八, 能登谷玲子)

重水素電解分離率の測定 (堀内寿郎, 横山隆允)

白金及びニッケルの水素電極による重水素交換反応 (延与三知夫)

Eyving らの経験法則の理論的確立 (堀内寿郎, 延与三知夫, 喜多英明)

酸素電極反応の研究 (堀内寿郎, 小寺琢郎)

有機触媒

金属触媒存在におけるエチレンの水素添加反応 (宮原孝四郎, 松崎五三男, 升田真木彦)

金属触媒による飽和炭化水素と重水素の交換反応 (宮原孝四郎, 松崎五三男)

金属触媒による Fischer-Tropsch 合成反応機作の研究 (豊嶋 勇)

附属施設

施設名 北海道大学触媒研究所液体窒素工場 設置年月日 昭和29年3月31日

所在地 北海道札幌市北11条西7丁目 施設長 助手 松崎五三男

業務内容 研究に必要な冷媒として液体窒素の製造

施設名 北海道大学触媒研究所ガラス工場 設置年月日 昭和18年1月

所在地 北海道札幌市北11条西7丁目 施設長 助教授 東 克彦

業務内容 研究に必要な実験機材として各種ガラス器具の製造

北海道大学結核研究所

The Research Institute for Tuberculosis, Hokkaido University.

設置年月日 昭和25年4月1日

所在地 北海道札幌市北11条西5丁目 電話(71)1865番

目的 結核の予防及び治療に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和17年4月 北大医学部構内に財団法人北方結核研究所(母体)設立
昭和25年4月 法律第51号国立学校設置法の一部改正により北海道大学附属研究所となる。

所長 高橋 義夫(任期 昭和37.4.1~40.3.31) 事務長 中野 義雄
職員数 教授4人, 助教授4人, 助手7人, 事務官2人, 技官1人, 雇傭人11人, 計29人

敷地 1,209坪 建物 建坪数 263坪 延坪数 458坪

刊行物 結核の研究

予算 昭和37年度 34,294,800円 昭和38年度見込 41,831,752円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

予 防 (昭和25年度)

結核免疫及びアレルギー発来機序を解明するために、血清学的並びに組織学的研究を行なう。

高橋 義夫 (教授) 有馬 純 (助教授) 山本 健一 (助教授)
佐々木昭雄 (助手)

細 菌 (")

結核症の特徴であるアレルギー発現の機序と意義を解明し、結核予防並びに治療に免疫学的な裏付けを与えるため、結核アレルギーと結核免疫の関係を追求する研究を行なう。

大原 達 (教授) 山下 慎子 (講師) 前川 静枝 (助手)

化 学 (")

抗結核剤とその化学構造との関係を解明するために、種々の新しい化合物を合成し試験管内及び動物実験を行なう。

柿本 七郎 (教授) 関川 勲 (助教授) 西江 純 (助手)

病 理 (")

結核病変の発生に重要な関係を有する結核アレルギーの本態を解明するために、アレルギー病変の作成を行なう。

森川 和雄 (教授) 奥山 春枝 (講師) 河内 薫 (助手)

太田 明彦 (技 官)

診 療 部 (")

山田 豊治 (併教授) 久世 彰彦 (併講師)

電子顕微鏡室

高橋昭一郎 (技 官)

研 究 事 項

予 防

結核菌磷脂質感作カオリン凝集反応の研究

基礎的研究 (高橋義夫, 佐々木昭雄, 安達恵, 深江肇)

臨床的研究 (高橋義夫, 望月孝二, 永山能為, 藤田誠一, 樽松三郎)

結核抗原の不均一性について (高橋義夫, 樽松三郎)

結核抗体の易熱性の追究 (高橋義夫, 大橋秀一)

結核の脱感作りに関する研究 (高橋義夫, 有馬純, 山本健一)

結核アレルギーの研究 (山本健一, 有馬 純)

非定型抗酸菌の毒力の研究 (")

非定型抗酸菌の血清学的研究 (高橋義夫, 有馬純, 山本健一, 佐々木昭雄)

I NH耐性菌の生体内における耐性の電動について (有馬純, 山本健一)

ブラセル症と結核症との関係について (")

結核菌並びにツベルクリンの多糖体の生物学的研究

(高橋義夫, 有馬純, 山本健一, 佐々木昭雄)

生体内における結核菌の形態に関する電子顕微鏡的研究

(高橋義夫, 月居典夫, 高橋昭一郎)

結核菌の組成と抗原性 (高橋義夫, 有馬純, 山本健一, 佐々木昭雄)

結核菌磷脂質の研究 (高橋義夫, 佐々木昭雄)

結核菌の毒力についての研究 (有馬 純, 山本健一)

細 菌

結核アレルギーと免疫の関係に関する研究 (大原達, 寺本信之)

結核の血清学的研究 (")

結核菌の抗原構造に関する研究 (大原達, 前川静枝)

結核の血清反応に関する研究

(大原達, 山下慎子, 前川静枝, 寺本信之, 清水正秀)

結核菌核酸に関する免疫学的, 生化学的研究

(大原達, 山下慎子, 前川静枝)

結核菌の毒力に関する研究 (大原 達, 山下慎子)

結核菌の物質代謝に関する研究 (山下慎子)

化 学

酸ハイドラチツドの立体異性体と抗菌力との関係 (柿本七郎, 刀弥郁子)

チオアミド誘導体の研究 (柿本七郎, 西江純)

フダラゾン誘導体の研究 (柿本七郎, 関川勲)

抗結核剤の研究 (柿本七郎)

結核菌体成分の研究 (関川 勲)

植物中の有効成分の研究 (西江 純)

病 理

遅延型アレルギーに関する基礎的研究 (森川和雄, 奥山春枝, 河内薫, 浜田栄司)

蛍光抗体法による免疫細胞学的研究 (奥山春枝, 森川和雄)

ツベルクリンたんぱく抗原活性に関する研究 (奥山春枝, 森川和雄, 太田明彦)

結核動物血清の免疫化学的研究 (森川和雄, 奥山春枝, 浜田栄司, 太田明彦)

結核菌リポたんぱく画分に関する研究 (森川和雄, 浜田栄司, 河内 薫, 小西美智代)

血清抗体と結核性病度との関係について

(森川和雄, 河内薫, 浜田栄司, 木村和子)

アスペルギールス症の免疫病理学的研究 (河内薫, 森川和雄)

結核性病変の電子顕微鏡的研究 (浜田栄司, 森川和雄)

遅延型アレルギー病変の電子顕微鏡的研究 (")

結核屍病変の病理解剖 (森川和雄, 奥山春枝, 河内薫, 浜田栄司)

東北大学金属材料研究所

The Research Institute for Iron, Steel and Other Metals,
Tohoku University.

設置年月日 大正8年5月21日

所在地 宮城県仙台市片平丁75番地 電話 (22) 6815番
目的 鉄鋳その他の金属及び合金に関する学理及びその応用の研究
沿革 大正8年5月 東北帝国大学官制改正(勅令第229号)により東北帝国大学附属鉄鋼研究所が設置された。
大正11年8月 金属材料研究所官制(勅令第361号)により金属材料研究所が附置された。(鉄鋼研究所が移行)
昭和24年5月 国立学校設置法により東北大学附置研究所となる。
所長 広根徳太郎(任期 昭和37.10.1~40.9.30)
事務長 曾我鉦司 事務長補佐 今野富美治 事務長補佐 佐藤清作
職員数 教授25人, 助教授22人, 講師8人, 助手90人, 事務官26人, 技官63人, 雇傭人101人, 計335人
敷地 5.508坪 建物 建坪数 2,215坪 延坪数 4,791坪
刊行物 東北大学研究所報告A集
予算 昭和37年度 347,826,000円 昭和38年度見込 355,000,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

金属物性論(昭和20年度)

金属合金および化合物がそれぞれ固有の性質を示す物理学的理由を解明するため高磁場並びに高圧力下の物性の変化を測定解明する。

広根徳太郎(教授) 安達健五(助教授) 神垣知夫(助教授)
山田玄彦(助手) 金子武次郎(助手) 佐藤清雄(助手)

結晶物理学(大正11年度)

主として金属結晶の物性, 特に磁性及び塑性, 並びに成長及び溶解の問題を理論的及び実験的に研究する。

山本美喜雄(教授) 岩田孝夫(助教授) 渡辺慈朗(助教授)
角野浩二(助手) 中道琢郎(助手) 吉田和彦(助手)

磁気物理学()

金属及び合金の磁性を解明するために物理的研究を行なう。

白川勇記(教授) 小熊一郎(助教授) 沼倉健一(助教授)
阿部健(助手) 丹治雍典(助手) 森谷博(技官)

金属塑性学(昭和18年度)

金属の機械的性質を解明するため, 電子顕微鏡その他の手段によつて転位の挙動を研究する。

幸田成康(併教授) 藤村堯(助教授) 日景武夫(助教授)
中島耕一(助手) 松浦圭助(助手) 林成行(助手)
針生裕(技官)

や金物理学(大正11年度)

高温における金属及び金属化合物の諸種の物性を解明するために分子論的, 電子論

的研究を行なう。

竹内栄(併教授) 本間敏夫(助教授) 本間恒夫(助教授)
遠藤裕久(助手) 田巻繁(助手) 平井敏雄(助手)
池田晋(助手) 斎藤興一(技官)

回折結晶学(昭和24年度)

回折現象を利用して主として金属及び合金の結晶構造を解明することを目的とする。

小川四郎(教授) 渡辺伝次郎(助教授) 岩崎博(助手)
藤目智(助手) 井野正三(助手) 太田平四郎(技官)

放射線金属物理学(昭和37年度)

中性子線, γ 線その他の放射線を金属に照射して, その際生ずる物理的現象を測定することにより, または放射性同位元素を利用することなどの方法により金属物理学の研究を目的とする。

渡辺浩(教授) 鈴木俊郎(助教授) 山本尚夫(助手)
篠原猛(助手) 山口貞衛(助手)

希有金属学(昭和32年度)

原子炉用燃料, 材料及び希有金属の物性を解明するために, 物理化学的研究をする。

竹内栄(教授) 渡辺治(助手) 佐藤経郎(助手)
鈴木謙爾(助手)

金属表面化学(昭和14年度)

金属材料の腐食, 防食, 摩耗および触媒などを解明するために金属表面化学反応機構を研究する。

下平三郎(教授) 末高治(助教授) 菅原英夫(助手)
蛭子栄昉(助手) 橋本功二(助手) 高野道典(助手)
佐藤武明(技官)

や金化学(昭和20年度)

鉄炭素合金の変態, 精錬, 熔接, 摩耗における種々の元素の挙動を解明する研究

本間正雄(教授) 目黒博(助手) 大野稔一(助手)
山谷勝惟(助手) 森田惣五郎(助手) 千葉雪雄(技官)
石田恒雄(技官)

放射線金属化学(昭和33年度)

原子力材料の放射線金属化学的研究および放射性物質の化学的研究を行なう。

鈴木進(教授) 斎藤節(助手) 井上泰(助手)
三辻利一(助手) 工藤玲子(技官) 前田富士雄(技官)

低温物理学(昭和12年度)

金属合金の電子構造を解明するために低温度におけるそれ等の輸送現象を研究する。

袋井忠夫(併教授) 三倉二郎(助教授) 武藤芳雄(助教授)

仁科雄一郎(講師) 斎藤 好民(助手) 滝本 昇(助手)
田中 邦秀(助手) 能登 宏七(助手) 深瀬 哲郎(助手)

低温磁性(低温化学)(昭和18年度)

電子スピン及び核スピン系の性質を極低温において種々の静的並びに動的な方法で測定し、これらスピン系のエネルギー準位の決定、相互作用の本質、平衡状態への到達の具合等を究明する。

神田 英蔵(併教授) 長谷田泰一郎(助教授) 辻川 郁二(助教授)
大坪 秋雄(助手) 請井 一利(助手) 斎藤慎八郎(助手)
小林はな子(助手) 佐藤 卓(技官)

特殊鋼(〃)

特殊鋼の材質向上のため熱処理添加金による材質変化の本性を明らかにする。

今井勇之進(教授) 熊田健三郎(助教授) 西野 知良(助教授)
泉山 昌夫(助手) 増本 健(助手) 大原 甲(技官)

鑄鉄(昭和24年度)

鑄鉄の摩耗および微量元素に関する研究

本間 正雄(併教授)

非鉄合金(昭和5年度)

非鉄金属材料の物理や金学的及び製造や金学的研究

大日方一司(教授) 小松 登(助教授) 栗原 健助(助教授)
寺沢 正武(助手) 竹内 庸(助手) 大根田 昇(助手)

磁性合金(昭和18年度)

種々の磁性合金について基礎的並びに応用的研究

斎藤 英夫(教授) 高橋 実(助教授) 河野 達夫(助手)
菅井 富(助手) 藤森 啓安(助手) 森田 博昭(助手)

原子炉材料金相学(昭和24年度)

原子炉用諸材料の一般ならびに中性子線照射等における諸性質の解明のため炉材の合金学的性質、核持性的性質耐蝕性などの研究を行ない、また液体金属の冷却能の研究などを行なう。

平林 真(教授)

溶解鑄造(昭和20年度)

鉄鋼の溶解鑄造原理を解明するために非金属介在物の抽出法並びに挙動を研究する。

音谷 登平(教授) 丸山 益輝(助教授) 坂上 六郎(助教授)
師岡 保弘(助手) 松浦 圭助(助手) 形浦 安治(助手)
鈴木いせ子(技官)

金属加工(鍛造加工)(〃)

塑性加工一般の問題をその研究対象としている。すなわち加工材の加工法と性質との関連、加工工具の変形、工具、材料間の摩擦等の基礎研究

田中英八郎(教授) 和泉 修(助教授) 福田 武司(助手)

吉識 忠継(助手) 大山 致知(助手)

熱処理(昭和20年度)

粒子分散型合金の内部酸化の機構を解明するために拡散を研究する。

幸田 成康(併教授) 藤村 堯(併助教授) 日景 武夫(併助教授)

熔接(昭和24年度)

鉄鋼材料の熔接熱影響について研究する。

大日方一司(併教授) 小松 登(併助教授)

粉末や金(昭和20年度)

特殊な金属材料の開発と加工技術を確立するため粉末や金の基礎的な問題を研究する。

今井勇之進(併教授) 菊田 貞雄(助手)

金属分析(〃)

金属材料の化学分析ならびに機器分析法に関する基礎的及び応用研究を行なう。

後藤 秀弘(教授) 柿田八千代(助教授) 池田 重良(助教授)

広川吉之助(助手) 厚谷 郁夫(助手) 鈴木 光泰(助手)

並木美智子(助手)

原子炉材料加工学(昭和34年度)

原子炉材料としての各金属の加工性についての本質を研究する。

幸田 成康(教授) 諸住正太郎(助教授) 茅野 秀夫(助手)

後藤 正治(助手) 矢野 信三(助手)

電子顕微鏡室

小川 四郎(併教授) 高橋 健(助手)

エックス線室

小川 四郎(併教授) 尾木 重男(助手)

共通分析室

武山 主郎(講師) 佐瀬 正彦(助手) 木村 仁(助手)

大沼 明(助手) 細谷 稔(助手) 鈴木 節子(助手)

佐藤 明子(助手) 斎藤 朗(助手)

材料試験室

幸田 成康(併教授) 吉田久太郎(助手) 山形 彦治(助手)

顕微鏡室

今井勇之進(併教授) 板橋 親治(助手)

欠陥検査室

白川 勇記(併教授) 神垣 知夫(併助教授)

ガス液化室

神田 英蔵(併教授) 佐藤 常夫(講師) 佐藤利兵衛(技官)

佐藤 健治(技官) 今野 軍治(技官) 丹野 武(技官)

庄子 喜三(技官)

ヘリウム液化室

神田 英蔵 (併教授)
 工業化第一試験室
 田中英八郎 (併教授)
 工業化第二試験室
 今井勇之進 (併教授)
 電子回路室
 白川 勇記 (併教授) 小熊 一郎 (併助教授) 菅原 博 (助手)
 共通試料室
 山本美喜雄 (併教授)
 強磁場室
 袋井 忠夫 (併教授) 星 彰 (助手) 工藤 稔 (技官)
 インストロン試験機室
 山本美喜雄 (併教授)
 マスセバレーター室
 後藤 秀弘 (併教授) 岸本 睦義 (助手)

研究事項

金属物性論

遷移金属化合物の磁性の研究
 (広根徳太郎, 安達健五, 神垣知夫, 山田玄彦, 金子武次郎, 佐藤清雄)
 遷移金属合金の磁性の研究
 (広根徳太郎, 安達健五, 神垣知夫, 山田玄彦, 金子武次郎, 佐藤清雄)
 高圧下の磁性の研究
 (広根徳太郎, 安達健五, 神垣知夫, 山田玄彦, 金子武次郎, 佐藤清雄)
 非破壊検査の研究 (広根徳太郎, 神垣知夫, 金子武次郎)

結晶物理学

結晶の成長及び溶解と格子欠陥との関連
 (山本美喜雄, 渡辺慈朗, 吉田和彦, 三浦恒雄, 末永 裕, 安原 洋)
 金属, 合金及び金属酸化物の単結晶の磁性
 (山本美喜雄, 岩田孝夫, 中道琢郎, 青木善平, 横山紀夫)
 金属合金, 半導体及びイオン結晶の塑性
 (山本美喜雄, 渡辺慈朗, 角野浩二, 吉田和彦, 安原 洋)
 結晶方位の光学的決定と無歪切断の研究
 (山本美喜雄, 渡辺慈朗, 末永 裕, 佐藤徳次郎)

磁気物理学

Fe-Co, Co-Ni, Ni-Fe 系合金板状試料の剛性率 (白川勇記, 小熊一郎)
 圧延強磁性材料の弾性率ならびに磁歪異方性 (白川勇記, 沼倉健一)
 Alnico 系永久磁石の柱状晶による特性の改善 (白川勇記, 阿部 健)
 M. S. O 整磁合金 (Fe-Ni-Cr 系) の特性に及ぼす炭素の影響
 (白川勇記, 丹治雅典)

金属塑性学

歪時効の機構について (幸田成康, 日景武夫)
 降伏現象について (幸田成康, 中島耕一)
 時効性合金の塑性について (幸田成康, 松浦圭助)
 磁性と塑性の相関 (幸田成康, 藤村 堯, 林 成行)

や金物理学

純金属の高温疲労機構に関する実験的研究 (竹内 栄, 本間恒夫)
 高純度 V, Cr の電解的製についての研究
 (竹内 栄, 渡辺 治, 渡辺英哉, 佐々木香)
 液体金属ならびに合金の物性の研究 (竹内栄, 遠藤裕久, 田巻繁, 池田晋)
 非化学量論的金属化合物の物性の研究 (竹内栄, 鈴木謙爾, 西村光平, 勝田博司)

回折結晶学

長週期規則格子合金の結晶構造の X 線回折法による研究 (小川四郎, 岩崎 博)
 金属単結晶薄膜による電子線回折の動力学的二重反射効果
 (小川四郎, 渡辺伝次郎, 藤目 智)
 真空中劈開岩塩面における金属薄膜の平行成長
 (小川四郎, 渡辺伝次郎, 井野正三)
 In-Mn 系合金の規則格子構造について (小川四郎, 平林真, 飯山典子)

放射線金属物理学

Mossbauer 効果による磁性体内部磁場の研究 (渡辺 浩, 山本尚夫)
 NMR による磁性体内部磁場の研究 (渡辺 浩, 篠原 猛)
 中性子線回折による磁気構造の研究 (渡辺 浩, 山本尚夫, 篠原 猛)
 新磁性化合物に関する研究 (渡辺 浩)
 金属の拡散に関する研究 (鈴岡俊郎)

希有金属学

Th-C 系の熱力学的性質に関する研究
 (1)起電力法を用いた炭化トリウム中の Th 及び C の活量測定 (竹内栄, 佐藤経郎)
 (2)Th-C 系状態図に関する研究 (竹内栄, 佐藤経郎, 平井敏雄)
 塩化物を用いた核燃料再処理の基礎的研究 (竹内栄, 小畑直己)

金属表面化学

金属および金属化合物の電気化学的性質の研究 (下平三郎, 菅原英夫, 蛭子栄昉)
 金属表面化学反応の分光学的研究 (下平三郎, 末高 治)
 格子欠陥の化学的性質の研究 (下平三郎, 橋本功二)
 応力腐食割れの研究 (下平三郎, 高野道典)

や金化学

鑄鉄の性質におよぼす微量元素及び低合金元素の影響 (本間正雄, 千葉雪雄)
 低温焼鈍における強靱鑄鉄の材質改良に関する研究 (本間正雄, 目黒 博)
 鉄合金の真空溶解における脱硫, 脱酸に関する研究 (本間正雄, 大野稔一)
 鑄鉄および鉄鋼材料の溶接熱影響における変態現象

	(本間正雄, 山谷勝惟, 森田惣五郎, 石田恒雄)
放射線金属化学	
安定同位体分離に関する研究	(鈴木 進, 岸本睦義, 工藤玲子)
無機質イオン交換体の研究	(鈴木 進, 井上 泰, 工藤玲子)
溶融塩ポーログラフイーの研究	(鈴木 進, 斎藤 節)
核低濃度領域における各種元素の化学的挙動の研究	(鈴木 進, 三辻利一)
低温物理学	
極低温強磁場における金属及び半導体の電流磁気効果と比熱	(袋井忠夫, 武藤芳雄, 能登宏七)
極低温強磁場における半導体の赤外線吸収スペクトルとファラデー効果	(袋井忠夫, 仁科雄一郎, 田中邦秀)
極低温における金属の帯磁率とドーハス・ファン・アルフエン効果	(袋井忠夫, 斎藤好民)
極低温における金属の超音波の減衰	(袋井忠夫, 深瀬哲郎)
超伝導に関する研究	(三倉二郎)
超音波吸収の理論	(滝本 昇)
低温磁性 (低温化学)	
電子スピン系及び核スピン系の断熱消磁と磁気緩和の研究	(神田英蔵, 長谷田泰一郎, 大坪秋雄)
化合物の極低温における核磁気共鳴	(神田英蔵, 長谷田泰一郎, 斎藤慎八郎)
化合物金属の極低温比熱と帯磁率	(神田英蔵, 請井一利)
一次元及び二次元磁性体	(長谷田泰一郎, 小林はな子)
特殊鋼	
Fe-Cr, Fe-Cr-Ni 合金中の生成への添加元素の影響	(熊田健三郎)
原子力用材料の研究	(今井勇之進, 西野知良)
Fe-Ni-Cr 合金の恒温マルテンサイト変態について	(今井勇之進, 泉山昌夫)
鉄鋼における窒素の役割について	(今井勇之進, 増本 健)
分散強化鋼の研究	(今井勇之進, 宮崎 亨)
鑄鉄	
強靱鑄鉄, 球状黒鉛鑄鉄の摩耗	(本間正雄, 森田惣五郎)
強靱鑄鉄, 球状黒鉛鑄鉄に対する微量元素の研究	(本間正雄, 千葉雪雄)
非鉄合金	
非鉄合金の鑄造の研究	(大日方一司, 栗原健助)
分散強化型非鉄合金の研究	(大日方一司, 小松 登, 大根田 昇)
時効性アルミニウム合金の研究	(大日方一司, 寺沢正式)
アルカリ及びアルカリ土類金属, マンガン, ニッケル合金の研究	(大日方一司, 竹内 庸)
磁性合金	
合金の不変鋼特性及び恒・高弾性特性とそれらの異方性に関する研究	

	(斎藤英夫, 菅井 富, 森田博昭, 阿部哲郎)
合金の磁性に及ぼす規則格子, K-状態の形成及び磁場中処理の効果	(斎藤英夫, 高橋 実, 河野達夫, 藤森啓安, 森田博昭)
強磁性材料の特性改善の研究	(斎藤英夫, 菅井 富, 千葉雄也)
原子炉材料金相学	
中性子回折による合金構造の研究	(平林 真)
熔解鑄造	
鑄鉄における黒鉛の球状化の理論的研究	(音谷登平, 丸山益輝)
熔鋼の脱酸に関する速度論的研究	(音谷登平, 坂上六郎)
鉄鋼精錬用特殊合金の研究	(音谷登平, 師岡保弘, 形浦安治)
熔鋼中の酸素と炭素に関する高圧平衡の研究	(音谷登平, 松本 昇)
金属加工 (鍛造加工)	
ダイナパックによる衝撃加工材の組織学的研究	(田中英八郎, 和泉 修, 大山致知)
各種金属材料の精密引張試験に関する研究	(田中英八郎, 加藤春男)
脆性金属の圧延, 押出加工に関する研究	(田中英八郎, 福田武司)
センデミーヤ20段圧延機のロール形状に関する基礎的研究	(田中英八郎, 吉識忠継)
熱処理	
金属の表面拡散に関する研究	(幸田成康, 藤村 堯)
金属の内部酸化に関する研究	(幸田成康, 日景武夫, 針生 裕, 野牧耕二)
(1)熱処理法の研究 (2)酸化機構の研究	
熔接	
鑄鉄および球状黒鉛鑄鋼の熔接	(本間正雄, 山谷勝惟)
(1)熔接組織について (2)球状黒鉛鑄鋼の各種熔接法	
(3)鑄鉄の熔接組織におよぼす熱処理の効果	
析出硬化型不銹鋼の析出物の熔接熱による挙動	(")
粉末や金	
金属粉末の圧縮過程	(増田良道, 菊田貞雄)
粉末圧延について	(")
金属分析	
分光分析法による金属中の酸素及び非金属元素の定量の研究	(後藤秀弘, 池田重良, 広川吉之助, 鈴木光泰, 斎藤 朗)
不活性ガス熔融法による金属中の酸素及び水素の定量に関する研究	(後藤秀弘, 池田重良, 大沼 明, 細谷 稔)
蛍光X線分析法に関する研究	(後藤秀弘, 広川吉之助, 前田富士夫)
吸光光度法および原子吸収分析法による金属中の微量元素の定量	(後藤秀弘, 柿田八千代, 厚谷郁夫, 並木美智子)

原子炉材料加工学

- 金属ベリリウム中の不純物の研究 (幸田成康, 諸住正太郎)
- 六方格子型金属の塑性学的研究 (幸田成康, 茅野秀夫)
- 分散二次相の塑性学的挙動の研究 (幸田成康, 諸住正太郎, 茅野秀夫, 矢野信三, 後藤正治)
- 体心立方格子型金属の塑性学的研究 (幸田成康, 矢野信三)

附属施設

施設名 金属材料研究所附属工場 設置年月日 大正8年5月21日
 所在地 宮城県仙台市片平丁75番地 施設長 教授 音谷登平
 業務内容

- 工務掛 工場の統轄設備に関する計画及び管理資材, 材工器具の購入計画及び出納, 勤務時間管理, 各種統計調査
- 企画掛 工作事務に関する計画及び管理, 製品及び資材の検査
- 設計掛 設計及び製図, 工作技術の調査及び指導, 試作及び外注計画
- 仕上掛 研究用装置部品の加工, 組立, 試運転を行なうほか, 研究装置の修理調整並びに超音波加工工作
- 平削掛 研究用装置部品及び試料の平削加工並びに研究工作
- 第一旋盤掛 研究用装置部品及び試料の旋盤加工並びに放電加工工作
- 第二旋盤掛 研究用装置部品及び試料の旋盤加工並びに放電加工工作
- 鍛造掛 研究用装置部品及び試料の鍛造加工並びに溶接作業
- 圧延掛 試料の圧延, 伸線及び鐘錠加工並びに熱処理作業
- 熔解掛 鉄鋼, 鋳鋼, 特殊合金鋼, 希有金属等の普通熔解, 真空熔解による試料の製作
- 鑄造掛 普通鑄鉄, 特殊鑄鉄及び非鉄合金などにより研究装置試料の熔解鑄造工作を行なうほか, エレマ炉など小型電気炉の炉体作業
- 木型掛 研究用装置及び試料製作用の木型工作を主とし, また装置用取付用の木工工作
- ガラス掛 普通ガラス, 硬質ガラス, 石英ガラスにより物理的, 化学的研究装置及び部品の工作並びに修理
- 試作掛 研究用装置及び試料の試作工作

特殊施設, 設備

60KW 高周波電動発電機, 金属熔融噴射装置, 負荷対調比重装置タップ変圧器, 水銀整流器用変圧器, 水銀整流器 (4台), 大型電磁石, 化合物磁性測定用電磁石, 高周波熱サイクル再現装置, 配電制御装置 (2台), 炉波装置, 万能フライス盤, フライス盤, クリスタルレークグラインダー, 非逆四段冷間圧延機, 20段可逆冷間圧延機, 20段可逆冷間用附属品 (2式), 非逆転式冷間圧延機, 熱間押出加工試験機, 超高速衝撃加工機, 300t水圧プレス装置, ヘリウム液化装置, 液体窒素製造装置, 水素液化精溜装置, 水素精溜装置, 高周波真空熔解炉, 高周波電気炉, 帯熔融精製装置, 真空アーク炉,

電子ビーム熔解炉, 微量部X線分析装置, 質量分析計, X線スペクトロメーター, 超高温クリープ試験装置 (2台), 真空蒸溜精製装置, 万能材料試験機, インストロン材料強伸度試験機, 電子顕微鏡装置 (日立 HU-10 型, 日立 HS-6 型), 超音波減衰測定装置, 腐蝕試験装置, 静水高圧発生装置, 波高分析装置, 同位元素分離装置 (2台), 金属物性測定装置, 高純度単結晶装置, 単結晶吊上装置, 二重共鳴測定装置, 遠紫外真空分光器, 遠赤外分光光度計, 回折格子写真器, 特殊純水槽

東北大学農学研究所

Institute Agricultural Research, Tohoku University.

設置年月日 昭和14年8月1日
 所在地 宮城県仙台市片平丁41番地 電話 (23) 5128, 5111番
 目的 東北地方における農産 (林産及び畜産を含む。) 及び水産に関する学理並びにその応用の研究
 沿革 昭和14年8月 農学研究所官制 (勅令第521号) が公布され農学研究所が設置された。
 昭和24年5月 国立学校設置法公布により附置研究所となる。
 所長 坂本正幸 (任期昭和36.5.1~39.4.30) 事務長 片倉勘十郎
 職員数 教授4人, 助教授4人, 講師1人, 助手12人, 事務官5人, 技官8人, 雇傭人20人, 計54人
 敷地 所有地 3,249坪 建物 建坪数 623坪 延坪数 939坪
 刊行物 農学研究所彙報, 東北大学研究所報告 (農学)
 予算 昭和37年度 42,614,089円 昭和38年度見込 44,960,000円
 研究部門 (設置年度), 研究目途, 研究者氏名

作物環境 (生物学) (昭和14年度)

作物の栽培環境に関する研究

- 古坂澄石 (教授) 山根一郎 (助教授) 佐藤郁生 (助手)
- 佐藤和夫 (技官) 服部勉 (助手) 佐藤匡 (技官)
- 岩波悠紀 (技官)

生理生態学 (")

作物の生理および生態に関する研究

- 吉田重治 (教授) 繩田滋則 (併教授) 神田己季男 (助教授)
- 尾田義治 (助教授) 飯泉茂 (併助教授) 岡島秀夫 (講師)
- 嶋田饒 (助手) 高橋成人 (助手) 高城成一 (助手)
- 柿崎洋生 (助手) 江刺洋司 (助手) 本田強 (技官)

農作災害 (農芸化学) (")

農作災害に関する研究

坂本 正幸(教授) 西崎友一郎(助手) 菊本 敏雄(助手)
 大松沢照子(技官) 富樫 二郎(技官)
 農業経済(水産生理学) (昭和14年度)
 農業生産の経済機構に関する研究
 須永 重光(教授) 吉田 寛一(助教授) 菅野 俊作(併助教授)
 馬場 昭(助手) 安孫子 麟(助手) 東海林仲之助(助手)
 大木 麗子(技官)

研究事項

作物環境(生物学)

水田土壌中における物質変化に関する研究 (山根一郎, 佐藤和夫)
 山地草原における植生と土壌の関連性に関する研究 (")
 草地改良に関する研究 (")
 牧草を導入した田畑輪換に関する研究 (佐藤郁生)
 土壌構造と細菌の存在様式およびその活性との関係について (服部 勉)
 土壌腐植と土壌微生物の生活 (古坂澄石, 斎藤孝子)
 灌流土壌細菌群の変動について (佐藤 匡)
 コロイド系における細菌の生活様式について (山岸宣美)
 合成樹脂に吸着された細菌の生活 (服部黎子)
 山地草原における微気象の研究 (岩波悠紀)

生理生態学

稲における光成形反応種子の発芽に関する研究 (高橋成人)
 作物個体群の栄養生活に関する研究 (岡島秀夫)
 稲の鉄栄養に関する研究 (高城成一)
 水稻の分けつ発生と栄養に関する研究 (本田 強)
 ウキクサの花成の光依存性 (尾田義治, 江刺洋司)
 ベコニヤの塊茎形成と休眠の光週性 (江刺洋司)
 葉緑体反応の光制御機構 (西崎友一郎)
 光制御に関する色素系の研究 (尾田義治, 西崎友一郎)
 内性リズムの発現機構 (尾田義治, 西崎友一郎, 江刺洋司)
 水稻の栽植密度に関する研究 (神田己季男)
 水稻分けつ芽の発育に関する研究 (柿崎洋生)
 水田雑草の群落生態に関する研究 (佐藤文宏)
 人工草地, 草類密度と生産に関する研究 (吉田重治)
 草地の生産性に関する研究 (")
 草地植生の実験群落学的研究 (嶋田 饒)
 草地植生の動態と生産性 (嶋田 饒, 沼田 真)
 ワラビの生態に関する研究 (嶋田 饒)
 シバの生態に関する研究 (庄司舜一)

農作災害(農芸化学)

土壌伝染性細菌病に関する研究 (坂本正幸)
 土壌中における白菜軟腐病菌の生態と環境因子との関係 (菊本敏雄)
 病原細菌の栄養と病原性との関係について (富樫二郎)
 病原細菌の形態学的変化と病原性との関係について (大松沢照子)

農業経済(水産生理学)

水稻単作農業の経済的研究 (須永重光)
 農村労働力と人口の再生産 (")
 農業労働力の分業化 (吉田寛一, 東海林仲之助)
 農業生産構造と土地改良 (馬場 昭)
 土地制度と地主経済 (安孫子麟)
 農業金融と農協 (大木麗子)
 地主制と部落構造の変化 (菅野俊作)
 農民組織と農民運動 (佐藤 正)
 沿岸漁業の近代化に関する研究 (須永重光, 佐藤 正)
 宮城県農民運動史の研究 (吉田寛一, 安孫子麟, 馬場 昭)

附属施設

施設名 東北大学農学研究所附属実験農場 設置年月日 昭和23年4月1日
 所在地 宮城県志田郡鹿島台町内の浦 電話鹿島台20番 施設長 教授 須永重光
 業務内容 本農場の研究は主として水稻, 水田裏作, 飼料作物, 土壌, 肥料, 畜産等の自然科学と経済学的研究との相互関連性のもとにおこなわれている。

特殊施設, 設備

高等植物人工培養室, 自記分光光度計

東北大学選鉱製錬研究所

Research Institute of Mineral Dressing and Metallurgy,
 Tohoku University.

設置年月日 昭和16年3月26日
 所在地 宮城県仙台市長町字福聚院前26番地 電話(48)0121番
 目的 重要金属の選鉱及び製錬に関する学理及びその応用の研究
 沿革 昭和16年3月 選鉱製錬研究所官制(勅令第286号)が公布され選鉱製錬研究所が設置された。
 昭和24年5月 国立学校設置法が公布され, 東北大学附置研究所となる。
 所長 小野 健二(任期昭和37.9.11~40.9.10) 事務長 三浦覚三郎
 職員数 教授10人, 助教授10人, 講師1人, 助手23人, 事務官7人, 技官14人, 雇傭人26人, 計91人
 敷地 6,777坪 建物 建坪数 1,257坪 延坪数 1,346坪
 刊行物 選鉱製錬研究所彙報

予 算 昭和37年度 81,260,435円 昭和38年度見込 88,907,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

応用 鋳物(昭和16年度)

鋳物の組成, 鋳物の物理化学的性質の研究並びにその探査及び利用の研究

南部 松夫(教授) 竹内 常彦(併教授) 岡田 広吉(助教授)

谷田 勝俊(助手) 鹿野 新平(助手) 北村 強(技官)

浮遊選 鋳(昭和18年度)

浮遊選鋳に関する理論及び応用研究

和田 正美(教授) 真島 宏(助教授) 大場 章(講師)

山本 泰二(助手) 岡田 茂(助手)

製 鉄(")

鉄や金学の基礎的, 応用的研究

三本木 貢治(教授) 大森 康男(助教授) 小泉 秀雄(助手)

浅田 実(助手) 井上 博文(助手)

製 鋼(昭和19年度)

製鋼法, 造塊法等の基礎並びに応用研究

斎藤 恒三(教授) 白石 裕(講師) 和田 春枝(助手)

笹原 貫司(助手) 田村 明(助手)

金 鋳 製 錬(昭和16年度)

金鋳その他鋳石類の製錬法と選鋳とに関連する基礎及び応用研究

山崎 太郎(教授) 白井進之助(助教授) 佐々木 弘(助手)

青木 正(助手)

乾式製錬(")

乾式法による金属の採取に関する理論的並びに応用的研究

矢沢 彬(教授) 亀田 満雄(併教授) 阿部美保子(助手)

小池 一男(助手)

軽金属製錬(")

軽金属類及び希有金属類の製錬, 精製の基礎及び応用研究

小野 健二(教授) 松島 知夫(助教授) 千葉 良哉(助手)

加門 登(助手) 伊藤 茂(助手)

原子核燃料や金(昭和32年度)

原子核燃料, 主としてウランの製造及び使用済み燃料の再処理に関するや金学的研究

須藤 欽吾(教授) 木越 旭一(助教授) 大川 淳(助手)

放射や金(昭和36年度)

使用済み核燃料の再処理及びプルトニウムの利用に関する化学的, や金学的研究

菅野 卓治(教授) 鈴木 信男(助教授) 秋葉 健一(助手)

特殊製鉄(昭和37年度)

ラテライト, 砂鉄など未利用鉄資源を活用するための事前処理ならびにそれらに適

合する特殊製鉄法の研究

大谷 正康(教授) 小野田 守(助手) 杉浦 三朗(助手)

立島 弘(助手)

総合試験研究室

化学的並びに物理的測定法の研究

小野 健二(教授) 山崎 太郎(教授) 岡 好良(併教授)

加藤 清一(助手) 鶴谷 セツ(技官) 佐久間 泰(技官)

工業化試験工場

須藤 欽吾(教授) 松田 勇(助手) 岡崎 昭一(技官)

ガラス工場

須藤 欽吾(教授) 菊地 庄吉(技官) 阿部 政治(技官)

研究事項

共同研究

ラテライトの活用に関する研究

(小野健二, 大谷正康, 三本木貢治, 和田正美, 斎藤恒三)

直接製鉄に関する研究

(三本木貢治, 大谷正康)

高圧や金に関する研究

(小野健二, 斎藤恒三, 三本木貢治, 南部松夫)

複雑硫化鋳の研究

(矢沢彬, 和田正美, 南部松夫)

原子核燃料の資源, 選鋳, 抽出, 再処理ならびにや金学的研究

(須藤欽吾, 菅野卓治, 和田正美, 山崎太郎, 南部松夫)

や金用耐火材に関する研究

(三本木貢治, 斎藤恒三, 大谷正康)

や金化学工学に関する研究

(小野健二, 矢沢彬, 三本木貢治, 斎藤恒三)

応用 鋳物

酸化鉄鋳及び含水酸化鉄鋳の鋳物学的研究

(南部松夫)

マンガン鋳石の鋳物学的研究

(岡田広吉, 谷田勝俊)

耐火粘土の鋳物学的研究

(南部松夫, 谷田勝俊)

硫化鋳物の共生組織に関する研究

(南部松夫, 鹿野新平)

微細鋳物の電子顕微鏡的研究

(南部松夫, 加藤清一, 北村勉)

東北地方における工業用鋳物資源の鋳床地質学的研究

(南部松夫, 岡田広吉, 谷田勝俊, 鹿野新平)

浮遊選 鋳

浮遊の界面化学に関する研究

(和田正美, 山崎太郎, 真島宏, 白井進之助, 大場章)

粉鉄鋳の乾式精選法に関する研究

(和田正美, 真島宏, 大場章, 山本泰二, 岡田茂)

熱間高濃力誘導ロール型磁選機およびその応用 (")

浮選分散系における界面エネルギーの研究

(和田正美, 大場章, 山本泰二, 岡田茂)

浮選法に関する研究

(和田正美, 真島宏, 大場章, 山本泰二, 岡田茂)

1 浮選に及ぼす温度の影響	
2 不溶性捕収剤を使用する浮選	
3 ガス浮選—二酸化イオウの作用機構	
4 抑制剤としてのシアン化物の研究	
5 輝水鉛鉱の浮選	
選鉱・選炭のプロセス的研究 (")	
1 砂鉄の選鉱	
2 複雑硫化鉱の処理	
3 非金属鉱物の選鉱	
4 微粉炭の回収	
選鉱, 選炭産物の物理化学的ならびに鉱物学的研究 (和田正美, 大場章, 山本泰二)	
1 鉱物組成および組織の研究	
2 単体分離度ならびに片刃係数の研究	
3 無煙燃料の研究 (和田正美, 山本泰二)	
選別過程の解析的考察	
製 鉄	
鉄鉱石の予備熱処理に関する研究 (三本木貢治, 浅田実)	
1 鉄鉱石の塊成状化に関する研究	
2 自溶性焼結鉱の基礎的研究	
製鉄法の物理化学的研究 (三本木貢治, 大森康男)	
1 溶鉄熔滓間の基礎反応に関する研究	
2 製鉄熔滓の構成成分の活量に関する研究	
製鋼法の物理化学的研究	
1 熔鋼の脱磷に関する研究 (三本木貢治, 小泉秀雄)	
2 非金属介在物の成因および組成に関する研究 (三本木貢治, 大森康男)	
3 マイクロアナライザーによる鋼中の非金属介在物の動程について (三本木貢治, 大森康男, 天満元昭)	
熔鋼酸素の迅速測定に関する研究 (三本木貢治, 大谷正康, 井上博文, 佐藤史生)	
製 鋼	
製鋼反応の速度論的研究 (斎藤恒三, 白石裕, 和田春枝, 田村明)	
1 溶鉄熔滓中における各種元素の拡散	
2 溶鉄熔滓の粘性	
3 脱炭, 脱硫反応の速度論的研究	
造塊法に関する研究 (斎藤恒三, 笹原貫司)	
1 非金属介在物の成因に関する放射性同位元素追跡法	
2 溶鋼流およびスプラッシュの流体力学的研究	
3 造塊用耐火材の溶蝕に関する研究	
4 特殊造塊法に関する研究	

放射性同位元素による熔鉄, 熔滓の研究	
蒸気圧測定による熱力学的研究 (斎藤恒三, 白石裕, 和田春枝)	
真空や金に関する研究 (斎藤恒三, 白石裕, 和田春枝, 田村明, 笹原貫司, 佐久間泰)	
金 鉱 製 錬	
赤外線吸収スペクトルによる浮選法の基礎研究 (山崎太郎, 臼井進之助, 青木正)	
イオン交換体浮選に関する研究 (山崎太郎, 臼井進之助, 佐々木弘)	
溶媒抽出法に関する研究 (山崎太郎, 青木正)	
浮選の果面電気化学的研究 (臼井進之助)	
乾 式 製 錬	
熔銅中の諸元素の活量に関する研究 (矢沢彬, 小池一男)	
溶媒抽出による二三の金属の製錬に関する研究 (矢沢彬, 阿部美保子)	
鉱石中の不純物除去に関する研究 (矢沢彬)	
1 重鉛鉱の脱鉛に関する研究	
2 塩化揮発法に関する研究	
高温硫酸溶液中における各種金属の耐蝕性試験 (矢沢彬, 氏家速雄)	
軽金属製錬	
軽金属精錬に関する基礎的研究 (小野健二, 松島和夫)	
1 アルミニウム乾式製錬 2 アルミニウム溶融塩電解用材質の改善	
純金属および金属間化合物の製造に関する基礎的研究	
半導体用純金属および金属間化合物 (小野健二, 松島和夫, 千葉良哉, 加門登)	
溶融塩に関する基礎的研究 (小野健二, 松島和夫, 伊藤茂)	
1 溶融塩の電気化学的研究	
2 多元系溶融塩の蒸気圧測定	
原子核燃料や金	
焼結燃料体製造並びに乾式燃料再処理に関する研究 (須藤欽吾, 木越旭一, 大川淳, 守屋香, 近江光雄)	
真空アーク溶解および電子衝撃溶解に関する研究 (")	
核燃料や金に関する研究	
1 ウラン化合物の還元に関する熱力学的研究 (須藤欽吾, 木越旭一)	
2 ウラン化合物の高温における挙動について (須藤欽吾, 大川淳)	
3 ウランおよびウラン合金の蒸気圧に関する研究 (須藤欽吾)	
4 原子炉材料の熱的性質に関する研究 (須藤欽吾, 近江光雄)	
放射や金	
ポーラログラフ分析法の研究 (菅野卓治, 鶴谷セツ)	
発光分光分析法の研究 (菅野卓治, 尾形和男)	
溶媒抽出による燃料再処理の研究 (菅野卓治, 鈴木信男, 秋葉健一)	

イオン交換法による燃料の再処理の研究 (菅野卓治)

燃融塩を用いる燃料再処理法の研究 (菅野卓治, 蟻坂博昭)

特殊製鉄

未利用鉄鉱石の予備処理に関する研究

1 ラテライト鉱中のNi, Cr分離に関する基礎的研究 (大谷正康, 小野健二, 立島弘)

2 流動還元法の基礎的研究 (大谷正康, 小野田守, 三本木貢治)

製鉄過程におけるTi, V, Crの挙動に関する研究 (大谷正康, 松本隆)

含クロム, チタン滓の物性に関する研究 (大谷正康, 杉浦三朗)

CaO-Fe₂O₃系の還元平衡に関する研究 (大谷正康, 松本隆)

附属施設

施設名 東北大学選鉱製錬研究所工業化試験工場 設置年月日 昭和21年12月20日

所在地 宮城県仙台市長町字福聚院前26番地 施設長 教授 小野健二

業務内容 1 基礎的研究成果の工業化に関する試作並びに試験研究

2 研究実験用装置, 機器等の試作並びに改造修理

施設名 東北大学選鉱製錬研究所ガラス工場 設置年月日 昭和18年11月1日

所在地 仙台市長町字福聚院前26番地 施設長 教授 小野健二

業務内容 研究実験用ガラス諸器具の工作及び修理

特殊施設, 設備

浮遊選鉱試験機, 電子顕微鏡, 真空熔融式ガス分析装置, 真空熔解炉, 単結晶引上装置, 真空アーク炉, 自動記録式X線回折装置, 微小部X線分析装置, 自記示差熱分析装置, 浮揚(レヴィテーション)熔解炉

東北大学抗酸菌病研究所

The Research Institute of Tuberculosis and Leprosy,
Tohoku University.

設置年月日 昭和16年12月15日

所在地 宮城県仙台市北四番丁62番地 電話(22)6184番

目的 抗酸菌病の予防及び治療に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和16年12月 抗酸菌病研究所官制(勅令第1,119号)が公布され抗酸菌病研究所が設置された。

昭和24年5月 国立学校設置法が公布され, 東北大学附置研究所となる。

所長 佐藤三郎(任期昭和38.4.1~41.3.31)

事務長 石川清輝 事務長補佐 斎藤小五郎

職員数 教授10人, 助教授10人, 助手19人, 事務官13人, 技官11人, 雇傭人15人, 計78人

敷地 838坪 建物 建坪数 493坪 延坪数 1,313坪

刊行物 抗酸菌病研究雑誌(欧文及び和文)

予算 昭和37年度 140,828,715円 昭和38年見込 151,500,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

内科学(抗酸菌病の臨床学的研究(内科))(昭和16年度)

結核の予防と治療の基礎的並びに臨床的研究を行ない, 他方肺結核と診断上隣接し, 漸次増加の傾向にある肺癌臨床的研究, 特に化学療法の研究を行なっている。

岡 拾己(教授) 菅野 巖(助教授) 高世 幸弘(助手)

福士 主計(助手) 本宮 雅吉(助手) 山口 淳二(助手)

鈴木 隆福(助手) 馬場 健児(助手) 岡村 伸子(助手)

萱場 圭一(助手) 伊藤 安彦(助手) 成富 鷹穂(助手)

佐藤 和夫(助手) 白石晃一郎(助手) 宗形喜久男(助手)

飯田 三蔵(助手)

癩(抗酸菌病の臨床学的研究(癩))(")

癩の治癒完遂のため, 癩菌の培養及び動物移植等色々の角度から研究する。

佐藤 三郎(教授) 真山 旭(助教授) 三浦 裕(助手)

永井 彰(助手)

病理解剖(抗酸菌病の病理解剖学的研究)(")

肺結核及びその他の胸部疾患で, 入院する患者の病理解剖学的研究に従事し, 又臨床的にこれら患者の喀痰の細胞学的組織学的検査を行ない肺癌の研究もおこなっている。

黒羽 武(教授) 永井 一徳(助教授) 近藤 敏(助手)

針生 健吉(助手)

微生物学(抗酸菌病の細菌免疫学的研究)(昭和19年度)

結核菌に対する Tween 寒天培地成分の検討及び癌細胞の増殖態度を微生物学的に検討する。

山根 績(教授) 松谷 豊(助手) 草野 敬久(助手)

会田 宜子(助手)

生化学(抗酸菌病の生化学的研究)(")

結核菌を生化学的に解明し, 又癌の本態をその物質代謝方面より究明するため, 癌細胞による含水炭素と脂肪酸の代謝, 特にその相互関係を研究する。また, 糖たんぱく質の本態を一般生化学的立場から追求すると共に更に癌組織, 癌細胞の生理に如何なる意義を持つかを研究する。

立木 蔚(教授) 佐藤正二郎(助教授) 武田 尚子(助手)

薬理学(抗酸菌病の薬理学的研究)(")

既知化合物並びに新化合物を合成し又動植物体組織成分を抽出して抗結核剤, 抗癌剤としての薬理作用を研究する。

遠藤 英夫(教授) 佐藤 圭(助教授) 多田 雅夫(助手)

遠田 博子(助手)

外科学(抗酸菌病の臨床学的研究(外科))(昭和25年度)

肺結核，肺癌，肺化膿症，気管支拡張症及び心臓疾患に対する外科療法の研究を主体とし併せてこれら胸部疾患の臨床病理学的並びに病態生理学的研究を行なう。

鈴木千賀志（教授） 熊谷 直（助教授） 仲田 祐（助手）
芳賀 研三（助手） 根谷崎敏彦（助手） 渡部 昭（助手）
松山 靖（助手）

小児科学（小児結核に関する研究）（昭和28年度）

小児結核の化学療法の基本ならびに臨床的研究および肺X線上結核様陰影を示す呼吸器系ウイルス疾患の診断と治療をおこなっている。

岡 捨己（教授） 新津 泰孝（助教授） 佐藤 正弘（助手）
今野 淳（助手） 長山 英男（助手）

肺 癌（昭和33年度）

実験腫瘍並びに人体材料を用いて，癌の発生及びその増殖の本態を究明するため基礎的な研究をおこなっている。

佐藤 春郎（教授） 黒木登志夫（助手） 鈴木 磨郎（助手）

癌化学療法（昭和37年度）

抗癌物質による癌治療の基礎的研究

斎藤 達雄（教授） 大平 貞雄（助手） 涌井 昭（助手）
横山 正和（助手）

研究事項

内科学（抗酸菌病の臨床学的研究（内科））

結核予防ワクチンの研究

- 1 乾燥BCGワクチンの研究
- 2 内服用BCGワクチンの研究
- 3 BCGワクチンの力価増強に関する研究

（岡捨己，高世幸弘，萱場圭一，猪岡伸一，飯島久子）

細胞特に細菌の微細構造とその機能に関する研究

（岡捨己，福土主計，山口淳二，宗形喜久男，長谷部栄佑）

呼吸機能に関する研究（岡捨己，馬場健児，白石晃一郎，田中元直，尾形和夫，柳原寿男，後藤溶三）

聴診法特に呼吸音，心音の電氣的描写に関する研究

（岡捨己，田中元直，香坂茂美）

組織培養法の研究

（岡捨己，清水洋子）

非定型抗酸菌並びに結核菌の変異に関する研究

（福土主計）

結核の化学療法の研究

- 1 新化学療法剤の研究
- 2 諸種化学療法剤作用機序に関する研究
- 3 耐性菌の研究（岡捨己，本宮雅吉，小野俊一，宗形喜久男）

労働と結核，肺結核の新発生とその対策に関する研究

（岡捨己，菅野巖，渡辺民朗）

塵肺，特に珪肺の研究「シリカ」その他異物の生体内結核菌発育に及ぼす影響

（岡捨己，高世幸弘，萱場圭一）

放射線，特にアイソトープによる結核並びに癌の研究

（岡捨己，菅野巖，伊藤安彦，片倉康博，中村巖，鈴木光彦，井沢豊春）

肺癌の基礎的並びに臨床的研究

診断，化学療法，放射線療法，癌の化学療法などの作用

機序に関する研究（片倉康博，佐藤正弘，青木豊，猪岡伸一）

1 癌細胞の生化学的研究

（岡捨己，菅野巖，岡村伸子，佐藤和男，渡辺民朗，伊藤安彦，片倉康博，佐藤正弘，青木豊，猪岡伸一，安田忠彦）

2 結核と癌との関連性に関する研究，特にBCG接種の癌発育に及ぼす影響

（岡捨己，高世幸弘，猪岡伸一）

癌の免疫に関する研究

（奥山信一）

癩（抗酸菌病の臨床学的研究（癩））

癩菌の培養と動物接種試験

（佐藤三郎，永井 彰）

癩の化学療法（殊に Phenazine 化合物）の研究

（佐藤三郎，真山 旭，三浦 裕，石川正生）

癩の病型分類

（佐藤三郎）

癩血清の免疫生物学的研究

（佐藤三郎，真山 旭，鈴木荘一）

癩血清の生化学的研究

（真山 旭）

レプロミン反応の研究

（佐藤三郎，真山 旭，永井 彰）

癩菌及び癩細胞の微細構造と代謝機能 付．抗酸菌の微細構造

（佐藤三郎，真山 旭，三浦 裕，永井 彰，石川正生）

癩の臨床医学的研究

（佐藤三郎，真山 旭，石川正生）

魚類の結核ないし癩様疾患に関する研究

（佐藤三郎，永井 彰，三浦 裕，鈴木荘一）

病理解剖（抗酸菌病の病理解剖学的研究）

肺結核その他の慢性肺疾患と肺癌の関係に対する病理解剖学的研究

（黒羽 武，永井一徳，近藤 敏，針生建吉）

肺筋肉異常素因に関する病理解剖学的研究

（黒羽 武，近藤 敏）

胸腺癌の病理解剖学的研究

（黒羽 武，永井一徳，近藤 敏）

頸部リンパ腺の病理組織学的研究

（黒羽 武，永井一徳，針生建吉）

癌の転移に関する解剖学的研究

（黒羽 武，永井一徳，高橋久夫）

骨髄の病理

（永井一徳，針生建吉）

微生物学（抗酸菌病の細菌免疫学的研究）

細胞培養培地の検討

（山根 績，松谷 豊）

癌細胞の分離培養法の検討

（山根績，三橋啓司，中野昇，津田達徳）

細胞の薬同定とその染色体遺伝学的検討

（山根 績，草野敬久）

培養細胞のアミノ酸代謝の研究

（山根績，松谷豊，三橋啓司，会田宣子）

Tween 寒天培地成分の検討	(山根 績)
Single Cell Culture Suspension Culture の研究	(山根 績, 松谷 豊, 津田達徳)
生化学 (抗酸菌病の生化学的研究)	
癌細胞の糖質, 特に有機酸代謝の研究	(立木 蔚, 武田尚子, 助野忠義)
癌細胞, 癌組織の糖蛋白質にシアル酸の研究	(立木 蔚, 武田尚子)
癌細胞の糖質と脂質の代謝, 特にその相互関係	(佐藤正二郎)
血清による珪藻土の凝集現象の機構	(")
薬理学 (抗酸菌病の薬理学的研究)	
抗結核剤と抗癌剤の合成及びその薬理学的研究	(遠藤英夫, 佐藤 圭, 多田雅夫, 遠田博子, 小林和子)
薬理耐性の出現とその機構に関する研究	(")
薬理学上よりみた同種移植と異種移植の研究	(")
動植物体組織成分の研究	(")
外科学 (抗酸菌病の臨床学的研究 (外科))	
肺結核の外科療法	
1) 重症肺結核の外科療法の研究	(鈴木千賀志, 熊谷 直)
2) 肺切除術の機能的な安全限界決定に関する研究	(鈴木千賀志, 仲田祐, 渡部昭, 根谷崎敏彦, 芳賀研三, 川上稔, 新田澄郎, 森山竜太郎, 狩野寛治, 藤村重文, 池田道昭)
3) 左右別肺機能検査法の研究	(鈴木千賀志, 萩原昇, 押部光正)
4) 呼吸器の病態生理学的研究	(鈴木千賀志, 仲田祐, 渡部昭, 根谷崎敏彦, 芳賀研三, 新田澄郎, 森山竜太郎, 狩野寛治, 藤村重文, 池田道昭, 川上稔)
肺 癌	
1) 肺癌の早期診断法の研究	(鈴木千賀志, 近藤敏, 針生健吉, 成富鷹穂, 押部光正)
2) 肺癌の手術的療法, 化学療法及び放射線療法並びにこれらの併用治療法に関する研究	(鈴木千賀志, 金淵一郎, 近藤敏, 橋本邦久, 針生健吉, 荒井他嘉司)
3) 肺癌の転移及び再発防止に関する研究	(")
4) 肺癌の発生に関する臨床, 病理学的研究	(")
5) 肺結核と肺癌との関連に関する研究	(")
非結核, 非癌性肺疾患	
1) 気管支拡張症及び肺嚢胞症の臨床及び発生病理学的研究	(鈴木千賀志, 熊谷 直, 成富鷹穂, 松山 靖, 平間 仁)
2) 気管, 気管支の運動に関する研究	(鈴木千賀志, 成富鷹穂, 松山 靖, 平間 仁)
3) 肺化膿症の臨床的並びに細菌学的研究	(鈴木千賀志, 熊谷 直)

4) 慢性気管支炎に関する臨床的並びに病理学的研究	(鈴木千賀志, 成富鷹穂, 松山 靖, 平間 仁)
5) 慢性肺気腫の研究	(鈴木千賀志, 仲田裕, 成富鷹穂)
縦隔腫瘍	
1) 縦隔腫瘍の発生並びに本態解明に関する病理学的研究	(鈴木千賀志, 松山 靖, 平間 仁, 近藤 敏, 針生健吉, 橋本邦久, 荒井他嘉司)
2) 縦隔腫瘍の診断および治療の研究	(")
心臓, 大血管外科	
1) 心臓および血管外科の研究	(鈴木千賀志, 仲田 祐, 渡部 昭, 根谷崎敏彦, 芳賀研三, 松山 靖, 萩原 昇, 新田澄郎, 森山竜太郎, 狩野寛治, 押部光正, 平間 仁, 藤村重文, 池田道昭, 川上 稔)
2) 選択的肺および心臓血管撮影法の研究	(")
麻酔, その他	
1) 胸部外科における麻酔法の研究	(鈴木千賀志, 近藤 敏, 渡部 昭, 根谷崎敏彦, 芳賀研三, 松山 靖, 橋本邦久)
2) 気管支成形術の研究	(鈴木千賀志, 渡部 昭, 松山 靖, 平間 仁)
3) 肺移植に関する基礎的研究	(鈴木千賀志, 仲田 祐, 渡部 昭, 根谷崎敏彦, 芳賀研三, 新田澄郎, 森山竜太郎, 狩野寛治, 藤村重文, 池田道昭, 川上 稔)
4) 呼吸循環調節機構に関する研究	(")
小児科学 (小児結核に関する研究)	
小児結核の疫学, 発生, 予防, 予後に関する研究	(新津泰孝, 佐藤正弘, 今野 淳, 工藤 稜, 半田輝雄)
小児結核の化学療法	(")
小児期結核と思春期結核との関連, 小児胸部レントゲン写真上の陰影の鑑別診断	(")
小児非結核性異常陰影の疫学, 臨床, 病因, 予後	(")
ウイルス肺炎の疫学, 臨床及び病原ウイルスの究明	(")
非定型抗酸菌の生化学的鑑別	(")
肺 癌	
A) 腫瘍転移の研究	
1) リンパ節転移に関する研究	
2) 肺転移に関する実験的研究	
3) 脳転移に関する実験的研究	
4) 腫瘍転移に対する各種抗癌剤の抑制効果に関する実験的研究	
5) 肺癌患者の血中癌細胞に関する研究	

(佐藤春郎, 鈴木磨郎, 林紀予子, 成沢富雄)

B) 実験腫瘍及び動物に関する基礎的研究

- 1) 少数細胞移植法に関する研究
- 2) 実験動物の純系化に関する研究
- 3) いわゆる腫瘍宿主関係についての基礎的研究
- 4) 自然発生癌に関する研究
- 5) 異種移植法に関する研究

(佐藤春郎, 黒木登志夫, 鈴木磨郎, 藤井敬二, 成沢富雄, 後藤正義)

腫瘍免疫に関する基礎的研究

(佐藤春郎, 藤井敬二)

腫瘍細胞の体外培養に関する基礎的研究

(佐藤春郎, 黒木登志夫, 後藤正義)

癌化学療法

A) 癌化学療法に関する実験的研究

- 1) 制癌剤の作用機序に関する実験的研究
(斎藤達雄, 大平貞雄, 涌井 昭, 横山正和, 檜森 巽, 高橋 弘)
- 2) 制癌剤の効果に関する実験的研究 (")
- 3) 制癌剤投与担癌生体の病態生理学的研究 (")
- 4) 担癌生体の各種条件が制癌効果に及ぼす影響についての研究
(")
- 5) 制癌剤に関する実験的研究の臨床的応用についての研究
(")

B) 癌化学療法に関する臨床的研究

- 1) 制癌剤の使用法, 特に併用療法の改善に関する臨床的研究
(")
 - 2) 制癌剤の臨床的応用に関する研究 (")
 - 3) 制癌剤の副作用並びに耐性とその防止についての研究
(")
 - 4) 制癌剤の臨床効果判定に関する研究 (")
 - 5) 制癌剤投与下担癌生体の病態生理学的研究 (")
- C) 癌患液質に関する研究 (")

附属施設

施設名 東北大学抗酸菌病研究所附属病院 設置年月日 昭和16年12月15日
 所在地 宮城県仙台市北四番丁62番地 施設長 教授 佐藤 三 郎
 業務内容 結核及び癌患者の診療
 職員数 事務官7人, 技官19人, 雇傭人56人, 計82人
 病床 100床

特殊施設, 設備

超遠心機, 電子顕微鏡, X線装置, Co⁶⁰照射装置, 顕微分光々度計
 人工心肺装置

東北大学科学計測研究所

Research Institute for Scientific Measurements, Tohoku University.

設置年月日 昭和18年1月30日

所在地 宮城県仙台市五条通5番地 電話(34)3201番

目的 科学計測に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和18年1月 科学計測研究所官制(勅令第54号)が公布され科学計測研究所が設置された。

昭和24年5月 国立学校設置法が公布され, 東北大学附置研究所となる。

所長 日比 忠 俊(任期昭和38.4.1~41.3.31) 事務長 池田 徹
事務長補佐 斎 昭 夫

職員数 教授8人, 助教授8人, 講師1人, 助手22人, 事務官8人, 技官38人,
雇傭人51人, 計136人

敷地 21,147坪 建物 建坪数 1,496坪 延坪数 1,702坪

刊行物 科学計測研究所年次要覧, 東北大学研究所報告A輯(欧文)

予算 昭和37年度 127,456,635円 昭和38年度見込 98,000,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

計測数理(機構計測学第一)(昭和18年度)

各種器機量計測方法

松山多賀一(教授) 高梨 三郎(教授) 山下 茂(助手)
白石 彦一(技官)

機構計測(機構計測学第二)(")

熱音に関する各種量の計測方法

神吉 寛一(教授) 小島 浩(助教授) 藤村 忠雄(助手)
吉田久仁夫(助手) 後藤 公美(助手) 千田 実(技官)
宮川 長二(技官) 伊藤 栄治(技官) 山上 孜(技官)

幾何光学計測(光計測学第一)(")

幾何光学を基礎とする計測方法

桜井 武磨(教授) 高橋 真一(助教授) 鎌田 治(助手)
石亀 希男(助手) 須藤 義秋(助手) 庄子 鉄雄(技官)

物理光学計測(光計測学第二)(")

物理光学を基礎とする計測方法

吉田正太郎(教授) 一宮 道直(技官)

電磁気計測(電磁気計測学第一)(")

電子管による計測方法

日比 忠俊(教授) 松村 鉄夫(助教授) 矢田 慶治(助手)

高橋 昭一(技 官)
 固体電子計測(電磁気計測学第二)(昭和18年度)
 電気, 磁気に関する各種量の測定方法
 田辺弥佐久(教 授) 藤崎 春雄(助教授) 高橋 昌明(助 手)
 物理化学計測(物理化学計測学)(昭和36年度)
 物理化学の測定に必要な測定法および機器の研究
 繩田 滋則(教 授) 井上 鋒明(助教授) 八木 正(助 手)
 河野 博之(助 手) 高島 幸史(助 手) 鈴木 徹俊(助 手)
 高木 明子(技 官)
 特殊精密工作技術研究室
 特殊工作技術および精密機器用各種素材の研究ならびに材質と工作方法
 高梨 三郎(兼教授) 篠塚菅一郎(助教授) 稲垣 耕司(講 師)
 山下 茂(助 手) 本郷 俊夫(技 官) 阿部 邦夫(技 官)
 高橋 真(技 官)

研究事項

計測数理(機構計測学第一)
 歯車の嚙合円滑度測定の研究 (松山多賀一, 白石彦一)
 時計用ガンギ歯車ホブ切の研究 (")
 ノビコフ歯車歯面の相対曲率の研究 (松山多賀一)
 合成樹脂歯車の耐久強度試験 (高梨三郎, 山下 茂, 森勝夫)
 鋼製歯車の摩耗ならびに強度に関する研究 (高梨三郎, 山下 茂, 森勝夫)
 機構計測(機構計測学第二)
 各種鋳物の粉碎に関する研究 (小島 浩, 吉田久仁夫)
 乾式分級に関する研究 (")
 物質表面の物理化学的性質に関する研究 (神吉寛一, 藤村忠雄, 山上 孜)
 Whisker の物理的性質に関する研究 (神吉寛一, 山上 孜)
 マイクロ波領域における誘電率測定装置の研究 (神吉寛一, 藤村忠雄)
 強誘電体の研究 (")
 各種物質の含水量測定法の研究 (神吉寛一)
 液体窒素を利用する冷間嵌合の実験 (千田 実)
 ファラデー効果による磁区構造の研究 (小島 浩, 後藤公美)
 強磁性酸化物の研究 (小島 浩, 後藤公美, 宮川長二)
 X線による結晶構造の研究 (小島 浩, 宮川長二)
 幾何光学計測(光計測学第一)
 太陽炉による高温計測法の研究 (桜井武磨, 鎌田 治)
 太陽炉による高融点物質の物理的性質の研究 (桜井武磨, 石亀希男)
 太陽炉による発電の研究 (")
 赤外分光計測法の研究 (高橋真一, 須藤義秋)
 非球光学面の製作法の研究 (桜井武磨, 実戸昂郎)

物理光学計測(光計測学第二)
 非球面レンズの理論的研究 (吉田正太郎)
 特に明るい非球面アプラナート色消レンズの研究 (")
 特に明るい非球面アプラナート単レンズの研究 (吉田正太郎, 一宮道直)
 非球面ズームレンズの研究 (吉田正太郎)
 電磁気計測(電磁気計測学第一)
 K C I 薄層結晶の電子顕微鏡による連続観察 (日比忠俊, 小川陽治)
 電子干渉計の試作研究 (日比忠俊, 高橋昭一)
 二段電子顕微鏡による解像能の向上 (日比忠俊, 矢田慶治)
 Miiller 型電子顕微鏡による点陰極の研究 (日比忠俊)
 固体電子計測(電磁気計測学第二)
 結晶発光体の電場発光の研究 (田辺弥佐久, 松村鉄夫, 藤崎春雄, 高橋昌明)
 発光体の単結晶製造に関する研究 (田辺弥佐久, 松村鉄夫, 藤崎春雄, 高橋昌明, 庄子 博)
 III—V 化合物発光体の研究 (田辺弥佐久, 松村鉄夫)
 硫化亜鉛単結晶の電気的性質に関する研究 (松村鉄夫, 高橋昌明)
 螢光体薄膜の研究 (田辺弥佐久, 松村鉄夫)
 螢光体単結晶並びに薄膜の光電導の研究 (田辺弥佐久, 藤崎春雄)
 CdS 単結晶の X線照射による励起電流の研究 (田辺弥佐久, 藤崎春雄, 庄子 博)
 物理化学計測(物理化学計測学)
 コーヘレンスの理論並びに実験的研究 (繩田滋則, 鈴木徹俊)
 真空エバート型回折格子単色計の試作研究 (繩田滋則, 高島幸史)
 干渉縞計数計測法の基礎並びに応用研究 (繩田滋則, 高島幸史, 中川孝男)
 質量分析計用イオン源の研究 (井上鋒朋, 高木明子)
 サイクロイド型質量分析計の試作研究 (井上鋒朋, 河野博之)
 電離気体の光吸収 (繩田滋則, 八木 正)
 特殊精密工作技術研究室
 歯車の動荷重, 騒音の測定 (高梨三郎, 山下 茂)
 歯車のトルク変動の測定 (高梨三郎, 森 勝夫)
 微小孔の加工技術に関する研究 (篠塚菅一郎, 本郷俊夫, 阿部邦夫)
 精密微小球製作の研究 (篠塚菅一郎, 稲垣耕司, 阿部紀一)
 微小線工作技術の研究 (篠塚菅一郎, 大石義為, 佐藤克己)
 硬物質連続切片の工作 (篠塚菅一郎, 本郷俊夫, 渡辺敬二郎)
 超測微計の試作研究 (篠塚菅一郎, 稲垣耕司, 斎藤武雄)
 微小等間隔切削加工の研究 (篠塚菅一郎, 高橋幸吾, 本郷俊夫, 山戸吉雄)

附属施設

施設名 東北大学科学計測研究所機械工場 設置年月日 昭和18年1月30日
 所在地 宮城県仙台市五条通5番地 施設長 教授 田辺弥佐久
 業務内容 試験研究用の機械装置の試作並びに工作技術の研究

施設名 東北大学科学計測研究所光器械工場 設置年月日 昭和25年12月26日
所在地 宮城県仙台市五条通5番地 施設長 教授 桜井 武 磨
業務内容 研究遂行に必要な光学機器の試作並びにレンズ工作法に関する研究

施設名 東北大学科学計測研究所高圧研究工場 設置年月日 昭和24年1月23日
所在地 宮城県仙台市五条通5番地 施設長 教授 神吉 寛 一
業務内容 高圧研究装置に関する試作及び工作技術の研究並びに液体空気、液体窒素及び水の電解による酸素、水素の製造実験

施設名 東北大学科学計測研究所ガラス工場 設置年月日 昭和21年1月22日
所在地 宮城県仙台市五条通5番地 施設長 教授 田辺 弥 佐 久
業務内容 研究装置の試作

特殊施設、設備

恒温恒湿装置、ハウザージクボロー (2SB型)、大型太陽炉、液体窒素製造装置、万能測長器 (1メートル)、刻印機、自動高速ネジ切盤 (津上B3型)、アーク・イメージング炉、万能歯車試験機

東北大学高速力学研究所

Institute of High Speed Mechanics, Tohoku University.

設置年月日 昭和18年10月5日

所在地 宮城県仙台市桜小路 電話 (23) 5126番

目的 高速力学に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和18年10月 高速力学研究所官制 (勅令第761号) が公布され高速力学研究所が設置された。

昭和24年5月 国立学校設置法が公布され、東北大学附置研究所となる。

所長 齋藤 清 一 (任期昭和37.4.1~40.3.31) 事務長 横山 寅 雄

職員数 教授9人、助教授5人、講師3人、助手21人、事務官6人、技官16人、雇傭人31人、計91人

敷地 1,317坪 建物 建坪数 818坪 延坪数 1,303坪

刊行物 高速力学研究所報告 (和文)

Reports of the Institute of High Speed Mechanics (欧文)

予算 昭和37年度 73,499,151円 昭和38年度見込 81,131,000円

研究部門 (設置年度)、研究目途、研究者氏名

キャビテーション (空洞現象) (昭和18年度)

水力機械に発注するキャビテーションの機構、水車、ポンプ等に使用される翼型のキャビテーション性能の理論的及び実験的研究

村井 等 (教授) 本田 睦 (教授) 大場利三郎 (助教授)

深栖 俊一 (講師) 千田 一郎 (助手) 本郷 三夫 (助手)

奈良坂 力 (助手) 真柳 梯子 (助手) 佐藤 六郎 (助手)

平田 泰茂 (助手)

機関器具 (昭和18年度)

機械力学に熱力学的考察を加え、熱機関に関する理論的及び実験的研究

坪内 為雄 (教授) 大塚 芳郎 (併教授) 増田 英俊 (助手)

高速ポンプ (昭和20年度)

キャビテーションに関する研究結果を応用して、ポンプを高速化 (小型化) あるいは大型化に関する理論的及び実験的研究

伊藤 英覚 (教授) 畑中 浩 (教授) 淵沢 定敏 (併教授)

小林 陵二 (助教授) 酒井 洪 (講師) 今井 清 (助手)

橋本 こう (助手) 蜂谷 俊男 (助手) 飯村 或郎 (助手)

送風機・圧縮機 (")

各種空気機械の高速化 (小型化) 及び実用化に関連する理論的、実験的研究

菊地 寿 (教授) 小野寺 収 (助手) 佐々木博志 (助手)

清川 義信 (助手)

弾性振動学 (")

各種機械の高速化に伴って発生する諸振動及び材料の強度に関する理論的、実験的研究

八巻 昇 (教授) 横堀 武夫 (併教授) 玉手 統 (併教授)

斎藤 秀雄 (併教授) 渥美 光 (併教授) 大友規矩雄 (助手)

児珠昭太郎 (助手)

高速水車 (昭和34年度)

キャビテーションに関する研究結果を応用して、水車を高速化する理論的、実験的研究

斎藤 清一 (教授) 島 章 (助教授) 武内平八郎 (助手)

宇角 元亨 (助手) 樺 茂宏 (助手) 斎藤 清志 (助手)

三浦 紀重 (技官)

熱流力学 (昭和38年度)

高温高速における熱流力学に関する理論的ならびに実験的研究

弓削 達雄 (教授) 神山 新一 (助教授) 松村 博昭 (助手)

高速キャビテーショントンネル実験室

高圧下における高速水流中に発生するキャビテーションの研究、特に翼型及び翼列のキャビテーションならびにスーパーキャビテーション性能の理論的ならびに実験的研究

村井 等 (兼教授) 本田 睦 (兼教授) 千田 一郎 (兼助手)

本郷 三夫(兼助手) 奈良坂 力(兼助手) 真柳 悌子(兼助手)
菱沼 信夫(技 官)

研究事項

キャビテーション(空洞現象)

- キャビテーションの基礎的研究 (村井等, 本田睦, 大場利三郎, 神山新一)
- ガスタービン或は蒸気タービン翼型の理論的ならびに実験的研究 (村井 等)
- 斜流型流体機械の羽根に関する理論的ならびに実験的研究 (")
- 翼型及び翼列のスーパーキャビテーションに関する研究 (")
- スーパーキャビテーションポンプ及び水車に関する研究 (")
- 衝撃波と境界層との干渉に関する研究 (本田 睦)
- Shear Flow 中における翼型特性に関する研究 (")
- パイプオリフィスその他計測器におけるキャビテーションの研究 (大場利三郎, 小林陵二, 神山新一)
- 翼型および適列翼型のキャビテーション性能 (大場利三郎)
- 翼型のキャビテーション性能に及ぼす翼型表面粗さの影響 (")
- スーパーキャビテーション翼型に関する理論的ならびに実験的研究 (")
- スーパーキャビテーションタンネルの試作的研究 (")
- 翼列のスーパーキャビテーション流れに関する研究 (")
- スーパーキャビテーション軸流ポンプの試作的研究 (")

機関器具

- 各種形状の物体の表面伝熱率の測定について (坪内為雄)
- 熱交換器の伝熱面の研究 (")
- 変動気流の温度及び流速の測定 (")
- 直交流熱交換器の研究 (")

高速ポンプ

- 曲管の流れに関する理論的ならびに実験的研究 (伊藤英覚)
- 曲管の性能向上に関する研究 (")
- 回転円板の摩擦抵抗に関する研究 (")
- 揚水式水車に関する研究 (")
- 非線形自動制御系の周波数応答に関する研究 (畑中 浩)
- 非線形自動制御系に対する統計学的研究 (")
- 適応制御系に関する研究 (")
- 位相空間理論による非線形制御系の研究 (")
- 高速軸流ポンプの試作的研究 (村井 等)
- 噴流の研究 (淵沢定敏)
- 収縮ノズルに関する理論的研究 (小林陵二)
- 高速噴流に関する研究 (")
- 切削機構に関する研究 (酒井 洪)
- 量産に適する高速軸流ポンプの試作的研究 (")

ベローズの曲げ試験及びベローズの特性に関する研究 (酒井 洪)

送風機・圧縮機

- 翼列中における翼型の特性の研究 (菊地 寿)
- 軸流圧縮機用翼型の研究 (")
- ガスタービンの流体力学的研究 (")

弾性振動学

- 流体機械の高速化に伴う振動防止対策に関する研究 (八巻 昇)
- 薄板の挫屈に関する理論的ならびに実験的研究 (")
- 薄板の非線形振動に関する研究 (")
- 補強板の強度に関する研究 (")

高速水車

- 高速水車に関する研究 (斎藤清一)
- 高速水車の走放し速度に関する研究 (")
- 小型水力接手の試作的研究 (")
- 揚水式水車の実験的研究 (")
- 高速フランシス水車の研究 (")
- 高落差カプラン水車の研究 (")
- 高速水車のキャビテーションに関する研究 (")
- 高速水車の寸度効果に関する研究 (")
- すき間キャビテーションに関する研究 (")
- 収縮ノズルに関する研究 (島 章)
- 層流域及び乱流域の判定法に関する研究 (")
- 拡大ノズルの境界層に関する研究 (")
- ノズル性能に及ぼす寸度効果の研究 (")
- 翼型のキャビテーション性能の寸度効果について (島 章, 小林陵二)
- 拡大管のキャビテーションに関する研究 (")

熱流力学

- 熱および物質輸送に関する理論的ならびに実験的研究 (弓削達雄)
- ガスタービンの熱流力学的研究 (")
- 曲管内の流れに関する理論的研究 (神山新一)
- 曲管のキャビテーションに関する研究 (")

高速キャビテーションタンネル実験室

- 高落差用軸流水車或はポンプ翼型のキャビテーション性能 (村井 等)
- 同上適列翼型のキャビテーション性能 (")
- 翼型及び翼列のスーパーキャビテーションに関する研究 (村井 等, 大場利三郎)
- 翼型性能に及ぼす寸度効果の研究 (村井 等)
- 翼型のキャビテーション性能の寸度効果の研究 (")

附属施設

施設名 東北大学高速力学研究所工場 設置年月日 昭和24年4月

所在地 宮城県仙台市桜小路 施設長 講師 酒井 洪
業務内容 1. 研究実験用の装置、機器及び試片等の製作ならびにそれらの改造、組立、分解
2. 基礎研究の成果による試作研究機器の製作

特殊施設、設備

高速キャビテーショントンネル実験装置

東北大学電気通信研究所

The Research Institute of Electrical Communication, Tohoku University.

設置年月日 昭和10年9月25日

所在地 宮城県仙台市南六軒丁 電話 仙台(23) 6111, 7576番

目的 電気通信に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和10年9月 東北帝国大学官制の改正(勅令第280号)の公布により東北帝国大学附属電気通信研究所を設置

昭和19年1月 電気通信研究所官制(勅令第6号)の公布により電気通信研究所を附置

昭和24年5月 国立学校設置法の公布により、東北大学附置研究所となる。

所長 菊地 喜 充(任期昭和39.3.31~42.3.30) 事務長 千田 忠太郎
職員数 教授17人、助教授19人、講師1人、助手38人、事務官6人、技官8人、雇傭人50人、計139人

敷地 工学部敷地内 建物 建坪数 622坪 延坪数 1,896坪

刊行物 東北大学電通談話会記録、東北大学研究所報告(英文)

予算 昭和37年度 166,405,489円 昭和38年度見込 147,600,000円

研究部門(設置年度)、研究目途、研究者氏名

音響通信(昭和10年度)

電気音響学を中心とし、音響通信および音響制御について、その基礎および応用に関する研究を行なう。

城戸 健一(教授) 二村 忠元(併教授)

電気通信方式(//)

電気通信における通信の本質を論じ、新しい方式を研究の対象として研究する。この実現を助けるための情報処理方式の開発を行なう。

大泉 充郎(教授) 真野 国夫(併教授) 桂 重俊(併教授)

野口 正一(助教授) 高橋 理(助教授) 松本 伍良(併助教授)

鹿野 茂(併助教授) 猪苗代 盛(併助教授) 鈴木 久喜(助手)

富田 真吾(助手) 小玉 邦子(助手)

固体電子工学(//)

半導体中の電子・正孔の挙動に関する基礎的な理解を基礎として、シリコン・ゲル

マニウムを中心とした半導体の結晶から装置に至る一貫した研究を行ない、完全な設計試作が行なえるようにすると共に、新しい半導体装置の開発研究を行なう。

西沢 潤一(教授) 高野 知彦(併教授) 八田 吉典(併教授)

菊地 正(併教授) 山田 泰(併助教授) 菅原 実(併助教授)

宮本 信雄(助手) 清水 東(助手) 阿部 惇(助手)

電波伝送(昭和19年度)

中波ないしミリメートル波におよぶ各種のアンテナ方式とこれに必要な伝送回路および電波伝播に関する研究ならびにマイクロ波帯域と光帯域のメーザに関する研究

内田 英成(教授) 福島 弘毅(併教授) 袋井 忠夫(併教授)

西田 茂穂(助教授) 永井 淳(助教授) 稲場 文男(助教授)

穴山 武(併助教授) 坂爪 新一(助手)

超高周波(//)

超高周波の発生及びその応用に関する研究を行ない、特にマイクロ波、ミリメートル波の新しい電子装置の基礎的研究及び応用の開発研究を進めている。

喜安 善市(兼教授) 虫明 康人(併教授) 麻生 忠雄(併教授)

村上 孝一(併助教授) 安達 三郎(併助教授)

通信用電子物理(昭和29年度)

固体内電子の素過程に関する研究を行ない半導体イオン結晶その他の光学的電気的性質を明らかにし並びにその応用研究を行なう。

武内 義尚(教授) 吉田 重知(併教授) 大坂 之雄(助教授)

池田 俊夫(併助教授) 杉田慶一郎(併助教授)

電気通信材料学(昭和32年度)

高性能電気通信材料を開発するための各種磁性材料の基礎的研究を行なう。

津屋 昇(教授) 広根徳太郎(併教授) 村尾 剛(助教授)

相原 政志(助手) 蛭名 良雄(助手) 海沼 清三(助手)

情報理論(昭和35年度)

情報の伝送と処理の本質を論じ電子計算機を含む情報処理機構に関する研究を行なう。

本多 波雄(教授) 木村 正行(助教授) 竹田 宏(併助教授)

鈴木 英行(助手)

赤外線工学(昭和36年度)

赤外線を中心として光電現象、蛍光現象、レーザーなどの基礎的な研究から赤外線の理工学、医学への応用に関する研究を行なう。

和田 正信(教授) 宮本 敏彦(併教授) 関 寅雄(助教授)

宮下 和雄(併助教授) 甲田 正(助手) 佐藤さくゑ(技官)

記録工学(録音工学)(//)

磁気録音、録画および計測(計算機)用磁気記録などにおける記録分解能を画期的に増すために、記録磁性体の磁化の機構、記録再生方式あるいは高分解能記録磁性

体、磁気ヘッドに関する研究を行なう。

永井 健三(教授) 佐藤利三郎(併教授) 岩崎 俊一(助教授)
斎藤 伸自(併助教授) 千葉 二郎(併助教授)

特殊材料学(昭和36年度)

電気通信材料の中で圧電、強誘電材料のほかレーザー、レーザー材料等の特殊材料の製法研究、応用研究を行なう。

大原 儀作(教授) 坂田好一郎(助教授) 長谷川修三(併助教授)
本間 健裕(助手) 増田陽一郎(助手)

超音波通信工学(昭和37年度)

超音波を搬送手段とする通信的応用の基礎的問題の研究

菊池 喜充(教授) 清水 洋(併教授) 奥山大太郎(助教授)
加川 幸雄(助手) 柴山 乾夫(兼教授)

真空電子装置(//)

マイクロ波電子管の基本的設計原理を解明するため、進行波管について、電子ビームと電磁波との結合作用を実験的理論的に研究する。

上領 香三(教授) 鹿野 哲生(助教授) 柴田 幸男(併助教授)
小野 昭一(併助教授) 熊谷 泰爾(併助教授) 福島 美文(助手)

固体振動回路工学(固体振動回路学)(//)

固体振動の様態を解明し、これを用いた通信的応用機器に対する基礎的技術の確立

柴山 乾夫(教授) 松尾 正之(併教授) 菊池 喜充(兼教授)
佐藤 東八(助手)

超真空電子工学(昭和38年度)

超真空技術の基礎および応用面を研究し、超真空下における半導体の表面現象を解析して、新しい電子装置の開発に資する。

高橋 正(教授) 萩野 実(助手) 近藤 哲夫(助手)

制御工学(//)

工業における自動制御技術を向上するために新たな制御方式および制御用部品を研究し、併せてその電気通信への応用的研究

喜安 善市(教授) 小野寺 大(助教授) 三岡 洸(助手)

電子音響学(//)

電子と音響振動との相互作用の基礎並びに応用に関する研究

菊池 喜充(兼教授) 柴山 乾夫(兼教授) 奥山大太郎(兼助教授)
加川 幸雄(兼助手) 佐藤 東八(兼助手)

研究事項

音響通信

騒音制御(主として消音器)に関する研究 (城戸健一, 二村忠元)

振動系の能動素子による制御に関する研究 (//)

音場の帰還制御に関する研究 (//)

電気音響変換器の高能率化に関する研究 (城戸健一)

建築音響装置に関する研究 (二村忠元, 城戸健一)

音質の主観的評価に関する研究 (//)

電気通信方式

音声の分析並びに認識の研究 (大泉充郎, 鈴木久喜)

音声の合成の研究 (大泉充郎, 小玉邦子)

ランダム回路による認識の研究 (大泉充郎, 高橋理, 野口正一)

能動分布回路による論理演算方式の研究 (大泉充郎, 野口正一)

非同期論理制御回路の研究 (大泉充郎, 高橋理, 富田真吾)

固体電子工学

半導体の強電界現象に関する研究 (西沢潤一)

半導体装置の研究 (//)

半導体による光波の発生及び変換 (西沢潤一, 清水東)

シリコン単結晶の研究 (西沢潤一, 宮本信雄)

トランジスターの等価回路の研究 (西沢潤一, 阿部惇)

電波伝送

中波帯アンテナ (内田英成, 佐藤東八, 永井淳)

超短波アンテナ (//)

マイクロ波アンテナ (内田英成, 西田茂穂)

マイクロ波伝送回路の研究 (西田茂穂)

ミリメートル波輻射系及び伝送系の研究 (永井淳, 佐藤東八)

電波無反射室の研究 (西田茂穂, 佐藤東八, 永井淳)

電波伝播の研究 (野邑雄吉, 内田英成, 西田茂穂)

アンテナの基礎理論 (内田英成, 虫明康人, 西田茂穂)

マイクロ波帯レーザー (内田英成, 稲場文男, 坂爪新一)

光帯域レーザー (//)

超高周波

マイクロ波帯レーザーの基礎研究 (稲場文男)

アンテナの基礎理論 (虫明康人)

ミリメートル波輻射系および伝送の研究 (//)

極低温固体レーザーの研究 (稲場文男)

超高速度電子計算機の研究 (喜安善市)

通信用電子物理

イフシトンに関する理論的研究 (武内義尚, 大坂之雄)

トンネル効果の研究 (武内義尚)

ポーラロンに関する研究 (大坂之雄)

有機結晶内の電子論に関する研究 (武内義尚, 大坂之雄)

二次電子の基礎並びに応用に関する研究 (吉田重知)

イオン結晶の着色現象に関する研究 (吉田重知, 池田俊夫)

電気通信材料学

- B-H トレーサーの設計に関する研究 (津屋昇)
- 超音波振動によるルビー、レーザー発振の制御に関する研究 (津屋昇, 海沼清三)
- 希土類化合物の磁性の研究 (津屋昇, 村尾剛, 蛭名良雄)
- 増巾作用の量子論的研究 (津屋昇, 蛭名良雄)
- 金属の磁性の研究 (村尾剛)
- 録音用磁性テープの研究 (津屋昇)
- 電着薄膜のスウィッチングの研究 (")

情報理論

- 電力系統の経済的運用に関する研究 (本多波雄, 木村正行, 鈴木英行)
- 系統電圧及び無効電力潮流の最適制御に関する研究 (木村正行, 本多波雄)
- 学習機能に関する基礎的研究 (")
- 交通制御に関する基礎的研究 (")
- 最適制御理論に関する研究 (")
- 交換機の情報理論的研究 (本多波雄)

赤外線工学

- 硫化鉛赤外線検出器の研究 (和田正行, 関寅雄)
- 近赤外線ビジョンの研究 (")
- 近赤外線顕微テレビジョンの研究 (")
- 近赤外EL発光体の研究 (和田正信, 宮下和雄)
- X線伝導の研究 (和田正信, 関寅雄, 甲田正)
- 熱発電素子の研究 (和田正信, 関寅雄)

記録工学(録音工学)

- 記録および再生機構に関する総合的研究 (永井健三, 岩崎俊一)
- 磁気ヘッドに関する研究 (永井健三, 佐藤利三郎, 岩崎俊一)
- 高密度(超低速度)録音方式の研究 (永井健三, 岩崎俊一)
- 高感度磁気録画方式の研究 (永井健三, 岩崎俊一, 斎藤伸自)
- 記録用磁性薄膜の研究 (永井健三, 岩崎俊一)
- 記録用合金粉末磁性体の研究 (")

特殊材料学

- 強誘電体材料および圧電材料に関する研究 (大原儀作, 坂田好郎, 増田陽一郎)
- レーザー、レーザー材料に関する研究 (大原儀作, 長谷川修三, 本間)

超音波通信工学

- 磁歪振動子特性の理論的研究 (菊池喜充)
- フェライト磁歪振動子の基礎的並びに実用化の研究 (強力超音波並びに磁歪ろ波器への応用) (菊池喜充, 柴山乾夫, 清水洋)
- 超音波キャビテーションに関する電気音響学的研究 (菊池喜充, 奥山)
- メガサイクル域超音波トランスデューサの研究 (菊池喜充, 加川幸雄)

無キャビテーション超音波通信方式の研究

(菊池喜充, 奥山大太郎)

真空電子装置

- 進行波管の能動伝搬波に関する研究 (上領香三, 鹿野哲生)
- 大出力進行波管に関する研究 (上領香三, 柴田幸男, 福島美文)
- ミリメートル波及びサブミリメートル波の発生増巾に関する研究 (上領香三, 鹿野哲生, 柴田幸男, 小野昭一, 熊谷泰爾, 福島美文)
- ミリメートル波及びサブミリメートル波電子管の精密加工法に関する研究 (上領香三, 鹿野哲生, 福島美文)

固体振動回路工学(固体振動回路学)

- メカニカルフィルターの基礎的研究 (柴山乾夫)
- 短円とうの振動姿態に関する理論的研究 (")
- 磁歪ろ波器の実用化に関する基礎的研究 (柴山乾夫, 菊池喜充, 佐藤)
- 分布定数型メカニカルフィルタの基礎的研究 (")

超真空電子工学

- 光陰極に関する研究 (高橋正, 萩野実)
- 光照射による半導体表面における気体の脱着 (高橋正, 近藤哲夫)
- 半導体の表面単位に関する研究 (高橋正, 萩野実)
- II-VI化合物の単結晶生成に関する研究 (高橋正)

制御工学

- P.C.Mに関する研究 (喜安善市)
- 超伝導素子に関する研究 (喜安善市, 小野寺大, 三岡洗)
- 薄膜素子に関する研究 (")

電子音響学

- 超高周波域超音波の発受振方法に関する研究 (菊池喜充, 加川幸雄)
- 半導体内超音波の減衰並びに増幅現象の工学的研究 (菊池喜充, 奥山大太郎)
- 水中火花放電による波速化した強力音波の発生に関する研究 (菊池喜充, 奥山大太郎)
- 空中火花放電による波速化した音波発生に関する基礎的研究 (菊池喜充, 柴山乾夫, 佐藤東八)

附属施設

施設名 東北大学電気通信研究所附属工場 設置年月日 昭和31年9月25日
 所在地 宮城県仙台市桜小路5番地 施設長 教授 上領香三
 業務内容 各研究部門における実験設備の試作, 研究試料の加工及び電気通信関係の精密な工作を行なっている。また, 実験現場における電気溶接等外注不可能な業務を行なっている。

特殊施設, 設備

ミリメートル波万能精密測定装置, ハウザージグボーラー, X線分析装置, 可変速度磁気記録再生装置, パラメトロン式電子計算機, 記憶装置, 磁気ドラム及び附属装置, 電子顕微鏡, 電子顕微回折装置, 自動記録式示差熱天秤,

高圧無響水槽装置，大型真空装置，電波無反射室，入出力制御装置，高速製表装置，空気調整装置

東北大学非水溶液化学研究所

The Chemical Research Institute of Non-aqueous Solutions,
Tohoku University.

設置年月日 昭和19年1月6日

所在地 宮城県仙台市片平丁75番地 電話 (23) 5111番

目的 非水溶液化学に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和19年1月 非水溶液化学研究所官制(勅令第7号)が公布され，非水溶液化学研究所が設置された。

昭和20年1月 硝子研究所官制(勅令第25号)が公布され硝子研究所が設置された。

昭和24年5月 国立学校設置法が公布され，附置研究所となる。

昭和27年3月 硝子研究所を併合

所長 松木保夫(任期昭和37.3.1~40.2.28) 事務長大泉元吉

職員数 教授10人，助教授10人，助手26人，事務官7人，技官7人，雇傭人28人，計88人

敷地 575坪 建物 建坪数 413坪 延坪数 991坪

刊行物 東北大学非水溶液化学研究所報告

予算 昭和37年度 81,948,201円 昭和38年度見込 85,000,000円

研究部門(設置年度)，研究目途，研究者氏名

無機化学(非水無機化学)(昭和19年度)

非水溶液中の無機工業化学に関する研究

玉井康勝(教授) 外島忍(併教授) 西山誼行(助手)

松永利昭(助手) 渡辺倭枝(技官)

有機反応化学(非水有機化学第一)(")

非水溶液中の有機工業化学に関する研究

戸倉仁一郎(教授) 近藤泰彦(助手) 松田実(助手)

河原哲世(助手)

有機合成化学(非水有機化学第二)(")

非水溶液中の有機工業化学に関する研究

松木保夫(教授) 石田清春(助教授) 曾根澄(助手)

伊藤いち(技官)

物理化学(非水電気化学)(昭和20年度)

非水溶液の電気化学に関する研究

絹巻 丞(教授) 畑 哲雄(助教授) 武者 義彦(助手)

磁気化学(非水物理化学)(昭和20年度)

高分解能核磁気スペクトロメーターによる化学構造の研究

羽里源二郎(教授) 池上 恒男(助教授) 松村善二郎(助手)

花淵 昭雄(助手) 高橋 憲助(助手) 松本 隆(技官)

高圧化学(")

高圧物理化学，高圧合成の研究

鳥海 達郎(教授) 内ヶ崎欣一(助教授) 上西 玄一(助手)

化学工業操作(")

高圧流体(各種ガス)の諸種物性定数に対する精密測定研究(圧縮率及び粘度，拡散係数について)

岩崎 広次(教授) 高橋 信次(助手) 伊達 蕙(助手)

本郷 尤(助手) 高橋 満男(技官)

コロポイド反応化学(コロポイド化学第一)(昭和30年度)

コロポイド化学の研究及び天然物構造研究

北原 喜男(教授) 野副 鉄男(併教授) 土井 孝蔵(助教授)

村田 一郎(助手) 吉越 昭(助手) 加藤 忠弘(助手)

コロポイド合成化学(コロポイド化学第二)(昭和32年度)

コロポイドの合成的研究

瀬戸 秀一(教授) 池上 雄作(助手) 松村 進午(助手)

小倉 協三(助手) 西山 行大(助手)

構造化学(加圧合成化学)(昭和20年度)

遊離基反応の研究

磯部 太郎(教授) 岩泉 正基(助手) 大泉 雅子(技官)

研究事項

無機化学(非水無機化学)

境界潤滑機構の研究

(玉井康勝)

金属表面の化学活性に関する研究

(玉井康勝，西山誼行)

単結晶の界面物理化学的研究

(玉井康勝，松永利昭)

水銀アマルガム-非水溶液系における表面活性剤の吸着機構に関する研究

(玉井康勝，渡辺倭枝)

高温用軸受のセラミックスによる潤滑の研究

(玉井康勝，村上恵一，田中弘文)

セラミックス・コーティングの研究

(玉井康勝，幕内恵三)

潤滑油分散剤の基礎的研究

(玉井康勝，及川照夫)

パイロ，グラファイトの析出機構に関する研究

(玉井康勝，高橋敵之助)

有機反応化学(非水有機化学第一)

液体亜硫酸中の有機化学反応および高分子化学反応の研究

(戸倉仁一郎，松田 実，河原哲世，近藤泰彦)

有機合成化学 (非水有機化学第二)

- チアナフテンの acyl 化について (松木保夫, 伊藤いち)
- メチルチアナフテン類の acyl 化と acyl 化物の will gerodt 反応 (松木保夫, 神田達男)
- 7-メチルチアナフテンの 2-置換体の合成 (松木保夫, 李 総熾)
- クロロメチルチアナフテン類の遷移金属の硝酸塩による酸化 (松木保夫)
- チオフェン臭化物のクロロメチル化反応 (曾根 澄)

物理化学 (非水電気化学)

- ラマン, 赤外線スペクトルによる非水溶液系の研究 (絹巻 丞, 畑 哲雄, 武者義彦)
- 分子間化合物に関する研究 (")
- 遠赤外スペクトルによる分子分光研究 (")

磁気化学 (非水物理化学)

- 核磁気共鳴吸収による化学構造の研究 (液体あるいは溶液の核磁気共鳴スペクトルの構造をしらべ, 分子の化学構造並びにその相互作用をしらべる。) (羽里源二郎, 池上恒男, 高橋憲助, 花淵昭雄)

高圧化学

- CO₂-N₂ 系の低温における気液平衡 (鳥海達郎, 上西玄一)
- CO₂-O₂ 系の気液平衡 (")
- コロナ放電下におけるガス吸収に関する研究 (内ヶ崎欣一)

化学工業操作

- 気体の P-V-T に関する研究 (岩崎広次, 伊達 蕙)
- 高圧下の気体の粘度に関する研究 (岩崎広次, 本郷 尤)
- 高圧下の気体の拡散係数に関する研究 (岩崎広次, 高橋信次)

トロポイド反応化学 (トロポイド化学第一)

- 天然有機化合物の構造研究 (北原喜男, 吉越 昭)
- 天然有機化合物の合成研究 (北原喜男, 加藤忠弘)
- ヘプタフルベンに関する研究 (北原喜男, 土井孝蔵)
- フルバルミキセンに関する研究 (北原喜男, 村田一郎)
- トロピリウムイオンに関する研究 (北原喜男)
- 含窒素アズレン誘導体の合成 (北原喜男, 土井孝蔵)

トロポイド合成化学 (トロポイド化学第二)

- 生物学的に興味あるトロポイド化合物の合成 (瀬戸秀一, 池上雄作, 小倉協三)
- 複素環を縮環せるトロポイド化合物に関する研究 (瀬戸秀一, 小倉協三)
- トロポイドとキノン誘導体の反応 (瀬戸秀一, 西山行大)
- トロポイドの赤外ラマンスペクトル (池上雄作)

構造化学 (加圧合成化学)

- 窒素またはイオウを含む複素環式 (磯部太郎, 岩泉正基)

化合物のイオン遊離基

- 五および七員環不飽和炭化水素のイオン遊離基 (")
- ESR スペクトルによる三重項状態の研究 (")

附属施設

- 施設名 東北大学非水溶液化学研究所金工場 設置年月日 昭和19年1月6日
- 所在地 宮城県仙台市片平丁75番地 施設長 教授 岩崎 広次
- 業務内容 各種実験機械の修理及び部品の製作
- 施設名 東北大学非水溶液化学研究所ガラス工場 設置年月日 昭和19年1月6日
- 所在地 宮城県仙台市片平丁75番地 施設長 教授 岩崎 広次
- 業務内容 各種実験ガラス器具 (特殊ガラスを含む。) 製作
- 特殊施設, 設備 赤外線測定室, 核磁気測定室, 電子スピン共鳴スペクトロメーター, 遠赤外分光光度計, 赤外線分光光度計 (パーキンエルマー21型), 核磁気共鳴吸収スペクトロメーター, X線分析装置 (GX型), ラマン分光器, 高圧実験装置

群馬大学内分泌研究所

Institute of Endocrinology Gunma University.

- 設置年月日 昭和38年4月1日
- 所在地 群馬県前橋市岩神町280 電話 前橋 (2) 4321~9番
- 目的 内分泌に関する学理及びその応用の研究
- 沿革 昭和26年4月 国立学校設置法一部改正により, 群馬大学医学部附属内分泌研究施設を新設
- 昭和38年4月 国立学校設置法一部改正 (法律第69号) により群馬大学内分泌研究所となる。
- 所長 花岡 謹一郎 (任期昭和39.1.1~40.12.1) 事務長 酒井 宏
- 職員数 教授5人, 助教授5人, 助手10人, 事務官2人, 雇傭人19人, 計41人
- 敷地 1,400坪 建物 建坪数 356坪 延坪数 356坪
- 刊行物 なし 群馬大学内分泌研究所年報 (欧文)
- 予算 昭和38年度見込 48,422,947円

研究部門 (設置年度), 研究者氏名

- 形態学 (昭和38年度) 黒住 一昌 (教授) 伊東 俊夫 (併教授) 松沢 達治 (助手) 小林 靖夫 (助手)
- 生理学 (") 山本 清 (教授) 七条小次郎 (併教授) 鈴木 光雄 (助教授) 石川 一郎 (助手) 渡植貞一郎 (助手)

比較内分泌学(昭和38年度)

花岡謹一郎(教授) 松本 清一(併教授) 井上 栄(助教授)
今井 勝俊(助手) 高橋 裕哉(助手)

物理化学()

宇井 信生(教授) 石原 恵三(併教授) 細谷東一郎(助教授)
近藤 洋一(講師) 樽谷 修(助手)

薬学()

滝川 決男(教授) 柴田 勝博(併教授) 小屋佐久次(講師)
今井 恵子(助手)

研究事項

形態学

視床下部下垂体神経分泌系の形態学的研究 (黒住一昌, 松沢達治, 小林靖夫)
下垂体中間部の機能に関する電子顕微鏡的ならびに光学顕微鏡的研究(小林靖夫)
甲状腺機能の電子顕微鏡的研究 (松沢達治)
妊娠黄体の微細構造に関する電子顕微鏡的研究 (佐藤周三)
汗腺の微細構造と分泌機構に関する研究 (黒住一昌, 松沢達治)
爬虫類腎臓の微細構造に関する電子顕微鏡的研究 (黒住一昌, 小林靖夫)

生理学

甲状腺ホルモンの未梢代謝に関する研究
特に脱沃素, 酵素の研究 (山本清, 石川一郎, 鈴木光雄)
甲状腺ホルモンの生合成に関する研究 (鈴木光雄, 湯浅茂, 長嶋三男)
甲状腺ホルモンの作用機転及びその作用の制御機構に関する研究
(山本 清, 渡植貞一郎, 鈴木光雄, 亀井照子)

比較内分泌学

下等脊椎動物における雌雄性の分化と生殖腺ホルモンとの関係についての実験形態学ならびに生化学的研究 (花岡謹一郎, 高橋裕哉, 今井勝俊)
脳下垂体と生殖腺-副腎皮質系との関連についての研究 (高橋裕哉)
神経分泌と再生現象との関係についての研究 (井上 栄)
黒色色素胞顆粒凝集ホルモンに関する研究 (今井勝俊)
魚類尾部神経分泌系に関する研究 (花岡謹一郎, 井上栄, 今井勝俊)
脊椎動物における排卵の研究 (花岡謹一郎, 川中子魁)

物理化学

チログロブリンの物理化学的性質の研究 (樽谷 修, 宇井信生)
チログロブリンの生化学的研究 (宇井信生, 樽谷 修, 近藤洋一)
甲状腺ホルモンの生合成過程の研究 (近藤洋一, 宇井信生)
甲状腺刺激ホルモンの精製の研究 (宇井信生, 田村宏子, 近藤洋一)
甲状腺刺激ホルモンの作用機構の研究 (近藤洋一, 宇井信生)
甲状腺ペルオキシダーゼの精製とその性質の研究 (細谷東一郎, 宇井信生)

甲状腺細胞内顆粒成分の生化学的研究

(細谷東一郎)

薬学

たんぱくとホルモンの結合に関する研究

ステロイドホルモンと血清たんぱくの結合 (滝川決男)
¹⁴C-ステロイドと胸腺たんぱくの結合 ()
卵巣胞液中に存在する Estrogens について (滝川決男, 今井恵子)
卵胞液たんぱくと¹⁴C-ステロイドの結合 (滝川決男, 今井恵子, 石関純子)
¹³¹I Iodo-Steroid によるたんぱく結合の研究 (滝川決男, 小屋佐久次)
甲状腺ろ胞内の甲状腺ホルモンの分布 (小屋佐久次)
甲状腺ろ胞蛋白と Thyroxine およびヨード化合物の結合(小屋佐久次, 平木陽一)
睪丸内の Androgens の分布 (今井恵子, 松井昭雄)
内分泌腺と亜鉛の関係 (今井恵子)

千葉大学腐敗研究所

The Institute of Food Microbiology, Chiba University.

設置年月日 昭和21年9月10日

所在地 千葉県習志野市大久保町4の113 電話 習志野 0474-7-1157~9番

目的 腐敗に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和21年9月 千葉医科大学附置研究所として設立

昭和24年5月 国立学校設置法により千葉大学附置研究所となる

所長 宮木高明(任期昭和38.5.22~41.5.21) 事務長 松崎 精

職員数 教授5人, 助教授5人, 助手10人, 事務官5人, 技官2人, 雇傭人27人, 計54人

敷地 7,028坪 建物 建坪数 1,513坪 延坪数 2,469坪

刊行物 千葉大学腐敗研究所報告, 千葉大学腐敗研究所要覧

予算 昭和37年度 38,157,224円 昭和38年度見込 43,614,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

腐敗(昭和21年度)

食品腐敗及び細菌性食中毒の問題を細菌学的並びに食品衛生学的立場から研究している。腐敗細菌及び中毒細菌の系統的研究, 防腐剤, 抗菌剤の応用, 細菌性及び腐敗性食中毒の研究

藤原喜久夫(教授) 相磯 和嘉(併教授) 加藤 博(助手)

清水 潮(助手) 辰己 和世(教務員)

微生物化学()

腐敗及びそれに関連した諸問題を解明するために細菌, 糸状菌の生理的及び生化学的な基礎的研究, 腐敗微生物代謝の生化学的研究, 及び代謝産物の薬理学的研究, 生体アミンの生物学的意義に関する追究

宮木 高明(教授) 林 誠(教授) 丸山 洋一(助教授)
畝本 力(助手) 内田 礼子(助手) 小野寺邦介(教務員)
小野 哲(教務員)

抗生物質(昭和27年度)

微生物の産生する抗菌性物質を探索して一つには防腐, 防カビ剤としての食物の鮮度保持に応用すると共に, 他は化学療法剤として体内腐敗の防止に利用する研究, 腐敗細菌以外の糸状菌, 酵母菌, 放線菌等の菌学的, 生態学的及び生化学的研究, 新物質については, パイロットプラントによる試験製造の研究

新井 正(教授) 赤松 暢(助教授) 小山 泰正(助手)
大原 弘(助手)

食中毒(昭和31年度)

食中毒に関するものうち, 自然毒食中毒(フグ毒, 貝毒)に関する研究が中心となつている。その他食品添加剤の中毒学的研究

小林 龍男(併教授) 小倉 保己(助教授) 吐山 豊秋(助手)
藤本 和子(助手) 渡辺 由雄(助手) 奈良 順子(教務員)
森 陽子(教務員)

食品防腐剤(昭和38年度)

食品の鮮度保持の目的に使用できる防腐剤の毒性(発癌性を含む。)並びに安全性の諸問題について病理学的, 分析化学的及び衛生学的立場から研究し更に新しい防腐剤の開発に関する研究を行なう。

相磯 和嘉(教授) 宮木 高明(併教授) 井出源四郎(併助教授)
蟹沢 成好(助手) 岡本 達也(助手)

研究事項

腐敗

腐敗細菌の系統的研究	(相磯和嘉, 加藤 博)
中毒細菌の系統的研究	(藤原喜久夫)
細菌性食中毒並びに食品汚染に関する研究	(相磯和嘉, 藤原喜久夫)
毒素型食中毒に関する研究	(藤原喜久夫)
病原性好塩菌(腸炎ビブリオ)食中毒に関する研究	(相磯和嘉, 藤原喜久夫)
エンテロトキシンに関する研究	(藤原喜久夫)
日常食品の腐敗防止に関する研究	(清水 潮)
飲料水中に含有されるカシンベック原因物質の研究	(相磯和嘉)

微生物化学

いわゆる腐敗細菌類の代謝に関する比較生化学的研究
(林 誠, 宮木高明, 畝本 力)
生体アミン類の生成, 代謝を中心とした酵素学的研究及びその生物学的意義の解明
(宮木高明, 林 誠, 畝本 力)
Polyamine の代謝及びその生理的意義に関する研究
(宮木高明, 畝本 力)
アミン以外の腐敗微生物代謝物質の薬理学的研究
(林 誠, 宮木高明, 小野寺邦介)

腐敗機構の化学的研究並びに化学的腐敗判定法に関する研究

(林 誠, 内田礼子)

糸状菌及び芽胞性細菌の発芽, 孢子形成及びこれに関連した発育の生化学的研究
(丸山洋一, 小野寺邦介)

抗生物質

抗細菌性抗生物質産生株の選別と有効物質の単離	(新井 正, 小山泰正)
抗糸状菌, 抗酵母及び抗腫瘍物質の研究	(新井 正, 小山泰正, 大原 弘)
抗生物質産生微生物の系統的研究	(" ")
食品防腐剤としての抗生物質の研究	(" ")
薬理活性を有する土じょう放線菌の選別と有効物質の単離	(新井 正, 小山泰正)

食中毒

フグ毒に関する薬理学的中毒学的研究

(小林竜男, 小倉保己, 渡辺由雄, 奈良順子, 森 陽子)

Serotonin に関する研究

(吐山豊秋, 藤本和子)

消化器反応としての嘔吐, 下痢に関する研究

(小倉保己, 吐山豊秋)

食品防腐剤

食品防腐剤の毒性に関する病理学的研究	(井出源四郎, 蟹沢成好, 岡本達也)
食品防腐剤の安全性に関する衛生学的研究	(相磯和嘉)
食品添加剤の分析に関する研究	(宮木高明)
新防腐剤の開発に関する研究	(相磯和嘉, 宮木高明)

特殊施設, 設備

中間試作工場(抗生物質), 電子顕微鏡HS-6型, 低温実験室

東京大学伝染病研究所

The Institute for Infectious Diseases, University of Tokyo

設置年月日 明治25年11月30日

所在地 東京都港区芝白金台町1の39番地 電話(441)8111番

目的 伝染病その他病源の検索並びに予防治療に関する学理及びその応用の研究

沿革 明治25年11月 大日本私立衛生会附属伝染病研究所(母体)設立

明治32年 内務省所轄となる

大正3年10月 文部省移管

大正5年3月 東京大学附置となる

所長 工藤正四郎(任期昭和37.12.1~39.11.30) 事務長 小林義郎

事務長補佐 安岡毅夫

職員数 教授15人, 助教授15人, 講師3人, 助手67人, 事務官29人, 技官62人, 雇傭人85人, 計276人

敷地 24,246坪 建物 建坪数 3,313坪 延坪数 6,786坪

刊行物 欧文年報, 欧文結核雑誌

予算 昭和37年度 237,433,630円 昭和38年度見込 248,782,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

第一細菌(細菌第六)(昭和22年度)

細菌感染症における感染免疫の機序ならびに予防方法を解明するために, 特に溶血連鎖球菌菌体およびその産生物質について研究する。また菌株保存のため, 特に凍結乾燥の機序ならびにその方法を研究する。

工藤正四郎(教授) 佐藤和男(助手) 川口陽一郎(助手)

小島良平(助手) 栗原孝子(助手)

第二細菌(細菌第五)(大正5年度)

細菌ならびにリケッチアの感染, 発症, 免疫の機序を究明する。

山本郁夫(教授) 川村明義(助教授) 小松信彦(助手)

飯田毅(助手) 諸方幸雄(助手) 川島豊作(助手)

金田伶子(教務員)

第三細菌(細菌第三)()

結核菌体成分などの抗原抗体反応によるアレルギー機作を中心に一般アレルギー現象の解明研究, 毒素その他菌体成分の抗癌作用機作に関する研究

進藤宙二(教授) 渡辺貞(助手) 青木良雄(助手)

河西信彦(助手) 芳賀邦夫(助手) 行方久(助手)

第四細菌(細菌第二)()

微生物感染症の感染免疫の機序の解明と感染症の診断治療予防に関する研究

常松之典(教授) 遠藤元繁(助手) 塩沢富美子(助手)

塩入康平(助手)

第一ウイルス(細菌第四)()

(1)ウイルス感染組織中にはウイルス感染を抑制する因子が生成されることを知ったので(1954), そのものの生物学的性状, 特に作用機作ならびに化学的性状を追求している。

(2)日本脳炎の感染発症の機作を知る目的で, 一方において日本脳炎ウイルスを精製し, 他方において宿主側のレセプターを取り出そうとしている。

長野泰一(教授) 野島徳吉(講師) 小島保彦(助手)

沢いく子(助手) 新井浩(助手)

第二ウイルス(細菌第一)()

はしかウイルス(杉山株)のウシ腎細胞継代による生ワクチンの開発実用化の研究
ワクシニア・ウイルスの細胞内増殖機序と遺伝の研究, 緑膿菌のバクテリオシンとファージの研究

松本稔(教授) 本間遜(助教授) 佐分利保雄(助手)

小田昌彦(助手) 後藤幸男(助手) 鈴木奈智子(技官)

寄生虫(昭和27年度)

人体家畜等の寄生虫およびこれによる疾病の研究

佐々学(教授) 林滋生(助教授) 鈴木猛(助手)

神田鍊蔵(助手) 山本久(助手) 三浦昭子(助手)

病理学(大正5年度)

主として感染性疾患を剖検例, 動物実験, 細胞培養などにより病理学的に研究すると共に, 組織培養を応用して癌の細胞生物学的研究を行なう。

草野信男(教授) 勝田甫(助教授) 青山友三(助手)

関口豊三(助手) 阿部由明(助手) 高岡聡子(技官)

制癌(制癌物質)(昭和34年度)

癌のウイルス学及び免疫学に関する基礎的研究

山本正(教授) 西岡久寿弥(助教授) 小高健(助手)

竹内美恵子(助手) 橘武彦(助手) 織田昭(技官)

細胞化学(昭和29年度)

癌一宿主の相関関係の生物学的, 生化学的研究及び脳組織の物質代謝の研究

木村雄吉(教授) 丹羽孝(助手) 古明地隆江(技官)

和田栄子(技官)

化学(大正5年度)

重要疾患の解明の基礎となる生化学的研究, ことに脂質, ムコ多糖体, デオキシリボ核酸の生化学的研究

山川民夫(教授) 積田亨(助教授) 牧田章(助手)

武富保(助手) 岩永道子(技官)

生物物理化学(昭和28年度)

微生物の遺伝及び形質発現の機作を解明するために生物物理化学的研究を行なう。

内田久雄(助教授) 加藤巖(助手) 中村弘(助手)

梨本裕子(技官)

獣医学(獣疫)()

感染に対する感受性, 抵抗性を解明するための基礎的研究ならびに人畜共通感染症についての研究

田嶋嘉雄(教授) 藤原公策(助教授) 鈴木潔(助手)

前島一淑(助手) 小口房子(技官)

内科学(大正5年度)

感染症ならびに癌等の基礎的ならびに内科学的研究

北本治(教授) 大谷杉士(助教授) 今野亀之助(講師)

小峰績(講師) 岡田昊昌(講師) 福原徳光(助手)

館野功(助手) 橘田晃(助手) 高山久郎(助手)

滝上正(助手) 深谷一太(助手) 松村寛三郎(助手)

松宮恒夫(助手) 鈴木重任(助手) 杉本裕(技官)

深津睿知(技官) 鳴戸弘(技官)

外 科 学 (昭和33年度)

癌の免疫学的研究, 移植免疫に関する研究

石橋 幸雄 (教授) 飯島 登 (助教授) 服部 孝雄 (非常勤講師)
藤井源七郎 (助手) 関口 守正 (助手) 松倉 迪雄 (助手)
芦川 和高 (技 官) 遠藤 幸夫 (技 官) 鈴木 正明 (技 官)

試験製造室

沢井 芳男 (助教授) 田所 一郎 (助教授) 島崎 正雄 (講 師)
栗林久之輔 (助手) 安達 秀雄 (助手) 石井 卓弥 (技 官)
森田 茂男 (技 官) 川村 善治 (教務員)

ウイルス特別研究室

荒川 清二 (助教授) 兼子 千秋 (助 手)

研 究 事 項

第一細菌 (細菌第六)

溶血連鎖球菌感染症の感染免疫の機序ならびに予防に関する研究 (工藤正四郎, 佐藤和男, 栗原孝子)

溶血連鎖球菌発赤毒素に関する研究 (")

微生物の凍結乾燥における諸条件に関する研究 (佐藤和男, 栗原孝子)

コレラ菌の溶血素およびフェージ型別に関する研究 (工藤正四郎, 佐藤和男, 栗原孝子)

癩菌および鼠癩菌の培養に関する研究 (川口陽一郎)

鼠癩における宿主の抵抗と病型との関係 (")

鼠癩の病型を中心としての癩の免疫および治療に関する研究 (")

ヘモグロビンの化学構造と血清学的特異性の関係について (小島良平)

Hafnia の O 抗原の化学型と血清型との関係について (")

第二細菌 (細菌第五)

百日咳の免疫に関する研究 (山本郁夫, 飯田 毅, 緒方幸雄, 金田伶子)

百日咳菌毒素の研究 (山本郁夫, 緒方幸雄, 金田伶子)

リケッチアに関する研究 (川村明義, 川島豊作)

各種キノコ並びに地衣類の産生する抗癌物質の追究 (山本郁夫, 小松信彦, 中沢昭三)

蛍光抗体法の基礎的研究 (山本郁夫, 川村明義, 川島豊作)

第三細菌 (細菌第三)

結核菌抗体の分析及びその免疫学的意義について (進藤宙二, 芳賀邦夫)

菌体成分の抗腫瘍作用に関する研究 (河西信彦, 青木良雄, 渡辺 貞)

結核菌血球凝集反応抗原の研究 (青木良雄, 渡辺 貞)

SLO の分離精製 (渡辺 貞, 行方 久)

第四細菌 (細菌第二)

トキソプラズマ症の診断, 治療, 疫学に関する研究 (常松之典, 塩入康平)

ポリオウイルス, シミアンウイルス, 肝炎ウイルスに関する研究

結核菌に関する研究 (遠藤元繁, 桜井きよ子)

癌ウイルスに関する研究 (塩沢富美子, 斎藤美恵)

第一ウイルス (細菌第四)

ウイルス抑制因子の研究 (長野泰一, 小島保彦, 沢いく子)

日本脳炎ウイルスの精製, 日本脳炎の感染機作 (野島徳吉)

第二ウイルス (細菌第一)

ハシカの病原学的研究 (松本 稔, 佐分利保雄)

ハシカの免疫学的研究 (")

ワクシニアウイルスの増殖に関する研究 (松本 稔, 小田昌彦)

緑膿菌の表面構成成分に関する研究 (本関 遜, 後藤幸男, 鈴木奈智子)

寄 生 虫

人畜糸状虫症の疫学及び駆除に関する基礎的並びに応用的研究 (佐々学, 林滋生, 神田鍊蔵, 鈴木猛, 山本久, 三浦昭子)

コトナラットによる抗フィラリア剤の効力検定に関する研究 (佐々学, 林 滋 生, 神田鍊蔵)

腸内寄生蠕虫特に鉤虫の疫学ならびに駆除に関する研究 (佐々学, 林 滋生, 神田鍊蔵, 三浦昭子)

蚊の生物学的研究 (佐々学, 三浦昭子, 神田鍊蔵)

各種ダニ類, 特にコナダニ類の分類, 生態, 駆除に関する研究 (佐々学, 三浦昭子, 山本 久)

殺虫剤の効力に関する基礎的並びに応用的研究 (鈴木 猛, 平社俊之助, 水谷 澄)

昆虫による病原ウイルス媒介の研究 (林 滋生, 山本 久)

病 理 学

日本脳炎の研究 (草野信男, 青山友三, 阿部由明, 河合清之)

ハシカの研究 (青山友三)

リンパ節トキソプラズマ症 (草野信男)

組織培養による発癌機構の研究 (勝田 甫, 高岡聡子)

パラビオーゼ式細胞培養法による正常細胞と腫瘍細胞との間の相互作用の研究 (勝田 甫, 高岡聡子)

組織培養による正常及び腫瘍細胞の栄養要求の研究 (田甫 勝, 高岡聡子, 関口豊三)

制癌 (制 癌 物 質)

ウイルスと癌に関する研究 (山本 正, 西岡久寿弥, 小高 健, 竹内美恵子)
制癌スクリーニング法に関する研究

(山本 正, 竹内美恵子, 織田 昭, 鈴木 潔, 小松信彦)

癌の免疫化学的研究 (山本 正, 西岡久寿弥, 橋 武彦, 竹内美恵子)

補体学の基礎的研究 (西岡久寿弥, 橋 武彦)

細胞化学

- エールリッヒ腹水癌細胞の糖代謝, 特に Crabtree 効果の機序と解糖作用の意義について (木村雄吉, 丹羽 孝, 和田栄子)
- 主として生化学的見地からみられた癌と宿主との相関関係について (木村雄吉, 丹羽 孝, 古明地隆江)
- 担癌個体における宿主の抵抗性, 特に癌とリンパ組織系との相関関係 (木村雄吉, 丹羽 孝, 古明地隆江)
- カリウム効果を中心としての脳組織の糖代謝 (木村雄吉, 丹羽 孝)
- 腹水型癌における腹水の意味について (木村雄吉, 丹羽 孝, 古明地隆江)

化学

- ヒト赤血球の血液型活性を有するムコリピドの研究 (山川民夫, 横山幸子, 飯田静夫, 飯田暢子, 河村成子)
- 各種動物臓器ムコリピドの研究 (山川民夫, 牧田 章)
- 人工リポ蛋白の免疫化学的研究 (山川民夫, 武富 保)
- ウイルス阻止体としての血球多糖体の研究 (山川民夫, 飯田静夫)
- 土じょう細菌酵素による複合脂質分解 (山川民夫, 飯田暢子)
- 腹水系腫瘍細胞の脂質と担癌動物の脂質代謝の研究 (")
- 腹水系腫瘍細胞の核蛋白質の研究 (積田 亨, 岩永道子)
- 結核菌体成分の研究 (積田 亨, 鳴海幸祐)

生物物理化学

- 微生物の増殖及び形質発現の機作に関する研究 (内田久雄, 梨本裕子, 本田正明)
- ジフテリア毒素ならびに抗毒素蛋白質の化学的研究 (内田久雄, 中村 弘, 梨本裕子, 中村美知子)
- 無細胞系によるジフテリア毒素産生の調節機構 (加藤 巖, 佐藤博子)

獣医学(獣 疫)

- 細菌感染, 毒物に対するマウス系統間の感受性の差についての研究 (田嶋嘉雄, 藤原公策, 鈴木 潔, 前島一淑)
- マウスの Tyzzer 病に関する研究 (田嶋嘉雄, 藤原公策, 前島一淑)
- ブドウ球菌に関する研究 (田嶋嘉雄, 小口房子)
- 実験動物の消化管内細菌叢に関する研究 (田嶋嘉雄, 鈴木 潔, 小口房子)
- 未熟動物の感染免疫に関する研究 (藤原公策, 前島一淑)

内 科 学

- ウイルス感染症に関する研究
 - ことにインフルエンザ, パラインフルエンザ, アデノ, コウ, RS, ライノウイルス感染症, ウイルス肝炎及び抗インフルエンザ物質等の研究 (北本 治, 大谷杉士, 今野亀之助, 館野 功, 橘田 晃)
 - 細菌感染症, ことに耐性赤痢, 緑膿菌症の研究 (北本 治, 滝上 正, 深谷一太)
 - 真菌感染症の研究 (北本 治, 上塚 昭)
- 結核, ことに難治肺結核及び化学療法の研究

(北本 治, 福原徳光, 岡田晃昌, 松宮恒夫)

- 呼吸機能に関する研究, ことに慢性気管支炎等について (北本 治, 岡田晃昌)
- 癌, ことに肺癌の研究 (北本 治, 小峰 績, 高山久郎, 松宮恒夫)
- 自己免疫疾患に関する研究 (北本 治, 大谷杉士)

外 科 学

- ガン免疫 (石橋幸雄, 藤井源七郎, 関口守正, 芦川和高)
- 骨髄移植 (石橋幸雄, 松倉迪雄, 服部孝雄)
- 同種皮膚移植 (石橋幸雄, 鈴木正明)
- ガンの化学療法 (石橋幸雄, 遠藤幸夫, 服部孝雄)
- ガンと生体反応 (石橋幸雄, 飯島 登)

試験製造室

- 治療血清及びウイルスワクチンの精製及び凍結乾燥の研究 (沢井芳男, 安達秀雄, 栗林久之輔, 川村善治)
- ブドウ球菌トキソイドの改良の研究 (沢井芳男, 石井卓弥, 斎藤 勝)
- 蛍光標識抗体の製造の研究 (沢井芳男, 安達秀雄, 佐藤育三)
- ブドウ球菌感染症の研究 (田所一郎, 森田茂男)

ウイルス特別研究室

- 麻疹ウイルスに関する実験的研究 (荒川清二, 兼子千秋, 関 富雄, 森田元子)
- ジステンパーウイルスに関する実験的研究 (荒川清二, 兼子千秋, 関 富雄, 武藤 進)
- 必須アミノ酸に関する実験的研究 (荒川清二, 関 富雄, 兼子千秋)
- 実験動物の飼育に関する研究 (荒川清二, 武藤 進, 森田元子)

特別検査室

- 腸内ウイルスの検索, 同定法の標準化に関する研究 (堀江喜一, 入沢純開)
- ウイルス病の血清診断法(補体結合反応)の検討
 - とくにコクサッキーB群ウイルス, インフルエンザウイルス抗原の製作法について (三上英子)
 - ウイルス病の血清診断法(補体結合反応)の検討
 - とくに日本脳炎ウイルス抗原の製作法について (入沢純開)
 - 蛍光抗体によるウイルス病の診断方法の検討 (荻原 博)
 - ウイルス病の各種血清診断に用いる免疫血清の製作法の研究 (荻原 博, 堀江喜一)

実験動物室

- 破傷風毒素産生に関する研究 (宮崎正之助, 岡田和夫, 武藤 進)
- 破傷風毒素の生体内経路について (宮崎正之助, 岡田和夫)
- 実験的破傷風の完全予防と血中抗体価との関係について (宮崎正之助)
- 実験動物飼料の改良に関する研究 (荒川清二, 武藤 進, 岡田和夫, 宮崎正之助)

実験動物繁殖室

- 種, 系統の特性に関する研究 (奥木 実)

培地室
消化培地の研究 (内田元清, 田所一郎)

附属施設
施設名 東京大学伝染病研究所附属病院 設置年月日 明治32年4月
所在地 東京都港区芝白金台町1の39 施設長 教授 北本 治
業務内容 内科1, 外科1 (外来及び入院)

特殊施設, 設備

自記赤外分光光度計, 分析用遠心分離機 (E型), 顕微鏡映画撮影装置, 電子顕微鏡, 凍結乾燥装置, 抗生物質培養試験装置, 超遠心分離器 (L型), 診断用断層X線撮影装置, 高圧X線装置山城号, 高圧X線装置山城号II型, 超低温装置, 自記分光光度計 EPS-2型, ガスクロマトグラフ KGL-2型人工育草装置 (パンパス), 鉄の肺, アミノ酸分析装置, 無菌的動物実験室

東京大学東京天文台

Tokyo Astronomical Observatory, University of Tokyo.

設置年月日 明治11年9月3日

所在地 東京都三鷹市大沢 998番地 電話 (武蔵野 三鷹) 2240-(3) 6151~3番

目的 天文学に関する事項の研究及び天象観測並びに暦書編製, 中央標準時の決定及び現示並びに時計の検定に関する事務

沿革 明治11年9月 東京大学に観象台として創設
明治21年6月 旧海軍省水路部観象台における天象観測および内務省地理局観測課天象部の天象観測および編暦事業を合併して理科大学附属東京天文台となり港区飯倉三丁目に移転した。
大正10年11月 東京天文台官制 (勅令第450号) により東京大学附置の研究機関となった。
大正13年9月 東京都三鷹市大沢に移転
昭和23年7月 文部省測地学委員会三鷹国際報時所の経度研究に関する人員および施設を移管
昭和24年5月 国立学校設置法 (法律第150号) の施行により, 東京大学附置研究所となる。
昭和24年10月 乗鞍コロナ観測所を設置
昭和35年10月 岡山天体物理観測所を設置
昭和37年11月 堂平観測所を設置

台長 広瀬秀雄 (任期昭和38.4.1~40.3.31) 事務長 布川銀次郎

職員数 教授7人, 助教授7人, 講師14人, 助手49人, 事務官16人, 技官28人, 雇傭人97人, 計218人

敷地 95,259坪 建物 建坪数 1,124坪 延坪数 1,351坪

刊行物 AnnaIs of The Tokyo Astronomical Observatory.
Tokyo Astoronomical Bulletin, 2nd Series.
Bulletin of Solar Phenomena.
Tokyo Astonomical Observatory Reprints.
Tokyo Time Service Bulletins.
東京天文台報, 暦象年表, 理科年表 (編集のみ)

予算 昭和37年度 204,151,320円 昭和38年度見込 209,000,000円

研究部門 (設置年度), 研究目的, 研究者氏名

天文時 (昭和23年度)

時刻の精密決定とその保守のために天文時に関する理論的, 観測的研究を行なう。
虎尾 正久 (教授) 飯島 重孝 (講師) 関口 直甫 (講師)
松波 直幸 (助手) 新美 幸夫 (助手)

子午線 (")

恒星の位置, 固有運動および太陽系諸天体の位置, 運動の決定並びにそれらの観測的, 理論的研究を行なう。
佐藤 友三 (教授) 安田 春雄 (助教授) 古在 由秀 (助教授)
坪川 家恒 (併講師) 伊奈 辰之 (助手)

天体掃索 (昭和26年度)

太陽系に属する天体が相互に引力を及ぼしあっている運動の詳細を解明するため, その位置を観測し, これを解析する。
広瀬 秀雄 (教授) 竹内 端夫 (助教授) 下保 茂 (講師)
石田 蕙一 (助手)

天体電波 (昭和27年度)

太陽大気の物理的状態及び電波の発生機構を研究するため太陽電波の観測及び解析を行なう。その他銀河の研究のため, 波長21cm線の観測, 解析を行なう。
末元善三郎 (教授) 高倉 達雄 (助教授) 赤羽 賢司 (助教授)
高瀬文志郎 (併助教授) 鈴木 重雅 (講師) 守山 史生 (講師)
河鱒 公昭 (講師) 土屋 淳 (助手) 森本 雅樹 (助手)

太陽物理 (昭和30年度)

太陽面上の黒点, 白斑, 羊斑等の本質の研究及びこれらの地球物理学的現象に及ぼす影響の研究を行なう。
長沢 進午 (教授) 藤田 良雄 (併教授) 西 恵三 (講師)
大城 義名 (講師) 日江井栄二郎 (助手) 平山 淳 (助手)

測光 (昭和33年度)

特殊変光星及び新星の物理的状態を解明するため精密測光を行ない, 天体物理学の研究を進める。
古畑 正秋 (教授) 北村 正利 (助教授) 中村 純二 (併助教授)

田鍋 浩義(講師) 林 正男(助手)

分光(恒星分光) (昭和36年度)

恒星及び太陽大気の状態構造を解明するために、主としてこれらのスペクトルの観測、解析を行なう。

大沢 清輝(教授) 末元善三郎(併教授) 海野和三郎(併教授)

斎藤 国治(助教授) 寿岳 潤(講師) 牧田 貢(助手)

西村 史郎(助手) 近藤 雅之(助手)

天文計算室

佐藤 友三(教授) 青木 信仰(講師)

岡山天体物理観測所

石田 五郎(講師)

研究事項

天文時

空間座標に関する各種天文常数の研究、地球自転速度変動に関する研究、天文時系と原子時系との比較に関する研究、時刻観測・保時の精度向上の研究、天文経度の国際比較の研究、天文緯度の国際比較、極運動の研究、人工衛星観測による時間空間の研究、報時電波伝播に関する研究

(宮地政司, 虎尾正久, 飯島重孝, 関口直甫)

子午線

月の観測と暦表時に関する研究、諸惑星の観測とその運動に関する研究、子午線観測の方法および機械とその精度向上及び自動化に関する研究、恒星位置の観測と標準座標系に関する研究、銀河系の構造とその運動に関する研究、衛星、人工衛星の運動に関する研究

(佐藤友三, 安田春雄, 古在由秀, 坪川家恒)

天体掃索

写真観測による小惑星・彗星・流星の運動、掃天観測による変光星、掩蔽の光電管および実視による観測、マルコビッチカメラによる月の運動、小惑星運動の理論およびその軌道計算と位置推算、恒星系の構造、人工衛星の実視およびシュミットカメラによる写真観測及びその整約ならびに人工衛星の運動論

(広瀬秀雄, 竹内端夫, 下保 茂)

天体電波

太陽電波の発生機構、太陽電波動スペクトル・偏波・電波源の場所および運動、太陽大気モデル・コロナ凝集・太陽磁場の分布、プラズマ物理、銀河内HII領域、天体電波観測装置(中性水素線 $\lambda=21cm$, 干渉, 偏波, 動スペクトル)

(末元善三郎, 高倉達雄, 赤羽賢司, 高瀬文志郎, 鈴木重雅, 守山史生, 河鱈公昭,)

太陽物理

1. 太陽面現象の研究

- (1) 黒点白斑の性状, その時間的変化の研究
- (2) 太陽面諸現象の相関の研究
- (3) 太陽面諸現象と地球物理学的現象との相関の研究

2. 採層の研究

- (1) H α 線およびカルシウムK線による羊斑, 紅炎の性状およびその時間的変化の研究
- (2) 彩層爆発現象の研究

3. コロナの研究

- (1) コロナ輝線強度の測光研究
- (2) Kコロナの研究
- (3) コロナと彩層現象との相関の研究
- (4) コロナ異常領域の研究

4. 日食の研究

(長沢進午, 藤田良雄, 大城義名, 西 恵三)

測光

特殊変光星の光電観測にもとづく研究, 大気光・黄道光・対日照の光電測光および観測にもとづく研究, ロケットによる大気光の観測にもとづく研究

(古畑正秋, 北村正利, 中村純二, 田鍋浩義)

分光(恒星分光)

太陽黒点の立体的構造の研究, 太陽コロナ・彩層及び転移層の構造の研究, 太陽コロナの偏光の研究, 太陽採層特異現象の研究, A型星・F型星・G型星及び特異星の研究, 恒星大気構造の研究, 太陽及び恒星吸収線発生機構の研究, 太陽外層の地球高層及び大気外観測の研究, 測光標準の研究, 重星, 連星の分光学的研究

(大沢清輝, 末元善三郎, 海野和三郎, 斎藤国治, 寿岳潤, 石田五郎)

天文計算室

惑星の運動の観測結果にもとづく春分点補正・黄道傾斜の補正の決定に関する研究, 月の軌道に関する惑星摂動の研究, 掩蔽現象による暦表時決定に関する研究, ニューカム太陽表の採用常数の吟味, 惑星の直角座標の摂動の基礎, 暦象年表の編成

(佐藤友三, 青木信仰)

附属施設

施設名 岡山天体物理観測所 設置年月日 昭和35年10月

Okayama Astrophysical Observatory.

所在地 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄 施設長 教授 大沢清輝

業務内容 星の分光観測, 星の光電観測, 星の写真観測

敷地 160,231坪 建物 延坪数 400坪

職員数 講師1人, 助手1人, 事務官2人, 技官4人, 雇傭人12人, 計20人

施設名 東京天文台乗鞍コロナ観測所 設置年月日 昭和24年10月

所在地 岐阜県大野郡丹生川村字岩井谷国有林 施設長 教授 長沢進午

長野県南安曇郡南安曇村字前川国有林

業務内容 太陽コロナの常時観測及び紅炎早取写真観測

敷地 3,329坪 建物 延坪数 130坪

職員数 助手7人, 技官3人, 雇傭人17人, 計27人

施設名 東京天文台堂平観測所 設置年月日 昭和37年11月

所在地 埼玉県比企郡都幾川村大字大野堂平1853
 施設長
 業務内容 天体の直接写真観測，天体の光電観測，天体の分光観測
 敷地 22,036坪 建物 延坪数 101坪
 職員数 技官1人，雇傭人3人，計4人
 特殊施設，設備

ゴーチエ1等子午環（口径20cm），レプソルド子午儀（口径13.5cm），写真天頂筒（P.Z.T）（口径20cm），バンベルヒ子午儀，バンベルヒ天頂儀（口径90cm），水晶時計7基（KQ-4，SQ-1，GR，SQ-2，EI，エッセン式水晶発振器および原子周波数標準（アンモニア・メーザー），国際報時受信装置，到来電波方向測定装置，人工衛星電波受信装置，65cm赤道儀，クック・トロートン30cm赤道儀（マルコウイツ・カメラ付），30cm反射望遠鏡，20cm彗星掃索鏡，20cm赤道儀，20cm赤道儀，ベーカー・ナン・シュミットカメラ（口径50cm反射鏡（口径75cm）），スペクトル・ヘリオスコープ（口径13cm）太陽写真儀（口径10.5cm），テフアー分光太陽写真儀（口径13.5cm），塔望遠鏡（60cmシーロスタット，48cmカセグレン反射系，12m水平式分光器）リオ式自動単光太陽写真儀および附属装置一式，パラボラ電波望遠鏡（10m，6m，2m，1.2m），電波干渉計，リーズ・ノースラップ測微光度計，12cmコロナグラフ，紅炎早取写真撮影装置（口径13cm），オーロラスペクトルグラフ，夜光分光器，製座標測定器，真空蒸着装置，スペクトル比較測定器，6mパラボラ反射鏡体，91cm反射赤道儀および附属装置一式，188cm反射赤道儀および附属装置一式，Kコロナメーター，自記測微光度計，91cm反射写真赤道儀および附属装置一式，メートル波太陽電波移動観測装置，天体写真点滅測定器，彗星探索鏡，分光器，24cm球面鏡，星雲分光器，分光器用シュミットカメラ

東京大学地震研究所

Earthquake Research Institute, University of Tokyo.

設置年月日 大正14年11月13日
 所在地 東京都文京区向ヶ丘弥生町2番地 電話 (812) 2111番
 目的 地震の学理及び震災予防に関する事項並びに爆震，爆風及び地震探鉱法に関する事項の研究
 沿革 大正14年11月13日 勅令第311号をもって官制により創設
 昭和2年1月 震災予防調査会筑波山微動観測所を本所に移官，筑波山支所とする。

昭和3年3月 三鷹支所落成
 昭和7年3月 駒場支所落成
 昭和8年8月 長野県軽井沢町より寄附，浅間火山観測所とする。
 昭和20年5月 駒場支所戦災焼失
 昭和21年5月 第2号館落成
 昭和24年9月 油壺観測所落成
 “ 松山地殻変動観測所設置
 昭和30年2月 小諸支所落成
 昭和32年7月 江の島津波観測所落成
 昭和33年5月 鋸山地殻変動観測所設置
 昭和34年3月 伊豆大島観測所落成
 昭和35年3月 伊豆大島津波観測所落成
 昭和35年4月 和歌山観測所所管換
 昭和36年12月 鋸山地殻変動観測所落成
 昭和38年3月 新館（文京区向ヶ丘弥生町）の一部落成，これに伴う第2号館用途廃止

所長 河角 広（任期昭和38.4.1～40.3.31）事務長 小松 繁
 職員数 教授12人，助教授8人，講師5人，助手27人，事務官13人，技官23人，雇傭人38人，計126人
 敷地 東京大学構内 建坪数 254坪 延坪数 1,145坪
 刊行物 東京大学地震研究所彙報
 予算 昭和37年度 151,073,599円 昭和38年度見込 185,825,555円
 研究部門（設置年度），研究目的，研究者氏名

地震波理論（大正14年度）

不均質な媒質内を伝播する弾性波一般地震波のスペクトル並びに地球の内部構造に関する研究

佐藤 泰夫（教授） 本多 弘吉（併教授） 山口 林造（助手）

発震機構（大正14年度）

地震発生のエネルギー源，地震発生の機構に関する研究

吉山 良一（教授） 西村源六郎（併教授） 岡本 舜三（併教授）

音田 功（助手）

地震探査（昭和19年度）

人工地震動による地かく構造，海底の構造調査の研究

表 俊一郎（併教授） 山崎 良雄（助手） 小牧 昭三（助手）

地震脈動計測（大正14年度）

地震動・脈動の本性並びに野外地震学の研究

岸上 冬彦（教授） 浅野 周三（助手）

地震地かく変動計測（昭和21年度）

地震及び地震に伴う諸現象の研究に必要な器械，観測用計器の考案改良並びに地震

活動の調査研究

萩原 尊礼(教授) 宮村 撰三(教授) 笠原 慶一(助教授)
山田 重平(助手) 堀 実(助手) 安芸 敬一(助手)
窪田 将(助手) 斎藤 貞夫(助手) 辻浦 賢(助手)
松本 英照(技官) 岩田 孝行(技官) 唐鎌 郁夫(技官)
平井 正代(技官)

地球電磁気(大正15年度)

地磁気, 地電流の観測とその結果から見た地球内部構造の研究, 観測計器の研究,
地震に伴う地磁気・地電流変化の観測及び研究

力武 常次(教授) 行武 毅(助手)

重力・熱(大正14年度)

重力の分布並びにその変化の観測及び研究, 地熱傾度分布の観測と地球内部の研究

実川 顕(講師) 岡田 惇(助手) 田島 広一(助手)

井筒屋貞勝(技官)

岩石学(昭和21年度)

岩石学的方法による岩漿その他地球内部物質の研究

森本 良平(教授) 松田 時彦(助手)

火山地質学(昭和6年度)

火山の噴火, 構造, 噴出物などの地質学的研究による火山の活動性, 噴火機構, 形成過程の研究

佐藤 柳造(講師) 渡辺 佐(技官)

火山物理学(昭和2年度)

火山現象並びに火山の構造に関する物理学的研究, 噴出物に関する物理学的研究

水上 武(教授) 茂木 清夫(助手) 平賀 士郎(助手)

宝来 帰一(助手) 宮崎 務(技官) 伊東喜久子(技官)

火山化学(昭和30年度)

火山噴出物の地球化学的研究による火山活動の研究, 放射性元素による岩石の年令測定

斎藤 信房(併教授) 佐藤 和郎(助手)

津波・高潮(大正14年度)

津波, 高潮に関する基礎的研究, 災害防止軽減の研究, 海底地震の基礎的研究

高橋龍太郎(教授) 梶浦欣二郎(助教授) 平能金太郎(助手)

相田 勇(助手) 羽鳥徳太郎(助手) 桃井 高夫(技官)

震災予防(大正15年度)

地震学の工学への応用, 地震活動の地域性及び地盤による地震動の特性, 強震に対する構造物の応答の研究, 震災の本質, 震災防止軽減方策, 構造物耐震化の研究並びに構造物の耐震性の判定

河角 広(教授) 最上 武雄(併教授) 金井 清(教授)

嶋 悦三(助手) 田中 貞二(助手) 鈴木富三郎(助手)

柴野 睦郎(技官) 吉沢 静代(技官) 柳沢 馬住(技官)

長田甲斐男(技官) 高橋 順子(技官)

爆震・爆風(昭和18年度)

爆発による震動の研究, 爆震, 爆風による構造の振動並びにその耐震構造の研究

大沢 胖(助教授) 森下 利三(技官)

支所および観測所

村井 勇(助手) 細谷 与七(技官) 佐山 守(技官)

内堀 貞雄(技官) 行田 紀也(技官) 渡辺 政雄(技官)

渡辺 唯夫(技官) 島津 孝(技官) 岩城 治義(技官)

木本 栄次(技官)

研究事項

地震波理論

地震波動の理論的研究, 表面波記象の解析 (佐藤泰夫)

近地地震におけるP波, S波の速度比について (吉山良一)

発震機構

大爆破による爆破機構並びに地殻構造の研究 (河角 広, 萩原尊礼)

地震探査

発震機構の実験的研究 (表 俊一郎)

湖水中に発生する自然地震の研究 (")

地震脈動計測

三点観測法による土地の脈動の研究 (岸上冬彦)

大地震の長周期波動の研究 (岸上冬彦, 三東哲夫)

地震地かく変動計測

地殻変動測定に関する研究 (萩原尊礼, 笠原慶一)

地震動測定に関する研究 (")

大地震に伴う地殻変動の研究 (")

有線及び無線搬送による刻時及び地震波形の伝送とその爆破及び自然観

測への応用 (宮村撰三, 安芸敬一)

地球電磁気

地球熱学に関する研究 (力武常次, 上田誠也)

火山における力学的現象の研究 (")

地球内部の電磁現象の研究 (")

重力・熱

重力計による地下構造の研究 (実川 顕, 田島広一)

重力鉛直方向の勾配に関する研究 (")

岩石学

火山の地質学的並びに岩石学的研究 (森本良平)

岩石の変形及び破壊に関する実験的研究 (茂木清夫)

火山地質学

地震地域の地質構造及び地殻変動の研究 (村井 勇)
 火山の活動性及び構造の研究 (")
 火山物理学
 火山の噴火の前兆現象に関する研究 (水上 武)
 火山活動の地球物理学的研究 (")
 日本の活・休火山の活動性の研究 (村井 勇)
 火山化学
 火山の地球化学的研究 (斎藤信房, 佐藤和郎)
 津波・高潮
 レスポンス解析器による地震動並びに津波波動の研究 (高橋龍太郎, 梶浦欣二郎, 相田 勇)
 防災面からみた津波, 高潮の研究 (")
 津波計による長波の研究 (")
 震災予防
 軟弱地域における地盤変動の研究 (金井 清)
 耐震構造の研究 (金井 清, 大沢 胖)
 震災の本質, 震災防止軽減方策の研究, 構造物の耐震性の判定 (河角 広)
 爆震・爆風
 爆震及び爆風に関する研究 (大沢 胖)
 附属施設
 施設名 東京大学地震研究所伊豆大島観測所 設置年月日 昭和34年4月
 所在地 東京都伊豆大島町野増字大宮 施設長 教授 力 武 常 次
 業務内容 地震, 地電流及び地磁気観測
 敷 地 221坪 建 物 延坪数 29坪
 施設名 東京大学地震研究所伊豆大島津波観測所 設置年月日 昭和35年4月
 所在地 東京都伊豆大島町泉津字松山 施設長 教授 高 橋 龍 太 郎
 業務内容 津波及び高潮観測
 敷 地 30坪 建 物 延坪数 10坪
 施設名 東京大学地震研究所鋸山地殻変動観測所 設置年月日 昭和33年5月
 所在地 千葉県君津郡天羽町大字金谷字大廻3558番の1 施設長 教授 萩原尊礼
 業務内容 地殻変動観測
 敷 地 391坪 建 物 延坪数 20坪
 職員数 技官1人, 雇傭人2人, 計3人
 施設名 東京大学地震研究所筑波山支所 設置年月日 昭和2年1月
 所在地 茨城県筑波郡筑波町大字筑波字宮脇1番の2 施設長 教授 萩原 尊礼
 業務内容 地震動, 地電流及び地磁気観測

敷 地 2,827坪 建 物 延坪数 107坪

施設名 東京大学地震研究所三鷹支所 設置年月日 昭和3年3月
 所在地 東京都三鷹市大沢(東京天文台構内) 施設長 教授 萩原 尊礼
 業務内容 地震動の観測
 建 物 延坪数 20坪

施設名 東京大学地震研究所日立観測所 設置年月日 昭和22年5月
 所在地 茨城県日立市 日立鉦山内 施設長 教授 金 井 清
 業務内容 地震動観測

施設名 東京大学地震研究所小諸支所 設置年月日 昭和30年2月
 所在地 長野県小諸市大字加増字坂保町630 施設長 教授 水上 武
 業務内容 火山化学の研究, 地磁気及び噴火現象の観測
 敷 地 940坪 建 物 延坪数 80坪

施設名 東京大学地震研究所浅間火山観測所 設置年月日 昭和8年8月
 所在地 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字長倉山 施設長 教授 水上 武
 業務内容 浅間火山に発生する地震及び地形変動の観測, 噴火現象の観測,
 地電流及び地磁気観測

敷 地 借地 4,048坪 建 物 延坪数 74坪

施設名 東京大学地震研究所和歌山観測所 設置年月日 昭和35年4月
 所在地 和歌山県和歌山市和歌浦 施設長 教授 宮村 撰三
 業務内容 紀伊半島郡発地震の観測
 敷 地 148坪 建 物 延坪数 45坪

施設名 東京大学地震研究所有田観測所 設置年月日 昭和38年3月
 所在地 和歌山県有田市下中島字大谷630の3 施設長 教授 宮村 撰三
 業務内容 地震観測
 敷 地 借地 6坪 建 物 延坪数 3坪

施設名 東京大学地震研究所伊勢観測所 設置年月日 昭和38年3月
 所在地 三重県伊勢市朝熊町字水船564の3 施設長 教授 宮村 撰三
 業務内容 地震観測
 敷 地 借地 29坪 建 物 延坪数 22坪

施設名 東京大学地震研究所御在所観測所 設置年月日 昭和38年3月
 所在地 三重県三重郡菰野町大字菰野 施設長 教授 宮村 撰三

業務内容 地震観測
敷地 借地 1坪 建物 延坪数 2坪

施設名 東京大学地震研究所榛原観測所 設置年月日 昭和38年3月
所在地 奈良県宇陀郡榛原町大字八滝 施設長 教授 宮村 撰三
業務内容 地震観測
敷地 借地 35坪 建物 延坪数 6坪

施設名 東京大学地震研究所江の島津波観測所 設置年月日 昭和16年10月
所在地 宮城県牡鹿郡女川町江の島 施設長 教授 高橋 龍太郎
業務内容 津波観測
敷地 借地 17.5坪 建物 延坪数 6坪

施設名 東京大学地震研究所大宮観測所 設置年月日 昭和2年3月
所在地 埼玉県秩父市大字大宮（東京大学秩父演習林内）
業務内容 地震観測
敷地 借地 1.5坪 建物 延坪数 1.5坪

施設名 東京大学地震研究所油壺観測所 設置年月日 昭和22年4月
所在地 神奈川県三浦市三崎町東京大学臨海実験所構内 施設長 教授 萩原尊礼
業務内容 地殻変動，地震動及び地磁気観測
建物 延坪数 7.5坪

施設名 東京大学地震研究所松山地殻変動観測所 設置年月日 昭和24年9月
所在地 愛媛県松山市南吉田町 施設長 教授 萩原尊礼
業務内容 地殻変動観測
敷地 借地 141坪 地中壕 141坪

施設名 東京大学地震研究所間瀬観測所 設置年月日 昭和27年10月
所在地 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬 施設長 教授 萩原尊礼
業務内容 地殻変動及び地磁気観測（委託観測）
敷地 地中壕 50坪

施設名 東京大学地震研究所佐久間地殻変動観測所 設置年月日 昭和31年4月
所在地 静岡県磐田郡佐久間町 電源開発KK 佐久間発電所
施設長 教授 萩原尊礼
業務内容 地殻変動及び地磁気観測（委託観測）
敷地 地中壕 256坪

施設名 東京大学地震研究所清澄観測所 設置年月日 昭和14年7月
所在地 千葉県安房郡天津町大字天津字清澄（東京大学千葉演習林内）
施設長 教授 萩原尊礼
業務内容 地震観測
敷地 借地 2坪 建物 延坪数 2坪
特殊施設，設備
磁気テープ式地球振動記録装置，超短波無線電話装置，津波高潮実験水槽並びに造波装置

東京大学東洋文化研究所

Institute for Oriental Culture, University of Tokyo.

設置年月日 昭和16年11月26日
所在地 東京都文京区大塚町56番地 電話（941）0509，6986番
目的 東洋文化に関する総合研究
沿革 昭和16年11月 勅令第1012号により東京大学に附置
昭和23年4月 東方文化学院と合併
所長 江上波夫（任期昭和37.7.10～39.7.9）事務長 宮本 健
職員数 教授9人，助教授9人，講師2人，助手15人，事務官17人，雇傭人7人，計59人
敷地 750坪 建物 建坪数 162坪 延坪数 637坪
刊行物 東洋文化研究所紀要，東洋文化，研究報告，調査報告
予算 昭和37年度 56,674,310円 昭和38年度見込 57,471,000円
研究部門（設置年度），研究目途，研究者氏名
汎アジア経済（社会学・経済学）（昭和16年度）
アジア諸地域における経済，商業
川野 重任（教授） 橋本 秀一（助教授）
汎アジア人文地理学（人文地理学）（昭和26年度）
アジアならびにその周辺諸地域を研究対象とする。
飯塚 浩二（教授） 板垣 雄三（助手）
汎アジア文化人類学（文化人類学）（ ” ）
アジアならびにその周辺諸地域を研究対象とする。
泉 靖一（助教授） 中根 千枝（助教授） 築島 謙三（講師）
東アジア政治・法律（法律学）（昭和16年度）
アジア諸地域における法律，政治
仁井田 陞（教授） 福島 正夫（教授） 丸山 真男（併教授）
関 寛治（助手） 西川 正二（助手）
東アジア歴史（歴史）（昭和16年度）

アジア諸地域における歴史
江上 波夫(教授) 松本 善海(助教授) 西嶋 定生(併助教授)
佐伯 有一(助教授) 松丸 道雄(助手) 山下 米子(助手)
梶村 秀樹(助手)

東アジア美術史・考古学(美術史)(昭和24年度)

アジア諸地域における美術史, 考古学
米沢 嘉圃(教授) 関野 雄(助教授) 深井 晋司(講師)
甘粕 健(助手)

東アジア哲学・宗教(宗教)(昭和16年度)

アジア諸地域における哲学, 宗教
小口 偉一(教授) 窪 徳忠(助教授) 鎌田 茂雄(助手)

東アジア文学(言語)()

アジア諸地域における文学, 言語
小野 忍(併教授) 近藤 邦康(助手) 木山 英雄(助手)

南アジア政治・経済(南アジア)(昭和35年度)

南アジアにおける社会経済
植田 捷雄(教授) 山本 達郎(併教授) 荒 松雄(助教授)
山崎 利男(講師) 月輪 時房(助手)

研究事項

I 新旧両大陸における文明起源の比較研究

家畜の起源を中心として (江上波夫)
人類学的研究を中心として (池田次郎)
穀類農耕の発生を中心として (泉 靖一)
農耕技術を中心として (関野 雄)
水利の問題を中心として (糸賀昌昭)
土器の発生を中心として (寺田和夫)
村落より都市への発展を中心として (曾野寿彦)
国家の形成を中心として (松丸道雄)
文明発生における神話の機能を中心として (大林太良)

II オリент文明と東亜文明との交流

— 考古・美術資料を中心として —

オリエン트의青銅器文化と東亜の青銅器文化との関係 (江上波夫, 増田精一)
古代オリエントにおける彫刻の諸問題 (新 規矩男)
ササン朝美術の特質とその極東への波及 (深井晋司)
古代西アジアにおける神殿の研究 (堀内清治)
イランにおけるイスラーム建築の研究 (石井 昭)
中国とオリエントにおける彩文土器の比較研究 (三宅俊成)

III 西アジア研究

イスラームとアフリカ (飯塚浩二)

バハイズムの展開過程 (小口偉一)

アラブ民族主義の歴史的展開 (板垣雄三)

西アジアにおける近代思想運動 (西野照太郎, 加賀谷 寛)

IV インドにおける支配体制と社会構造の史的研究

インド古代の支配体制と社会構造 (山崎利男)
ムスリム支配体制とインド社会 (荒 松雄)
イギリス植民地支配下のインド社会 (松井 透)
インドにおける帝国主義支配の成立 (中村平治)
現代インドにおける農民運動の発展 (古賀正則)
現代インドにおけるヒンドゥー法の展開 (山崎利男)
現代インドにおける村落の社会構造 (中根千枝)
両大戦間におけるインドの政治過程 (中村平治)
独立後のインドにおける国家資本主義の発展 (古賀正則)
インドシナにおける村落社会の近代化(比較研究) (山本達郎)

V デリー諸王朝時代の建造物の研究

墓およびモスクの構造と様式の変遷 (山本達郎, 月輪時房)
建造物に残存する文様に関する研究 ()
碑文・文献・伝承からみた首都デリーの変遷とその遺跡 (荒 松雄)
建造物よりみたインドおよびイスラーム文化の交流と変容 (山本達郎)
ヒンドゥー, イスラーム建築技術の交流と展開 (月輪時房)
遺跡, 建造物を資料とする政治・宗教・社会の諸問題 (荒 松雄)

VI アジア経済秩序と発展の構造

東南アジア経済の成長の分析 (川野重任)
経済開発のアジア的特性 (橋本秀一)
開発計画の比較研究 (原 覚天)

VII 中国における仏教と道教

天台思想の形成 (塩入良道)
中観思想の中国的変容 (泰本 融)
唐代貴族の宗教生活 (野田幸三郎)
唐代における仏教と道教 —北山録を中心として— (鎌田茂雄)
元代の仏道関係 —弁偽録を中心として— (窪 徳忠)

VIII 中国絵画の伝統と創造

古代および清代以後 (米沢嘉圃)
宋代 (戸田禎佑)
元代 (川上 涇)
明代 (鈴木 敬)

IX 中国における政治機構と土地所有の史的研究

殷周時代の国家構造 (松丸道雄)
先秦諸国の経済機構 (関野 雄)

皇帝制度の成立	(西嶋定生)
唐代の坊里制と隣保制	(松本善海)
中国古代末期の国家権力と土地制度	(堀 敏一)
宋代の郷村制の変革過程	(周藤吉之)
宋代江南デルタ地帯の土地所有制	(柳田節子)
明清時代農村の構造	(佐伯有一)
中国の同族 一湖南を中心として一	(西川正夫)
清末民国初年の中国における農民運動	(山下米子)
中国農村慣習と法格言	(仁井田 陸)
チベットの社会組織と土地制度	(中根千枝)
X 中国の国際関係	
東アジアにおける領土問題	(植田捷雄)
英国外交官の中国観	(坂野正高)
田中内閣と中国問題	(衛藤瀆吉)
国際危機の分析 一中ソ論争とキューバ危機一	(関 寛治)
XI 近代中国の思想と文学	
魯 迅	(丸山 昇)
嚴復と林紓	(小野 忍)
五四運動期の思想	(野村浩一)
近代民話	(竹内 実)
清末民初の思想史的考察	(近藤邦康)
「語絲」の人々	(木山英雄)
抗争戦争期の辺区における文学	(新島淳良)
XII 現代中国の研究	
現代中国法の理論と特質	(福島正夫)
公社所有制再論 一最近の展開と関連して一	()
中国新刑事法制の発展	(仁井田 陸)
官僚資本の形成とその構造	(古島和雄)
中国の工業化政策としての農業基礎論	(本橋 渥)
1920年代の中国労農運動	(佐伯有一)
人民公社と文学	(竹内 実)
整風運動	(新島淳良)
朝鮮現代経済政策史	(梶村秀樹)
XIII 東アジア史における日本文化の形成過程	
東亜史上より見た古代日本	(江上波夫)
楽浪文化の経済的基礎	(関野 雄)
古代東アジアにおける国際的政治機構	(西嶋定生)
律令法とその周辺諸国法への影響	(仁井田 陸)
日本古代国家の形成と朝鮮問題	(石母田 正)

日本における律令法の受容過程	(井上光貞)
古墳文化より見た日本古代国家の形成	(甘粕 健)
民族学から見た日本文化の起源	(大林太良)
アイヌ文化と日本文化	(泉 靖一)
XIV 近代日本の社会と思想	
日本漁業の経済的・地理的研究	(飯塚浩二, 大野盛雄)
愛知県における工業と農業の交錯	
一農地転用の地域的分析を中心に一	(花村芳樹)
大正期の地方行政	(大島美津子)
日本思想史における近代化と伝統	(宮川 透)
現代宗教における政治批判と平和主義	(村上重良)
宗教集団と信者層	(井門富二夫)
宗教と地域社会	(小口偉一)
村の体制と意識	(築島謙三)

東京大学社会科学研究所

Institute of Social Science, University of Tokyo.

設置年月日 昭和21年8月24日
所在地 東京都文京区本富士町1番地 電話(812)2111番
目的 社会科学に関する総合研究
沿革 昭和21年8月24日 社会科学研究所官制により東京大学に附置
昭和22年5月31日 国立学校設置法により東京大学附置研究所となる。
所長 有 泉 享 (任期昭和39.4.1~41.3.31) 事務長 長谷川 潔
職員数 教授11人, 助教授11人, 講師4人, 助手15人, 事務官14人, 雇傭人22人,
計77人
敷地 167坪 建物 建坪数 167坪 延坪数 672坪
刊行物 社会科学研究所紀要
予算 昭和37年度 56,834,858円 昭和38年度見込 58,802,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名
アメリカ(北米合衆国並米州諸国)(昭和21年度)
北米合衆国並びに米州諸国の政治, 法律, 経済の制度及び事情を正確に把握するために資料を組織的に収集し, 社会科学的分析にもとづき, 他の諸地域のそれとの比較総合研究を行なう。
嘉治 真三(教授) 井出 嘉憲(助教授) 鈴木 圭介(講師)
加藤 栄一(助手)
イギリス()
イギリスの政治, 法律, 経済の制度及び事情を正確に把握するために資料を組織的に

収集し、社会科学的分析にもとづき、他の諸地域のそれとの比較総合研究を行なう。

内田 力蔵(教授) 毛利 健三(助手) 堀部 政男(助手)

本邦公法(昭和21年度)

日本の公法を総合的、体系的に理解するために資料を系統的に収集し、理論的分析と実証的比較研究を行なう。

高柳 信一(助教授) 伊藤 隆(助手) 保木本一郎(助手)

本邦内政(〃)

日本の内政を科学的に解明するために、資料を体系的に収集し、比較総合の立場から理論的分析と実証的研究とを行なう。

林 茂(教授) 石田 雄(助教授) 辰己 光世(助手)

本邦経済産業(〃)

日本の経済産業を科学的に解明するために、資料を体系的に蒐集し、比較総合の立場から理論的分析と実証的研究とを行なう。

大石嘉一郎(助教授) 安良城盛昭(助教授) 柴垣 和夫(助手)

伊藤 喜雄(助手)

ソ連邦(ソ連及東欧諸国)(昭和24年度)

ソヴェト連邦並びに東欧諸国の政治、法律、経済の制度及び事情を正確に把握するため資料を組織的に収集し、社会科学的分析にもとづき、他の諸地域のそれとの比較総合研究を行なう。

宇高 基輔(教授) 藤田 勇(助教授) 和田 春樹(助手)

中山 一郎(助手)

本邦財政金融(〃)

日本の財政金融を科学的に解明するために資料を体系的に収集し、比較総合の立場から理論的分析と実証的研究とを行なう。

加藤 俊彦(教授) 戸原 四郎(助教授)

本邦社会調査(昭和25年度)

日本の社会事情を正確に把握するために、広範な実態調査を行ない、資料を組織的に収集して科学的分析と研究を行なう。

氏原正治郎(助教授) 潮見 俊隆(助教授) 山本 潔(助手)

山口浩一郎(助手)

本邦私法(本邦私法関係事項)(昭和26年度)

日本の私法を総合的、体系的に理解するために、資料を系統的に収集し、理論的分析と実証的比較研究を行なう。

有泉 亨(教授) 磯田 進(教授) 藤田 若雄(講師)

佐藤 良雄(助手) 山田 卓生(助手)

中国(〃)

中国並びに朝鮮の政治、経済、法律の制度及び事情を正確に把握するために、資料を組織的に収集し、社会科学的分析にもとづき、他の諸地域のそれとの比較総合研究を行なう。

高橋 勇治(教授) 古島 和雄(助教授)

フランス(フランス私法関係事項)(昭和26年度)

フランス並びに西欧・南欧諸国の政治、経済、法律の制度及び事情を正確に把握するために、資料を組織的に収集し、社会科学的分析にもとづき、他の諸地域のそれとの比較総合研究を行なう。

高橋八郎右衛門(教授) 渡辺 洋三(助教授) 稲本洋之助(助手)

研究事項

共同研究

戦後におけるアーバニゼーションの進展と地域社会の変貌

(高橋幸八郎, 有泉亨, 加藤俊彦, 遠藤湘吉, 氏原正治郎, 潮見俊隆, 高柳信一, 渡辺洋三, 安良城盛昭, 藤田若雄, 林 健久, 小池和男, 柴垣和夫, 伊藤喜雄, 山田卓生, 加藤栄一, 伊藤三次, 利谷信義, 佐藤 竺)

アジア・アフリカ地域に関する研究文献ならびに資料の総合調査研究

(内田力蔵, 古島和雄)

アジア・アフリカ地域の社会経済構造に関する総合的研究

(高橋八郎右衛門, 内田力蔵, 古島和雄)

アメリカ合衆国西部の研究

(嘉治真三, 鈴木圭介)

19世紀初期におけるイギリス立法改革運動の研究

(内田力蔵)

社会主義協同組合の研究(宇高基輔, 高橋勇治, 古島和雄, 藤田 勇, 和田春樹)

人民公社に関する研究

(高橋勇治, 古島和雄)

産業構造の比較史的総合研究

(高橋幸八郎, 高柳信一, 石田 雄, 古島和雄, 安良城盛昭, 遅家忠躬, 稲本洋之助, 藤瀬浩司)

近代財政金融制度の成立

(林 茂, 加藤俊彦, 遠藤湘吉, 林 健久)

村落構造の研究

(磯田 進, 潮見俊隆, 高柳信一, 石田 雄, 渡辺洋三, 安良城盛昭, 井出嘉憲)

土地制度の法律問題

(渡辺洋三, 潮見俊隆, 稲本洋之助)

社会主義法の研究

(高橋勇治, 藤田 勇)

労働基準法の施行過程と労使の実態に関する実証的研究

(有泉 亨, 氏原正治郎, 渡辺洋三, 藤田若雄)

日本における歴史学発達と現状に関する調査研究

(高橋幸八郎)

土地制度の比較的研究(英・仏・独・日)

(〃)

公法と私法(潮見俊隆, 高柳信一, 渡辺洋三, 藤田 勇, 井出嘉憲, 佐藤良雄)

石炭産業における雇用問題

(有泉 亨, 遠藤湘吉, 氏原正治郎, 藤田若雄)

中小企業に関する実証的研究	(氏原正治郎, 小池和男)
日本労働組合の指導者に関する統計的研究	(氏原正治郎)
戦後労働争議の研究	(藤田若雄, 氏原正治郎)
中小単産の研究	(氏原正治郎, 石田 雄, 藤田若雄, 小池和男)
医療制度研究会	(有泉 亨, 潮見俊隆, 渡辺洋三)
ロシア帝国主義の研究	(宇高基輔, 和田春樹)
英米法研究会	(内田力蔵, 山田卓生, 堀部政男)
インドにおける英米法の影響	(内田力蔵, 堀部政男)
世界経済研究会	(戸原四郎, 柴垣和夫, 加藤栄一)
人民公社の研究	(高橋勇治, 古島和雄)
アメリカ (北米合衆国並米州諸国)	
アメリカ合衆国工業の地域的構造	(嘉治真三)
アメリカ連邦行政の構造と機能	(井出嘉憲)
アメリカ土地制度史の研究	(鈴木圭介)
アメリカ短期移民の実態的調査	(〃)
アメリカ行政理論の解明	(井出嘉憲)
アメリカ連邦制度の実証的研究	(〃)
ナチズムの経済学的研究	(加藤栄一)
地方財政の研究	(〃)
イギリス	
イギリス家族法の研究	(内田力蔵)
現代イギリスにおける立法運動	(〃)
法の支配と人権保障	(堀部政男)
アジア地域法構造の近代化	(〃)
イギリス恐慌史の研究	(毛利健三)
イギリス経済政策の歴史的研究	(〃)
本邦公法	
行政救済前置主義の研究	(高柳信一)
英国における大学の自由	(〃)
日本近代における官僚組織と政党組織の成立期における組織論的特質	(伊藤 隆)
行政法における信義則の機能	(保木本一郎)
公害問題の比較行政法的アプローチ	(〃)
本邦内政	
大正末期, 昭和初期の日本内政・外交	(林 茂)
戦中, 戦後における我が国の政治過程	(石田 雄)
日本社会における政治的下士官層の研究	(辰己光世)
本邦経済産業	

日本資本主義の確立と財政	(大石嘉一郎)
戦前, 戦後における農民層分解の研究	(安良城盛昭)
日本金融資本の研究	(柴垣和夫)
戦後自作農の展開構造に関する研究	(伊藤喜雄)
ソ連邦 (ソ連及東欧諸国)	
世界恐慌史とくに独占形成以後の恐慌史的研究	(宇高基輔)
ソ連邦の農業および農業政策にかんする理論的, 歴史的研究	(〃)
社会主義的所有権の研究	(藤田 勇)
1930年代におけるソヴェト法思想の研究	
—ソヴェト法の理論と歴史—	(〃)
ロシアにおける社会主義革命の経済構造	(和田春樹)
19紀末におけるロシアの社会思想について	(中山一郎)
本邦財政金融	
本邦金融制度の歴史的研究	(加藤俊彦)
地方銀行の研究	(〃)
ドイツ資本主義発達史	(戸原四郎)
本邦社会調査	
賃金理論の研究	(氏原正治郎)
都市における貧困層の研究	(〃)
法社会理論の研究	(潮見俊隆)
オーストリアおよび東西ドイツ法制度ならびに法思想の研究	(〃)
農山漁村の社会学的研究	(〃)
技術革新と労働市場構造の変貌	(山本 潔)
戦後イタリア労働法史の研究	(山口浩一郎)
日本労働法の学説史的研究	(〃)
本邦私法 (本邦私法関係事項)	
労働基準法の実証的研究	(有泉 亨)
英米労使関係法の研究	(〃)
労働法の実証的研究	(磯田 進)
日本の社会構造の法社会学的分析	(〃)
労働協約の研究	(藤田若雄)
労働組合の研究	(〃)
労働生活構造の研究	(〃)
家族法 —婚姻予約および内縁—	(佐藤良雄)
裁判過程としての法の経験科学的研究	(山田卓生)
日本の近代法, ことに契約関係に対する法的規則の論理的研究	(〃)
中 国	
中国における第一次, 第二次整風運動の研究	(高橋勇治)
中国近代経済史研究	(古島和雄)

中国農業協同化運動の研究	(古島和雄)
フランス(フランス私法関係事項)	
封建制より資本主義への移行期における農民層分解の比較経済史的 研究	(高橋幸八郎)
西ヨーロッパ(とくにフランス)における資本主義の形成	(")
フランス革命の研究	(")
土地所有論	(")
公法と私法	(渡辺洋三)
現段階における市民法	(")
民法と特別法	(")
入会権の研究	(")
ナポレオン法典成立過程における相続法の諸問題	(稲本洋之助)
近代法における財産法と家族法の関係	(")
フランスにおける農地相続の実証的研究	(")
特殊施設, 設備	
統計会計機(英数字式自動会計機, 総括カード穿孔機, 穿孔翻訳機), 多能 調合照合再製機	

東京大学新聞研究所

The Institute of Journalism, University of Tokyo.

設置年月日	昭和25年5月31日
所在地	東京都文京区本富士町1番地 電話(812)2111番
目的	新聞及び時事についての出版, 放送又は映画に関する研究並びにこれらの 事業に従事し, 又は従事しようとする者の指導及び養成
沿革	昭和24年5月31日 国立学校設置法により東京大学附置研究所として設置
所長	殿木圭一(任期昭和38.3.31~40.3.30) 事務長 本間長三郎
職員数	教授6人, 助教授6人, 助手5人, 事務官6人, 雇傭人9, 計32人
建物	建坪数 74坪 延坪数 347坪
刊行物	新聞研究所紀要, 英文紀要, 新聞研究所要覧
予算	昭和37年度 26,489,641円 昭和38年度見込 28,602,000円
研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名	
マス・コミュニケーション理論(基礎)	(昭和24年度)
マス・コミュニケーションの基礎的理論を研究し, あわせて比較マス・コミュニケ ーション論を研究する。	
日高六郎(教授) 辻村明(助教授)	
マス・コミュニケーション史(歴史)	(")
日本および外国におけるマス・コミュニケーションの史的問題全般を研究する。	

内川芳美(助教授) 香内三郎(助教授) 高木教典(助手)	
コミュニケーション過程(マス・コミュニケーション)	(昭和27年度)
コミュニケーションの送り手, 送り手内容, 受け手効果といった諸要素を一貫した 過程として分析研究する。	
池内一(教授) 荒瀬豊(助教授) 鮎戸弘(助手)	
マス・コミュニケーション・メディア(新聞及雑誌)	(昭和24年度)
新聞, 雑誌, 映画など媒体の本質, 機構, 機能を総合的に研究すると共にそれぞれ の媒体に固有な表現内容と形式あるいは伝達様式などの特殊化を把握しさらにその 相互連関を検討する。	
何初彦(教授) 竹内郁郎(助教授) 細井雄介(助手)	
世論・宣伝	(昭和32年度)
世論が生れて発展するしくみや動きを具体的にとらえ分析するとともに宣伝の内容 や効果等について研究する。	
殿木圭一(教授) 高橋徹(助教授) 掛川トミ子(助手)	
放送	(昭和37年度)
放送の制度について研究するほか番組の制作過程や受け手の問題も研究する。	
岡部慶三(助教授) 稲葉三千男(助教授)	

研究事項

共同研究

近代英国の政治過程における The Times の政治的機能に関する歴史的研究	
(何初彦, 内川芳美, 岡部慶三, 荒瀬豊, 高木教典, 細井雄介, 掛川トミ子, 日高六郎, 池内一, 辻村明, 高橋徹, 稲葉三千男, 香内三郎, 竹内郁郎, 鮎戸弘)	
マス・コミュニケーション理論(基礎)	
コミュニケーション行動に関する基礎理論	(日高六郎, 辻村明)
現状におけるマス・メディアの機能	(日高六郎)
アメリカ, ソヴェト, 日本におけるマス・コミュニケーションの比較研究	(辻村明)
マス・コミュニケーション史(歴史)	
日本におけるマス・コミュニケーション産業発達史	(内川芳美, 香内三郎, 高木教典)
日本ファシズム期のマス・コミュニケーション	(")
アメリカにおける放送の発達と言論の自由	(内川芳美)
コミュニケーションの発展段階についての理論的考察	
—イギリス市民社会成立期のばあい—	(香内三郎)
コミュニケーション過程(マス・コミュニケーション)	
コミュニケーションの効果形式に関する基礎, 図式についての考察	(池内一, 荒瀬豊, 鮎戸弘)
戦後マス・メディアの内容分析比較研究	(池内一)

- コミュニケーション論 —シンボル・イメージをめぐって— (荒瀬 豊)
 伝達過程と受容過程の関連をめぐって (荒瀬 豊, 鮎戸 弘)
 マス・コミュニケーション・メディア (新聞及雑誌)
 マス・コミ状況下における諸芸術変遷の研究 (何 初彦, 竹内郁郎, 細井雄介)
 日本における総合雑誌論 (何 初彦)
 マス・コミュニケーションの機能の研究 (竹内郁郎)
 コミュニケーションと芸術 (細井雄介)
 世論・宣伝
 世論形成・変動の動態分析に関する基礎理論 (殿木圭一, 高橋 徹, 掛川トミ子)
 国際宣伝の研究 (殿木圭一)
 現代日本の政治過程と宣伝 (高橋 徹)
 大衆デモクラシー期における世論とマス・メディアの関係について (掛川トミ子)
 放送
 放送研究のための理論的準備 (岡部慶三, 稲葉三千男)
 放送と大衆文化 (岡部慶三)
 テレビジョンと認識論 (稲葉三千男)

東京大学生産技術研究所

Institute of Industrial Science, University of Tokyo.

- 設置年月日 昭和24年5月31日
 所在地 東京都港区麻布新竜土町10番地 電話(402)6231番
 目的 生産に関する技術的諸問題の科学的総合研究並びに研究成果の実用化試験
 沿革 昭和24年5月31日 国立学校設置法(法律第150号)にもとづき東京大学
 附置研究所として設置
 所長 岡本 舜三(任期昭和39.3.31~42.3.30)
 事務長 白方之次 事務長補佐 竹内 清
 事務長補佐 下村潤二郎 “ 黒田英亮
 職員数 教授42人, 助教授40人, 講師10人, 助手86人, 事務官60人, 技官69人,
 雇傭人249人, 計556人
 敷地 16,363坪 建物 建坪数 2,570坪 延坪数 7,908坪
 刊行物 東京大学生産技術研究所報告, 生産研究, 東京大学生産技術研究所年次要
 覧, 東大生研案内
 予算 昭和37年度 748,421,625円 昭和38年度見込 868,626,000円
 研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名
 応用数学(昭和24年度)
 微分解析機の試作, 電子計算機を含む計算機理論の研究, 追従機構の試作研究
 佐藤正千代(助手)

応用光学(昭和24年度)

光学系を空間周波数フィルターと考えた場合のレンズの性能の新しい表示法である
 レスポンス函数の研究, 同測定機の試作, 写真銀粒子の粒状性の研究, 干渉薄膜の
 利用の研究

久保田 広(教授) 小瀬 輝次(助教授) 辻 泰(助手)
 朝倉 利光(助手)

音響工学(“)

音響機器材料, 超音波(測定法, 超音波の映像, 超音波の作用)振動型粘度計, チ
 タン酸バリウム音響機器ADPストロボスコープの研究, 電子管式マグネット方式
 による振動計の応用試作およびロケット燃焼音による燃焼特性の解析

糸川 英夫(教授) 鳥飼 安生(助教授) 藤森 聡雄(助手)

放射線工学(昭和24年度)

X線回折法による迅速分析, 結晶解析, X線およびγ線透過検査の研究, 質量分析
 計の研究, 真空計と漏洩探知器の研究, プラズマを利用した強力中性子発生に関す
 る研究

一色 貞文(教授) 富永 五郎(助教授) 鈴木 寛文(助手)
 本間 禎一(助手)

材料力学(“)

航空機および自動車などの軽構造の力学に関する研究, 土木構造物の強度と耐震性
 の研究, 材料の塑性とその力学的研究, 軽構造の振動に関する研究, 実験応力解析
 に関する研究

岡本 舜三(教授) 大井光四郎(教授) 森 大吉郎(助教授)
 山田 嘉昭(助教授) 北川 英夫(講師) 伯野 元彦(助手)
 中野 旭(助手)

流体物理学(昭和25年度)

高速風洞ならびに衝撃波管による高速気流の研究
 玉木 章夫(教授)

伝熱工学(昭和24年度)

熱伝達及び熱交換器に関する研究
 橘 藤雄(併教授) 棚沢 一郎(助教授)

機械力学(“)

自動制御の研究, 機械力学, 機械振動に関する研究, 精密機器に関する研究, 光学
 機器学, 高速度カメラ瞬間写真に関する研究

亘理 厚(教授) 大島康次郎(助教授) 森 政弘(助教授)
 植村 恒義(助教授) 伊藤 寛治(助手) 立石 泰三(助手)
 梅谷 陽二(助手) 荒木 献次(助手)

流体機械学(“)

歯車ポンプのキャビテーションに関する研究, 水車, ポンプ流体伝動装置に関する
 研究

石原 智男(助教授) 古屋 七郎(助手)
熱原動機学(昭和25年度)
内燃機関及び自動車に関する研究, ガスタービン工学に関する研究
平尾 取(教授) 水町 長生(教授) 岡本 智(助手)
遠藤 敏彦(助手)
非切削工作学(//)
塑性加工基礎理論及び圧延, 引抜に関する研究, 熱間塑性加工の研究
鈴木 弘(教授) 市原 幸則(助手)
船体運動学(//)
船の覆没, 実船一模型 Correlation に関する研究, 溶接性, 溶接施工, 溶接構造に
関する研究, 船体構造強度に関する研究
田宮 真(教授) 安藤 良夫(併教授) 高橋 幸伯(助教授)
川井 忠彦(助教授) 渡辺 弥幸(助手) 小畑 和彦(助手)
切削工作学(昭和26年度)
空気一液圧式切削装置の研究
竹中 規雄(併教授) 佐藤 寿芳(助教授)
精密工作学(//)
心無研削法に関する研究, 精密加工, 表面工学に関する研究
小川 正義(教授) 松永 正久(教授) 小林清市郎(助手)
萩生田善明(助手)
化学機械学(//)
化学機械(原子炉工学を含む。)に関する研究
柴田 碧(助教授) 重田 達也(助手)
電子工学(昭和24年度)
パルス回路の研究, パルス波高分析器の研究, 開閉回路網の合成に関する研究, 論
理回路の研究, トンネルダイオードに関する研究, 高周波高出力トランジスターの
設計理論に関する研究
森脇 義雄(教授) 高羽 禎雄(助教授) 後川 昭雄(講師)
電力工学(//)
雷害防止の研究, 電力系統の絶縁協調に関する研究, 高しゅん度インパルスの発生
と測定に関する研究, 汚損がい子のせん絡現象, 電力系統の接地に関する研究
藤高 周平(教授) 河村 達雄(助教授)
通信機器学(昭和26年度)
核燃料の非破壊検査, 水晶振動子およびフィルターの研究, 低雑音受信装置に関す
る研究
高木 昇(教授) 浜崎 襄二(助教授) 長谷部 望(助手)
電力機器学(昭和26年度)
電力機器の制御に関する研究, 抵抗溶接の研究, 産業機械の自動制御に関する研
究, 共振型疲労試験機の研究, 制御用電子計算機の研究, 工場の自動管理に関する

研究
沢井喜三郎(教授) 山口 楠雄(助教授)
応用電子工学(昭和32年度)
電気機械振動子および変換子の研究, 超音波遅延回路の研究, 超音波探傷法の研究
高周波電力応用に関する研究
尾上 守夫(教授) 山田 博章(助手)
超高層電子工学(昭和36年度)
スペースエレクトロニクス用材料部品に関する研究, 半導体電子装置に関する研究
安達 芳夫(教授) 安田 靖彦(助教授)
超高層観測機器学(//)
ロケット観測用機器の研究, 観測ロケット用テレメーターの研究, 電波標定に関す
る研究, アナログコンピュータの研究
野村 民也(教授) 秋葉鎌二郎(助教授)
マイクロ波工学(昭和37年度)
マイクロ波電子管に関する研究, ミリ波伝送回路に関する研究, レーザー電磁光学
系に関する研究, マイクロ波アンテナに関する研究
斎藤 成文(教授) 黒川 兼行(助教授) 亀尾 要道(助手)
岡田 三男(助手) 構山 幸嗣(助手)
電子演算工学(//)
電子計算機に関する研究, プログラミングに関する研究, 微分解析機に関する研究
渡辺 勝(教授) 藤田 長子(助手) 渡部 弘之(助手)
情報処理工学(昭和35年度)
無機工業化学(昭和24年度)
イオン交換平衡の研究, イオン交換による無機化合物の組織の研究, イオン交換膜
のイオン透過性の研究, ガラスの研究, 薬液注入法の薬液の研究
山辺 武郎(教授) 今岡 稔(助教授) 妹尾 学(助手)
山本 啓太(助手)
有機工業化学(//)
顔料の濡れに関する研究, 脂肪酸及び油脂に関する研究, 界面活性剤の性能試験,
テロメリーゼーションに関する研究, ニトロパラフィン及びその誘導体の合成, 連
続アルカリ融解合成装置に関する研究, 染料の合成に関する研究, 未利用タスル成
分の利用研究, 微量有機合成に関する研究, 低分子放射線化学の研究, 高分子の合
成に関する研究, 連続糖化装置に関する研究, アルコール醗酵に関する研究, デン
ブ糖の色と5オキシメチル, フルフラールの関係についての研究
浅原 照三(教授) 永井 芳男(教授) 中村 亦夫(助教授)
後藤 信行(助教授) 西 久夫(助手) 中島 利誠(助手)
鉄鋼製錬工学(//)
1 t 試験高炉による未利用製鉄原料処理に関する研究, 特殊製鋼法に関する研究,
鉄鉱石の低温還元に関する研究

雀部 高雄(教授) 館 充(助教授) 中根 千富(助手)

工業分析学(昭和25年度)

連続電量分析法の研究, アルギン酸のイオン交換作用の研究, 交流ポーラログラフによる分析法の研究, 有機過酸化物のポーラログラフ的研究, 塩類溶液中の微量成分除去に関する研究, 有機試薬を利用する迅速工業分析法の研究, 定電位電解分析法の研究, 自動イオン交換分析装置の研究

高橋 武雄(教授) 武藤 義一(助教授) 早野 茂夫(助教授)

和田 芳裕(助手) 白井ひで子(助手)

工業電気化学・工業光化学(//)

ハロゲン化銀の光化学反応の研究, 写真現像液の銀電位滴定, 写真現像薬のポーラログラフ的研究, 原子核乳剤に関する研究, パナジウム迅速現像法の研究, スーパーインポーズに関する研究, 電子写真に関する研究

菊池 真一(教授) 野崎 弘(教授) 吉永 忠司(助手)

非鉄金属製錬工学(//)

マグネシウムその他の金属の電解製錬に関する研究

江上 一郎(教授) 明石 和夫(講師)

化学工学(昭和26年度)

連続吸着による石油中のベンゼン類の分離に関する研究, 移動層による連続溶剤回収に関する研究, 炭化水素混合液の吸着による分離, カーボンブラックに関する研究, イオン交換操作の研究, 液体イオン交換特性に関する研究, イオン交換法による同位体分離装置の研究, 各種イオン交換体の交換特性ならびに交換操作に関する研究

福田 義民(教授) 山本 寛(併教授) 池田 憲治(助手)

金属材料学(//)

流動還元法による鉄粉の製造抵抗焼結法の研究, 硬質粒子ロウ着切削板の研究, 金属材料の高温組織に関する研究, 鉛合金に関する研究

原 善四郎(助教授) 西川 精一(助教授) 長田 和雄(助手)

放射線同位元素工学(昭和35年度)

放射線ガラス砂による漂砂の追跡の研究, 放射性同位元素による石油製品の品質改善に関する研究, 原子炉用アルミニウムおよびその合金材料に関する研究

加藤 正夫(教授) 河添邦太郎(助教授) 佐藤 乙丸(助手)

島 宏(助手) 竹内 雍(助手)

交通路工学(昭和24年度)

土の三軸試験, 理論, 支持力への応用, アスファルト合材安定試験, 粗粒材を含んだ土の性質の研究, ソイルセメントの強さの試験方法の研究, トラフィカビリティについての研究

星 埜 和(教授) 三木五三郎(助教授) 榎本 歳勝(助手)

金子 豊(助手) 今村 芳徳(助手)

建築生産学(//)

建築構造物のリミットデザインに関する研究

田中 尚(助教授) 高梨 晃一(助手)

水工学(昭和24年度)

河川の形態の緩慢な変化に関する研究

井口 昌平(助教授) 白井 茂信(助手)

建築構造学(昭和25年度)

組合せ応力を受ける鉄筋コンクリート板の破壊に関する研究, 殻構造に関する理論的および実験的研究, 鉄骨鉄筋コンクリートに関する実験的研究

坪井 善勝(教授) 名須川良平(助手) 川股 重也(助手)

土木構造学(//)

高炉セメントを用いたコンクリートの研究, 鋼床板の実用計算法, 土木構造物の応力測定

久保慶三郎(教授) 小林 一輔(助教授)

測量学(昭和26年度)

赤外線航空写真測量に関する研究

丸安 隆和(教授) 大島 太市(助手) 中村 英夫(助手)

生産技術史(昭和26年度)

日本における建築の近代化に伴う木構建築の崩壊, 建築の発達史の技術史的研究

関野 克(併教授) 村松貞次郎(助教授) 伊藤 鄭爾(助手)

建築設備学(昭和26年度)

軽金属およびプラスチック材の建築への応用, 軽量不燃構造の実用化試作, 建築配色基準の作製, 軽量不燃構造の防火力増強に関する研究, 建築物の防露および透湿的性質に関する研究, 設計用戸外気温に関する研究, 高速給気方式における吹出気流ならびに騒音制御に関する研究, 金属建具の気密・水密性に関する研究, 住居設計基準理論, 建設標準化の研究, アパートのモジュール設計の研究, 建築部品の工業化に関する実験研究

星野 昌一(教授) 勝田 高司(教授) 池辺 陽(助教授)

石井 聖光(助教授) 寺沢 達二(助手)

研究事項

応用数学

微分解析機の試作, 電子計算機を含む計算機理論の研究, 追従機構の試作研究

応用光学

光学系を空間周波数フィルターと考えた場合のレンズの性能の新しい表示法であるレスポンス函数の研究, 同測定機の製作, 写真銀粒子の粒状性の研究, 干渉薄膜の利用の研究 (久保田広, 小瀬輝次)

音響工学

音響機器材料, 超音波(測定法, 超音波の映像, 超音波の作用)振動型粘度計, チタン酸バリウム音響機器ADPストロボスコープの研究, 電子管式マグネット方式による振動計の応用試作およびロケット燃焼音による燃

焼特性の解析 (糸川英夫, 鳥飼安正)

放射線工学
X線回折法による迅速分析, 結晶解析X線および γ 線透過検査の研究 (一色貞文)

材料力学
航空機および自動車などの軽構造の力学に関する研究, 土木構造物の強度と耐震性の研究, 材料の塑性とその力学的研究, 軽構造の振動に関する研究 (岡本舜三, 森大吉郎, 山田嘉昭, 北川英夫)

実験応力解析に関する研究 (大井光四郎)

流体物理学
高速風洞ならびに衝撃波管による高速気流の研究 (玉本章夫)

伝熱工学
熱伝達及び熱交換器に関する研究 (橋 藤雄, 棚沢一郎)

機械力学
自動制御の研究, 機械力学, 機械振動に関する研究, 精密機器に関する研究, 光学機器学, 高速度カメラ瞬間写真に関する研究 (巨理 厚, 大島康次郎, 森 政弘, 植村恒義)

流体機械学
歯車ポンプのキャビテーションに関する研究, 水車, ポンプ流体伝動装置に関する研究 (石原智男)

熱原動機学
内燃機関及び自動車に関する研究, ガスタービン工学に関する研究 (平尾 収, 水町長生)

非切削工作学
塑性加工基礎理論及び圧延引抜に関する研究, 熱間塑性加工の研究 (鈴木 弘)

船体運動学
船の覆没, 実船一模型 Correlation に関する研究, 溶接性, 溶接施工, 溶接構造に関する研究, 船体構造強度に関する研究 (田宮 真, 安藤良夫, 高橋幸伯, 川井忠彦)

切削工作学
空気一液圧式倣削装置の研究 (竹中規雄, 佐藤寿芳)

精密工作学
心無研削法に関する研究, 精密加工, 表面工学に関する研究 (小川正義, 松永正久)

化学機械学
化学機械 (原子炉工学を含む。)に関する研究 (柴田 碧)

電子工学
パルス回路の研究, パルス波高分析器の研究, 開閉回路網の合成に関する研究, 論理回路の研究, トンネルダイオードに関する研究, 高周波高出力トランジスターの設計理論に関する研究 (森脇義雄, 高羽禎雄, 後川昭雄)

電力工学
雷害防止の研究, 電力系統の絶縁協調に関する研究, 高しゅん度インパルスの発生と測定に関する研究, 汚損がい子のせん絡現象, 電力系統の接地に関する研究 (藤高周平, 河村達雄)

通信機器学
核燃料の非破壊検査, 水晶振動子およびフィルターの研究, 低雑音受信装置に関する研究 (高木 昇, 浜崎襄二)

電力機器学
電力機器の制御に関する研究, 抵抗溶接の研究, 産業機械の自動制御に関する研究, 共振型疲労試験機の研究, 制御用電子計算機の研究, 工場の自動管理に関する研究 (沢井善三郎, 山口楠雄)

応用電子工学
電気機械振動子および変換子の研究, 超音波遅延回路の研究, 超音波探傷法の研究, 超周波電力応用に関する研究 (尾上守夫)

超高層電子工学
スペースエレクトロニクス用材料部品に関する研究, 半導体電子装置に関する研究 (安達芳夫, 安田靖彦)

超高層観測機器学
ロケットの加速度, 減速度, 温度, 横荷重振動, ひずみ等の運動性能を調べる計測器の研究 (秋葉鎌二郎)

ロケット観測用機器の研究, 観測ロケット用テレメーターの研究, 電波標定に関する研究, アナログコンピューターの研究 (野村民也)

マイクロ波工学
マイクロ波電子管に関する研究, ミリ波伝送回路に関する研究, レーザー電磁光学系に関する研究, マイクロ波アンテナに関する研究 (斎藤成文, 黒川兼行)

電子演算工学
電子計算機に関する研究, プログラミングに関する研究, 微分解析機に関する研究 (渡辺 勝)

情報処理工学

無機工業化学
イオン交換平衡の研究, イオン交換による無機化合物の組織の研究, イオン交換膜のイオン透過性の研究, ガラスの研究, 薬液注入法の薬液の研究 (山辺武郎, 今岡 稔)

有機工業化学
顔料の濡れに関する研究, 脂肪酸及び油脂に関する研究, 界面活性剤の性能試験, テロメリーゼーションに関する研究, ニトロパラフィン及びその誘導体の合成, 連続アルカリ融解合成装置に関する研究, 染料の合成に関する研究, 未利用タール成分の利用研究, 微量有機合成に関する研究, 低

分子放射線化学の研究, 高分子の合成に関する研究, 連続糖化装置に関する研究, アルコール発酵に関する研究, デンプン糖の色と5オキシメチル・フルフラールの関係についての研究
(浅原照三, 永井芳男, 中村亦夫, 後藤信行)

鉄鋼製錬工学

1t 試験高炉による未利用製鉄原料処理に関する研究, 特殊製鋼法に関する研究, 鉄鉱石の低温還元に関する研究
(雀部高雄, 館 充)

工業分析学

連続電量分析法の研究, アルギン酸のイオン交換作用の研究, 交流ポーラログラフによる分析法の研究, 有機過酸化物のポーラログラフ的研究
(高橋武雄, 早野茂夫)

塩類溶液中の微量成分除去に関する研究, 有機試薬を利用する迅速工業分析法の研究, 定量位電解分析法の研究, 自動イオン交換分析装置の研究
(武藤義一)

工業電気化学・工業光化学

ハロゲン化銀の光化学反応の研究, 写真現像液の銀電位滴定, 写真現像薬のポーラログラフ的研究, 原子核乳剤に関する研究, パナジウム迅速現像法の研究, スーパーインポーズに関する研究, 電子写真に関する研究, 塩素酸化物塩の電解製造とその応用研究, 難還元性金属の製錬, 電極界面現象とその工学的応用半導体化学の研究
(菊池真一, 野崎 弘)

非鉄金属製錬工学

マグネシウム, ムその他の金属の電解製錬に関する研究
(江上一郎)

化学工学

連続吸着による石油中のベンゼン類の分離に関する研究, 移動層による連続溶剤回収に関する研究, 炭化水素混合液の吸着による分離, カーボンブラックに関する研究, イオン交換操作の研究, 液体イオン交換特性に関する研究, イオン交換法による同位体分離装置の研究, 各種イオン交換体の交換特性ならびの交換操作に関する研究
(福田義民, 山本 寛)

金属材料学

流動還元法による鉄粉の製造抵抗焼結法の研究, 硬質粒子ロウ着切削板の研究, 金属材料の高温組織に関する研究, 鉛合金に関する研究
(原善四郎, 西川精一)

放射線同位元素工学

放射線ガラス砂による漂砂の追跡の研究, 放射性同位元素による石油製品の品質改善に関する研究, 原子炉用アルミニウムおよびその合金材料に関する研究
(加藤正夫, 河添邦太郎)

交通路工学

土の三軸試験, 理論, 支持力への応用, アスファルト合材安定試験, 粗粒材を含んだ土の性質の研究, ソイルセメントの強さの試験方法の研究, ト

ラフィカビリティについての研究
(星 和, 三木五三郎)

建築生産学

建築構造物のミリットデザインに関する研究
(田中 尚)

水 工 学

河川の形態の緩慢な変化に関する研究
(井口昌平)

建築構造学

組合せ応力を受ける鉄筋コンクリート板の破壊に関する研究, 殻構造に関する理論および実験的研究, 鉄骨鉄筋コンクリートに関する実験的研究
(坪井善勝)

土木構造学

高炉セメントを用いたコンクリートの研究, 鋼床板の実用計算法, 土木構造物の応力測定
(久保慶三郎, 小林一輔)

測 量 学

赤外線航空写真測量に関する研究
(丸安隆和)

生産技術史

日本における建築の近代化に伴う木構建築の崩壊, 建築の発達の技術史的研究
(関野 克, 村松貞次郎)

建築装備学

軽金属およびプラスチック材の建築への応用, 軽量不燃構造の実用化試作, 建築配色基準の作製, 軽量不燃構造の防火力増強に関する研究, 建築物の防露および透湿の性質に関する研究, 設計用戸外気温に関する研究, 高速給気方式における吹出気流ならびに騒音制御に関する研究, 金属建具の気密水・密性に関する研究, 住居設計基準理論, 建築標準化の研究, アパートのモジュール設計の研究, 建築部品の工業化に関する実験研究
(星野昌一, 勝田高司, 池辺 陽, 石井聖光)

附 属 施 設

施 設 名 東京大学生産技術研究所秋田実験場 設置年月日 昭和32年2月28日
所 在 地 秋田県由利郡岩城町勝手字中島海岸 施 設 長 藤 高 周 平
業 務 内 容 (1)宇宙空間研究連絡委員会から委託されているロケットによる観測の実施
(2)観測用ロケットの試験, 飛しょう並びに地上燃焼テストの実施
敷 地 20,918坪 建 物 建坪数 26坪
施 設 名 東京大学生産技術研究所鹿児島宇宙空間観測所
設置年月日 昭和37年4月1日
所 在 地 鹿児島県肝付郡内之浦町南方字長坪 施 設 長 教授 藤 高 周 平
業 務 内 容 (1)宇宙空間研究連絡委員会から委託されているロケットによる観測の実施
(2)観測用ロケットの試験しょう
敷 地 60,859坪

施設名 東京大学生産技術研究所千葉実験場 設置年月日 昭和37年4月1日
施設長 教授 藤高周平
業務内容 麻布庁舎で行なえない大規模な実験、音やガスの発生を伴う実験等を集中し、現在溶鉱炉操業とその基礎実験、地震・津波、港湾河川設計に関する模型水理実験、観測ロケットの基礎的地上実験等が行なわれている。
敷地 30,700坪 建物 延坪数 2,655坪
特殊施設、設備
ウイルド万能精密立体図化機、微分解析機、溶鉱炉、高性能電子顕微鏡

東京大学史料編さん所

Historiographical Institute, University of Tokyo.

設置年月日 明治28年4月1日
所在地 東京都文京区本富士町1番地 電話(812)2111番 内線2300番
目的 本邦に関する史料の研究、編さん及び出版
沿革 明治28年4月1日 帝国大学文科大学に史料編纂掛設置
昭和4年7月9日 史料編纂所と改称
昭和24年4月1日 文部省維新史料掛を移管
昭和25年4月1日 東京大学附置研究所に改組
所長 森末義彰(任期昭和38.4.1~40.3.31)
事務長 足立庄之助 事務長補佐 山下文雄
職員数 教授6人、助教授9人、助手35人、事務官28人、技官6人、雇傭人15人、計99人
敷地 262坪 建物 262坪 延坪数 903坪
刊行物 大日本史料、大日本古文書、大日本近世史料、大日本維新史料、図書目録
予算 昭和37年度 86,396,314円 昭和38年度見込 95,982,000円
研究部門(設置年度)、研究用途、研究者氏名

編年史料(昭和29年度)

平安(中期以降)、鎌倉、南北朝、室町、安土、桃山の各時代及び江戸時代初期の史料を調査研究して、これを年月日順の編年に編纂する。大日本史料第1編から第12編を刊行する。

竹内理三(教授) 花田雄吉(助教授) 村田正志(助教授)
玉村竹二(助教授) 奥野高広(助教授) 中里魚彦(講師)
小野信二(講師) 土田直鎮(助手) 辻彦三郎(助手)
林幹弥(助手) 百瀬今朝雄(助手) 白井信義(助手)
今枝愛真(助手) 安田寿子(助手) 稲垣泰彦(助手)
瀬野精一郎(助手) 菊地勇次郎(助手) 新家君子(助手)

岩沢愿彦(助手) 福田栄次郎(助手) 小泉宜右(助手)
古文書(大日本古文書)(昭和33年度)

神社・仏寺関係及び公家・武家関係の古文書を調査、研究して、これを編年及び家ごとにそれぞれ編さんし、大日本古文書を刊行する。

川崎庸之(教授) 宝月圭吾(併教授) 佐藤進一(併教授)
菊池武雄(助手) 笠松宏至(助手) 石井進(助手)
古記録(大日本古記録)(昭和28年度)

大日本古記録を刊行するために、南北朝時代以前及び室町時代以後の古記録を調査研究して、これを編さんし、大日本古記録を刊行する。

桃裕行(教授) 斎木一馬(助教授) 小坂浅吉(講師)
山中裕(助手) 近衛通隆(助手) 新田英治(助手)
近世史料・維新史料(大日本近世史料)(昭和29年度)

江戸時代の学術史料並びに明治維新の内政関係史料及び外国関係史料を調査、研究して、これをシリーズ及び編年にそれぞれ編さんし、大日本近世史料、大日本維新史料及び大日本古文書のうち幕末外国関係文書を刊行する。

伊東多三郎(教授) 沼田次郎(助教授) 吉田常吉(助教授)
小西四郎(助教授) 太田晶二郎(助教授) 山口啓二(助手)
阿部喜雄(助手) 田中健夫(助手) 進土慶幹(助手)
小野正雄(助手) 稲垣敏子(助手) 多田実(助手)
松島栄一(助手) 山本武夫(助手)

海外史料(昭和33年度)

広く海外に分散現存する日本に関する外国文の史料を調査、研究して、これをそれぞれ編さんし、大日本海外史料(仮称)を刊行する。

岡田章雄(教授) 金井円(助手)
特殊史料(目録及解題)(昭和29年度)

日本文史料全般にわたり、その所在、分布等を総合的に調査、研究して、それぞれを編さんし、史料の目録、索引、解題等を刊行する。

片山勝(講師) 杉山博(助手) 村井益男(助手)
山口静子(助手) 皆川完一(助手) 益田宗(助手)

研究事項

編年史料

平安時代中期から江戸時代初期までの史料の調査研究並びに編年史料の編さん

(竹内理三、花田雄吉、村田正志、玉村竹二、奥野高広、中里魚彦、小野信二、土田直鎮、辻彦三郎、林幹弥、百瀬今朝雄、白井信義、今枝愛真、安田寿子、稲垣泰彦、瀬野精一郎、菊地勇次郎、新家君子、岩沢愿彦、福田栄次郎、小泉宜右)

古文書(大日本古文書)

古文書の調査研究並びに大日本古文書の編さん

(川崎庸之、宝月圭吾、佐藤進一、菊池武雄、笠松宏至、石井進)

古記録（大日本古記録）

古記録の調査研究並びに大日本古記録の編さん

（桃裕行，斎木一馬，小坂浅吉，山中裕，近衛通隆，新田英治）

近世史料・維新史料（大日本近世史料）

江戸時代及び明治維新史料の調査研究並びに大日本近世史料，大日本古文書

（幕末外国関係文書）及び大日本維新史料の編さん

（伊東多三郎，沼田次郎，吉田常吉，小西四郎，太田晶二郎，山口啓二，

阿部善雄，田中健夫，進士慶幹，小野正雄，稲垣敏子，多田実，松島栄一

山本武夫）

海外史料

日本に関する外国文の史料の調査研究並びに海外史料の編さん（岡田章雄，金井円）

特殊史料（目録及解題）

史料全般にわたる基礎的な収集調査

（片山勝，杉山博，村井益男，山口静子，皆川完一，益田宗）

東京大学応用微生物研究所

The Institute of Applied Microbiology, University of Tokyo

設置年月日 昭和28年7月28日

所在地 東京都文京区向ヶ丘弥生町2番地 電話(812)2111番

目的 応用微生物に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和28年7月28日 東京大学附置研究所として設立

所長 北原覚雄（任期昭和38.4.1~40.3.31）事務長 関須磨男

職員数 教授11人，助教授11人，助手23人，事務官10人，技官15人，雇傭人31人，計101人

建物 延坪数 1,515坪

刊行物 Reports from the Institute of applied Microbiology

予算 昭和37年度 85,346,045円 昭和38年度見込 96,940,000円

研究部門（設置年度），研究目途，研究者氏名

発酵菌学（分離・分類）（昭和28年度）

微生物の分離収集を行ない，その形態，生態および生理をきわめる。その中から新しい用途をもつ有用微生物，発酵および酵素反応を検索する。

北原覚雄（教授） 福井作蔵（助教授） 建部到（助手）

水島昭二（助手） 田井愛子（技官）

遺伝・育種（昭和28年度）

微生物の遺伝構造を生物学的にまた化学的に研究する。

池田庸之助（教授） 斎藤日向（助教授） 桐谷和文（助手）

広川秀夫（助手） 飯島忠子（技官）

分類・保存（保 存）（昭和29年度）

微生物の分類学的研究を行なうと共に国の内外を問わず広く微生物株の収集，保存及び交換，配布を行なう。

飯塚 広（教授） 赤松 弘（助手） 山口 辰良（助手）

飯田 貢（技官） 瀬戸 尚典（技官）

生 理（昭和28年度）

発酵学上重要な微生物の生理について解明を行ない，微生物利用に関する基礎的研究を行なう。

植村定治郎（教授） 相田 浩（助教授） 那須野精一（助手）

大石 邦夫（助手） 倉石 衍（助手） 飯塚 和明（技官）

山田 雄三（技官）

酵 素（ “ ” ）

微生物の作用を酵素学的見地より研究し，酵素の生成機構，作用機構を明らかにする

丸尾 文治（教授） 宮野 真光（助教授） 細田 淳子（助手）

渋谷 勲（助手） 椎尾 津る（助手） 服部 利江（技官）

抗 生 物 質（昭和29年度）

新抗生物質の検索を主とし，あわせて抗生物質の化学構造，生合成作用機作等の研究を行なう。制癌性及び抗植物病源性の抗生物質の検索に重点を置いている。

梅沢 浜夫（併教授） 米原 弘（教授） 田中 信男（助教授）

中村昭四郎（助手） 竹内 節男（助手） 西村 敏男（技官）

島津 昭（技官） 八巻 寛（技官）

生合成第一（昭和30年度）

単細胞藻類を用い，光合成の機作を追究すると共に，発育生理について研究し，藻類の大量培養の実施にあたり基礎的知見を得る。

長谷 栄二（教授） 岩村 達一（助手） 宮地 重遠（助手）

森村 祐次（技官） 三原佐代子（技官）

化 学（発酵生産物（含分析））（ “ ” ）

微生物の代謝作用を有機合成化学に応用する微生物転換の研究を行なう。

津田 恭介（教授） 奥田 重信（助教授） 佐藤 良博（助手）

野副 重男（助手） 林 和子（技官）

生 物 物 理（昭和31年度）

微生物を対象とする細胞レベルあるいは分子レベルの物理学的研究を行なう。

古賀 正三（教授） 藤田 暉通（助手） 杉浦 嘉彦（助手）

加賀美幾三（助手） 布村 和子（技官）

生合成第二（昭和32年度）

微細藻類の藻株を収集保存し，その分類学的研究を行ない，これら藻類の生理学的，生化学的研究を行ない，これと平行して細菌，糸状菌等の従属栄養微生物の生化学的研究を行なう。

柳田 友道（教授） 服部 明彦（助教授） 三井 旭（助手）

藤田 善彦(助手) 田中 健治(助手) 丸山 晃(技 官)
小金美紗江(技 官)

生 物 工 学(昭和33年度)

微生物利用工業における各種装置の設計及び操作基準を特に化学工学の立場から研究する。

合葉 修一(助教授) 戸田 清(助手) 染谷淳一郎(助手)

研 究 事 項

発酵菌学(分離・分類)

乳酸菌類とその発酵に関する研究 (北原覚雄, 建部 到, 水島昭二)

微生物における増殖・代謝の異常 (北原覚雄, 福井作蔵)

発酵産物並びにその変敗に関する微生物について (北原覚雄)

微生物細胞表層の性質と機能について (福井作蔵, 水島昭二)

遺伝・育種

微生物における種の特異性の遺伝学的研究 (池田庸之助, 斎藤日向)

遺伝情報の調節機構に関する研究 (池田庸之助, 桐谷和文)

分子レベルにおける遺伝子変異および組換の研究 (池田庸之助, 広川秀夫)

RNAの遺伝的機能に関する研究 (池田庸之助, 三浦謹一郎, 飯島忠子)

分類・保存(保 存)

穀類の微生物に関する研究 (飯塚 広, 飯田 貢, 新井英夫)

石油及び天然ガスの微生物に関する研究
(飯塚 広, 瀬戸尚典, 平野 惇, 椎尾貞子)

微生物の凍結乾燥保存法に関する研究 (飯塚 広, 古屋 寛, 成瀬宇平)

南極圏の微生物に関する研究 (飯塚 広, 田辺幾之助)

変形菌類の分類学的研究 (飯塚 広, 山里一英)

放線菌の分類学的研究 (飯塚 広, 山口辰良)

土じょう微生物の分類に関する研究 (飯塚 広, 都留信也)

微生物とステロイド, アルカロイドに関する研究
(飯塚 広, 岩藤誠吾, 浅井義之)

食品の微生物に関する研究 (飯塚 広, 藤田晴久, 川南敏郎)

有用微生物の電子顕微鏡的研究 (飯塚 広, 奥野大路)

生 理

ルーメン発酵菌の代謝 (植村定治郎, 倉石 衍)

栄養欠陥時における酵母の生理 ()

アミノ酸の発酵と代謝 (植村定治郎, 相田 浩, 大石邦夫)

核酸関連物質の生成と代謝 (植村定治郎, 倉石 衍)

酸化細菌の生化学的研究

(相田 浩, 山田雄三)

細菌胞子の生理

(相田 浩, 大石邦夫)

担子菌類の生理

(相田 浩, 飯塚和明)

酵 素

枯草菌におけるアミラーゼ生成機作に関する研究

菌体細胞の微細構造と酵素活性に関する研究

細菌における脂質の研究

放射性有機化合物調整法の研究

(丸尾文治, 宮野真光, 細田淳子, 渋谷 勲, 椎尾津る, 服部利江)

抗 生 物 質

制癌性抗生物質の検索

抗細菌, 抗かび性抗生物質の検索

(梅沢浜夫, 米原 弘, 田中信男, 中村昭四郎, 竹内節男, 西村敏男, 島津 昭, 八巻 寛)

抗生物質の化学構造に関する研究 (米原 弘, 中村昭四郎, 竹内節男)

抗生物質の生合成に関する研究

(梅沢浜夫, 米原 弘, 田中信男, 中村昭四郎, 竹内節男)

抗生物質の作用機構 (梅沢浜夫, 田中信男)

抗生物質の動物実験 (梅沢浜夫, 田中信男, 西村敏男)

農業用抗生物質に関する研究 (梅沢浜夫, 米原 弘)

生合成第一

クロレラの光代謝, 特に燐酸代謝に関する研究

クロレラの光自養的増殖と他養的増殖との相関関係に関する研究

クロレラ細胞の微細構造要素の分離とそれらの諸性質に関する研究

(長谷栄二, 岩村達一, 宮地重遠, 森村祐次, 三原佐代子)

化 学(発酵生産物(含分析))

微生物によるステロイドの変換

ステロイド並びに変型ステロイドの化学的研究

ステロイド抗生物質の化学的生化学的研究

アルカロイドの微生物変換に関する研究

ガスクロマトグラフィーに関する研究

(津田恭介, 奥田重信, 佐藤良博, 野副重男, 林 和子)

生 物 物 理

微生物分散系の状態論

自動記録培養装置の試作

放射線微生物学の基礎的研究

細胞膜透過現象の物理化学的研究

有機半導体の薄膜物性

微生物発電の基礎研究

(古賀正三, 加賀美幾三, 藤田暉通, 杉浦嘉彦)

生合成第二

- 微生物胞子の形成発芽に関する研究
- 単細胞微生物の同調培養に関する研究
- 微生物細胞集団の増殖に関する研究
- 藻類の分類および保存方法に関する研究

(柳田友道, 服部明彦, 西 荒介, 三井 旭, 藤田善彦, 田中健治, 丸山 晃, 小金美紗江)

生物学

- 好気性発酵及び活性汚泥法の通気による酸素吸収の基礎的研究
- エアフィルターに関する研究
- 連続発酵に関する研究
- 非ニュートン流体における物質移動に関する研究

(合葉修一, 戸田 清, 染谷淳一郎)

特殊施設, 設備

ベックマン自記分光光度計, 自記赤外分光光度計, ルドルフ偏光光度計, キャリー型自記分光光度計, スピコンH電気泳動装置, 電子顕微鏡, 質量分析計, 液体シンチレーションカウンター, 光散乱測定装置, 分析用超遠心機

東京大学航空研究所

Aeronautical Research Institute, University of Tokyo.

設置年月日 昭和33年4月1日

所在地 東京都目黒区駒場町856番地 電話(461)1101番

目的 航空に関する学理及びその応用の研究

沿革 大正7年7月 東京帝国大学に航空研究所を設置
 大正10年7月 航空研究所官制により東京帝国大学に航空研究所を附置
 昭和20年12月 航空研究所官制廃止
 昭和21年3月 理工学研究所官制により東京帝国大学に理工学研究所を遷置
 昭和24年5月 国立学校設置法の公布により東京大学附置研究所となる。
 昭和33年4月 国立学校設置法の一部改正により理工学研究所は廃止され航空研究所が東京大学附置研究所として設立

所長 長 谷 一 郎 (任期昭和37.4.1~39.3.31)

事務長 油 井 栄 三 郎 事務長補佐 角 取 博

職員数 教授27人, 助教授27人, 講師4人, 助手60人, 事務官31人, 技官39人, 雇傭人101人, 計289人

敷 地 30,350坪 建 物 建坪数 4,839坪 延坪数 7,512坪

刊 行 物 航空研究所報告, 航空研究所集報

予 算 昭和37年度 353,602,373円 昭和38年度見込 343,600,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

亜音速・遷音速空気力学(昭和21年度)

音速附近及びそれ以下の速度範囲における空気力学的諸現象(翼, 胴体, 操縦面, あるいはこれらの組合せの空気力学的性能向上, 安定微係数等機体動力学の基礎資料の算出, 衝撃波の発生原理とこれに伴う流れの安定性等)の研究を行なう。

小口 伯郎(教授) 大島 耕一(助教授) 福井 四郎(助手)
本間 弘樹(助手)

翼理論・境界層()

翼や物体のまわりの境界層の構造を理論的並びに実験的に解明する。研究は空気が流れが導電性を持ち, 電気及び磁気的な効果のあらわれる場合(いわゆる電磁流体力学)にまで拡張される。

佐藤 浩(教授) 恩田 善雄(助手) 栗木 恭一(助手)
京谷 右(助手)

超音速空気力学(昭和29年度)

音速以上の速度範囲における空気力学的諸現象(物体に作用する空気力, これに伴う安定性, 衝撃波, 空気力学的加熱等)を明らかにするための理論的ならびに実験的研究を行なう。

河村 竜馬(教授) 堀越 二郎(講師) 辛島 桂一(助手)

極超音速空気力学(昭和33年度)

音速の5倍以上の速度域では電気の解離, 離電などが著しく, 電磁流体力学にその例を見るように高温, 低圧などの新しい流動現象のとりあつかいのために新たな物理的視野に立つことが要求される。この分野の開発がこの部門の使命である。

八角 正士(教授) 今井 功(併教授) 橋本 英典(助教授)
成瀬 文雄(助手) 桑原 真二(助手) 岡林 英雄(助手)
古山 辰男(助手) 菰岡 仁志(助手)

航空振動(昭和31年度)

航空機および航空機に特有の振動現象, 例えば空力弾性現象について, 理論的ならびに実験的な研究とその対策とを探究する。

植村 益次(教授) 砂川 恵(助手)

機体構造力学(昭和33年度)

航空機および航空機に関する構造, 例えば後退翼の採用に伴う応力集中と剛性低下の問題, 機体工法の進歩による翼構造の厚肉ないし中肉化, サンドウィッチ構造構造要素の接合方式, 断熱構造方式等を研究する。

池田 健(教授) 富田 文治(助教授) 古田 敏康(助手)
三浦 公亮(助手) 酒巻 正守(助手)

機体熱強度学(昭和34年度)

航空機の高速化に伴い、機体は電力加熱のため著しい高温に曝され、一方においては内蔵するエンジンの高温部に隣接する構造要素の強度が問題になる。本部門においては熱的影響をも含めた機体強度について研究する。

吉村 慶丸(教授) 岩田今朝男(助手)

希薄気体力学(昭和34年度)

希薄な上層大気中を飛行する物体の受ける気体力学的現象の解明を主とする。これは在来の空気力学の適用外の問題であり、なおその他に気体自身あるいはそれと物体表面との干渉による組織成変化(解離、電離など)、熱輻射の影響など多くの問題が対象となる。

谷 一郎(教授) 井内松三郎(助手)

機体動力学(昭和37年度)

航空機および航空機の飛行軌道ならびに姿勢に関する動力学と機器および人によるその制御に関する諸研究を行なう。

穂坂 衛(教授) 大須賀節雄(助手)

ターボジェット機関(昭和29年度)

航空用ジェット原動機の圧縮機及びタービンに重点をおき、原動機の軽量、大推力化に伴って起る諸問題を解明するために遷音速、超音速領域を含めた空力性能ならびに振動の問題等を研究する。

田中 英穂(教授) 丸田 秀雄(助手)

ラムジェット(昭和33年度)

ジェット原動機の性能向上を目的として、それらの重要な構成要素(空気取入口、燃焼器、圧縮機、タービン、ノズル等)の内部における流体の定常及び非定常の運動、特にそれらの高速における特性を研究する。

浅沼 強(教授) 谷田 好道(助教授) 斎藤 芳郎(助手)

噴射推進機構(昭和32年度)

ロケット原動機について、その性能、構造、制御および全体の構成などの諸問題を解明するために、化学的ならびに機械工学的な両面から基礎および応用の研究を行なう。

倉谷 健治(教授) 津田 守三(助手) 土屋 莊次(助手)

燃焼学(昭和30年度)

ジェットおよびロケット原動機の燃焼器における安定高負荷燃焼を実現するために必要な燃焼の諸問題を解明することを目標として、これらの諸問題の基礎となる燃焼現象を、気体力学的ならびに物理学的立場から研究する。

辻 広(教授) 堀 守雄(助手) 岡野 達夫(助手)

潤滑(昭和21年度)

航空機および航空機、特にその推進機構運動部分の摩擦、摩耗を低下し、信頼性と耐久性を向上させるために、潤滑の基礎原理と応用とについて理論的ならびに実験的に研究する。

曾田 範宗(教授) 宮原 儀芳(助手) 笹田 直(助手)

伝熱学(昭和35年度)

ジェットおよびロケット原動機では作動ガス温度の向上が性能向上の不可欠の条件であるので、その対策である部材の冷却を中心として、広く伝熱現象の解明ならびに応用の研究を行なう。

八田 桂三(教授) 久保田英也(助手) 北村 菊男(助手)

網野 一夫(助手)

航空電気工学(昭和33年度)

大気内外の航行に関する電気工学関係の基礎的問題について研究する。現在航空機および航空機の大气中および大気圏外飛行中に起る帯電現象ならびに電気推進方式の研究を行なっている。

岡崎 三郎(教授) 相原 公一(助手)

航空計測(昭和31年度)

航空機および航空機が目的点まで予定されたコースに従って、確実かつ安全に航行するために必要な航法と誘導の諸方式ならびにその装置の基礎研究を行なう。

岡田 実(教授) 飯口 真一(助教授) 佐藤 義正(助手)

伊藤 益敏(助手) 井上 昭(助手)

物理計測学(昭和33年度)

航空機および航空機に関する物理的量の計測および制御、特に高周波振動及び音響の解明を行なう。

五十嵐寿一(教授) 石井 泰(助教授) 金原 源泰(助手)

柏太 英一(助手)

航空物理学()

航空機及び航空機に関する物理学の基礎的研究を行なう。当面は高温におけるガス体及び固体特にプラズマに関する研究を進める。

村川 契(教授) 橋本 静代(助手)

航空制御(昭和32年度)

航空機および航空機において必要となる自動制御機器と方式について、特に飛行中における操縦安定化、環境制御等の問題、ならびにこれらの体系を開発する上に必要となる機器、素子等の問題の基礎的研究を進める。

丹羽 登(教授) 東口 実(助教授) 佐下橋 市太郎(助手)

橋本 吉郎(助手)

航空電子機器学(昭和35年度)

航空宇宙学において電子機器に対する広範かつ苛酷な要求に応ずるため、新しい方式、性能および信頼性の向上、小型化など方式と素子の面からの新しい電子機器の開発研究を行なう。

岡田 実(併教授) 田宮 潤(助教授) 水町 守志(助教授)

材料加工学(昭和21年度)

航空機および航空機に利用される材料は宇宙の苛酷な環境条件で強靱かつ軽量でなければならない。これらの条件をみたす材料の特性を調べ、その特性を活用する加

工法の基礎及び応用の研究を行なう。

福井 伸二(教授) 清野 次郎(助手)

軽合金(昭和21年度)

航空機および航空機の材料として不可欠な軽量且つ強力な材料としてアルミニウム、マグネシウム、チタン合金等の軽金属材料の性能向上のための基礎的研究を行なう。

麻田 宏(教授) 堀内 良(助教授) 吉永日出男(助手)

航空無機材料(航空機材料第一(無機))(昭和30年度)

航空機および航空機に使用される耐熱材料の基礎および応用の研究を行なう。主に酸化物、炭化物などのセラックス、耐熱被膜コーティング、サーメットなどの分散相合金の研究および超耐熱性の新金属の研究など併せて行なう。

仁木 栄次(教授) 小原 嗣朗(助教授) 田尻 雅一(助手)

燃料・潤滑油(昭和21年度)

航空機および航空機に関する燃料および潤滑油、特に宇宙開発に重要な役割をもつロケット推進燃料の性能向上に関する研究を行なう。

山崎 毅六(教授) 岩間 彬(助教授)

航空有機材料(航空機材料第二(有機))(昭和33年度)

航空機および航空機の軽量構造材料として用いられる高分子材料の耐熱性の向上を目的として、耐熱性のある高分子材料の開発、その高温における特性、特に流動性、比熱、熱伝導性、熱転移、熱分解反応機構などに関する物理化学的研究を行なう。

神戸博太郎(教授) 三田 達(助教授) 柴崎 芳夫(助手)

材料力学(昭和38年度)

航空機および飛しょう体の機体および原動機に使用される材料自体について、個々の材料の物性までを考慮に入れた材料強度論的な立場から研究する。特に宇宙環境下での飛しょう体材料の挙動を主対象とする。

河田 幸三(教授) 古賀 達蔵(助手)

研究事項

亜音速・遷音速空気力学

衝撃波管による高速気体力学の研究 (小口伯郎, 本間弘樹, 船曳勝之)

衝撃波管による非平衡気流に関する研究 (小口伯郎, 本間弘樹)

高速気体力学に関する研究 (小口伯郎)

翼理論・境界層

境界層の遷移に関する研究 (谷 一郎, 佐藤 浩, 恩田善雄)

剝離を伴う流れの研究 (谷 一郎, 佐藤 浩, 井内松三郎)

V/STOL航空機の空気力学的研究 (" ")

超音速空気力学

比較的厚い翼の周りの超音速流の研究 (河村龍馬, 辛島桂一)

超音速・極超音速における物体の抵抗 (河村龍馬)

熱衝撃風洞性能研究および関連する測定器の試作研究 (河村龍馬, 大島耕一)

極超音速空気力学

電磁流体力学の理論的研究 (今井 功, 橋本英典, 成瀬文雄, 桑原真二)

溶液の透電率の理論的研究 (八角正士, 岡林英雄, 菰岡仁志)

液体の透電的性質の実験的研究 (八角正士, 岡林英雄, 菰岡仁志)

航空振動

薄肉殻体の非線型飛越挫屈機構の理論的研究 (植村益次)

空力加熱等による高温での構造強度・剛性の研究 (植村益次, 砂川 恵)

飛行体構造材料のクリープ強度の研究 (植村益次, 井山向史)

組合せ荷重によるロケット飛行体強度の実験的研究

(植村益次, 砂川 恵, 井山向史)

機体構造力学

耐熱塗料の効果に関する研究 (池田 健, 古田敏康)

小型ロケットにおけるモータの最適条件に関する研究 (池田 健, 古田敏康)

V/STOL機の安定性に関する研究 (池田 健, 富田文治)

ロケット飛行体の空力弾性に関する研究 (池田 健, 富田文治)

航空機翼の空力弾性の研究 (富田文治)

機体熱強度学

板および殻構造の強度に関する研究 (吉村慶丸, 岩田今朝男)

三次元応力状態下のクリープ (吉村慶丸, 岩田今朝男)

希薄気体力学

電離気体の加速 (谷 一郎, 佐藤 浩, 栗木恭一)

熱電離気体の基礎的研究 (佐藤 浩)

イオンビームの気体力学的研究 (佐藤 浩, 恩田善雄, 京谷 右)

機体動力学

飛行自動制御系の研究 (穂坂 衛)

情報処理に関する研究 (穂坂 衛, 大須賀節雄)

デジタル・レゾルバの研究 (穂坂 衛)

ターボジェット機関

遷音速圧縮機に関する研究 (田中英穂, 丸田秀雄)

軸流圧縮機における旋回失速に関する研究 (田中英穂, 高田浩之, 丸田秀雄)

柱列後流渦に関する研究 (八田桂三, 田中英穂, 高田浩之)

ラムジェット

高速における翼列性能に関する研究 (浅沼 強, 谷田好通, 山川八郎)

水回転翼列試験機による非定常内部流れの研究 (浅沼 強, 斎藤芳郎)

翼列翼の空力減衰に関する研究 (八田桂三, 浅沼 強, 谷田好通)

翼列フラッタの研究 (八田桂三, 浅沼 強, 谷田好通)

噴射推進機構

固体推進剤の燃焼に関する研究 (倉谷健治, 津田守三, 坂井卓爾)

分光学的方法による高温気体反応速の研究 (倉谷健治, 土屋莊次, 坂井卓爾)
 液体ロケットの燃焼性能 (倉谷健治, 土屋莊次, 津田守三)

燃 焼 学
 固体推進燃料の浸蝕燃焼についての理論研究 (辻 広)
 気体推進剤ロケット燃焼器内の振動燃焼に関する研究 (辻 広)
 高速気流中の火災安定化および乱流火災に関する研究 (辻 広, 岡野達夫, 山岡市郎)
 小型高負荷燃焼器内の燃焼に関する研究 (辻 広, 堀 守雄)

潤 滑
 ころがり軸受の寿命に関する研究 (曾田範宗, 宮原儀芳)
 ころがり摩擦およびころがり疲労の研究 (曾田範宗)
 揺動回転動荷重軸受の実験的研究 (曾田範宗, 大空金次)
 真空中の摩擦・摩擦に関する研究 (曾田範宗, 笹田 直)
 往復摩擦の研究 (曾田範宗, 佐藤準一)
 ブレーキ材料の研究 (曾田範宗)

伝 熱 学
 超高速ガソリン機関の燃焼に関する研究 (八田桂三, 田中英穂, 北村菊男)
 高速原動機の振動に関する研究 (八田桂三, 田中英穂, 北村菊男, 網野一夫)
 蒸発型燃焼器の研究 (八田桂三, 辻 広, 北村菊男, 岡野達夫)

航空電気工学
 電爆推進の研究 (岡崎三郎, 相原公一)
 飛行体の帯電現象の研究 (")
 ロケットの排気ガスの電気伝導度の測定 (")

航 空 計 測
 機上用ドブラ・レーダの研究 (岡田 実, 丹羽 登, 田宮 潤, 東口 実)
 航空交通管制用精密レーダの研究 (岡田 実, 丹羽 登, 田宮 潤, 東口 実)
 航空機誘導方式の研究 (岡田 実, 佐藤義正, 伊藤益敏)

物理計測学
 気流による騒音発生に関する研究 (五十嵐寿一, 藤沢厚生)
 渦流と騒音の相関に関する研究 (五十嵐寿一, 石井泰, 杉山清春)
 小型消音器に関する研究 (五十嵐寿一)
 塗料の振動減衰効果に関する研究 (五十嵐寿一, 藤沢厚生)
 デジタル方式による電動機速度制御 (石井 泰, 杉山清春)

航空物理学
 プラズマの温度と電子密度の測定 (村川 梨, 橋本静代)
 航空計器用弾性材料の研究 (村川 梨)

航 空 制 御
 超低・高度用対地高度計の研究 (岡田 実, 丹羽 登, 田宮 潤, 東口 実)
 航空機ロケット部品の非破壊検査法の研究 (丹羽 登, 佐下橋市太郎)

制御要素に関する研究 (東口 実, 沢井善三郎, 山下道夫)

航空電子機器学

材料加工学
 金属薄板の深絞り加工 (福井伸二, 清野次郎, 高田信宏)
 材料の圧縮加工 (")
 高分子物質に対する放射線の影響に関する研究 (福井伸二, 清野次郎)
 材料の疲労に関する研究 (福井伸二, 河田幸三, 清野次郎)
 材料の高エネルギー速度加工に関する研究 (福井伸二, 河田幸三, 清野次郎, 古賀達蔵)

軽 合 金
 マグネシウム合金の結晶塑性に関する研究 (麻田 宏, 堀内 良, 吉永日出男)
 アルミニウム合金の結晶塑性に関する研究 (麻田 宏, 堀内 良)
 アルミニウム合金の高温強度に関する研究 (堀内 良, 浜 葆夫)
 金属材料の Damping Capacity に関する研究 (堀内 良, 斎藤 敏)

航空無機材料 (航空機材料第一 (無機))
 プラズマ炎によるアブレーションおよび耐熱被膜の研究 (仁木栄次, 小原嗣朗)
 炭化チタン系サーメットの製造及び特性の研究 (")
 R Iによる金属の表面処理法の研究 (")
 金属材料の集合組織決定法の研究 (小原嗣朗)

燃料・潤滑油
 低燃焼速度及び高燃焼速度の固体推進燃料の研究 (山崎毅六, 岩間 彬)
 推進燃料の性能の簡易測定法の研究 (")
 固体混成推進燃料の燃料バイндаの製造研究 (")
 石油系燃料の燃焼性に関する研究 (山崎毅六)

航空有機材料 (航空機材料第二 (有機))
 高分子物質の熱安定性 (神戸博太郎, 三田 達, 柴崎芳夫)
 高分子溶融物のレオロジー (神戸博太郎)
 ポリオキシメチレンの新合成法の研究 (三田 達)

材 料 力 学
 材料の超高速変形時の力学的挙動の研究 (河田幸三, 福井伸二, 清野次郎, 古賀達蔵)
 構造材料のアブレーション・熱衝撃特性の研究 (河田幸三, 福井伸二, 清野次郎)
 熱光弾性による熱応力解析 (河田幸三, 古賀達蔵, 橋本彰三)
 モデル光弾性及び皮膜法による軽構造解析 (")

附 属 施 設
 施 設 名 東京大学航空研究所工作工場
 所 在 地 東京大学航空研究所内 施 設 長 講師 鈴木 信 男
 業 務 内 容 設備品の試作, 改良, 修理等

建物 延坪数 317坪
職員数 技官15人, 雇傭人10人, 計25人

施設名 エレクトロニクスショップ 設置年月日 昭和33年11月26日
所在地 航空研究所内 施設長 教授 丹羽 登
業務内容 航空研究所の実験研究設備および装置のうち, 各研究室の電子装置部門の
要求依頼により試作をする。

建物 延坪数 38.25坪
特殊施設, 設備

大風洞 (超音速風洞, 極超音速風洞, 3m風洞, 2m風洞, 1.6m風洞, 1.5
m風洞, 連続運転高速風洞), ターボジェット機関, 高速軸受試験装置, 多
重式磁気記録装置, 燃焼実験装置, 万能材料試験機, 構造物強度試験装置,
ドプラレーダー, ロケットテストスタンド, アナログ計算機

東京医科歯科大学歯科材料研究所

Research Institute for Dental Materials, Tokyo Medical and
Dental University.

設置年月日 昭和26年4月1日
所在地 東京都文京区湯島3~1 電話 (812) 4111番
目的 歯科材料に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和13年9月 東京高等歯科医学校歯科材料実験施設設置 (母体)
昭和26年4月 国立学校設置法 (一部改正) により東京医科歯科大学附置
研究所として設立
所長 村松 篤良 (任期昭和38.4.1~41.3.31) 事務長 成田 虎彦
職員数 教授6人, 助教授6人, 助手10人, 事務官6人, 技官1人, 雇傭人17人,
計46人
敷地 167坪 建物 延坪数 167坪 延坪数 167坪
刊行物 歯科材料研究所報告
予算 昭和37年度 42,078,000円 昭和38年度見込 49,453,000円
研究部門 (設置年度), 研究目的, 研究者氏名

金属材料 (金属) (昭和26年度)
歯科用貴金属およびその代用貴金属に関する学理およびその応用の研究
三浦 維四 (教授) 佐々木悦男 (助教授) 太田 守 (助手)
本間 久夫 (助手)

無機材料 (窯業) (")
歯科用陶材, セメント, 石膏, カーボランダム, 埋没剤等に関する学理およびその
応用の研究

加藤 一男 (教授) 桑山 則彦 (助教授) 高橋 通友 (助手)
有機材料 (昭和26年度)
歯科に利用しうる可塑物 (合成樹脂, 天然樹脂, ゴム, 蠟等) に関する学理および
その応用の研究
増原 英一 (教授) 小嶋 邦晴 (助教授) 平沢 忠 (助手)
精密機械 (機械) (")
歯科用機械器具に関する学理およびその応用の研究
村松 篤良 (教授) 塩川 延洋 (助教授) 安達 和子 (助手)
安田 克広 (助手)
薬品 (")
歯科用薬品に関する学理およびその応用の研究
石川 正幸 (教授) 金子 主税 (助教授) 宮坂 貞 (助手)
電気機器 (昭和36年度)
歯科に應用しうる電気機械器具に関する学理およびその応用の研究
鈴木 良次 (助教授) 佐藤 驍 (講師) 山口 幹子 (助手)
池田 泰子 (助手)

研究事項

金属材料 (金属)
市販歯科用合金の研究
歯科用アマルガムの研究
不銹合金の研究
歯科における工学的諸問題の解析
(三浦維四, 佐々木悦男, 太田 守, 本間久夫)

無機材料 (窯業)
高速切削用ダイヤモンド工具の研究
人工歯, 特に焼付け用陶材の研究
歯科用埋没材の研究
歯科用セメントの改善に関する研究 (加藤一男, 桑山則彦, 高橋通友)

有機材料
歯科用合成樹脂の性質改善に関する総合的研究
合成樹脂による歯科用充填剤の研究
合成樹脂人工歯の製造研究
歯質とキレート高分子との化学反応性
歯科用軟性樹脂の研究
(増原英一, 小嶋邦晴, 平沢 忠, 樽見二郎)

精密機械 (機械)
光弾性実験法による歯科用機器の応力解析
応力塗料および電気抵抗線ひずみ計による歯科用機器の応力解析
高速歯科切削に関する研究

(村松篤良, 塩川延洋, 安達和子, 安田克広)

薬品

局所麻酔剤の合成研究 (局所麻酔作用をもつガンマ毒類似化合物の合成研究)
テルペン類の研究
キナ塩基及びその誘導体のN-オキシド化反応に関する研究

(石川正幸, 金子主税, 宮坂 貞, 土屋 隆)

電気機器

医歯用自動診断装置に関する研究
生体における情報処理及び制御機構の工学的研究 (バイオニクス)

(鈴木良次, 佐藤 驍, 池田泰子, 南 定雄)

特殊施設, 設備

自動記録式ガイガーカウンター使用X線分析装置, メガクロームガスクロマトグラフ装置, オートグラフIM-500型, 電子計算装置NEAC 2101

東京教育大学光学研究所

Institute for Optical Research, Kyoiku University

設置年月日 昭和24年5月31日

所在地 東京都新宿区百人町4丁目400番地 電話(371)3131番

目的 光学に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和24年5月31日 国立学校設置法(法律150号)によって設置された。

所長 朝永振一郎(任期昭和38.4.1~41.3.31) 事務長 市原良祐

職員数 教授6人, 助教授6人, 助手10人, 事務官4人, 技官1人, 雇傭人14人, 計41人

敷地 6,125坪 建物 建坪数 742坪 延坪数 1,200坪

刊行物 Science of Light.

予算 昭和37年度 40,395,243円 昭和38年度見込 44,714,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

赤外線(昭和24年度)

赤外線分光学とそのinstrumentation および応用

現在は遠赤外域を扱う。

尾中 龍猛(教授) 工藤 恵栄(助教) 竹沢 賛三(助手)

藤田 郁夫(助手) 小川 力(助手)

紫外線()

真空紫外分光学とくに強さを増す方法とこれの分光器への応用

瀬谷 正男(教授) 坂柳 義己(助教授) 貝瀬 勇(助手)

島内みどり(助手)

理論光学(昭和27年度)

実験によってえられた諸結果を説明するために量子力学による解明と計算を行なうと共に将来の実験に寄与するような予想的計算を行なう。

朝永振一郎(教授) 三輪 光雄(併教授) 小島 昌治(併教授)

本間 昭夫(助手)

分光学(昭和28年度)

現在及び将来の分光学に必要な性能のよい分光器の設計, 製作に関する研究の上に可視光線について分光学的研究を行なうことを目的とする。

戸田 盛和(併教授) 島内 輝(助教授) 増田 文男(助手)

光学器械(昭和34年度)

光学系の理論とその応用の研究, 分光器械の分解能向上の研究

三宅 和夫(教授) 藤原 史郎(助教授)

光学応用(昭和38年度)

色彩光沢, その他光学理論の応用に関する研究

蓮 精(教授) 中村 正年(助教授) 大八木義彦(併助教授)

堀内由紀彦(助手) 野中 昭(助手)

研究事項

赤外線

回折格子製作法の研究

(朝永振一郎)

近赤外分光学 instrumentation と大気光研究への応用

(中村正年, 竹沢賛三)

紫外線

分子分光学及び分光器に関する研究

(瀬谷正男)

回折格子の製作及びその応用に関する研究

(坂柳義己)

酸化金属分子の分光学

(島内みどり)

極紫外線検出器の研究, 量子電磁気学

(朝永振一郎, 増田文男)

理論光学

固体の分光学的研究及び極紫外分光測定

(戸田盛和, 尾中龍猛, 本間昭夫)

分光学

X線分光学

(三輪光雄)

不均一系コロイドの光学的研究(真珠顔料の研究)

(蓮 精)

電波分光学の応用(核4極共鳴の研究)

(小島昌治, 島内 輝)

光学器械

光学器械への情報理論の応用

(三宅和夫)

赤外分光光度計の分解能向上の研究と赤外検知器の研究

(工藤恵栄)

光学応用

附属施設

施設名 東京教育大学光学研究所工作室

設置年月日 昭和25年5月31日

所在地 東京都新宿区百人町4丁目400番地

施設長 教授 朝永振一郎

業務内容 研究用器械の試作, 部分品の製作及び修理
特殊施設, 設備

ルーリングエンジン

東京工業大学資源化学研究所

Research Laboratory of Resources Utilization,
Tokyo Institute of Technology.

設置年月日 昭和29年4月1日
所在地 東京都目黒区大岡山1番地 電話(726)1111番
目的 資源の化学的利用に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和14年2月 勅令第32号官制により東京工業大学に資源化学研究所設置
昭和24年5月 国立学校設置法(法律第150号)により東京工業大学附置資源化学研究所となる。
昭和19年8月 勅令第515号官制により東京工業大学に燃料科学研究所設置
昭和24年5月 国立学校設置法(法律第150号)により東京工業大学附置燃料科学研究所となる。
昭和29年4月 国立学校設置法改正(法律第16号)をもって資源化学研究所と燃料科学研究所とが整備統合され東京工業大学附置資源化学研究所として発足

所長 森川 清(任期昭和38.6.16~41.6.15) 事務長 渋井 鼎
職員数 教授9人, 助教授9人, 助手30人, 事務官9人, 技官5人, 雇傭人12人, 計74人

建物 建坪数 277坪 延坪数 1,094坪
刊行物 資源化学研究所要覧, 資源化学研究所々報(欧文)

予算 昭和37年度 62,645,555円 昭和38年度見込 79,903,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

無機資源(昭和29年度)

無機資源の開発利用に関する化学的研究

舟木好右衛門(教授) 伊藤 卓爾(助教授) 室谷 寛(助教授)
清水 義勝(助手) 内村孝太郎(助手) 稲垣 誠(助手)
星野 芳夫(助手) 石島 格(助手) 阿部 光雄(助手)
後藤 忠俊(助手) 笹本 興児(技官)

有機資源()

有機資源の開発利用に関する化学的研究

尾崎 萃(教授) 小笠原貞夫(助手) 野崎 文男(助手)
菊池 和子(技官) 茂原 禎子(技官)

生物資源(昭和29年度)

生物資源の開発利用に関する化学的研究

水口 純(教授) 鈴木 周一(助教授) 大橋 力(助手)
佐藤 利夫(助手) 高橋不二雄(助手) 樋山 智親(技官)
戸倉 正利(技官)

高分子材料()

高分子材料の合成及び物性に関する研究

神原 周(教授) 池田 朔次(助教授) 山崎 升(助手)
簾野 昌弘(助手) 山本 明夫(助手) 斎藤 豊治(技官)
芝崎 住江(技官)

合成化学()

有機合成化学及び高分子反応に関する研究

岩倉 義男(併教授) 鈴木 貞雄(助教授) 長久保国治(助手)
黒崎 寿一(助手) 鈴木 邁(助手) 松本 武男(技官)

基礎測定()

分子構造と物性定数の測定に関する研究

児島 邦夫(教授) 前田 史朗(助教授) 徳広 真(助手)
武岡 淑子(助手) 樋口 治郎(助手) 山田 晴河(助手)
平野 悦子(技官)

生産設備()

生産設備に関する化学工学的研究

白井 隆(教授) 吉留 浩(助手)

計測制御(計測及制御)(昭和31年度)

化学工程の自動制御及び品質管理に関する研究

水野 滋(教授) 市川 惇信(助教授) 由良 統吉(助手)
春山 志郎(助手) 大場 興一(助手) 平塚 茂雄(助手)

化工設計(昭和36年度)

化学工程の設計と操作に関する研究

森川 清(教授) 越後谷悦郎(助教授) 白崎 高保(助手)
正井 満夫(助手) 助野 敏雄(助手) 平松 米造(技官)
落合 康額(技官) 入江けい子(技官)

研究事項

無機資源

国内資源より湿式法によるウランの製錬研究 (舟木好右衛門, 石島 格)

アルミナ並びに水酸化アルミニウムに関する研究 (舟木好右衛門, 清水義勝)

アルミナ, ケイ酸系化合物の合成, 構造及び利用に関する研究

()

ハフニウムを含まないジルコニウムの製錬に関する研究

(舟木好右衛門, 内村孝太郎)

ハフニウムの製錬に関する研究	(舟木好右衛門, 内村孝太郎)
高性能フェライトの合成に関する研究	(舟木好右衛門, 清水義勝)
フェライト原料に関する研究	(")
無機半導体に関する研究 (製造物性)	(舟木好右衛門)
塩素製錬による高純度金属の製造研究	(舟木好右衛門, 内村孝太郎)
塩化物の気相酸素分解による高純度金属酸化物の製造研究	(舟木好右衛門, 稲垣 誠)
金属塩化物および酸化物の気相および流動還元法による高純度金属の製造に関する研究	(舟木好右衛門)
工業材料中の微量無機成分の分離定量に関する基礎的研究	(伊藤卓爾, 星野芳夫)
放射性同位体の無機工業分析への応用に関する研究	(")
有機溶媒抽出によるジルコニウムとハフニウムの相互分離精製に関する研究	(")
無機イオン交換体の合成並びに特性の基礎的研究	(伊藤卓爾, 阿部光雄)
合成無機イオン交換体の利用に関する研究	(")
海水成分の利用に関する研究	(室谷 寛, 後藤忠俊)
結晶成長に関する研究	(")
有機資源	
金属触媒による水素の可逆吸着に関する研究 (尾崎 萃, 小笠原貞夫, 茂原禎子)	
エチレンを原料とする塩化ビニール合成法の研究	(尾崎 萃)
固体酸触媒によるブチレンの異性化反応の研究	(尾崎 萃, 木村和子)
低級オレフィンと水の反応の研究	(尾崎 萃)
プロピレンの酸化反応の研究	(")
金属触媒による芳香族化合物の吸着状態の研究	(")
ガスクロマトグラフカラムを反応相とする触媒反応の研究	(尾崎 萃, 小笠原貞夫)
生物資源	
アミノ酸工場, 屠場廃水の利用並びに無害化	(水口 純, 鈴木周一, 大橋 力)
生体反応を工学に導入する研究	(水口 純, 鈴木周一)
石油微生物による起電反応	(")
アミノ酸の製造利用に関する研究	(")
天然高分子の物性の利用開発	(")
"水の在り方" の生物工学的研究	(水口 純, 鈴木周一, 佐藤利夫)
システイン誘導体の食品化学的研究	(")
繊維たんぱく質を用いる再生膜の研究	(")
トロポノイドの電気化学	(水口 純, 佐藤利夫)
高分子材料	
ポリエーテル型高分子材料	(神原 周, 簀野昌弘)

イオン重合に関する研究	(神原 周, 山崎 升)
ステレオゴムに関する研究	(神原 周, 山崎 升, 斎藤豊治)
人工血液の合成研究	(神原 周, 簀野昌弘)
アセチレン誘導体の研究	(")
高分子半導体の研究	(")
結晶性ポリアクリロニトリルの合成	(")
高重合反応機構に関する研究	(池田朔次, 山本明夫)
重水素化重合体の合成とその性質に関する研究	(池田朔次, 芝崎住江)
オレフィン-遷移金属配位化合物の研究	(池田朔次, 山本明夫)
同位元素を利用する化学反応の研究	(池田朔次)
合成化学	
改質ポリプロピレン繊維の研究	(岩倉義男, 長久保国治, 黒崎寿一)
改質ポリ塩化ビニール繊維の研究	(岩倉義男, 長久保国治)
改質セルローズ繊維の研究	(岩倉義男, 黒崎寿一)
重付加反応の動力学的研究	(岩倉義男)
ブロック重合体の合成研究	(岩倉義男, 長久保国治)
反応性高分子の合成研究	(岩倉義男, 長久保国治, 黒崎寿一)
高分子両性電解質の合成研究	(岩倉義男, 黒崎寿一)
高分子反応に関する研究	(岩倉義男, 長久保国治, 黒崎寿一)
ポリアミノ酸の合成研究	(岩倉義男)
耐熱性高分子の合成研究	(")
立体規則性高分子の合成研究	(岩倉義男, 黒崎寿一)
Pdを分散させた活性炭素に収着された水素の挙動について	(鈴木貞雄, 鈴木 邁)
オレフィン系炭化水素の液相酸化に関する研究	(")
過酸の生成および分解反応の速度論的研究	(")
基礎測定	
赤外吸収の強度	(児島邦夫, 平野悦子)
電子計算機による双極子モーメントの計算	(児島邦夫)
ハロゲンおよび窒素の核四極共鳴吸収とその結合	(児島邦夫, 徳広 真)
自記式ラマン分光器の改良と強度測定	(")
マイクロ波吸収による種々の分子定数の決定	(児島邦夫)
高温における赤外放射スペクトル	(")
反射スペクトルの測定による赤外吸収強度の研究	(前田史朗)
薄膜試料による赤外吸収強度の研究	(")
赤外吸収強度と分子間相互作用に関する研究	(")
生産設備	
流動層内の伝熱に関する研究	(白井 隆)
流動層による昇華性物質蒸気の補集に関する研究	(")

円錐形かくはん流動層装置に関する研究	(白井 隆)
流動層による食品加工に関する研究	(白井 隆, 吉留 浩)
気泡塔に関する基礎的研究	(吉留 浩)
晶出装置に関する研究	(白井 隆, 吉留 浩)
計測制御(計測及制御)	
化学反応装置の自動制御の研究	(市川惇信, 平塚茂雄)
電気化学的方法による計測ならびに制御に関する研究	(水野 滋, 市川惇信, 春山志郎, 由良統吉)
電極現象の非定常時性に関する研究	(水野 滋, 春山志郎)
電気化学的回路素子に関する研究	(水野 滋, 由良統吉, 春山志郎)
ラジオアイソトープを応用する工程解析の研究	(水野 滋)
化学反応工程の品質管理に関する研究	(水野 滋, 由良統吉, 大場興一)
化学プロセスの計算機制御	(市川惇信, 平塚茂雄)
反応装置の最適化制御	(")
化工設計	
プロピレンの流動酸化によるオキサールアルデヒドの合成	(森川 清, 越後谷悦郎, 正井満夫)
固体酸触媒の構造と作用機能について	(越後谷悦郎)
微量接触反応装置によるキュメンの接触分解について	(森川 清, 越後谷悦郎)
液体流動層によるエチレンオキサールの重合反応	(")
オルトキシレンの直接酸化による無水フタル酸の製造	(")
リブデン触媒の形態と選択性について	(森川 清, 白崎高保)
固定層を用いる接触分解反応操作について	(森川 清, 越後谷悦郎)
流動層を用いる接触分解反応操作について	(")
移動層を用いる接触分解反応操作について	(")
流動層の接触効率向上について	(")
触媒の物理構造, 化合形態と選択的接触能について	(")
流動層ガス流れの微視的解析について	(森川 清, 白崎高保)
接触反応における触媒の有効係数について	(森川 清, 越後谷悦郎)
流動触媒層の速度論的解析について(流動状態と接触効率)	(")
流動層の接触効率向上について特にかくはんの影響	(")
芳香族炭化水素の接触還元反応について	(")
微量接触反応器による酸化反応の研究	(森川 清, 越後谷悦郎, 落合康額)
エチレンの直接接触酸化反応について	(越後谷悦郎)

東京工業大学精密工学研究所

Research Laboratory of Precision Machinery and Electronics,
Tokyo Institute of Technology.

設置年月日	昭和29年4月1日
所在地	東京都目黒区大岡山1番地 電話(726)1111番
目的	精密工学に関する学理及びその応用の研究
沿革	昭和14年12月28日 勅令第882号官立工業大学官制改正により東京工業大学に精密機械研究所が附置された。 昭和19年1月6日 勅令第9号官立工業大学官制改正により東京工業大学に電子工学研究所が附置された。 昭和29年3月22日 勅令第155号官立工業大学官制改正により電子工学研究所は電気科学研究所に改められた。 昭和29年3月31日 法律第16号国立学校設置法の改正により精密機械研究所と電気科学研究所とを整備統合して精密工学研究所に改められた。
所長	実吉 純一(任期昭和39.3.31~42.3.30) 事務長 長岡 伸章
職員数	教授12人, 助教授12人, 助手31人, 事務官9人, 技官6人, 雇傭人20人, 計90人
建物	建坪数 860坪 延坪数 1,441坪
刊行物	精密工学研究所所報(英文)(東京工業大学学報特別号)
予算	昭和37年度 83,496,359円 昭和38年度見込 75,700,000円
研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名	
電気回路(回路第一)(昭和29年度)	電気回路および振動回路に関する解析的および実験的研究が行なわれている。 森 栄司(助教授) 伊藤 勝彦(助手) 亀山 行雄(技官)
機械回路(回路第二)(")	高性能サーボ機構を得る目的で主として油圧および電気制御機器の基礎的(解析, 実験)研究および応用的研究が行なわれている。 池辺 洋(教授) 中野 和夫(助手) 松島 皓三(助手) 伊豆 恵次(技官)
精密電子要素(要素第一)(")	水晶振動子を中心とした電氣的精密要素の改良ならびに開発のための基礎研究が行なわれている。 福与 人八(教授) 吉江 弘(助手) 大浦 宣徳(助手)
精密機械要素(要素第二)(")	機械要素の性能向上を目的としてその解析ならびに設計, 測定, 工作について研

究されている。

石川 二郎(教授) 林 国一(助教授) 福田 康正(助手)

林 輝(助手) 富井 正男(助手)

電気計測(計測第一)(昭和29年度)

計測は、計測を行なおうとする情報を記録化する過程であり、従って同じく情報を処理するための電子演算、自動制御などと密接な関係がある。このため電氣的諸量の計測だけでなく、以上の基礎となる電子諸回路の研究も行なわれている。

粟屋 潔(教授) 安田 力(助教授) 斎藤 興治(助手)

山沢 潤三(技官)

機械計測(計測第二)(")

機械的計測に関する研究を目的としており、目下回析格子目盛機の基礎的研究、電磁分度板の研究が行なわれている。

中田 孝(教授) 豊山 晃(助教授) 武田 透(助手)

梅沢 清彦(助手)

精密機械用材料(材料)(")

機械構造材料としての鉄鋼材料について、その熱処理に関する研究および強靱鋼の開発研究が行なわれ、また衝撃、疲労をうける金属材料の破断挙動について実験的研究とその解析が行なわれている。

田中 実(教授) 漆原富士夫(助手) 山本 襄(助手)

布村 成具(助手) 小林 五郎(技官)

精密工作(精密工作第一)(")

精密工作法に関する基礎理論の解明とその応用が研究されている。

山本 晃(教授) 吉本 勇(助教授) 局 又太郎(助手)

玉川 忠男(技官)

精巧機構(精密工作第二)(昭和30年度)

機械構造物の強度設計に関する研究を目的としており、目下高速度回転するローダブレードなどの研究が行なわれている。

白鳥 英亮(助教授)

数値制御(昭和36年度)

デジタル回路技術を自動制御用の電子回路に応用して、より高度の制御動作を行なう回路の開発が研究されている。

宮田 房近(教授) 池辺 潤(助教授) 佐藤 拓栄(助手)

金崎 尹昭(助手)

超音波工学(昭和37年度)

超音波応用の進歩のために、諸現象の究明、新しい応用の開発、設計方法、計測方法などの研究が行なわれている。

実吉 純一(教授) 奥島 基良(助教授) 本岡 誠一(助手)

津田 米雄(技官)

振動工学(昭和38年度)

電子機器の振動、衝撃による性能寿命の低下と破損の防止、振動の絶縁方法、振動試験法の基礎的研究、振動衝撃の計測方法などの研究が行なわれている。

研究事項

電気回路(回路第一)

超音波溶接の研究 (森 栄司, 亀山行雄)

振り磁歪振動子の試作 (森 栄司, 伊藤勝彦)

振り振動伝送用ホーンの解析と設計 (")

超音波洗浄槽の工学的研究 (実吉純一, 森栄司, 伊藤勝彦)

超音波発生用振動子の動作特性に関する研究 (森 栄司)

金属材料の超音波高速疲労試験と機械的Qの測定 (")

金属材料加工への超音波振動の応用に関する研究 (")

超音波振動回路の動作特性ならびに設計に関する研究 (")

機械回路(回路第二)

倣いホブ盤の試作に関する研究 (池辺 洋)

回転形油圧サーボモーターの基礎的研究 (")

簡易サーボ弁の開発に関する研究 (")

原動機の種類と効率の制御に関する研究 (")

電気油圧式高周波発信機に関する研究 (池辺 洋, 中野和夫, 松島皓三)

サーボ弁並びに高速サーボ機構に関する基礎的研究 (池辺 洋, 中野和夫)

ノズルフラップ系の発振に関する研究 (中野和夫)

フィードバック制御による高精度親ねじ加工の研究 (池辺 洋, 松島皓三)

長周期振れ振動計に関する研究 (中田 孝, 松島皓三)

着動変圧器の動特性に関する研究 (松島皓三)

精密電子要素(要素第一)

円形 R₁ 板水晶振動子の振動の理論的研究 (福与人八, 大浦宣徳)

凸レンズ状水晶振動子の厚味振動理論 (福与人八, 横山 章, 大浦宣徳)

安定度10⁻¹⁰級の水晶発振器(周波数標準) (福与人八, 丹沢建紀平)

50サイクル水晶振動子ならびに発振器の研究 (")

水晶振動子の Unwanted Response の研究 (福与人八, 吉江 弘, 中沢光男)

高安定マイクロウェーブ共振器の研究 (福与人八, 依田達哉)

超小型高安定水晶振動子の試作 (福与人八)

水晶発振器を基準とする精密機械の電氣的計測法の研究 (")

電氣的高精度割出盤の試作 (")

精密機械要素(要素第二)

電氣的高精度割出盤の試作 (石川二郎, 富井正男)

精密小型歯車の研究 (")

歯車の測定に関する研究 (石川二郎, 林 輝, 富井正男)

工作機械用歯車に関する研究	(石川二郎, 林 国一)
歯切盤の精度向上に関する研究	(石川二郎, 福田康正)
大型歯車によるアンヂューレーションに関する研究	(林 輝)
自動車用変速歯車の研究	(石川二郎, 林 国一, 梅沢清彦)
電 気 計 測 (計測第一)	
演算基本回路	(粟屋 潔)
音流計とその応用	(")
高速高精度アナログ乗除算の ADA 変換回路の研究	(")
ADA 変換回路のトランジスタ化の研究	(")
水晶発振器を基準とする精密機械の電氣的計測法の研究	(")
機 械 計 測 (計測第二)	
超音波遅延線の研究	(粟屋 潔, 安田 力, 斎藤興治)
弾性振動子体をふくむ連成機械振動系の解析に関する研究	(安田 力)
倣いホブ盤の試作に関する研究	(中田 孝, 石田二郎)
高性能回折格子刻線機設計のための基礎的研究	(中田 孝, 武田 透)
精密小型歯車の研究	(中田 孝, 石川二郎)
精密機械用材料 (材 料)	
高純鉄鋼材に関する研究	(田中 実, 漆原富士夫, 鈴木朝夫)
鋼の熱処理に関する研究	(田中実, 漆原富士夫, 鈴木朝夫, 布村成具, 山本襄)
表面硬化処理鋼の残留応力に関する研究	(田中 実)
強靱工具鋼の研究	(")
衝撃曲げ破壊に関する研究	(")
鋼の窒化に関する研究	(")
高速疲労試験に関する研究	(田中 実, 布村成具)
金属及び合金の破断挙動に関する研究	(")
衝撃荷重波の伝播および検出に関する研究	(")
精 密 工 作 (精密工作第一)	
歯車の押抜き加工に関する基礎的研究	(山本 晃, 吉本 勇)
ねじのしまりばめに関する研究	(")
フィードバック制御による高精度親ねじ加工の研究	(山本 晃, 局 又太郎)
締付ねじの強度に関する研究	(吉本 勇)
精 巧 機 構 (精密工作第二)	
高速回転体の強度の研究	(白鳥英亮)
タービン翼根部の研究	(")
繰返し塑性ひずみ疲労の研究	(")
数 値 制 御	
ラチス構造を利用した端子構成法の研究	(宮田房近)
多数決回路による任意論理関数構成法の研究	(宮田房近)

数値制御工作機械の研究	(池辺 潤, 金崎尹昭)
乱数電圧を用いる積分演算回路の研究	(池辺 潤, 佐藤拓栄)
待合せ問題のシミュレータに関する研究	(")
超音波工学	
水中用電気音響変換器校正法の研究	(実吉純一, 奥島基良)
液中強音場測定用マイクロホンの研究	(")
水中用強力パルス音源の研究	(実吉純一, 奥島基良, 本岡誠一)
吸音材料の研究	(実吉純一, 奥島基良)
空中超音波用送受波器の研究	(実吉純一)
振 動 工 学	
附 属 施 設	
施 設 名	精密工学研究所機械工場 設置年月日 昭和29年4月1日
所 在 地	東京都目黒区大岡山1 東京工業大学構内
施 設 長	教授 山本 晃
業 務 内 容	研究において考案された諸機器, 実験装置などについて, かなり複雑なものまで試作している。 学部学生, 大学院学生などの研究用諸装置の試作および工作指導をあわせ行なっている。
施 設 名	精密工学研究所金属工場 設置年月日 昭和29年4月1日
所 在 地	東京都目黒区大岡山1 施 設 長 教授 田中 実
業 務 内 容	金属, 合金の溶解, 鋳造, 鍛造, 圧延, 伸線あるいは熱処理などの諸作業であって, 例えば材料の耐久性向上を目的とする工具鋼, 排気鋳造鋼材の試作およびその試験, 諸種の材料確性試験のための研究試材の調整または研究機械部品の製作などが行なわれている。
特殊施設, 設備	
二番取旋盤, アジャックスノースラップ式高周波炉 120HP, 高温高速回転試験装置, 万能測定機, アナログ電子計算機	

東京工業大学工業材料研究所

Tokyo Institute of Technology Research Laboratory
of Engineering Materials.

設置年月日	昭和33年4月1日
所在地	東京都目黒区大岡山1番地 電話 (726) 1111番 (代表)
目的	工業材料に関する学理及びその応用の研究
沿革	昭和9年2月 勅令第29号官制の改正により東京工業大学に建築材料研究所を附置 (統合母体)

昭和18年2月 勅令第52号官制の改正により東京工業大学に窯業研究所を附置(統合母体)

昭和24年5月 国立学校設置法(法律第150号)により、上記2研究所は、東京工業大学附置研究所となる。

昭和33年3月 国立学校設置法(法律第28号)の一部改正により、上記2研究所を合併して工業材料研究所設立

所 長 森谷太郎(任期昭和37.10.1~40.9.30) 事務長 片岡利正
職員数 教授6人、助教授6人、助手12人、事務官7人、技官6人、雇傭人9人、計46人

建物 建坪数 269坪 延坪数 713坪

刊行物 工業材料研究所要覧

予算 昭和37年度 44,884,000円 昭和38年度見込 63,768,000円

研究部門(設置年度)、研究目的、研究者氏名

基礎計測(材料物性第一)(昭和33年度)

工業材料に関する基礎的物性と計測に関する研究並びに高温反応とそれに関連する応用研究

清浦 雷作(教授) 佐多 敏之(助教授) 黒沼 春雄(助手)

伊藤 義孝(助手) 上西 義介(技官)

固体物理(材料物性第二)(")

工業材料の基本物質に関する固体物理学的研究並びに材料の物理的現象および材料の複合的物性とその応用に関する研究

後藤 一雄(教授) 龍谷 光三(助教授) 安藤 幸喜(助手)

佐藤 三平(助手) 鈴木 よし(技官)

無機焼成材料(無機材料第一)(")

主として焼成によって製造される無機材料に関し、その製造の理論、新しい製造方法の研究とその材料特性とを明らかにする研究

田賀井秀夫(教授) 近藤 連一(助教授) 毛利 純一(助手)

毛利 尚彦(助手)

無機溶融材料(無機材料第二)(")

主として溶融によって製造される無機材料に関し、その製造の理論、新しい製造方法の研究とその材料特性とを明らかにする研究

河嶋 千尋(教授) 斎藤 進六(助教授) 瀬高 信雄(助手)

宗宮 重行(助手) 吉永 善子(技官)

化学や金(特殊金属材料)(")

主として特殊金属の製造、性質に関する研究とそれに関連する化学や金

森谷 太郎(教授) 佐藤 正雄(助教授) 多田 彦二(助手)

宇都宮泰造(技官)

超高温材料(昭和38年度)

超高温を対象とする無機材料の製造および基礎的性質とその応用に関する研究を

行なう。

研究事項

基礎計測(材料物性第一)

原子炉用 UO_2 セラミックス核燃料の研究 (清浦雷作, 佐多敏之, 上西義介)

酸化物サーメットの基礎的研究 (")

耐熱性酸化物の焼結と高温における諸性質の研究 (")

V_2O_5 触媒の構造の研究 (清浦雷作, 黒沼春雄, 伊藤義孝, 上西義介)

高分子系磷酸塩の研究 (")

廃ガス及び廃水の除害と回収処理法の研究 (")

固体物理(材料物性第二)

工場生産鉄筋コンクリート用材の製造並びにその構法 (後藤一雄, 安藤幸喜)

軽量鉄骨材の応用に関する研究 (")

工場生産建築の材料及び構法の研究 (")

軽量金属屋根の構法(軽金属材料の応用) (")

補強アルミニウムの研究 (") (")

工場生産軽金属住宅の研究 (") (後藤一雄)

木構造 (")

高比重セメント製品の研究 (佐藤三平)

真空混合コンクリートの研究 (")

セメント製品の加熱養生に関する研究 (")

工業材料並びに構造体の熱伝播に関する研究 (龍谷光三)

低温における含湿材料の熱伝播に関する研究 (")

工業材料並びに構造体の湿気伝播に関する研究 (")

軽金属屋根葺材の熱的現象に関する研究 (")

特殊建築物の耐火、断熱材料に関する研究 (")

建物の結露現象に関する研究 (")

ダクト保温材の断熱特性に関する研究 (")

黒皮及び鋳鋼材の点溶接に関する研究 (龍谷光三, 小磯晴通)

量産用コンクリート製品養生施設に関する研究 (龍谷光三)

電波吸収壁の試作に関する研究(電波暗室の試作研究) (")

無機焼成材料(無機材料第一)

マグネシアクリンカーの製造に関する基礎的研究 (田賀井秀夫)

マグネシア中の酸化鉄の挙動(酸化雰囲気) (")

" (還元雰囲気) (")

ドロマイトクリンカーの耐浸蝕性に関する研究 (")

高温融液の分離に関する研究 (")

セメント化合物の研究 (")

セラミックスポンジの基礎的研究	(田賀井秀夫)
マグネシアセメントの研究	(")
ガラスの熱起電力の研究	(")
高炉セメントの研究	(田賀井秀夫, 近藤連一)
特殊セメントの研究	(")
アルミニウム珪瑯の研究	(田賀井秀夫)
クロム系耐火物の研究	(")
膨張セメントに関する鉱物化学的研究	(近藤連一)
膨張頁岩の鉱物組成と膨張過程	(")
気泡コンクリートに関する基礎研究	(")
溶融珪酸塩の粘性と表面張力	(")
CaO-SiO ₂ -Al ₂ O ₃ -H ₂ O 系のゲル物質に関する研究	(毛利純一)
CaO-SiO ₂ -Al ₂ O ₃ -H ₂ O 系の成分化合物に関する研究	(")
ポルトランドセメントの硬化機構の研究	(")
溶融マグネシアの研究	(")
セメント化合物溶融体の水和の研究	(")

無機溶融材料 (無機材料第二)

1. 耐熱材料に関する研究

プラズマジェット炎処理の超高温用耐熱材料の物性に及ぼす影響とその工学的応用に関する研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
セラミックコーティング及びリフラクトコーティング	(河嶋千尋, 斎藤進六, 瀬高信雄, 宗宮重行)
炎溶射による耐火物の被覆	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
ベーパーコーティングによる表面処理及び薄膜の製造	(河嶋千尋, 瀬高信雄)
TiC 系サーメットの微構造, 硬度, 機械的強度	(河嶋千尋, 斎藤進六)
TiC 系サーメットジェットブレードの製造	(")
ラバープレス (Hydrostatic-pressing) 装置の試作	(")
ホットプレス (Hot pressing) 装置の試作	(")
フラッシュシンタリング (Flash Sintering) による焼結	(")
純酸化物窯業品に関する研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
酸化物半導体に関する研究	(河嶋千尋, 瀬高信雄)
Oxide Resister に関する研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
M.H.D. 直接発電用耐熱チャンネル材料の研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 瀬高信雄, 宗宮重行)

2. 特殊窯業に関する研究

セラミック核燃料の焼結及び物性に関する研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
ジェットエンジン及びロケット用セラミックスの研究	(")
高温における熱伝導率の測定に関する研究	(")
高温における窯業材料の物性に関する研究	(")

噴霧乾燥による球状粉体の製造と特殊窯業品の製造に関する研究	(河嶋千尋, 斎藤進六, 宗宮重行)
BaTiO ₃ 系の強誘電材料の研究	(河嶋千尋, 瀬高信雄)
セラミック工具の製造に関する研究	(")
高酸素圧下の金属酸化物の生成及び平衡に関する研究	(斎藤進六, 宗宮重行)
セラミック絶縁電線の研究	(河嶋千尋, 瀬高信雄)

3. その他の研究

CaO-SiO ₂ 系保温材の研究	(河嶋千尋)
断熱材料及び耐火断熱レンガに関する研究	(")
軽量骨材に関する研究	(")
電子顕微鏡による粘土鉱物の形態的研究	(")
粘土鉱物の熱的性質の研究	(")
多孔質陶器 (特に電解用隔膜) の研究	(")
化学用陶磁器の研究	(")
フラン樹脂系耐蝕モルタルの研究	(")
硅肺症及び石綿肺の診断基準に関する基礎的研究	(")

化学や金 (特殊金属材料)

Li ₂ O-Al ₂ O ₃ -SiO ₂ 系ガラス結晶化に関する研究	(森谷太郎)
Devitroceramics に関する基礎的研究	(")
Devitroceramics の電気的性質に関する研究	(")
ガラスに関する基礎的研究	(")
希土類燐酸塩鉱物の総合的利用に関する研究	(佐藤正雄)
希土類フェライト単結晶製造とその物性に関する研究	(")
ジルコニウム利用に関する研究	(")
高純度金属硅素に関する研究	(")
融解塩電解によるチタン金属製錬に関する研究	(")
エレクトロ, テルミット, ウエルディングに関する研究	(")
化学反応速度論的基礎研究	(多田彦二)

超高温材料

附属施設

施設名 東京工業大学工業材料研究所附属工場
 設置年月日 昭和33年4月1日
 所在地 東京都目黒区大岡山1番地 電話 (726) 1111番 (代表)
 施設長 教授 森谷太郎
 業務内容 高度の各種試験機による材料の強度測定, 実験用機械器具の設計工作ならびに金属試験片の製作等

特殊施設, 設備

自動記録式ガイガーカウンター, X線回折装置, 電気炉, 同上用高性能自記温度調節装置, 自動記録式比熱示差熱分析装置, フラズマジェット装置

一橋大学経済研究所

The Institute of Economic Research, Hitotsubashi University.

設置年月日 昭和17年2月5日
所在地 東京都北多摩郡国立町国立185番地 電話 国立 (0425) 7-1101番
目的 日本及び世界の経済の総合研究
沿革 昭和15年4月 東京商科大学調査部を母体として東亜経済研究所を設立
昭和17年2月 官立商科大学官制(勅令第70号)の改正により附置研究所となる。
昭和21年3月 勅令第115号により経済研究所と改称
昭和24年5月 国立学校設置法により一橋大学附置経済研究所となる。
所長 伊大知 良太郎(任期昭和38.2.1~40.1.31) 事務長 後藤 政勝
職員数 教授10人, 助教授11人, 講師3人, 助手6人, 事務官8人, 技官1人, 雇
傭人16人, 計55人
敷地 726坪 建物 建坪数 227坪 延坪数 726坪
刊行物 経済研究, 経済研究双書, 経済研究双書(欧文), 新着資料目録, 特殊文献目録
予算 昭和37年度 43,501,368円 昭和38年度見込 76,086,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

日本経済第一(昭和17年度)

わが国の長期的経済成長および資本蓄積過程の統計的, 理論的研究
大川 一司(教授) 松川 七郎(兼教授) 梅村 又次(助教授)
伊東 政吉(兼助教授) 倉林 義正(兼助教授) 南 亮進(助手)

日本経済第二()

日本経済の産業構造および景気循環の統計的, 理論的研究
伊大知良太郎(教授) 高橋長太郎(兼教授) 山田 勇(兼教授)
篠原三代平(兼教授) 藤野正三郎(助教授) 江見 康一(講師)
溝口 敏行(兼助手)

アメリカ経済()

アメリカ経済の発展過程ならびに現状に関する歴史的ならびに分析的研究
小原 敬士(教授) 都留 重人(兼教授) 伊藤 政吉(助教授)
佐藤 定幸(兼助教授) 本田 創造(兼助教授) 津田 内匠(兼講師)

ソ連経済()

ソビエト経済の発展過程を分析し現状の歴史的研究
野々村一雄(教授) 岡 稔(助教授) 宮鍋 幟(講師)

イギリス経済(昭和27年度)

イギリス英国経済の史的展開と現状ならびにヨーロッパ, アフリカ, アジアとの連
関の研究

大野精三郎(教授) 高橋長太郎(兼教授) 山田 秀雄(併教授)
高須賀義博(助手)

中国・東南アジア経済(昭和29年度)

中国および東南アジアの諸統計を吟味し, その基礎の上に経済開発のメカニズムに
関する分析

都留 重人(教授) 大川 一司(兼教授) 石川 滋(併教授)
山田 秀雄(併教授)

国民所得・再生産(昭和17年度)

国民所得の構成の関する統計的, 理論的研究と再生産の構造に関する研究
高橋長太郎(教授) 都留 重人(兼教授) 野々村一雄(兼教授)
篠原三代平(兼教授) 大野精三郎(兼教授) 倉林 義正(助教授)
岡 稔(兼助教授) 佐藤 定幸(兼助教授) 藤野正三郎(兼助教授)
細谷 新治(講師) 宮鍋 幟(兼講師) 宇津木 正(助手)
高須賀義博(兼助手)

統計学()

統計学の研究と統計方法の経済現象への応用, とくに日本経済への応用
山田 勇(教授) 伊大知良太郎(兼教授) 梅村 又次(兼助教授)
江見 康一(兼講師) 溝口 敏行(助手) 南 亮進(兼助手)

学説史・経済史(古典)(昭和24年度)

近世以降における経済学説および各国経済の歴史的発展を明らかにし, それぞれの
現状を評価し将来を展望するための研究

松川 七郎(教授) 小原 敬士(兼教授) 大野精三郎(兼教授)
山田 秀雄(併教授) 本田 創造(助教授) 津田 内匠(講師)
宇津木 正(兼助手)

国際経済機構(昭和36年度)

国際連合傘下およびその他の諸国際経済機構を調査研究し, それらの国際経済およ
び日本経済におよぼす影響等の調査研究

篠原三代平(教授) 都留 重人(兼教授) 石川 滋(併教授)
佐藤 定幸(助教授)

研究事項

日本経済第一

日本経済の成長と資本蓄積

1. 日本経済の成長に関する総合化
2. 消費支出の長期推計
3. 資本形成, 労働力, 労働工業生産の長期推計
4. 国民所得勘定の体系の設計
(大川一司, 松川七郎, 梅村又次, 伊東政吉, 倉林義正, 南 亮進)

日本経済第二

1. わが国における地域経済構造の動態的研究
2. 法人企業統計個票
の分析

(伊大知良太郎, 高橋長太郎, 山田 勇, 篠原三代平, 藤野正三郎)

江見康一，溝口敏行)

アメリカ経済

- 1. アメリカにおける独占禁止政策
- 2. アメリカの金融政策
- 3. アメリカ経済の産業構造変化の研究
- 4. アメリカ南部奴隷社会の経済機構 (小原敬士，都留重人，伊東政吉，佐藤定幸，本田創造，津田内匠)

ソ連経済

- 1. ソビエト経済統計資料の検討整備
- 2. ソビエト経済現状分析
- 3. ソビエト経済学の動向調査 (野々村一雄，岡 稔，宮鍋 幟)

イギリス経済

- 1. イギリス独占資本主義の諸問題
- 2. Commonwealth Economy 研究 (大野精三郎，高橋長太郎，山田秀雄，高須賀義博)

中国・東南アジア経済

- 1. アジア経済の不安定性の研究
- 2. アジア・アフリカ地域経済開発の比較研究 (都留重人，大川一司，石川 滋，山田秀雄)

国民所得・再生産

- 1. 国民所得計算における固定資本財，在庫品，金融資産の理論的・実証的研究
- 2. 再生産表式の新展開の研究 (高橋長太郎，都留重人，野々村一雄，岡 稔，佐藤定幸，倉林義正，細谷新治，高須賀義博)

統計学

- 1. 日本経済における恒常的關係の検出
- 2. 日本経済のエコノメトリック，モデルの作成
- 3. 階層別消費者物価の研究
- 4. 生産性指数の研究 (山田 勇，伊太知良太郎，梅村又次，江見康一，溝口敏行，南 亮進)

学説史・経済史(古典)

- 1. 古典派経済学における方法に関する研究
- 2. 18—19世紀のドイツおよびフランスにおけるイギリス古典派経済学 (松川七郎，大野精三郎，津田内匠，宇津木正)

国際経済機構

- 1. 国際諸経済機関の果している役割
- 2. 国際諸経済機関による調査活動の現況
- 3. 経済開発の比較研究 (都留重人，篠原三代平，石川 滋，佐藤定幸)

附属施設

施設名 一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター

設置年月日 昭和38年

所在地 東京都北多摩郡国立町国立 185 番地

施設長 教授 伊太知 良太郎

業務内容 日本経済統計文献の公開利用

特殊施設，設備

I. B. M 会計装置，電子計算機 (パロース E101 型)

金沢大学結核研究所

The Research Institute of Tuberculosis, Kanazawa University.

設置年月日 昭和17年3月23日

所在地 金沢市土取場永町15番地 電話 (2) 5478番, (3) 4101番

目的 結核の予防及び治療に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和16年1月21日 金沢医科大学附属結核研究施設

昭和17年2月23日 金沢医科大学結核研究所

昭和24年5月31日 国立学校設置法一部改正により金沢大学附置結核研究所となる

所長 石崎 有 信 (任期昭和37.7.1~39.6.30) 事務長 小嶋木久雄

職員数 教授5人，助教授5人，助手13人，事務官5人，雇傭人21人，計49人

敷地 809坪 建物 建坪数 217坪 延坪数 310坪

刊行物 結核研究所年報

予算 昭和37年度 66,300,690円 昭和38年度見込 75,626,500円

研究部門 (設置年度)，研究目的，研究者氏名

薬 理 (昭和17年度)

結核並びに癌に対する生体防御機構に関する研究

伊藤 亮 (教授) 吉村 政弘 (助教授) 秋山万里子 (助手)

蕪城外枝子 (助手)

細菌免疫 (")

結核の免疫並びに細菌の薬剤耐性に関する研究

柿下 正道 (教授) 松田 知夫 (助教授) 福山 裕三 (助手)

化 学 (")

細菌毒素ならびに制癌に関する研究

越村 三郎 (教授) 越浦 良三 (助教授) 清水 隆作 (助手)

病態生理 (昭和38年度)

放射線と生体免疫機構の関連性及び免疫的寛容の応用的研究

西東 利男 (教授) 小西 健一 (助教授) 越沢みち子 (助手)

佐藤 次雄 (助手)

臨 床 (昭和22年度)

結核化学療法の基礎的並びに臨床的研究，肺結核に対する外科的療法の研究，結核症の物質代謝の研究，肺循環障害の実験的並びに臨床的研究，肺の電子顕微鏡的研究，腫瘍の組織培養に関する研究，悪性腫瘍の早期発見に関する研究

水上 哲次 (教授) 村沢 健介 (助教授) 高田 英之 (助手)

村上 尚正 (助手) 岩倉 衛 (助手) 上原 時雄 (助手)

高野利一郎 (助手) 大滝 武雄 (技 官)

研究事項

薬理

結核菌の毒素（ツベルクリン）等に関する研究
血清中のタンニン酸処置，赤血球凝集因子に関する研究
結核菌並びに癌細胞の薬物処置による免疫生物学的性状の影響についての研究
（伊藤 亮，吉村政弘，秋山万里子，蕪城外枝子）

細菌免疫

結核における免疫学的並びに細菌学的研究
オルトアミノフェノールアゾツベルクリンの実用化に関する研究
細菌の薬剤耐性に関する研究
非定型抗酸菌に関する研究
（柿下正道，松田知夫，福山裕三）

化学

核酸および溶連菌溶血毒素 Streptolysin-S の生物学的ならびに生化学的研究
溶連菌における核酸効果にもとづく実験的制癌研究
（岡本 肇，越村三郎，越浦良三，清水隆作，氏家俊光）

病態生理

抗体産生機構に関する研究
放射線障害に関する研究（特にその血清学的背景について）
免疫学的寛容に関する研究
結核免疫に関する研究（特に感作血球免疫を中心に）
（西東利男，小西健一，越沢みち子，佐藤次雄）

臨床

結核化学療法の基礎的並びに臨床的研究
肺結核に対する外科的療法の研究
結核症の物質代謝の研究
肺循環障害の実験的並びに臨床的研究
肺の電子顕微鏡的研究
腫瘍の組織培養に関する研究
悪性腫瘍の早期発見並びに外科的治療に関する研究
生体防御を中心とした発癌と制癌に関する研究
（水上哲次，村沢健介，高田英之，村上尚正，岩倉 衛，上原時雄）

附属施設

施設名 金沢大学結核研究所附属病院 設置年月日 昭和38年10月1日
所在地 金沢市泉本町×130の1番地 施設長 教授 水上哲次
業務内容 1. 結核の予防及び治療に関する学理並びにその応用の研究
2. 制癌に関する実験的研究
病床数 42床

敷地 1,225坪 建物 延坪数 407坪
職員数 事務官7人，技官6人，雇傭人19人，計32人
特殊施設，設備

X線発生装置（平面発生装置）
低温実験室，超遠心機（日立40P型）
自動計数装置

名古屋大学環境医学研究所

The Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University.

設置年月日 昭和21年3月29日
所在地 名古屋市千種区不老町 電話 (78) 2111番
目的 環境医学に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和18年1月 名古屋帝国大学航空医学研究所(母体)官制(勅令第58号)公布により設立
昭和21年3月 環境医学研究所官制(勅令第174号)の公布により名古屋帝国大学に附置
昭和24年5月 国立学校設置法(法律第150号)により名古屋大学附置研究所となる。

所長 本林 富士郎(任期昭和38.3.31~40.3.30) 事務長 伊藤 邦比古
職員数 教授5人，助教授5人，助手10人，事務官5人，技官3人，雇傭人18人，計46人

敷地 1,497坪 建物 建坪数 321坪 延坪数 513坪
刊行物 環境医学研究所年報, Annual Report of the Research Institute of Environmental Medicine.

予算 昭和37年度 43,167,214円 昭和38年度見込 48,901,000円

研究部門(設置年度)，研究用途，研究者氏名

神経・感覚(病理疾患)(昭和21年度)

気象の変化が人間に与える影響，またどのような気象の変化が影響力を持つかを明らかにし人間生活における最適な気象条件の設定に資する。

柏木 力(助教授) 鈴村 昭弘(助教授) 飯田 克平(助手)
三輪 武次(助手) 谷口 正子(技官)

代謝・内分泌(食養学)(")

環境の諸変化の生体に与える影響を代謝活動とその調節機転の面から主として生化学的方法により研究する。

石原 一郎(教授) 小森 義隆(助教授) 横尾百合子(助手)
丸山 徳美(助手) 菊田 信子(技官) 池田 靖子(技官)

呼吸・循環(気象医学)(")

環境変化の呼吸循環器系に及ぼす影響を電気生理学的立場から研究する。
豊嶋 英雄(教授) 山田 和生(助教授) 坂井田幸雄(助手)
堀場 希次(助手)

病理・胎生(職業性疾患)(昭和21年度)

放射線低圧によるD₂欠乏などが生体に及ぼす影響を研究するためにそれらの環境的作因が胎児の発育に及ぼす影響を見ている。

村上 氏広(教授) 竹原 一雄(助教授) 千葉 胤孝(助手)
亀山 義郎(助手)

航空医学(昭和34年度)

航空宇宙医学の一端として生理学的、心理学的実験研究を行なう。

本林富士郎(教授) 神田 善吾(併教授) 後藤 修二(併教授)
横瀬 善正(併教授) 御手洗玄洋(助教授) 安藤 滋(助手)
杉本 助男(助手)

研究事項

神経・感覚(地理疾患)

気象病発生に関する気象条件の実験的研究

気象変動に対する自律神経系の反応の研究

気象変動時における細胞透過性の問題

動体視力および視野の研究

照明と疲労 (柏木 力, 鈴木昭弘, 飯田克平, 三輪武次, 谷口正子)

代謝・内分泌(食養学)

環境刺激を伝達する神経内分泌機構に関する生化学的研究

環境と代謝波動に関する研究

代謝調節物質の分光、蛍光測定に関する研究

(石原一郎, 小森義隆, 横尾百合子, 丸山徳美, 菊田信子, 池田靖子)

呼吸・循環(気象医学)

内外環境の変化時における循環器系の態度について

電解質と細胞膜電位との関係

心電図STTの臨床病理的意義に関する研究

(豊嶋英雄, 山田和生, 坂井田幸雄, 堀場希次,)

病理・胎生(職業性疾患)

低圧による発生障害の研究

放射線が生体に及ぼす影響の研究

温度変化が発生に及ぼす影響の研究

職業性疾患の研究(けい肺の発生についての研究)

体液遊離アミノ酸の個体差と環境における変動の研究

(村上氏広, 竹原一雄, 千葉胤孝, 亀山義郎)

航空医学

低圧下における脳機能の研究

航空疲労の早期発見方法の研究

低圧時における脳機能の電気生理学的研究

(本林富士郎, 御手洗玄洋, 神田善吾, 後藤修二, 横瀬善正, 安藤 滋
杉本助男)

特殊施設, 設備

低圧低温実験装置, 総合実験動物飼育管理舎, 閉鎖環境実験装置

名古屋大学空電研究所

The Research Institute of Atmospheric, Nagoya University.

設置年月日 昭和24年5月31日

所在地 愛知県豊川市市田町下中野68番地 電話 豊川 2502, 2503番

目的 空電に関する学理およびその応用の研究

沿革 昭和22年 名古屋大学に空電研究講座を設置

昭和24年5月 国立学校設置法により名古屋大学附置空電研究所として設立

所長 金原 淳(任期昭和36.11.1~39.10.31) 事務長 井上次郎

職員数 教授4人, 助教授4人, 助手7人, 事務官5人, 技官3人, 雇傭人20人,
計43人

敷地 56,806坪 建物 建坪数 1,218坪 延坪数 1,218坪

刊行物 空電研究所報告, Proceedings of the Research Institute of Atmospheric,
Nagoya University.

予算 昭和37年度 48,541,627円 昭和38年度見込 61,305,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

空電観測法(昭和24年度)

VLF帯電磁波の遠距離伝播, ELF帯電磁波の性質, 空電の性質の通信におよぼす妨害軽減方法, 低域電離層および衝撃性電波の解明のため空電の波形, ELF帯空電, 雑音の統計的性質, 電波予報への応用, 異常現象および各種周波数の強度測定法を研究する。

金原 淳(教授) 佐尾 和夫(助教授) 鎌田 哲夫(助教授)

仲井 猛敏(助手) 熊谷 享子(助手)

空電源(空電の気象)(")

空電の発生機構を解明するため雷雨その他気象現象の各種性質を光学的, 電磁気学的に研究をする。

石川 晴治(教授) 高木 増美(助教授) 竹内 利雄(助手)

岩田 晃(助手)

太陽電波・宇宙電波(太陽雑音・空電伝播)(昭和27年度)

太陽およびの銀河の構造と太陽の地球に及ぼす影響を解明するために太陽電波, 銀

河電波の観測およびその理論的研究を行なう。

田中 春夫(教授) 柿沼 隆清(助教授) 山下 崇(助手)

ホイッスラー空電(昭和37年度)

超高層大気の物理的性質の解明のため、ホイッスラー空電の観測および伝播、VLF放射の観測および発生機構、超高層大気電子密度分布とその変動およびこれらの諸現象と太陽活動ならびに他の地球物理学的諸現象との関連性に関する理論的研究をする。

岩井 章(教授) 大津 仁助(助教授) 田中 義人(助手)

研究事項

空電観測法

空電による長波伝播の研究 (金原 淳, 佐尾和夫, 熊谷享子)

空電雑音の統計的性質の研究 (金原 淳, 仲井猛敏)

空電による通信妨害に関する研究 (")

空電の波形に関する研究 (金原 淳, 佐尾和夫, 熊谷享子)

電波伝播異常現象の研究 (金原 淳, 鎌田哲夫)

空電の電界強度に関する研究 (")

空電の周波数スペクトルに関する研究 (金原 淳, 佐尾和夫, 岩井 章, 鎌田哲夫)

ELF帯空電の研究 (金原 淳, 佐尾和夫, 熊谷享子)

空電源(空電の気象)

雷放電機構の研究 (石川晴治, 高木増美, 竹内利雄)

空電発生機構の研究 (")

太陽電波・宇宙電波(太陽雑音・空電伝播)

太陽電波および宇宙電波に関する研究 (田中春夫, 柿沼隆清, 山下 崇)

ホイッスラー空電

ホイッスラーおよびVLF放射の研究 (金原 淳, 岩井 章, 大津仁助, 田中義人)

空電の周波数分析に関する研究 (")

空電の方位測定ならびに方位誤差に関する研究 (")

附属施設

施設名 名古屋大学空電研究所附属工作室

設置年月日 昭和24年5月31日

所在地 豊川市市田町下中野68番地

施設長 教授 田中 春夫

業務内容 各部門それぞれの研究計画にもとづき観測用および研究用諸機器の製作、修理、加工を行なう。

施設名 名古屋大学空電研究所母子観測室

設置年月日 昭和37年11月11日

所在地 北海道雨竜郡幌加内町字母子里

施設長 教授 岩井 章

業務内容 ホイッスラーおよびVLF放射の観測

特殊施設, 設備

移動観測車, 超短波無線電話装置, ホイッスラー観測装置, 空電電界強度測定機, 長波空電強度周波数スペクトル装置, 太陽電波源探査装置, 太陽電波強度および偏波受信装置, 太陽電波動的スペクトル観測装置, 空電雑音スペクトル測定装置, VLF放射観測装置, 空電雑音統計量測定装置

京都大学化学研究所

Institute for Chemical Research, Kyoto University.

設置年月日 大正15年10月4日

所在地 京都市左京区吉田本町京都大学内 電話(77)8111番 内線910番

目的 化学に関する特殊事項の学理及びその応用の研究

沿革 大正4年8月 京都帝国大学理科大学附属として特別化学研究所設置

大正15年10月 勅令第313号をもつて化学研究所官制が公布され化学研究所を京都帝国大学に附置

昭和24年5月 国立学校設置法により京都大学附置研究所となる。

昭和35年3月 放射性同位元素総合研究室を設置

所長 後藤 廉平(任期昭和36.12.4~39.12.3)

事務長 石本 弥一 事務長補佐 滝野 英愷

職員数 教授16人, 助教授15人, 講師2人, 助手50人, 事務官15人, 技官16人, 雇傭人89人, 計203人

敷地 8,820坪 建物 建坪数 2,235坪 延坪数 3,372坪

刊行物 Bulletin of the Institute for Chemical Research, Kyoto University.

予算 昭和37年度 162,852,730円 昭和38年度見込222,066,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

原子核反応(昭和31年度)

核構造並びに核子の相互作用を解明するために λ 線及び β 線物理学の実験研究を行なう。

清水 栄(教授) 久寿米木朝雄(助教授) 中山 康之(助手)

平田 治義(技官)

核放射線(物質の熱的性質)(昭和20年度)

原子核の諸性質を解明するためにサイクロトロンを用いて核反応の研究を行なう。

放射性同位元素に関する基礎資料をうるための研究を行なう。

サイクロトロン安定条件を解明する。

木村 毅一(併教授) 湯川 秀樹(併教授) 石割隆太郎(助教授)
小亀 淳(助手) 山下 佐明(助手) 三宅 弘三(助手)
福永 清二(助手) 松尾 茂(助手) 富士田浩一(技官)

放射化学(昭和31年度)

放射性核種の化学的挙動ならびに極微量物質の化学について研究する。

重松 恒信(教授) 柳父 琢治(助教授) 田伏 正之(助手)
松井 正和(助手) 大嶋 良子(技官)

コロイド化学(膠質油脂)(昭和8年度)

界面活性の物理的意義を解明するために界面活性物質の赤外線吸収スペクトルを測定する。

後藤 廉平(教授) 渡辺 昌(助数授) 竹中 亨(助手)
吐山 尚美(助手) 林 宗市(助手) 竹中 フク(技官)
南井 喜一(技官)

粉体化学(非平衡反応)(昭和16年度)

粉体に関する基礎的研究として粉体粒子の生成機構, 粉体の物性および粒度測定などの研究を行なう。

水渡 英二(数授) 植田 夏(助教授) 荒川 正文(助手)
塩尻 詢(助手) 小原 正義(技官)

電気材料(昭和19年度)

電気工学, 電子工学において現在ならびに将来必要とされる材料を開発するために誘電体, 半導体, 磁性体等よりなる材料の製法, 物性, 応用法などにつき研究を行なう。

田中 哲郎(教授) 川端 昭(助数授) 猪口 敏夫(助手)
豊田 耕一(助手) 南井 喜一(技官)

窒業化学(昭和14年度)

ガラス構造の究明および新種ガラス材料の開発のための基礎的研究を行なう。

田代 仁(教授) 作花 濟夫(助教授) 小久保 正(助手)
牧 俊夫(助手) 玉城 国造(技官)

磁性体(工業用及工芸用合金)(昭和4年度)

金属凝固の問題を解明するために金属単結晶の成長条件とその下部組織との関係を研究する。

高田 利夫(教授) 高木 秀夫(併教授) 小山 昌重(助手)
前田 繁男(助手) 辻井 芳一(技官)

有機単位反応(基礎有機化学)(昭和18年度)

高分子化合物の原料となる各種単量体の合成研究

国近 三吾(数授) 岡 信三郎(助教授) 榊原 保正(助手)
鈴木 仁美(助手) 津田千恵子(技官) 池上 紀子(技官)

高圧化学(液体燃料)(昭和12年度)

気相遊離基反応の機構を解明するための物理化学的研究

高圧を用いる有機合成反応の理論及び応用を目的とする1,000気圧附近のガス反応の研究

竹崎 嘉真(数授) 杉田 信之(助手) 湯浅 幸雄(助手)

石油化学(昭和33年度)

石油化学の基礎ならびに応用研究を目的として有機化学的実験研究を行なう。

市川 克彦(教授) 伊藤 修(助手) 須天 正和(助手)
藤田 幸一(技官)

繊維化学(合成繊維)(昭和18年度)

合成繊維の製造および繊維性能, 繊維の化学加工に関する研究を行ない, 新しい合成繊維の発展や繊維性の向上を図る。

辻和 一郎(教授) 桜田 一郎(併教授) 平林 清(助教授)
北丸 竜三(助教授) 玉村 秀(助手) 細野 正夫(助手)
木村 藤子(助手) 門野 順子(技官)

高分子物性(人造繊維)(昭和12年度)

人造繊維の品質を向上させるため, 各種人造繊維の原料, 高分子物質の固体および溶液状態での物性を研究する。

稲垣 博(教授) 堀尾 正雄(併教授) 小林恵之助(助教授)
山下 末雄(助手) 松尾斗伍郎(助手) 小高 忠男(助手)
田畑 嘉重(技官) 中沢 淳(技官) 薬師寺 操(技官)

高分子構造(ゴム及樹脂)(昭和14年度)

ゴム, 樹脂をはじめとする高分子物質の物性を解明するための物理化学的研究を行なう。

倉田 道夫(教授) 小田 良平(併教授) 宍戸 圭一(併教授)
岡野 正弥(助教授) 谷本 重夫(助手) 山本 隆造(助手)
内山 敬康(助手) 木原 澄子(技官)

酵素化学(植物酵素)(昭和4年度)

極性液体および溶液の構造を解明するためにこれらの系の誘電的および分光学的研究を行なう。

界面の電気化学的性質を研究するために界面電気容量を測定する。

小泉 直一(教授) 辻 福寿(助手) 花井 哲也(助手)

植物化学(除虫菊及薄荷油)(昭和19年度)

ピレトリン類中類Ⅱ類の合成, 類縁化合物の合成植物成分の香・味の合成等, 主として立体構造と生理活性の関係の究明を行なう。

大野 稔(教授) 井上 雄三(助教授) 杉田 利夫(助手)
畑中 顕和(助手) 油小路栄子(技官)

微生物化学(特殊発酵)(昭和19年度)

微生物の行なう生化学的反應についての研究と新しい発酵生産物の検索を行なう。

山本 竜男(教授) 池宮 正行(助手) 大隅 孝治(助手)

刈谷 泰弘(助手) 平沢 敏子(技官)
生理活性(化学療法)(大正15年度)
各種薬物の薬理学的性質を解明するために特に中枢性薬物の合成とその薬理作用を研究する。

藤田 栄一(教授) 鈴木 友二(併教授) 杉井 通泰(助教授)
藤村 一(助教授) 山川 豊(助手) 平沢 登代(技官)

分子生物学(細菌及線状菌)(昭和4年度)
ビタミンの代謝(生合成及び分解)系路を解明するために細菌及び線状菌を用いて酵素学的に終末代謝産物、中間代謝産物を取り出し代謝酵素を精製する。

早石 修(併教授) 鈴江緑衣郎(助手)

放射性同位元素総合研究室

速水 醇一(助手) 尾形 強(助手)

原子核科学研究室

植村 吉明(助教授) 山下 佐明(助手) 福永 清二(助手)

研究事項

原子核反応

γ 及び β 線放射に関する研究 (清水栄, 中山康之, 平田治義)
 β 線崩壊に関する研究 (清水栄, 久寿米木朝雄, 中山康之)
陽電子に関する研究 (清水栄, 中山康之, 久寿米木朝雄)
光中間子の発生機構に関する研究 (清水栄, 久寿米木朝雄)
核放射線の測定器の開発 (清水栄, 中山康之, 片野林太郎)
放射性同位元素の応用に関する研究 (清水栄, 平田治義, 片野林太郎)

核放射線(物質の熱的性質)

原子核物理学に関する実験的研究, 主としてサイクロトロンによる研究
(木村毅一, 石割隆太郎, 小亀淳, 隈部功, 武藤二郎,
柳父琢治, 山下佐明, 福永清二, 三宅弘三, 丸森寿夫)

放射性同位元素の製造法の研究 (植村吉明, 福永清二, 富士田浩一)

サイクロトロン加速器並びに附属装置の研究
(植村吉明, 福永清二, 富士田浩一, 山下佐明, 小亀淳)

原子核分光学の理論的研究 (湯川秀樹, 松尾茂, 鳴海元)

核と電子の相互作用に関する研究 (")

中間子原子のスペクトルの理論的研究 (")

中間子を触媒とする核融合反応に関する研究 (")

プラズマのスペクトル理論 (")

放射化学

放射性同位元素の製造及び分離精製法に関する研究
(重松恒信, 柳父琢治, 田伏正之, 山本勇麓, 原 正)

放射性同位体による分析化学並びに地球化学の研究
(重松恒信, 田伏正之, 山本勇麓, 原 正, 東慎之介)

放射線化学に関する研究 (重松恒信, 山本勇麓)

コロイド化学(膠質油脂) (後藤廉平, 吐山尚美)

界面活性に関する研究 (後藤廉平, 吐山尚美, 平井西夫)

膠質分散系の流動論的研究 (後藤廉平, 吐山尚美, 平井西夫)

赤外線吸収による分子構造及び界面化学の研究 (後藤廉平, 竹中亨, 林宗市)

粉体化学(非平衡反応)

膠質系の電子回折及びX線回折による結晶学的研究
(水渡英二, 植田夏, 荒川正文, 塩尻詢, 小原正義)

電子顕微鏡の化学への応用研究 (水渡英二, 植田夏, 荒川正文)

粉体化学に関する基礎並びに応用研究 (水渡英二, 荒川正文)

接触触媒作用に関する研究 (水渡英二, 植田夏, 荒川正文)

薄膜の物性に関する研究 (水渡英二, 植田夏, 塩尻詢)

電気材料

強誘電性材料の研究 (田中哲郎, 川端昭)

強磁性材料の研究 (")

半導体材料の研究 (田中哲郎, 猪口敏夫)

電気材料に対する放射線効果の研究 (田中哲郎, 豊田 耕)

電気機械音響変換素子に関する研究 (田中哲郎, 南井 喜)

窯業化学

ガラス構造の研究 (田代仁, 作花济夫)

ガラス結晶化現象の研究 (田代仁, 作花济夫, 小久保正, 牧俊夫)

窯業材料の成形に関する研究 (梅屋薫, 玉城国造)

磁性体(工業用及工芸用合金)

強磁性金属および酸化物粉体に関する研究 (高田利夫)

金属単結晶の下部組織の研究 (小山昌重, 前田繁男)

磁気化学の研究 (高木秀夫, 雑賀亜幌)

有機単位反応(基礎有機化学)

プロピレン及びイソブチレンの酸化に関する研究 (国近三吾, 岡信三郎)

プロピレンからメタアクリレート合成の研究 (国近三吾, 榊原保正)

アセチレンとプロピレンからイソプレンの合成研究 (国近三吾, 鈴木仁美)

アセトニトリルの反応性に関する研究 (国近三吾, 津田千恵子)

高圧化学(液体燃料)

気相遊離基反応の機構に関する研究 (竹崎嘉真)

ポリオレフィン合成に関する研究 (竹崎嘉真, 福井謙一)

一酸化炭素あるいはアンモニア及びアルコール誘導体を原料とする

高圧合成化学に関する研究 (竹崎嘉真, 杉田信之, 湯浅幸雄)

石油化学

石油系炭化水素より各種単量体の合成研究 (市川克彦, 藤田幸一, 伊藤修)

有機接触反応の研究 (")

有機金属化合物に関する研究 (市川克彦, 藤田幸一, 伊藤 修)

石油化学工業上重要な立体特異性高分子類の合成と構造に関する研究 (竹崎嘉真)

繊維化学 (合成繊維)

合成繊維の製造並びに品質向上に関する研究 (辻和一郎, 北丸竜三)

高分子特に繊維の性能に関する研究 (辻和一郎, 北丸竜三, 今井政三, 門野順子)

繊維の化学化工に関する研究 (")

高分子化学に関する研究 (桜田一郎, 細野正夫)

合成繊維に関する研究 (桜田一郎, 北丸竜三)

重合反応に関する研究 (桜田一郎, 岡村誠三)

繊維の微細構造に関する研究 (平林清, 玉村秀)

高エネルギー放射線の高分子に対する応用 (桜田一郎, 岡村誠三, 木村藤子)

高分子物性 (人造繊維)

超遠心法の開拓研究 (稲垣博, 小高忠男)

結晶性高分子溶液の熱力学的研究 (稲垣博, 松尾斗伍郎)

高分子末端基の溶液論的研究 (")

パルプに関する基礎的並びに中間規模研究 (堀尾正雄, 山下末雄)

ビスコース及びアセテート人造繊維の製造工程並びに品質改善に関する研究 (")

合成繊維の溶融紡糸に関する研究 (")

電子顕微鏡による高分子固体の微細構造に関する研究 (小林恵之助)

超高圧電子顕微鏡の試作研究 (")

高分子構造 (ゴム及樹脂)

高分子溶液の物理化学的研究 (倉田道夫, 内山敬康)

レオロジーに関する研究 (")

核酸の二次構造に関する研究 (")

重縮合, 重附加の新しい例を研究しこれを高分子化合物の合成に応用する研究 (小田良平, 岡野正弥)

新附加反応の基礎的研究 (小田良平, 岡野正弥, 谷本重夫)

有機金属化合物を触媒とするオレフィン, ジオレフィンの重合に関する研究 (古川淳二, 三枝武夫)

アルキレンオキンド及びアルデヒドの高重合に関する研究 (")

酵素化学 (植物酵素)

誘電緩和に関する研究 (小泉直一, 花井哲也, 辻福寿)

誘電特性の分子構造的な研究 (")

植物化学 (除虫菊及薄荷油)

除虫菊有効成分の合成に関する研究 (大野稔, 井上雄三, 杉田利夫)

除虫菊有効成分類縁化合物の合成に関する研究 (大野稔, 井上雄三)

不斉合成とその立体経路に関する研究 (井上雄三, 杉田利夫)

青葉アルコール類縁化合物に関する研究 (大野稔, 畑中顕和)

昆虫の誘引剤に関する研究 (大野稔, 畑中顕和)

植物辛味成分の合成 (大野稔)

粗糖香気に関する研究 (大野稔, 畑中顕和, 藤田雅夫)

微生物化学 (特殊発酵)

微生物の代謝と細胞膜透過性に関する研究 (山本竜男)

工業材料としての酵母製造に関する研究 (大隅孝治, 荻谷泰弘, 姫野道夫)

微生物によるアミノシュガーの代謝に関する研究 (山本竜男, 大隅孝治, 荻谷泰弘)

酒造における酵母細胞成分の影響について (山本竜男)

石油廃資源の微生物による利用 (")

繊維素分解酵母の研究 (池宮正行)

生理活性 (化学療法)

生理活性物質の研究 (藤田栄一)

放射性同位元素の利用 (杉井通泰)

中枢性薬物の合成並びに応用薬理学的研究 (藤村一, 山川豊, 平沢登代)

薬物の作用機作に関する研究 (鈴木友二)

分子生物学 (細菌及線状菌)

アミノ酸及びビタミン酵素学的・栄養学的研究, ビタミンB₁, ビタミンB₆, ニコチン酸及び葉酸の代謝に関する研究 (早石修, 鈴江緑衣郎)

附属施設

施設名 京都大学化学研究所原子核科学研究室
 設置年月 昭和30年12月
 所在地 京都市左京区粟田口鳥居町
 業務内容 原子核科学に関する研究 放射性同位元素の製造並びに応用
 建物 借用 243坪
 職員数 助教授1人, 助手2人, 雇傭人2人, 計5人

施設名 京都大学化学研究所放射性同位元素総合研究室
 設置年月 昭和27年8月
 所在地 京都市左京区北白川追分町
 業務内容 放射性同位元素含有化合物の合成, 測定法の研究
 放射性同位元素の化学, 医学, 生化学, 農学及び工学における応用,
 放射線障害の防護等に関する研究

敷地 776坪 建物 延坪数 285坪

特殊施設, 設備

ヒューヴェ超遠心機, 高性能超高圧電子顕微鏡 300KV, ガンマー線照射装置, 自記赤外分光器21型, DS 301型自記赤外分光器, シーグバーンスレイチス式3024型ベーター線スペクトロメーター, 自動記録式X線回折装置 256チャンネル波高分析装置, マグツツト鉄芯, コイルタンク, サイクロ用発振

器70KW, 荷電粒子検出用電磁石装置, 天井走行起重機 (電動式7.5吨), P
LN-106型液体窒素製造装置

京都大学人文科学研究所

Research Institute of Humanistic Studies, Kyoto University.

設置年月日 昭和14年8月1日
所在地 京都市左京区北白川東小倉町47番地 電話 (77) 8111番 内線965番
京都市左京区吉田牛ノ宮町1番地 電話 (77) 8111番 内線956番
目的 世界文化に関する人文科学の総合研究
沿革 昭和4年4月 東方文化学院京都研究所 (母体) 設立, 昭和13年東方文化
研究所と改称
昭和9年 社団法人独乙文化研究所設立, 昭和21年西洋文化研究所と
改称
昭和14年8月 人文科学研究所官制公布により京都帝国大学に人文科学研
究所設置
昭和24年1月 人文科学研究所官制改正 (人文科学研究所に東方文化研究
所, 西洋文化研究所を統合する。)
昭和24年5月 国立学校設置法により京都大学附置研究所となる。
所長 森 鹿 三 (任期昭和38.10.1~40.9.30) 事務長 上 田 明 吉
職員数 教授12人, 助教授15人, 講師4人, 助手31人, 事務官14人, 雇傭人15人
計91人
敷地 1,894坪
建物 建坪数 653坪 延坪数 1,136坪
刊行物 東方学報, 人文学報, 調査報告, 文献類目, ZINBUN
予算 昭和37年度 74,197,231円 昭和38年度見込 85,482,000円

研究部門 (設置年度), 研究者氏名

日本思想 (産業経済) (昭和14年度)
井上 清 (教授) 渡部 徹 (助教授) 飯沼 二郎 (助教授)
松岡 保 (助手) 中村 哲 (助手)
日本社会 (社会教育) (")
坂田 吉雄 (教授) 太田 武男 (助教授) 楠瀬 勝 (助手)
三宅 一郎 (助手) 江口 圭一 (助手) 小野 和子 (助手)
中国思想 (昭和24年度)
藪内 清 (教授) 島田 虔次 (助教授) 笠沙 雅章 (助手)
山田 慶児 (助手)
中国社会 (")

清水 盛光 (教授) 藤枝 晃 (助教授) 市原 亨吉 (助手)
寛 文生 (助手)

東洋考古学 (考古学) (昭和24年度)

水野 清一 (教授) 林 已奈夫 (助手) 田中 重雄 (助手)
西洋文化 (")

桑原 武夫 (教授) 会田 雄次 (助教授) 上山 春平 (助教授)
多田道太郎 (講師) 山田 稔 (助手) 牧 康夫 (助手)

西洋社会 (政治経済史) (")

岩村 忍 (教授) 樋口 謹一 (助教授) 松尾 尊允 (助手)
谷 泰 (助手) 飛鳥井雅道 (助手)

文化交渉史 (昭和14年度)

長広 敏雄 (教授) 小野川秀美 (助教授) 川勝 義雄 (助手)
加藤 秀俊 (助手)

歴史地理 (地理学) (昭和24年度)

森 鹿三 (教授) 日比野丈夫 (助教授) 脇本 繁 (助手)
船越 昭生 (助手)

芸術史 (宗教学) (")

平岡 武夫 (教授) 福永 光司 (助教授) 牧田 諦亮 (講師)
藤吉 慈海 (助手)

科学史 (歴史学) (")

貝塚 茂樹 (教授) 田中 謙二 (助教授) 倉田淳之助 (助教授)
今井 清 (助手) 荒井 健 (助手) 永田 英正 (助手)

社会人類学 (昭和34年度)

今西 錦司 (教授) 吉田 光邦 (助教授) 藤岡 喜愛 (助手)

研究目途, 研究事項

日本部

主として近代日本の政治, 経済, 思想, 社会等文化全般にわたって総合的研究を行
なう。

(共同研究)

明治の日本人 (坂田吉雄, 吉田光邦, 加藤秀俊, 三宅一郎)

大正期の社会と政治 (井上 清, 渡部 徹, 松尾尊允, 江口圭一)

(個人研究)

日本の近代化 (坂田吉雄)

日本軍国主義の史的研究 (井上 清)

日本労働運動史 (渡部 徹)

家族法の研究 (太田武男)

日本における近代農学の成立に関する研究 (飯沼二郎)

日本技術史の研究 (吉田光邦)

第一次大戦前後の日本における民主々義運動の研究 (松尾尊允)

コミュニケーション史の展望 (加藤秀俊)
政党と政挙の研究 (三宅一郎)
日本独占資本主義下の政治 (江口圭一)
明治期の思想と文学 (飛鳥井雅道)

東 方 部

中国を中心とする東亜諸地域の歴史、文化、哲学、宗教、地理、考古、政治、経済社会等文化の総合的研究を行なう。

(共同研究)
周礼攷工記の研究 (貝塚茂樹、水野清一、林巳奈夫)
元典章の研究 (岩村 忍、田中謙二、荒井 健)
中国近世科学技術史の研究 (藪内 清、吉田光邦、福永光司、山田慶児)
魏晋南北朝地方制度の研究 (森 鹿三、藤枝 晃、日比野丈夫、船越昭生、永田英正)

漢代の美術と思想 (長広敏雄、森 鹿三、平岡武夫、水野清一、吉田光邦、福永光司、林巳奈夫、川勝義雄)

白氏文集校注 (平岡武夫、田中謙二、福永光司、市原亨吉、今井 清、笈 文生)

擁正硃批論旨の研究 (小野川秀美、日比野丈夫、島田虔次、小野和子)

中国近世における文献学の発展過程 (倉田淳之助、岩村 忍、川勝義雄、竺沙雅章、船越昭生、永田英正)

元曲の研究 (田中謙二、平岡武夫、荒井 健、市原亨吉、今井 清)

弘明集の研究 (牧田諦亮、平岡武夫、福永光司、島田虔次、藤吉慈海、川勝義雄、竺沙雅章)

仏教芸術の研究 (水野清一、長広敏雄、藤吉慈海、林巳奈夫、田中重雄)

唐代史料の編集 (平岡武夫、市原亨吉、今井 清、笈 文生)
(個人研究)

中国古代都市国家の研究 (貝塚茂樹)

考古資料より見た東西文化の交流 (水野清一)

十三、四世紀東西交渉史の研究 (岩村 忍)

清末における西洋科学の輸入 (藪内 清)

漢代画像の研究 (長広敏雄)

漢代法制の研究 (森 鹿三)

中唐における読書人の生活 (平岡武夫)

吐蕃期一掃義軍期の敦煌文書 (藤枝 晃)

辛亥革命の研究 (小野川秀美)

中国地方誌の研究 (日比野丈夫)

元代散曲の研究 (田中謙二)

宋学成立史の研究 (島田虔次)
魏晋老莊思想研究 (福永光司)
敦煌疑似經典の研究 (牧田諦亮)
東南アジアの仏教 (藤吉慈海)
白樂天の詩の助辞 (今井 清)
明末政治史の研究 (小野和子)
殷周青銅器の編年 (林巳奈夫)
朱子の自然学 (山田慶児)

西 洋 部

主として近世以後を中心とした西洋社会および文化の総合的研究を行なう。

(共同研究)
文学理論の研究 (桑原武夫、上山春平、樋口謹一、多田道太郎、牧 康夫、加藤秀俊、山田 稔、飛鳥井雅道、荒井 健)

人類の比較社会学的研究 (今西錦司、飯沼二郎、上山春平、藤岡喜愛、牧 康夫、加藤秀俊)
(個人研究)

文学理論の研究 (桑原武夫)

集団の理論 (清水盛光)

人類学の自然史的研究 (今西錦司)

ヨーロッパ十五、六世紀の社会の思想 (会田雄次)

社会科学方法論 (上山春平)

西欧ブルジョア革命における政治的人間 (樋口謹一)

テーヌの芸術理論 (多田道太郎)

世界におけるモーダルパーソナリティの変異とその分布 (ロールンヤハ法による) (藤岡喜愛)

現代の文学理論 (山田 稔)

フロイト理論の検討 (牧 康夫)

十九世紀末のロシア資本主義分析の史学的研究 (松岡 保)

(共同研究)

産業革命と現代社会 (飯沼二郎、上山春平、樋口謹一、松岡 保、中村 哲)

封建社会の比較研究 (清水盛光、会田雄次、太田武男、飯沼二郎、中村哲、楠瀬 勝、谷 泰)

京 都 大 学 結 核 研 究 所

Tuberculosis Research Institute, Kyoto University.

設置年月日 昭和16年3月26日

所在地 京都市左京区聖護院川原町53番地 電話 (77) 8111番 内線 881番
目的 結核の予防及び治療に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和16年3月26日 結核研究所官制(勅令第267号)の公布により、京都帝国大学に附置
昭和24年5月31日 法律第150号をもって国立学校設置法が公布され、昭和16年勅令第267号の結核研究所官制は廃止され、京都大学附置研究所となる。

所長 内藤益一(任期昭和37.10.20.~39.10.19) 事務長 千種 顕 誠
職員数 教授5人、助教授5人、助手13人、事務官11人、技官6人、雇傭人9人、計49人
敷地 (大学と共用) 585坪 建物 建坪数 1,710坪 延坪数 1,887坪
刊行物 京都大学結核研究所紀要, Acta Tuberculosea Japonica
予算 昭和37年度 142,887,753円 昭和38年度見込 152,987,000円
研究部門(設置年度), 研究用途, 研究者氏名

内科学第一(結核の化学的治療法)(昭和15年度)

肺結核を中心とした胸部疾患の化学療法に関する基礎的並びに臨床的研究を行ない
肺癌等の非感染性疾患について主として診断及び治療を中心に研究する。
慢性気管支炎及び結核症を中心として疾病時における生体の機能を生化学的及び生理学的に実験研究する。

内藤 益一(教授) 辻 周介(兼教授) 前川 暢夫(助教授)
大島 駿作(助教授) 吉田 敏郎(助手) 津久間俊次(助手)
川田 典徳(助手) 岡田 長保(助手)

内科学第二(結核の物理的治療法)(")

アレルギー及び免疫に関する研究を主とし、この見地に立って結核症及び肺癌の臨床的及び臨床病理学的研究を行なう。

辻 周介(教授) 安平 公夫(助教授) 小原 幸信(助手)
藤田 豊(助手)

外科学(結核の手術的治療法)(")

肺結核の外科的療法の研究を主目的とするが、これに関連して肺の微細構造、肺機能及び肺癌その他の非結核性肺疾患等の研究をも行なう。

長石 忠三(教授) 寺松 孝(助教授) 佐川弥之助(講師)
岡田 慶夫(助手)

病理学(結核の特異性)(")

小児期における結核進展の特異性並びに結核の予防及び治療に関して実験的、臨床的研究を行なう。

病理学の基礎的事項について研究し、その立場より結核症その他癌等の重要疾患の病理を研究する。

内藤 益一(兼教授) 高松 英雄(教授) 小林 裕(助教授)
水谷 昭(講師) 寺村 文男(助手) 大川 欣一(助手)

福田 潤(助手)

細菌血清学(結核菌並社会衛生学)(昭和15年度)

結核菌並びに類縁の微生物に関する細菌学的及び免疫血清学的研究を行なう。

植田 三郎(教授) 上坂 一郎(助教授) 白石 正雄(助手)
大岩 弘治(助手) 山岸 悦子(技官)

研究事項

内科学第一(結核の化学的治療法)

結核に対する生体の防衛機序、特に体液因子について

(辻 周介, 大島駿作, 岡田長保)

尿中抗結核菌性物質の分離と同定

(大島駿作, 岡田長保)

体液低分子分画中の抗結核菌性物質の分離と同定

(")

体液及び血清たんぱく分画の結核免疫における意義

(")

各種臓器エキスの抗結核菌性について

(")

チェンバー法による体液の抗結核性の分析

(")

チェンバー法による結核化学療法剤の作用機序の解明

(")

細胞機能より見た生体の結核に対する防衛力

(辻 周介)

非結核性肺疾患の実態調査

(辻 周介, 大島駿作)

酵素学的診断法に関する研究

(")

細胞成分によるツベルクリン感受性の受身移行に関する研究

(")

結核菌体成分の Adjuvant 効果に関する研究

(大島駿作, 岡田長保)

体液低分子分画中の抗癌物質の追及

(辻 周介, 大島駿作)

結核新化学療法剤の探究

(内藤益一, 前川暢夫, 津久間俊次)

シリコンスライド培養法

(内藤益一, 津久間俊次)

実験的結核症に対する化学療法の効果

(内藤益一, 前川暢夫)

結核化学療法剤の血中における消長

(内藤益一, 吉田敏郎)

結核化学療法剤の耐性に関する研究

(内藤益一, 津久間俊次)

初回化学療法並びに再化学療法の強化

(内藤益一, 大井 豊)

肺癌の診断と化学療法に関する研究

(内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎)

結核化学療法剤の副作用軽減に関する研究

(内藤益一)

結核化学療法と患者年齢との関係

(")

オルトアミノフェノール, メタンサルホン酸ソーダ抗結核性

(内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 津久間俊次)

内科学第二(結核の物理的治療法)

結核性炎症に関する基礎的研究

(辻 周介, 安平公夫, 小原幸信)

結核アレルギーに関する研究

(辻 周介, 安平公夫)

結核の化学療法に関する研究

(安平公夫, 小原幸信)

肺空洞の治療に関する研究

(")

肺癌に関する実験的研究

(辻 周介, 安平公夫, 小原幸信)

- 癌の免疫学的研究 (辻 周介, 安平公夫, 小原幸信)
- 肺癌の早期診断法に関する研究 (辻 周介, 小原幸信)
- 外科学 (結核の手術的治療法)
- 空洞切開術を中心とする肺結核の切開排膿療法の研究 (長石忠三, 寺松 孝)
- 乾酪巣に対する「寺松」の療法の研究 (")
- 肺結核に対する気管支遮断術の研究 (長石忠三)
- 肺臓移植に関する基礎的研究 (長石忠三, 寺松 孝)
- 重症肺結核の外科的療法に関する研究 (長石忠三)
- 老人性肺結核及び小児肺結核の外科的療法の研究 (長石忠三, 寺松 孝, 佐川弥之助, 岡田慶夫)
- 肺結核外科的療法と妊娠出産の問題 (長石忠三, 佐川弥之助)
- ポリビニール, フォルマルンをもってする骨膜外充填術の研究 (長石忠三, 寺松 孝)
- 合成樹脂充填物に関する基礎的研究 (")
- 肺結核病巣の組織化学的研究 (")
- 血液諸成分に及ぼす輸血及び輸液の影響に関する研究 (")
- 肺結核における肺の換気, 循環機能の研究 (長石忠三, 佐川弥之助)
- 急性肺水腫に関する実験的並びに臨床的研究 (")
- 肺気腫に関する実験的並びに臨床的研究 (")
- 臨床的肺機能検査法の体系化に関する研究 (")
- 肺構造の研究 (長石忠三, 岡田慶夫)
- 肺の構造と機能との関連性についての研究 (長石忠三, 佐川弥之助, 岡田慶夫)
- 各種肺疾患の電子顕微鏡的研究 (長石忠三, 岡田慶夫)
- 肺癌の臨床的並びに実験的研究 (長石忠三, 寺松 孝, 岡田慶夫)
- 化学療法下における肺結核刺激療法の再検討))長石忠三, 寺松 孝)
- 病理学 (結核の特異性)
- 結核の予防及び早期治療に関する研究 (小林 裕, 福田 潤)
- 小児結核の治療に関する研究 (小林 裕)
- 小児結核の特異性に関する基礎的研究 (寺村文男)
- ツベルクリン反応に関する研究 (小林 裕)
- 結核免疫に関する研究 (小林 裕, 寺村文男)
- 小児慢性胸部疾患, 特に気管支拡張症に関する研究 (小林 裕)
- 小児非結核性肺疾患に関する研究 (小林 裕, 寺村文男, 福田 潤)
- 非定型抗酸菌感染に関する研究 (")
- 細胞の癌性化の本態に関する研究 (高松英雄, 水谷 昭, 大川欣一)
- 結核性炎症組織反応及びザルコイドーシスの本態に関する研究 (")
- 酵素の組織化学的研究 (")
- 体質要因と薬剤作用に関する病理学的研究 (高松英雄)

細菌血清学 (結核菌並社会衛生学)

- Mycobacterium, の発育様式に関する研究, 特に特殊な抵抗性分類学等の研究 (植田三郎, 大岩弘治)
- Mycobacterium, 特に結核菌の形態, 発育様式の電子顕微鏡的研究 (大岩弘治)
- Mycobacterium, 特に結核菌の病原性, 毒力に関する研究 (植田三郎, 大岩弘治)
- Mycobacterium, 特に結核菌に作用するファージの研究 (伊藤義昭)
- 放線菌目, 特にノカルディアとその病原性に関する研究 (植田三郎, 上坂一郎)
- らい菌の試験管内発育の可能性吟味 (植田三郎)

附属施設

- 施設名 京都大学結核研究所附属病院
- 設置年月日 昭和16年6月
- 所在地 京都市左京区聖護院川原町53
- 施設長 教授 内藤 益一
- 業務内容 主に肺結核の外来及び入院患者につき診療を行なう。
- 敷地 1,051坪 建物 延坪数 1,051坪
- 特殊施設, 設備 X線装置 (高低圧兼用)

京都大学工学研究所

The Engineering Research Institute, Kyoto University.

- 設置年月日 昭和16年11月28日
- 所在地 京都市左京区吉田本町 電話 (77) 8111番 内線 800番
- 目的 工学に関する学理及びその応用の総合研究
- 沿革 大正3年4月 京都帝国大学工科大学中央実験所創設
昭和16年11月 官制 (勅令1022号) により京都帝国大学に設置
昭和24年5月 国立学校設置法 (法律150号) により京都大学附置研究所となる。
昭和25年4月 財団法人軸受研究所を吸収
- 所長 堀尾正雄 (任期昭和37.9.1~39.8.31) 事務長 舟木俊一
- 職員数 教授8人, 助教授8人, 助手10人, 事務官6人, 技官7人, 雇傭人13人, 計52人
- 敷地 2,230坪 建物 建坪数 696坪 延坪数 954坪
- 刊行物 京都大学工学研究所彙報, 京都大学工学研究所英文報告
- 予算 昭和37年度 71,424,480円 昭和38年度見込 61,604,000円
(原子炉関係予算含まず)
- 研究部門 (設置年度), 研究目途, 研究者氏名
原子炉構造 (昭和31年度)

原子炉の構造、特に将来の原子力の利用開発を目的とした原子炉の構造に関して原子核工学の立場より研究を行なうもので、たとえば発電用、輸送機関用等の原子炉の形式、構造および熱伝達について研究、設計を行なう。

藤本 武助(併教授) 西原 宏(併教授) 竹内貴一郎(助手)

粒子線工学(昭和36年度)

粒子線の工学的応用の研究を行なうことを目的としており、現在最も重点をおいているのは、プラズマを利用した直接発電法、すなわち熱電子発電ならびにMHD発電の開発に関する研究と、プラズマ諸特性の計測に関する研究とである。

阪口 忠雄(教授) 林 重憲(併教授) 服部 嘉雄(助教授)

野口 透(助手)

原子炉計測工学(昭和33年度)

原子炉ならびにその附属設備の運転特性を研究し、これより原子炉の運転に必要な諸自動制御装置、保安装置の試作および性能の改善に関する研究を行なう。

林 重憲(併教授) 榎木 義一(併教授) 若林 二郎(助教授)

桜井 彰(助教授) 岩住 哲朗(助手) 吉田 芳正(助手)

原子燃料(昭和32年度)

原子炉燃料、特に炭化物、窒化物などの化合物燃料体の製造とその物性に関する研究を行なう。これら燃料体の処理回収についても研究を行なう。

西 朋太(教授) 吉沢 四郎(併教授) 端野 朝康(助教授)

藤原 一郎(助手) 浅野 満(助手) 堀田 幸吉(技官)

原子炉材料(昭和33年度)

原子炉に用いられる構造材料ならびに減速、反射材料等についての研究、とくに高温用材料の基礎的性質ならびに製造に関する研究、各種の固体材料に対する放射線効果、直接発電用固体材料の物性に関する研究等を行なう。

高村 仁一(併教授) 森本 武(助教授) 岡崎 謙二(助手)

原子核化学工学(昭和31年度)

原子炉材料の製造および原子炉の運転に際しての必要な諸化学工学的操作、たとえば流動、熱移動、物質移動などの操作について化学工学的研究を行なう。

水科 篤郎(併教授) 三石 信雄(助教授) 福本 勤(助手)

竹下 俊二(助手) 井口 敏夫(技官)

放射線応用工学(昭和34年度)

各種放射線、放射性および安定同位体の諸工業への応用に関する基礎研究ならびに関係機器の開発を行なう。

鈎 三郎(教授) 石川 忠夫(講師) 一瀬光之尉(助手)

久保 健治(技官)

原子炉保安工学()

原子炉施設の構造および耐震設計、放射性の汚染対策および廃棄物処理、放射線遮蔽体の材料構造ならびに能力に関する研究を行なうとともに、原子炉設置の立地条件についての総合的な調査研究を行なう。

岩井 重久(併教授) 高橋 幹二(助教授) 安井 久三(助手)

小林 昭一(助手)

研究事項

原子炉構造

強制対流による熱伝達の研究 (藤本武助)

沸騰によるバーンアウトの研究 (佐藤 俊, 岐美 格, 竹内貴一郎)

液体金属の助走域における熱伝達の研究 (佐藤 俊, 南山竜緒)

発熱するスラリの熱伝達の研究 (岐美 格, 松本隆一)

有機液体の沸騰熱伝達の研究 (岐美 格, 松本隆一, 竹内貴一郎)

プルトニウムリサイクルの研究 (岐美 格, 植松邦彦)

粒子線工学

熱電子発電に関する研究 (阪口忠雄, 野口 透)

MHD発電に関する研究 (")

プラズマの諸特性の計測に関する研究 (")

プラズマの安定化に関する研究 (林 重憲)

電磁流体発電の基礎的問題に関する研究 (林 重憲, 服部嘉雄)

イメージ管による高速度撮影装置に関する研究 (阪口忠雄, 野口 透, 板谷良平)

自動制御の研究 (林 千博, 桑原道義)

電気溶接の研究 (")

原子炉計測工学

高速中性子増殖炉の動特性に関する研究 (林 重憲, 若林二郎)

原子炉の空間動特性に関する研究 (")

アナログ型電子計算機の応用に関する研究 (林 重憲, 若林二郎, 桜井 彰, 吉田芳正, 岩住哲朗)

BORAX系原子炉の実験結果の解析 (林 重憲, 桜井 彰, 岩住哲朗)

原子炉における過渡的熱現象の研究 (")

不均質水原子炉の出力脱走停止機構の研究 (")

2相サーボモータの伝達関数に関する研究 (林 重憲, 若林二郎, 吉田芳正)

原子炉の自動起動方式に関する研究 (西原 宏, 若林二郎)

自動制御系の統計的シンセシスに関する研究 (榎木義一, 菅井齊喜)

非線形制御系に対する統計学的制御理論体系の確立 (榎木義一, 砂原善文)

サンプル値制御方式による最適制御系の構成およびプログラム制御系の構

成に関する研究 (榎木義一, 布川 昊)

エステル化反応を対象とする化学プロセスの追利計算制御方式の確立 (")

非線型系による自動制御系過渡応答の改善について (林 重憲)

自動制御系の統計的設計 (")

オンオフ制御系の応答改善に関する研究 (榎木義一, 米沢 洋)

空気式制御用機器の特性究明に関する研究 (")

サンプル値によるオンオフ制御に関する研究	(榎木義一, 寺石 稔)
鋼材の機械的および物理的性質と超音波減衰に関する研究	(")
原子燃料	
希土類元素に関する研究	(西 朋太, 藤原一郎)
ウランおよびトリウムの溶媒抽出に関する研究	(西 朋太, 浅野 満, 霜鳥 正)
溶融塩抽出による燃料の精製に関する基礎的研究	(西 朋太, 端野朝康, 一瀬光之尉)
炭化ウラン燃料の製造と超高温特性の研究	(西 朋太)
溶融塩における錯塩の研究	(西 朋太, 端野朝康, 一瀬光之尉)
溶融塩における電極反応機構の研究	(")
弗素化剤製造に関する研究	(吉沢四郎, 渡辺信淳)
半導体材料製造に関する研究	(吉沢四郎)
原子炉材料	
耐熱ジルコニウム合金に関する研究	(高村仁一)
アルミニウム-マグネシウム系原子炉用構造材料の研究	(高村仁一, 森本 武, 三浦 精, 古川弘三)
放射線損傷の素過程	(森本 武)
原子炉用ジルコニウムに関する研究	(村上陽太郎, 円城敏男)
真空熔融ガス分析法に関する研究	(盛 利貞, 森山徐一郎, 平井康文)
ニオブ添加鋼に関する研究	(盛 利貞, 時実正治)
18-8 不銹鋼の高温曲げ疲労強度に及ぼす試験速度の影響	(河本 実)
耐熱金属材料の高温動クリープおよび高温疲労ならびに変動応力下のクリープに関する研究	(平 修二, 小寺沢良一)
耐熱金属材料の熱疲労ならびに熱衝撃に関する研究	(平修二, 大南正瑛)
金属材料のリラクゼーションに関する研究	(平修二, 鈴木房幸)
半金属の電気性質に関する研究	(高村仁一, 森本 武)
運動する転位と点欠陥との動力学的相互作用の理論	(")
純金属および固溶体合金における凍結原子空孔	(高村仁一, 三浦 精, 古川弘三)
金属の低温変形による点欠陥の形成に関する研究	(高村仁一, 三浦 精)
固体中における電子輸送現象の理論	(森本 武)
チタン合金に関する研究	(村上陽太郎, 円城敏男)
過共晶Al-Mn合金の研究	(森田志郎)
過共晶Al-Si合金の研究	(森田志郎, 辻 幹男)
超強力鋳鉄に関する研究	(森田志郎, 川野 豊)
鋳鉄の鋳造組織の研究	(森田志郎, 井ノ山直哉, 倉井和彦)
多段多重重複疲労試験	(河本 実)
組合せ応力下における被害曲線	(")
高速高負荷歯車の研究	(会田俊夫)
多調和繰返し応力疲労試験	(河本 実)

原子核化学工学

高粘度放射性排液の蒸発処理に関する研究	(水科篤郎, 三石信雄)
飛沫分離装置に関する研究	(水科篤郎, 高松武一郎, 三石信雄, 福本 勤)
高レベル放射性排水の処理に関する研究	(水科篤郎, 三石信雄, 福本 勤)
非ニュートン流体の流動特性に関する研究	(水科篤郎, 三石信雄, 竹下俊二)
蒸溜法ならびに二重温度交換反応法による重水製造装置の研究	(水科篤郎, 高松武一郎, 井口敏夫)
混入気体の液体金属の熱伝達におよぼす影響	(水科篤郎, 竹下俊二)
非ニュートン流体の熱伝達	(")
遠心式気液および液接触装置の研究	(高松武一郎, 井口敏夫)

放射線応用工学

表面イオン化の研究	(鈎 三郎, 久保健治)
工業用質量分析計の研究	(鈎 三郎, 堀田幸吉)
放射線による表面の研究	(鈎 三郎, 久保健治)
人造黒鉛に関する研究	(石川忠夫)
二硫化炭素の製造に関する研究	(吉沢四郎, 石川忠夫)
放射性物質による混合気分配の研究	(長尾不二夫)
燃焼室内燃焼残渣物たい積の測定	(")
放射性物質を利用した歯車などの摩耗現象の解明に関する研究	(会田俊夫)

原子炉保安工学

原子炉設置立地条件に関する研究	(丹羽義次, 高橋幹二)
遮蔽コンクリートの熱サイクルによる疲労に関する研究	(")
原子炉暴走時における Blast および Missile の防御に関する研究	(丹羽義次, 小林昭一)
放射線遮蔽体の型式に関する研究	(丹羽義次, 森 忠次, 高橋幹二)
PC構造の原子力施設への応用	(横尾義貫, 丹羽義次, 六車 照)
原子炉施設の地下格納に関する研究	(平松良雄, 岡 行俊)
エアロゾルの挙動に関する衛生工学的研究	(高橋幹二)
圧力容器の溶接継手に関する研究	(小西一郎)
室内の熱対流の研究	(前田敏男)
放射性廃水の凝集沈殿処理	(岩井重久, 筒井天尊)
流水中における汚水の希釈混合度の研究	(岩井重久)
放射性廃水の地下浸透に関する水理学的研究	(石原藤次郎, 岩佐義朗)
構造物応力の光弾性ならびに光塑性学的研究	(丹羽義次, 森 忠次, 小林昭一)
高強度ボルト継手に関する実験的研究	(小西一郎)
各種構造の溶接継手の欠陥と疲れ強さに関する基礎的研究	(")
建築材料の吸放湿に関する研究	(前田敏男)
建築材料の音響透過に関する研究	(前田敏男, 松浦邦男)
各種フリュームによる流量測定法に関する研究	(石原藤次郎, 岩佐義朗)

調節構造物の水理学的設計法 (石原藤次郎, 岩佐義朗)
水理計測装置に関する研究 (")
開水路流れにおける拡散過程の研究 (")

附属施設

施設名 京都大学工学研究所修学院分室
設置年月日 昭和25年4月1日
所在地 京都市左京区山端一丁目 電話 (78) 6125, 6126番
施設長 併任教授 榎木 義一
業務内容 化学プロセスにおける追利計算制御方式の確立, 統計学的手法による非線型自動制御理論体系の確立, X線に対する表面の性質に関する研究を行っている。

敷地 1,843坪 建物 延坪数 629坪

特殊施設, 設備

高性能精溜装置及び交換反応塔, 原子炉金属構造材料の高温強度に関する研究設備, 高周波誘導加熱真空熔解鑄造装置, NRC真空熔融式ガス分析装置, 原子炉シミュレーター, 核磁気共鳴吸収装置, 超高速度カメラ, 自記赤外分光光度計, 単結晶引上装置, 自動粒子分析装置, 真空加熱炉, MHD発電用強磁場発生装置

京都大学木材研究所

Wood Research Institute, Kyoto University.

設置年月日 昭和19年5月19日
所在地 事務室 京都市左京区吉田本町 電話 (77) 8111番 内線95番
研究所 宇治市五ヶ庄 電話 宇治 8165番
目的 木材に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和19年5月 木材研究所官制(勅令第353号)により京都帝国大学に附置
昭和26年3月 国立学校設置法一部改正(法律第84号)により京都大学附置研究所となる。
所長 貴島恒夫(任期昭和37.5.15~39.5.14) 事務長 谷直一
職員数 教授4人, 助教授4人, 助手10人, 事務官9人, 技官2人, 雇傭人9人, 計38人
敷地 29,660坪 建物 延坪数 2,560坪(借用)
刊行物 木材研究
予算 昭和37年度 31,892,713円 昭和38年度見込 34,631,000円
研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

木材物理(昭和19年度)

木材及び木材加工材料の物理的, 機械的性質について基礎研究を行なうとともに乾

燥, 接着, 防湿, 切削ならびに破壊の機構を研究する。

山田 正(教授) 杉原 彦一(併教授) 角谷 和男(講師)

木材化学(昭和19年度)

木材の高度利用に寄与するあらゆる化学的研究を含み, 木材の成分, 製紙パルプに関する研究, 接着剤, 防腐剤および他の材質改良処理剤の研究等にもわたる。

北尾弘一郎(教授) 後藤 良造(併教授) 木村 良次(助教授)

小林 穆(助手) 荒木 幹夫(助手) 前川 英一(助手)

木材生物(")

主として生物学的研究方法による木材研究部門で, すなわち木材の示す諸性質の組織学的解明, 腐朽, 腐朽菌, キズ等の研究に当たると共に樹種の鑑定分類に関する研究を行なう。

貴島 恒夫(教授) 赤井 重恭(併教授) 西本 孝一(助教授)

布施 五郎(助手) 林 昭三(助手)

木質材料(昭和38年度)

木質材料の性質についての基礎研究及びその製造と材質改良に関する研究を行なう。

満久 崇麿(教授) 後藤 輝男(助教授) 佐々木 光(助手)

石原 茂久(助手)

研究事項

木材物理

木材及びその加工材料の物性に関する研究 (山田 正)

穿孔帯鋸の実用化に関する研究, 両刃帯鋸による製材に関する研究, 木材の破壊機構に関する研究, 刃物の切削機能試験, 木材切削, 木工製材機械に関する研究 (杉原彦一, 角谷和男)

木材化学

亜硫酸パルプ廃液利用に関する研究, 広葉樹パルプに関する研究, 木材へミセルローズに関する研究, 樹脂等木材抽出物に関する研究, 木材成分,

木材の化学的利用に関する研究 (北尾弘一郎, 小林 穆, 前川英一)

木材類の接着に関する研究, 化学処理による木材の強化に関する研究, 手すき和紙および擬革に関する研究, 木材接着, 強化ならびに木材成分に関する研究 (後藤良造, 荒木幹夫)

紙およびパルプに関する研究, 紙製蓄電池隔離板の研究, 化学的碎木パルプに関する研究, 湿式不織布に関する研究 (木村良次)

木材生物

木材構成要素の占有歩合に関する研究, 木材に液体の浸透する過程の研究
集成材の耐久性に関連してその接着状態の組織的研究, 木材の組織に関する研究 (貴島恒夫, 林昭三)

木材腐朽菌の生理学の研究, 材質腐朽に関する研究, 広葉樹パルプ原木およびその製品の腐朽汚染とその防除に関する研究, 木材の腐朽並びに腐

朽菌に関する研究 (赤井重恭)
 木材防腐剤の成分の研究, 廃材の化学的利用に関する研究, 薬液の木材注
 入, 滲透に関する研究, 木材の化学的変更による防腐処理, 木材の防虫に
 関する研究, 木材防腐, 防虫, 防火ならびに廃材の利用に関する研究
 (西本孝一, 布施五郎)

木質材料

木質材料の製造と物性に関する研究, 木材乾燥に関する研究, パーティク
 ルボードの製造に関する研究, 塗料による木材の歪解析に関する研究, 木
 質材料の耐久性に関する研究 (満久崇磨, 佐々木光)
 繊維板製造に関する基礎的研究, 繊維板の Dimensional Stability に関す
 る研究, 木質材料の乾燥に関する研究, 木質材料の力学的性質に関する研
 究, ファイバボードに関する研究 (満久崇磨, 佐々木光, 石原茂久)
 材質改良に関する研究, Dimensional Stability に関する研究, 木材の接着
 に関する研究, 放射線照射による材質改良に関する研究 (後藤輝男)

京都大学食糧科学研究所

Research Institute for Food Science, Kyoto University.

設置年月日 昭和21年9月10日
 所在地 京都市左京区北白川追分町 電話(77)8111番 内線900番
 目的 食糧の生産, 加工, 利用及び貯蔵に関する研究
 沿革 昭和21年9月 勅令第423号により京都帝国大学に附置
 昭和24年5月 国立学校設置法(一部改正)により京都大学附置研究所と
 なる。

所長 秦 忠夫(任期昭和36.6.11~39.6.10) 事務長 橋本 一郎
 職員数 教授5人, 助教授4人, 助手7人, 事務官8人, 技官3人, 雇傭人11人,
 計38人

敷地 425坪 建物 建坪数219坪 延坪数 407坪
 刊行物 京都大学食糧科学研究所報告, Memoirs of the Research Institute
 for Food Science Kyoto University.

予算 昭和37年度 32,864,000円 昭和38年度見込 38,134,000円
 研究部門(設置年度), 研究用途, 研究者氏名

食糧貯蔵加工(昭和21年度)

植物性食糧の貯蔵を合理的に行なう目的をもって, とくに高等植物のヘミン酵素類
 の研究を行なう。

森田 雄平(教授) 小林 章(併教授) 山田 秀明(講師)
 是永 敏子(技官)

食糧生産(応用遺伝学)(昭和21年度)

食糧生産の質的向上を図るため, 植物の物質代謝を人為的に制御する方法を考察す
 る目的で, 植物の生育や環境に伴う物質の生合成や代謝の変化を放射生化学的に研
 究を行なう。

葛西善三郎(教授) 奥田 東(併教授) 川口桂三郎(併教授)
 佐々岡 啓(助教授) 浅田 浩二(助手) 鬼頭 誠(助手)
 下川 敬之(技官)

食糧化学()

高等植物におけるビタミンB群の生化学的な役割とその作用機構ならびにそれらの
 生合成経路を解明するための研究を行なう。

岩井 和夫(教授) 三井 哲夫(併教授) 長谷川喜代三(助教授)
 中川 進(助手) 鈴木 襄(技官) 若原 義道(教務員)

たんぱく食糧(昭和29年度)

食糧としての立場からたんぱく質の生化学ならびにたんぱく分解酵素の研究を行な
 う。たんぱく質の生合成経路を明らかにするために核酸成分の研究を行なう。

秦 忠夫(教授) 上坂 章次(併教授) 松下 雪郎(助教授)
 土井悦四郎(助手) 伊吹 文男(助手) 吉田 瑞穂(技官)

応用微生物(昭和21年度)

水圏における一次のおよび二次的食糧資源の開発を目的として, 水圏生産に関与す
 る微生物の研究を行なう。

食糧の貯蔵および加工に関する微生物の生化学的活性をコントロールするための
 基礎的研究を行なう。

ビタミンCの生理作用の研究を行なう。

門田 元(教授) 木俣 正夫(併教授) 池田 静徳(助教授)
 石田祐三郎(助手) 佐藤 守(助手)

研究事項

食糧貯蔵加工

高等植物のヘムたんぱく質に関する研究 (森田雄平)
 米麴糖化酵素に関する研究 ()
 微生物のアミン代謝に関する研究 (山田秀明)
 果樹の栄養生理に関する研究 (小林 章)
 果樹の温度生態に関する研究 ()
 食品加工理論の研究 (小原哲二郎)
 酵素たんぱく質の研究 (船津 勝)

食糧生産(応用遺伝学)

植物の age に関する栄養生理学的研究 (葛西善三郎)
 植物におけるイノントールの生理的役割 ()
 農作物の放射能汚染と防除に関する研究 ()
 アミノ酸の生合成に関する研究 (佐々岡 啓)

植物に対する珪酸の生理作用	(奥田 東)
藍藻に関する研究	(")
土壌の構造に関する研究	(川口桂三郎)
腐植の組成とその機能に関する研究	(")
食糧化学	
植物体中における葉酸の生化学的研究	(岩井和夫)
植物におけるプリンスクレオチッドの生合成に関する研究	(")
脂質の生化学に関する研究	(長谷川喜代三)
有機リン化合物に関する研究	(三井哲夫)
植物生長素性物質に関する研究	(")
メンソールの合成に関する研究	(")
澱粉化学の研究	(二国二郎)
たんぱく食糧	
たんぱく質のSH基に関する研究	(秦 忠夫)
含金属たんぱく分解酵素に関する研究	(")
ポーログラフたんぱく波に関する研究	(")
植物体中における核酸の研究	(松下雪郎)
家畜飼養における微量元素の重要性に関する研究	(上坂章次)
蛋白質生合成の研究	(志村憲助)
応用微生物	
Desulfovibrio 属細菌の栄養生理及び代謝に関する研究	(門田 元)
食品微生物に対する電離放射線の作用に関する研究	(")
細菌の孢子形成および孢子発芽に関する生化学的研究	(")
アスコルビン酸の生化学的研究	(池田静徳)
水産生物のビタミンに関する研究	(")
水産食品の腐敗細菌に関する研究	(木保正夫)
特殊施設, 設備	
トライカーブ液体シンチレーションスペクトロメーター (314E X型)	
放射線クロマトグラムスキャナー (406型)	

京 都 大 学 防 災 研 究 所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University.

設置年月日 昭和26年4月1日
 所在地 京都市左京区吉田本町 電話 (77) 8111番 内線820~822番
 目的 災害に関する学理及びその応用の研究
 沿革 昭和26年3月 法律第84号国立学校設置法(一部改正)により京都大学附置研究所として設置

昭和28年8月 宇治川水理実験所設置
 昭和35年4月 桜島火山観測所設置

所 長 石原 藤次郎(任期昭和38.4.1~40.3.31) 事務長 高田 喜三次
 職員数 教授11人, 助教授14人, 助手25人, 事務官9人, 技官5人, 雇傭人47人, 計111人

敷 地 14,103坪 建 物 延坪数 1,926坪
 刊行物 紀要, 年報
 予 算 昭和37年度 102,836,123円 昭和38年度見込 110,856,000円

研究部門(設置年度), 研究目途, 研究者氏名

地震動(災害の理学的工学的基礎研究)(昭和26年度)
 地震波, 発生機構を実験的に究明して, 地震にともなう破壊及び地震の震動的見地に立って, 地盤の震動的破壊に関する震害の軽減を研究する。
 吉川 宗治(教授) 三木 晴男(併教授) 島 通保(助教授)
 久保寺 章(併助教授) 岡野健之助(併助教授) 松島 昭吾(併助教授)
 和田 卓彦(併講師) 後藤 典俊(助手) 北村 俊吉(助手)
 加茂 幸介(併助手) 菊池 茂智(併助手) 狐崎 長琅(併助手)
 西 正男(技官) 小林 年夫(技官)

地かく変動(昭和33年度)
 地震の予知を究極の目的とし, 主として地殻変動, 重力変化, 地震発震機構等の研究をする。
 一戸 時雄(教授) 岸本 兆方(助教授) 三雲 健(助教授)
 中川 一郎(講師) 田中 寅夫(助手) 尾池 和夫(助手)
 田中 豊(併助手) 橋爪 道郎(併助手) 津嶋 吉男(技官)

耐震構造(震災・風災・火災及雷災防止軽減の総合的研究)(昭和26年度)
 建築, 土木構造物及びその他産業施設等の震災, 火災, 雷災の災害について防御軽減に関する研究をする。
 小堀 鐸二(教授) 棚橋 諒(併教授) 南井良一郎(助教授)
 若園 吉一(併助教授) 井上 豊(助手)

水文学(昭和35年度)
 洪水あるいは、渇水に関連する水害の合理的防御対策を確立するため, 出水過程の把握, 統一理論の構成及び防御計画の具体的対策方法を研究する。
 石原 安雄(教授) 石原藤次郎(併教授) 高棹 琢馬(助教授)
 岩佐 義朗(併助教授) 米村 正己(助手) 長尾 正志(助手)

河川災害(水害防止の総合的研究)(")
 河川災害の実態を解明し, その被害を軽減防止するために, 洪水流, 土砂流, 高潮津波の河川遡流及び河床の変動等を理論的並びに実験実証的に究明し, 河川構造物の合理的計画及び対策の研究を行なう。
 矢野 勝正(教授) 友近 晋(併教授) 芦田 和男(助教授)

田中祐一朗(助手)

内水災害(昭和38年度)

低平地を主体とした出水特性, 地表および地下水の挙動を水文学的, 水理学的に追求し, 内水災害の原因, 実態の解明およびその合理的な防止軽減対策を攻究する。

角屋 睦(助教授) 豊国 永次(助教授) 大橋 行三(助手)

角田 吉弘(技官)

海岸災害(昭和36年度)

高潮, 津波, 潮汐その他の水位変動とか, 波, 流れおよび漂砂などの海岸における各種の水理現象によっておこる海岸災害を防止軽減するための研究をする。

岩垣 雄一(教授) 速水頌一郎(併教授) 山田 彦児(併教授)

土屋 義人(助教授) 国司 秀明(併助教授) 柿沼 忠男(助手)

井上 雅夫(助手) 久下 元一(技官)

地盤災害(昭和37年度)

自然地盤の構成, 性状を把握するための研究及び地盤沈下, 構造物による局所的沈下, 地震など振動による地盤災害防止の研究をする。

村山 朔郎(教授) 松下 進(併教授) 柴田 徹(助教授)

松尾 稔(助手) 八木 則男(助手) 石井 義明(技官)

地形土じょう災害(昭和38年度)

従来の地理学の記述的地形学とは異って, 微視的, 動的な立場より地形変化及び土壌の変形, 変質, 移動に関する現象を解析し, 各過程の物理的プロセスを明らかにし, 各種災害の発生機構を調べてその対策を立てるための研究を行なう。

奥田 節夫(助教授) 福尾 義昭(助教授) 奥西 一夫(助手)

地すべり(昭和34年度)

地すべり機構, 地すべり予知の基礎的問題を解明するため, 地すべり地の地質学的地球物理学的, 土木工学的調査ならびに実験的研究をもとにして災害防御の研究をするとともに防止工法の基礎的研究を行なう。

山口 真一(教授) 高田 理夫(助教授) 高田 雄次(助手)

古沢 保(助手)

耐風構造(昭和36年度)

構造物に対する風災防御の目的をもって自然風の乱れ, 風力の構造に対する動的作用, 台風の構造とこれに伴う風速分布, 風による構造物の振動問題の研究をする。

石崎 潑雄(教授) 横尾 義貫(併教授) 金多 潔(助教授)

山元竜三郎(併助教授) 若林 実(併助教授) 光田 寧(助手)

桂 順治(助手)

宇治川水理実験所(昭和28年度)

水と土に関する災害現象を, 模型実験は勿論, 精密な屋内実験及び理論的視野に立って解明することにより基礎的, 応用的, 実験的に災害防御の対策を研究する。

樋口 明生(助教授) 村本 嘉雄(助教授) 西 勝也(助手)

中村 重久(助手) 宮井 宏(助手) 余越正一郎(助手)

谷 泰雄(技官) 今井 繁一(技官)

桜島火山観測所(昭和35年度)

火山爆発, 火山噴火及び火山性地震予知のため, 地震計, 傾斜計, 伸縮計, 検潮儀等諸種の計器を用いて, 多点観測を行なうことにより, 地震, 噴火等の予知及びその機構を研究する。

吉川 圭三(助教授) 江頭 庸夫(助手) 西 潔(助手)

中村 俊造(技官)

研究事項

地震動(災害の理学的工学的基礎研究)

地震予知に関する基礎的研究

(吉川宗治, 一戸時雄, 三木晴男, 高田理夫, 吉川圭三, 島 通保, 岡野健之助, 和田卓彦, 古沢 保)

火山爆発に関する研究 (吉川宗治, 吉川圭三, 久保寺章, 加茂幸介, 菊池茂知)

地盤に関する研究 (吉川宗治, 島 通保, 後藤典俊)

地かく変動

地震発生前の土地の異常傾動

(一戸時雄, 岸本兆方, 田中寅夫, 田中 豊)

地震発生前の重力の異常変化

(一戸時雄, 中川一郎)

局所頻発地震の総合的研究

(一戸時雄, 三雲 健, 岸本兆方, 田中寅夫, 尾池和夫, 田中 豊)

土地及び構造物の微傾動

(田中寅夫, 田中 豊)

震源附近の物質の性状変化と地震発生機構

(一戸時雄, 三雲 健, 尾池和夫, 橋爪道郎)

微少地震の研究

(一戸時雄, 三雲 健, 岸本兆方, 尾池和夫, 橋爪道郎)

耐震構造(震災・風災・火災及び雷災防止軽減の総合的研究)

構造物の終局耐震設計法に関する研究

(小堀鐸二, 棚橋 諒, 金多 潔, 南井良一郎, 井上 豊, 水畑耕治)

構造物の地震応答と動的耐震設計法に関する研究

(小堀鐸二, 南井良一郎, 井上 豊)

火災爆発などに関する研究

(若園吉一, 安藤直次郎)

水文学

降雨の地域的, 時間的分布特性の研究

(石原安雄, 角屋 睦, 米村正己)

降雨現象の長期変動, 非定常の研究

(石原安雄, 角屋 睦, 長尾正志)

流出過程における雨水の損失現象の研究

(石原安雄, 高棹琢馬)

有効降雨の研究

(石原藤次郎, 高棹琢馬)

出水時における雨水流の挙動の研究

(石原藤次郎, 岩佐義朗, 高棹琢馬)

出水過程に及ぼす地形の影響の研究

(石原安雄, 高棹琢馬)

出水解析法と単位図法の研究	(石原安雄, 石原藤次郎, 高棹琢馬)
洪水予報に関する研究	(")
段波および洪水流の研究	(石原安雄, 岩佐義朗)
洪水調節池計画とその自動操作の研究	(石原安雄, 長尾正志)
治水計画基準の合理的決定法の研究	(")
河川災害 (水害防止の総合的研究)	
土砂流の研究	(矢野勝正, 大同淳之)
ダムによる排砂の研究	(矢野勝正, 芦田和男, 田中祐一朗)
貯水池における浮遊流砂の挙動の研究	(")
河川における断面急拡部の水理現象の研究	(芦田和男, 宮井宏)
貯水池の排砂に関する研究	(矢野勝正, 芦田和男, 足立昭平)
洪水流の水理特性の研究	(矢野勝正, 芦田和男, 大同淳之)
内水災害	
水文統計とその水工計画への応用	(石原安雄, 石原藤次郎, 角屋 睦)
低平地の出水機構に関する研究	(角屋 睦, 豊国永次)
緩こう配流れの水理特性の研究	(角屋 睦, 余越正一郎)
地下水の動態に関する研究	(大橋行三)
内水対策の総合的研究	(矢野勝正, 角屋 睦, 豊国永次, 大橋行三)
海岸災害	
海岸波浪の特性に関する現地観測	(岩垣雄一, 樋口明生, 土屋義人, 柿沼忠男, 中村重久, 井上雅夫)
海洋観測塔による海岸災害の海洋学的基礎研究	(速水頌一郎, 国司秀明, 西 勝也)
海岸波浪の予知に関する研究	(岩垣雄一, 柿沼忠男)
海岸堤防の越波防止に関する研究	(岩垣雄一, 土屋義人, 井上雅夫)
海浜変形に関する研究	(岩垣雄一, 石原藤次郎, 榎木 亨, 野田英明)
波浪減衰に関する基礎的研究	(岩垣雄一, 土屋義人)
漂砂の運動機構に関する研究	(岩垣雄一, 石原藤次郎, 土屋義人, 榎木亨)
混合砂の浮遊機構に関する研究	(岩垣雄一, 土屋義人)
局所洗掘現象に関する研究	(岩垣雄一, 土屋義人, 井上雅夫)
高潮に関する研究	(山田彦兒, 国司秀明)
地盤災害	
地盤沈下の研究	(村山朔郎, 松下 進, 柴田 徹, 松尾稔)
粘土のレオロジーに関する研究	(村山朔郎, 柴田 徹)
砂の圧縮性の研究	(村山朔郎, 八木則男)
不飽和土の圧縮性の研究	(村山朔郎, 柴田 徹)
土の振動特性の研究	(")
二層地盤の安定性の研究	(村山朔郎, 松尾 稔)
盛土の沈下と支持力の研究	(村山朔郎, 柴田 徹, 松尾 稔)

地形土じょう災害	
岩石の風化過程に関する研究	(速水頌一郎, 奥田節夫, 福尾義昭)
土じょうの侵食, 流出に関する研究	(速水頌一郎, 奥田節夫, 奥西一夫)
土じょうの堆積過程に関する研究	(速水頌一郎, 福尾義昭, 奥西一夫)
沖積地の動地形学的研究	(速水頌一郎, 奥田節夫, 福尾義昭, 奥西一夫)
地すべり	
土に関する研究	(山口真一, 高田雄次)
地すべりに関する地球物理学的研究	(山口真一, 高田理夫, 高田雄次, 古沢 保, 谷口敏雄)
地すべり機構に関する研究	(")
地すべり予知に関する研究	(山口真一, 高田理夫, 高田雄次, 谷口敏雄)
地すべり防止工法に関する研究	(山口真一, 谷口敏雄)
地すべりの地質学的研究	(松下進)
耐風構造	
自然風の性状に関する研究	(石崎潑雄, 山元竜三郎, 光田 寧)
風圧計の試作に関する研究	(光田 寧, 桂 順治, 川村純夫)
構造物に加わる局部風圧と局部耐風構造に関する研究	(石崎潑雄, 横尾義貫, 川村純夫)
風による塔状構造物の振動に関する研究	(金多 潔, 若林 実, 川村純夫, 桂 順治, 畠山直隆)
宇治川水理実験所	
開水路わん曲部の水理に関する研究	(村本嘉雄)
開水路乱流に関する基礎的研究	(村本嘉雄, 余越正一郎)
開水路流れの摩擦抵抗に関する研究	(余越正一郎)
開水路流れの二次流に関する研究	(村本嘉雄)
開水路自由表面の水理学的特性に関する研究	(余越正一郎)
潮流を含む水理模型実験の相似性に関する研究	(速水頌一郎, 樋口明正)
津波スペクトルの地域的特性に関する研究	(樋口明正)
微速流速計の基礎的研究	(中村重久)
海洋観測塔による大気海洋間の相互作用に関する研究	(速水頌一郎, 国司秀明, 西 勝也)
桜島火山観測所	
火山性地震予知に関する基礎的研究	(吉川宗治, 吉川圭三, 江頭庸夫, 西 潔)
火山爆発, 火山噴火予知に関する基礎的研究	(吉川圭三, 江頭庸夫, 西 潔)
地震予知, 火山爆発予知に関する地殻変動の研究	(")
附属施設	
施設名	京都大学防災研究所地殻変動観測所
設置年月日	昭和26年4月1日

所在地 滋賀県大津市関寺町（旧逢坂山トンネル）外21カ所
施設長
業務内容 1937年、京都大学理学部上賀茂観測所に水平振子型シリカ傾斜計が設置され、1956年には別に横抗内に種々の計器を設置し観測を開始、現在に至っている。その後阿武山地震観測所、逢坂山観測所、槇峰、井手等各観測所を設置、現在22カ所において観測が行なわれ、地震発生機構及びその予知の基礎研究の目的で、傾斜計による永年傾動の観測、伸縮計による永年伸縮変化の観測、傾斜計による微小傾斜変動の観測、傾斜計、伸縮計、重力計による地球潮汐の観測、検潮儀による海洋潮汐の観測等を常時観測している。

敷地 借地 76坪

施設名 京都大学防災研究所宇治川水理実験所

設置年月日 昭和28年8月

所在地 京都市伏見区横大路下三栖

施設長 教授 村山 朔郎

業務内容 当研究所は水に関する実験研究を行なうものであるが、昭和34年には地すべり部門が増設され土に関する災害現象及びその対策の実験も行なう。本実験所は水害防御の基礎的応用的実験研究を行なうのが目的で主として模型実験を行なうため屋外実験設備を整備している。勿論精密な屋内実験及び理論研究を行ない併せて水害研究の本来の使命である水と土の関係を更に全面的に究明するにあたり地盤沈下、山崩れ、地すべり等の実験施設を建設し土に関する災害現象及び対策の実験を行なっている。

敷地 10,160坪 建物 690坪

施設名 京都大学防災研究所桜島火山観測所

設置年月日 昭和35年4月

所在地 鹿児島県鹿児島郡西桜島村赤生原揚ヶ谷（春田山上）

施設長 教授 吉川 宗治

業務内容 火山噴火による被害を最小限度に食い止めるために、春田山、引ノ平、北岳、小池、袴腰、湯之、黒髪、冷水、霧島等に地震計、傾斜計、伸縮計、検潮儀等諸種の機械計器を設備し、これらの計器により(1)地震観測、(2)地殻変動、(3)水準測量路線の設置、(4)海洋潮位観測、(5)地中温度測定、(6)地磁気観測、(7)重力測定並びに重力変化観測、(8)微気圧計による爆発振動観測を上記附設観測室から現在活動中の桜島南岳火口北西約2.8Kmの位置にある春田山上の標記観測所で記録連絡を常時行なっている。
また地温の測定や桜島火山を形成している種々の岩石の物理的性質を測定する研究を計画している。

敷地 665坪 建物 延坪数 85坪

施設名 京都大学防災研究所潮岬風力観測所

設置年月日 昭和37年4月

所在地 和歌山県西牟婁郡串本町潮岬

施設長 教授 石崎 潑雄

業務内容 本観測所は、風による構造物への影響の観測を目的として、自然風の乱れ風速分布等、台風を主とする風の実体を総合的に究明するために、風車型スリーカップ風速計、プロペラ型コーシンペーン風向風速計、ロケット型バイペーン風向計を用いて、風速、風向の立体的観測を行ない、又観測用小型ハウスに電気抵抗風圧計を取り付け、風速測定の時単位を従来の1秒より1/100秒まで短縮し、なお風圧測定による風速の同時算行を行なうことにより、台風の破壊力と構造物への影響を解明するための観測を行なう。

敷地 758坪 建物 14坪

特殊施設、設備

重力変化計、G S I型重力測定装置、カシリオリレー計算器エニ-7061型、高速風洞水槽及煙風洞風路設備、地盤沈下実験装置

京都大学ウイルス研究所

Institute for Virus Research, Kyoto University

設置年月日 昭和31年4月1日

所在地 京都市左京区吉田近衛町 電話 (77) 8111番 内線 870番

目的 ウイルスの探究並びにウイルス病の予防及び治療に関する学理及びその応用の研究

沿革 昭和31年4月 国立学校設置法（法律第26号）一部改正により京都大学に附置

昭和34年7月 附属施設ウイルス検定センター設置

所長 東 昇（任期昭和38.7.4~40.7.3）事務長 八木 薔

職員 教授6人、助教授6人、助手17人、事務官9人、技官2人、雇傭人30人、計70人

敷地 大学と共用 建物 延坪数 449坪（借用）

刊行物 紀要、Annual Report of the Institute for Virus Research Kyoto University.

予算 昭和37年度 47,876,560円 昭和38年度見込 55,000,000円

研究部門（設置年度）、研究目的、研究者氏名

病理（昭和31年度）

ウイルス病に罹った人、あるいは動物の臓器組織の変化を研究して、ウイルスの病原性及びウイルス病の特性を究める部門である。

天野 重安（教授） 花岡 正男（助教授） 田中 春高（助教授）

筒井 功（助手） 岩片捨登志（助手） 右田 俊介（助手）

丸山 圭蔵(助手) 増田 徹(助手)

物理(昭和31年度)

実験的ウイルス感染の機構をウイルス学的、物理学的、化学的に研究する部門である。

東 昇(教授) 川出 由己(助教授) 多村 憲(助手)

中井 久夫(助手) 松本 明(助手) 山本 洋子(技官)

藤原 栄一(技官)

化学(昭和31年度)

ウイルスを含めて遺伝子の自己増殖及び形質発現機構を化学的に研究する部門である。

渡辺 格(教授) 木方 行郎(助教授) 由良 隆(助教授)

春名 一郎(助手) 丸重 啓二(助手) 岡本 利雄(助手)

北野 忠彦(技官)

血清免疫()

動物ウイルス感染症の疫学的研究並びに広い立場としてのウイルス生態学的研究を行なうと共に、宿主側における反応としての血清反応及び免疫現象並びにその応用の研究を行なっている部門である。

甲野 礼作(教授) 浜田 忠弥(助手) 矢追 秀昭(助手)

猪川 純(技官)

予防治療(昭和33年度)

ワクチン類によってウイルスのひき起す病気を予防する方法の研究や、また抗生物質その他化学療法剤による治療法の研究を行なう部門である。

井上 幸重(助教授) 市田 文弘(助教授) 岩崎 辰夫(助手)

佐々木 博(助手) 鈴木 司郎(助手) 今井 幸雄(助手)

加藤日南枝(技官)

癌ウイルス(昭和37年度)

癌や白血球の原因となっているウイルスを分離し、これを利して細胞とウイルスとの相互交渉を分析的に研究し、これによって細胞の無制限増殖の問題を解決しようとする研究部門であり、腫瘍学とウイルス学との接触面をなす新しい分野である。

松本 清一(教授) 市川 康夫(助教授) 市橋 康夫(助手)

畑中 正一(助手) 六反田 亮(技官)

ウイルス検定センター(昭和34年度)

徳田 正夫(助教授) 松岡 実弥(助手) 井貫 平(技官)

今井 浄子(技官)

研究事項

病理

ウイルス病の病理解剖学並びに実験病理学的研究特に癌ウイルスの病理学的研究

(天野重安)

ウイルス病の免疫病理に関する基礎的細胞生物学的研究

(花岡正男)

ウイルス感染に關与する諸細胞超微細構造の電子顕微鏡的研究

(田中春高)

ウイルス病及び血液病の免疫及び細胞学的研究

(筒井 功)

家鶏白血病及び赤血病のウイルス病理学的研究

(岩片捨登志)

ウイルス病の免疫化学的研究

(右田俊介)

ウイルス感染細胞の電子顕微鏡的研究

(丸山圭蔵)

ウイルス感染症の免疫病理学的研究

(増田 徹)

物理

ウイルス感染の免疫電子顕微鏡的並びに生化学的研究

(東 昇)

ウイルス及び核酸の物理的及び化学的研究

(川出由己)

髄膜肺炎ウイルスの生化学的研究

(多村 憲)

RNA型動物ウイルスの精製及び感染、増殖機構の研究

(中井久夫)

フェリチン抗体法のウイルス学的応用

(松本 明)

核酸の生化学的研究

(山本洋子)

生物試料の固定及び超薄切片作製法に関する研究

(藤原栄一)

化学

ウイルスに關する化学的及び遺伝学的研究

(渡辺 格)

バクテリオファージの増殖に關する研究

(木方行郎)

ウイルスとバクテリアにおける遺伝機構の化学的研究

(由良 隆)

ウイルス核たんぱくの化学的研究

(春名一郎)

細菌及びウイルス感染細菌における invitro たんぱく合成の研究

(丸重啓二)

細菌及びウイルス感染細菌におけるたんぱく質合成の研究(岡本利雄, 北野忠彦)

血清免疫

ウイルス病の生態学的研究

(甲野礼作)

ウイルスの組織培養に關する研究

(矢追秀昭, 浜田忠弥)

ウイルス病の血清免疫学的研究

(猪川純)

予防治療

ウイルス病の予防に關する基礎的研究

(井上幸重)

ウイルス性肝炎の治療並びに予防に關する研究

(市田文弘)

組織培養法による日本脳炎ウイルスの研究

(岩崎辰夫, 加藤日南枝)

生検肝の電子顕微鏡的研究

(佐々木博)

人肝炎ウイルスの分離に關する研究

(鈴木司郎)

ウイルス性肝炎およびそれに関連する諸疾患についての臨床病理学的、

免疫学的研究

(今井幸雄)

癌ウイルス

細胞内ウイルス増殖の電子顕微鏡的研究

(松本清一)

ウイルスによる白血病発生機序の研究

(市川康夫, 六反田亮)

ウイルス感染細胞学の研究

(市川康夫)

白血病ウイルスによる発癌機構の研究

(畑中正一)

ウイルス検定センター

ウイルス病の血清免疫学的研究並びに実験室診断に関する研究 (徳田正夫)
蛍光抗体法によるウイルス病の研究 (松岡実弥)
ウイルス病の実験室診断法に関する研究 (井貫平)
ウイルスの変異に関する研究 (今井浄子)

附属施設

施設名 京都大学ウイルス検定センター
設置年月日 昭和34年7月1日
所在地 京都市左京区吉田近衛町 電話(77)8111番 内線878番
施設長 助教授 徳田正夫
業務内容 ウイルスの血清及び分離受託検査並びに標準血清等と診断用抗原の配布
(ムンプス、ヘルペス、インフルエンザ、日本脳炎、アデノ、エコー、急性灰白髄炎、不明疾患等の検査)

建物 延坪数 33坪(借用)

特殊施設、設備

電子顕微鏡(HU-10A型), 電子顕微鏡(JEM-6C型)
電子顕微鏡(HU-11M型), スピンコL型超遠心機
干渉顕微鏡

京都大学経済研究所

Institute for Economic Study, Kyoto University.

設置年月日 昭和37年4月1日
所在地 京都市左京区吉田下阿達町14 電話(77)8111番 内線1181番
目的 産業経済に関する総合研究
沿革 昭和37年4月1日、国立学校設置法一部改正により京都大学に附置研究所として設置

所長 岸本誠二郎(昭和38.4.1~40.3.31) 事務長 鹿野英夫
職員数 教授2人, 助教授2人, 助手2人, 事務官2人, 雇傭6人, 計14人
敷地 259坪 建物 延坪数 40坪(大学の庁舎一部使用)
刊行物 京都大学経済研究所報告
予算 昭和37年度 6,990,384円 昭和38年度見込 9,332,000円

研究部門(設置年度), 研究目的, 研究者氏名

産業構造(昭和37年度)

産業構造一般に関する理論的実証的研究
馬場正雄(教授) 青山秀夫(併教授) 森口親司(助手)

比較産業()

産業構造上の部門間および国際間の比較ならびにその歴史的発展の研究
行沢健三(教授) 松井清(併教授) 杉本昭七(助手)

研究事項

産業構造

戦後日本の主要企業(製造業)における設備, 在庫投資行動の計量的分析
(馬場正雄, 青山秀夫, 森口親司)

比較産業

労働生産性の国際比較 (行沢健三)
経済発展の諸類型 (松井清)
各国資本蓄積機構の特質 (杉本昭七)

大阪大学微生物病研究所

Research Institute for Microbial Diseases Osaka University

設置年月日 昭和9年9月15日
所在地 大阪市北区堂島西町3番地 電話(451)3357~9番
目的 微生物病に関する学理及びその応用の研究
沿革 昭和9年9月15日 勅令第270号をもって創立
昭和26年9月22日 微生物病研究所構内に附属病院開院
所長 天野恒久(任期昭和39.4.1~42.3.31) 事務長 辻忠男
職員数 教授11人, 助教授12人, 助手19人, 事務官7人, 技官3人,
雇傭人32人, 計84人
敷地 1,816坪 建物 延坪数 671坪 延坪数 2,121坪
刊行物 BIKEN JOURNAL
予算 昭和37年度 79,777,211円 昭和38年度見込 118,340,000円

研究部門(設置年度) 研究目的, 研究者氏名

細菌血清学(昭和19年度)

臨床細菌血清学の基礎的研究として, 病原性細菌および真菌類の分類学的, 形態学的研究と血液型および梅毒血清反応の研究を行なっている。

藤野恒三郎(教授) 三輪谷俊夫(助教授) 橋本博(併講師)
安田純一(助手) 近藤雅臣(助手)

免疫化学(昭和37年度)

抗原抗体反応, 抗体産生のメカニズムを解明するために, 卵白ニワトリリゾチームと抗血清との種々な反応を研究する一方生体の感染防御機構特に生菌免疫の機作の解明のため白血球(多形核及び単球)の抽出液の抗菌作用について研究している。

天野恒久(併教授) 櫻葉周三(併助教授) 藤尾啓(助手)
新家莊平(助手) 栗村敬(助手)

防疫学(昭和9年度)

ウイルス感染解明のための基本的要件であるウイルス粒子自体の物理化学的性質の決定及び粒子の構成の研究を目標とする。

深井孝之助(教授) 関 梯四郎(併教授) 岡田 善雄(助教授)
保坂 康弘(助手) 今本 文男(助手)

化学療法(昭和20年度)

制癌剤および発癌剤の作用機構を解明することによって、癌の化学療法の基礎的問題点を追求し、解析する。

川俣 順一(兼教授) 中田 篤男(助手) 尾辻 望(助手)
池上 良一(技 官)

寄生虫病学(昭和9年度)

蠕虫性疾患の予防、診断、治療の基礎を解明するため、人体寄生蠕虫の生態、生理、人体及び薬物との相互関係等を研究する。

猪木 正三(兼教授) 中林 敏夫(兼助教授) 伏見 純一(助手)
西村 猛(技 官)

原 虫 学(昭和20年度)

原虫性疾患の病理を解明するため、原虫の生理、免疫、遺伝を研究する。

猪木 正三(兼教授) 中林 敏夫(助教授) 松代 愛三(兼助教授)

感染病理学(昭和30年度)

動物ウイルスの増殖機構とウイルスによる発癌機構を解明するため、ウイルスと細胞の相互関係を細胞化学的及びウイルス学的方法により追求する。

釜洞醇太郎(教授) 加藤 四郎(助教授) 花房秀三郎(助手)
新居 志郎(助手) 古沢 英一(助手)

麻 疹(昭和31年度)

麻疹、ポリオ、インフルエンザのワクチンの創製ないしは改良を目的とする研究を行なう。

奥野 良臣(教授) 高橋 理明(助教授) 豊島久真男(併講師)

抗酸菌生理学(結核研究第一)(昭和9年度)

細菌感染及び防御機構を解明するため、毒力及び防御抗原物質の解析を行なう。

米田 正彦(教授) 守山 隆章(助教授) 福井 良雄(助手)
松田 守弘(助手) 浅田 彬(技 官)

結核病理学(結核研究第二)(昭和25年度)

結核の治療法を進展し、結核免疫の本態を解明するために、抗酸菌の特性を追求し、抗酸菌感染動物に産生される抗体の解析を行なう。

堀 三津夫(教授) 庄司 宏(助教授) 山之内孝尚(助手)
小西 法光(技 官)

癩 (昭和9年度)

癩の予防と治療法を完成するための基礎的研究として、菌の培養と菌の動物移植に重点をおき、その原理の解析に努める。

西村 真二(教授) 伊藤利根太郎(助教授) 森 竜男(助手)
高坂 健二(助手)

臨 床(昭和22年度)

癌の貧血の発現機序を解明するために、担癌生体の重金属、殊に鉄、銅、亜鉛代謝の臨床的実験的研究、癌の診断と治療の研究を完成するため、癌悪液発生機作の研究ならびに制癌剤の応用に関する基礎的研究、癌に対する放射線作用を解明するため制癌剤との併用による効果を研究する。

芝 茂(教授) 石上 重行(助教授) 三浦 貴士(助教授)
田口 鉄男(講師) 倉堀 知弘(講師) 大向 良和(助手)
山口 清三(助手) 上西 力(助手) 渡辺 善正(助手)
森井 健(助手) 中川二三男(助手) 山崎 武(助手)
佐藤 孝司(併技官) 寺田 央(技 官)

研 究 事 項

細菌血清学

腸炎ビブリオ(いわゆる病原性好塩菌)の分類学的研究

(藤野恒三郎, 安田純一, 竹田美文)

臨床細菌血清学的研究

(藤野恒三郎, 三輪谷俊夫, 橋本 博, 安田純一)

抗癌物質の作用機序に関する研究

(三輪谷俊夫, 岡田正)

人の血液型に関する研究

(安田純一)

細菌芽胞に関する研究

(近藤雅臣)

病原性真菌に関する研究

(藤野恒三郎, 三輪谷俊夫, 秋田芳弥, 岡田 正)

免疫化学

生体の感染防御機構に関する研究

(天野恒久, 樫葉周三)

リゾチームの微細抗原構造に関する研究

(天野恒久, 新家莊平)

コリンの研究

(")

赤痢菌の菌体内毒素の解毒に関する研究

(")

防 疫 学

動物ウイルス、特に日本脳炎ウイルス粒子の構成

(深井孝之助, 五十嵐章, 北野秀武, 福永利慶)

H V J による細胞融合現象

(岡田善雄, 山田和子)

Myxo virus 群ウイルスの微細構造

(保坂康弘, 横関秀子)

はしかウイルスの定量精製法の確立

(船橋修之)

化学療法

アクチノマイシンの生物学的活性に関する研究

(川俣順一, 中田篤男, 尾辻 望, 山田 毅, 中島久仁瑛)

溶原菌の免疫現象

(")

抗癌抗生物質の研究

(川俣順一, 池上良一, 中島久仁瑛)

実験動物の飼育管理法に関する研究

(")

寄生虫病学

実験動物の寄生虫症に関する研究

(中林敏夫, 西村 猛)

鉤虫症の防過治療に関する研究

(伏見純一, 西村 猛)

蛔虫癌の疫学理論に関する研究

(伏見純一)

毛様線虫の疫学的研究 (西村 猛)

原 虫 学

病原 Trypanosoma の akinetoplasic 型 (AK型) に関する遺伝学的研究 (猪木正三, 小野忠相, 坂本 等)

病原原虫の微細構造に関する電子顕微鏡学的研究 (猪木正三, 坂本 等)

原虫の感染機構に関する研究 (中林敏夫, 西村 猛, 分野寛治, 隅本 修)

形質導入に関する分子生物学的研究 (松代愛三)

Trypanosoma 薬剤耐性 transformation に関する研究 (猪木正三, 小野忠相)

Trichomonads の免疫学的変異に関する研究 (猪木正三, 高抑担, 佐野 恵)

感染病理学

DNA性動物ウイルスの増殖機構に関する研究 (釜洞醇太郎, 加藤四郎, 新居志郎, 加来弘臣, 小川真琴, 宮本博行)

ウイルス性腫瘍に関する研究 (釜洞醇太郎, 加藤四郎, 新居志郎, 宮本博行, 小川真琴)

ポリオ及び麻疹ウイルス感染動物の病理学的研究 (釜洞醇太郎, 加藤四郎, 新居志郎)

麻 疹

麻疹ウイルスとそのワクチンに関する研究 (奥野良臣, 豊島久真男, 高橋理明, 加納晴三郎, 西村重彦, 北脇達夫, 中村観善, 上田重晴)

ポリオウイルスの弱毒化に関する研究 (高橋理明, 岡部正二, 大中迪彦)

インフルエンザ生ワクチンの研究 (奥野良臣, 加納晴三郎, 中村観善)

抗酸菌生理学 (結核研究第一)

デフテリア毒素形成機構に関する研究 (米田正彦, 松田守弘, 平井俊博, 山田 毅)

結核菌細胞外たんぱくに関する研究 (米田正彦, 福井良雄)

結核ゲリオキシル酸代謝の研究 (守山隆章)

病原性抗酸菌における毒力及び防御抗原物質の生物学的及び免疫学的研究 (米田正彦, 福井良雄)

(結核病理学及び癩との共同研究)

(米田正彦, 福井良雄, 堀三津夫, 庄司 宏, 山之内孝尚, 伊藤利根太郎)

細菌芽胞の形成及び発芽の機構に関する研究 (米田正彦, 大東宏江)

結核病理学 (結核研究第二)

結核化学療法の研究, 抗酸菌の薬剤耐性を中心として (堀三津夫, 庄司 宏, 山之内孝尚)

抗酸菌の物質代謝の研究 (庄司 宏, 西原 弘, 沢井 陽)

抗酸菌の増殖に関する研究 (癩と共同研究) (庄司 宏, 伊藤利根太郎)

結核の免疫血清学的研究 (堀三津夫, 小西池稜一, 藤井久弥)

癩

癩菌の動物移植に関する研究 (西村真二, 伊藤利根太郎, 高坂健二)

癩菌, 鼠癩菌の試験管内培養に関する研究 (西村真二, 伊藤利根太郎, 高坂健二, 沢竹宗美)

鼠癩菌の培養における組織培養の応用に関する研究 (西村真二, 高坂健二)

鼠癩菌の代謝に関する研究 (伊藤利根太郎, 森 竜男)

癩の化学療法に関する研究 (西村真二, 伊藤利根太郎, 森 竜男, 高坂健二, 岸 良治)

臨 床

悪性腫瘍の化学療法に関する実験的並びに臨床的研究 (石上重行, 倉堀知弘, 宮田 明, 大田太郎)

悪性腫瘍の放射線療法に関する実験的並びに臨床的研究 (石上重行, 山口清三, 都築敏男)

癌の貧血に関する研究 (石上重行, 倉堀和弘, 三枝達明, 森井 健, 中村義文)

白血球の重金属に関する研究 (石上重行, 渡辺善正, 河野泰通)

細胞肉腫の発生とまん延に関する研究 (芝 茂, 大向良和, 上西 力, 宮本博行, 富永 健, 末原津偶夫)

癌悪液質の発生機序に関する研究 (芝 茂, 田口鉄夫, 大向良和, 宮武 実, 富山要介, 富永 健, 末原津偶夫, 松吉 甫, 徳山卓史)

癌の化学療法に関する研究 (芝 茂, 田口鉄男, 上西 力, 寺脇朝治, 紺谷日出雄, 藤田昌英, 高見元敏, 中西久仁夫, 中野陽典, 井上広志)

癌の放射線と制癌剤の併用療法に関する研究 (三浦貴士)

初期胃癌のX線学的診断に関する研究 (")

附 属 施 設

施 設 名 大阪大学微生物研究所附属病院

設置年月日 昭和10年12月23日

所 在 地 大阪市北区堂島西町3番地

施 設 長 教 授 芝 茂

業 務 内 容 微生物病研究所における基礎的研究部門に対応する研究部門として, 内科
外科, 放射線科の3科に区分して診断, 治療の臨床研究に従事している。

病 床 数 55床 建 物 延坪数 746坪

特殊施設, 設備

超遠心分離機スピッコE, L, 電気泳動拡散装置スピッコH., 電子顕微鏡H
U90, レントゲン装置, 連続濾紙電気泳動装置, RI測定装置

大阪大学産業科学研究所

Institute of Scientific and Industrial Research, Osaka University.

設置年月日 昭和14年11月29日

所在地 大阪府堺市北花田町555 電話 堺(2) 6846~8番

目的 自然科学に関する特殊事項で、産業に必要なものの基礎的学理及びその応用の研究

昭和14年11月29日 産業科学研究所設置

昭和19年1月6日 音響科学研究所設置

昭和24年5月31日 国立学校設置法により上記研究所は大阪大学附置研究所となる。

昭和26年3月31日 国立学校設置法一部改正により音響科学研究所を産業科学研究所に統合

所長 二国二郎(任期昭和38.11.30~40.11.29)

事務長 郡軍二 事務長補佐 沢田吉次

職員数 教授20人, 助教授20人, 講師2人, 助手49人, 事務官35人, 技官20人, 雇傭人54人, 計200人

敷地 32,177坪 建物 建坪数 2,461坪 延坪数 3,027坪

刊行物 Memoris I. S. I. R.

予算 昭和37年度 190,937,431円 昭和38年度見込 246,114,000円

研究部門(設置年度) 研究目途, 研究者氏

超高周波伝送(無線第一)(昭和14年度)

マイクロ波回路(パラメータ増巾器及エサキダイオード増幅器を含む)

牧本利夫(教授) 横内滋(助教授) 弓場芳治(助手)

電子材料(無線第二)(昭和19年度)

1 アルカリハライド結晶の格子欠陥及び色中心の研究

石黒政一(教授) 伊藤順吉(併教授) 伊藤一夫(助教授)

森公視(助手) 奥野武(助手) 神田精一(助手)

超高周波電子装置(無線第三)(")

1 マイクロ波電子管の研究

2 レーザーの通信への応用研究

松尾幸人(教授) 管田栄治(併教授) 末田正(助教授)

戎谷圭介(助手) 楠陽(助手) 張吉夫(助手)

金属結晶(金属材料(化学))(昭和14年度)

金属の変態並びに塑相変形による格子欠陥に関するX線の及び電子顕微鏡的研究

西山善次(教授) 佐藤進一(助教授) 清水謙一(助教授)

岡宗雄(助手) 是枝淳夫(助手)

金属材料(金属材料(や金))(昭和16年度)

1 オースフォーミング

2 内部摩擦

3 鑄鉄中のSiの迅速測定

4 白鑄鉄の組織に関する研究

茨木正雄(教授) 田村今男(助教授) 岡本平(助手)

杉本孝一(助手) 藤野卓三(助手)

電子機器(機器)(")

1 超音波を利用する医用電子装置に関する研究

2 音声パターン認識に関する研究

加藤金正(教授) 金子仁郎(併教授) 角所収(助教授)

平藤暢夫(助手) 本宮恵(助手)

音響材料(音響材料第一)(昭和19年度)

1 集速超音波の発生に関する研究

2 大超音波強度の絶体測定

3 音響幅射圧に関する研究

4 高分子材料の粘弾性

5 大強度音波におけるキャビテーション

6 一般化学平衡にある媒質の超音波吸収並びに分散の研究

吉岡勝成(教授) 田淵大作(助教授) 大桑恒道(助手)

杉本幸司(助手) 福田ミチ子(助手)

音響機器(音響機器及音響測定法)(")

1 不均質媒の音質性質

2 高速流による音の発生

3 工場騒音の軽減

竹内竜一(教授) 北村音一(助教授) 飯田茂隆(助手)

中村昭(助手)

高分子有機化学(昭和16年度)

1 有機遷移金属化合物に関する研究

2 アセチレンオレフィン, 一酸化炭素の利用に関する研究

萩原信衛(教授) 村橋俊介(併教授) 山崎博史(講師)

菌頭健吉(助手) 中村晃(助手) 宍戸経世(助手)

食品化学(化学及応用燃料)(")

1 澱粉粒の構造に関する研究

2 澱粉の生合成に関する研究

3 蔗糖および食用多糖類の微生物による生産

4 微生物酵素生成の調節

5 γ 線による澱粉の誘導体生成に関する研究

二国 二郎(教授) 原田 篤也(助教授) 松橋 通生(助手)

福井 俊郎(助手) 檜作 進(助手)

有機化学反応(潤滑油)(昭和16年度)

1 フルフラールより2-3のアミノ酸の合成

2 有機コバルト錯塩の合成と化学反応

湯川 泰秀(教授) 花房 昭静(助手) 都野 雄甫(助手)

井畑 敏一(助手) 酒井 弥(助手)

有機合成薬品(合成医薬)(昭和24年度)

天然不飽和化合物の合成

滝沢 武夫(教授) 湯川 泰秀(兼教授) 石丸 寿保(助教授)

城 崇(助手)

半導体材料(昭和36年度)

1 有機半導体基礎物質の合成

2 半導体有機化合物の再検討

3 有機半導体の構造化学

三川 礼(教授) 鈴木洗次郎(助教授) 艸林 成和(助手)

耐熱性絶縁材料(昭和16年度)

1 製鋼用耐火物の侵蝕機構に関する研究

2 鋼塊中の非金属介在物の生成経路に関する研究

3 新しいビドリファイド研削砥石の製造に関する研究

徳田 種樹(助教授) 尾山 竹滋(講師) 伊東 隆夫(助手)

無機結晶材料(珪瑯工学)(昭和22年度)

1 金属酸化物結晶の生成構造物性の構造化学

2 結晶水のプロトン磁気共鳴誘電損失の構造化学

桐山 良一(教授) 小泉 光恵(併教授) 桐山 秀子(助教授)

金丸 文一(助手) 河合 七雄(助手)

焼結電子材料(昭和38年度)

1 高温高圧下における金属酸化物、金属硫化物、金属間化合物の合成

2 これらの状態図の作成、微細組織、結晶構造の解析

3 これらの粉体、焼結体、単結晶の電気特性、磁気特性の測定

4 状態の相違による特性の相違から焼結機構、界面分極の本質の解明

森本 信男(教授) 小藤 吉郎(助手)

放射線応用計測(昭和33年度)

1 Co^{60} を用いた積雪計

2 硝子水晶、PVC等の γ 線照射効果

3 CdS 単結晶

4 放射線遮蔽用硝子の γ 線による絶縁破壊

浅田常三郎(教授) 川西 政治(助教授) 菊地 理一(助教授)

杉原 清(兼助手) 沢井 富一(兼助手) 野垣内 武(助手)

木村 吉武(助手)

放射線応用加工(昭和33年度)

1 X線による応力の測定

2 金属の変形機構

小島 公平(教授) 高村 正治(助教授) 田丸 武好(助手)

放射線食糧(昭和33年度)

1 天然油脂成分の分別とその各成分を原料とする合成

2 光及び放射線による有機合成並びに生合成

3 特殊組織をもつクロレラの培養

桜井 洸(教授) 高椋 節夫(助手) 岡本 能樹(助手)

志摩 健介(助手)

放射線高分子化学(昭和34年度)

1 放射線重合及び共重合による高分子化合物の合成

2 高分子材料の物性的並びに機械工学的性質に関する研究

3 超音波振動の材料試験への利用に関する研究

粟谷 文夫(教授) 滝沢 武夫(兼教授) 恒川 義徳(助手)

ホットラボ施設(昭和33年度)

小島 公平(兼教授) 浅田常三郎(兼教授) 川西 政治(兼助教授)

菊池 利一(兼助教授) 杉原 清(助手) 沢井 富一(助手)

野垣内 武(兼助手) 木村 吉武(兼助手)

研究事項

超高周波伝送(無線第一)

1 マイクロ波回路(パラメータ増巾器及びエサキダイオード増幅器を含む。)

2 ミリ波線路の研究

(牧本利夫, 横内 滋, 弓場芳治, 西村貞彦, 松島明史)

電子材料(無線第二)

アルカリハライド結晶の格子欠陥及び色中心の研究

(石黒政一, 伊藤順吉, 伊藤一夫, 森 公視, 奥野 武, 神田精一, 前田陽代)

超高周波電子装置(無線第三)

1 マイクロ波電子管の研究

2 レーザーの通信への応用研究

(松尾幸人, 菅田栄治, 末田 正, 戎谷圭介, 楠 陽, 張 吉夫, 小林俊夫, 田中法子)

金属結晶(金属材料(化学))

金属の変態並びに塑性変形による格子欠陥に関するX線的及び電子顕微鏡的研究

(西山善次, 多賀谷正義, 佐藤進一, 清水謙一, 是枝淳夫, 岡 宗雄, 原田廉嗣)

金属材料(金属材料(や金))

1 オースフォーミング

- 2 内部摩擦
- 3 鋳鉄中 Si の迅速測定
- 4 白鋳鉄の組織に関する研究

(茨木正雄, 田村今男, 杉本孝一, 岡本 平, 福留信男, 大西基雄, 藤野卓三)

電子機器 (機器)

- 1 超音波を利用する医用電子装置に関する研究
- 2 音声パターン認識に関する研究

(加藤金正, 金子仁郎, 角所 収, 平藤暢夫, 本宮 恵, 町田不二男)

音響材料 (音響材料第一)

- 1 集速超音波の発生に関する研究
- 2 大超音波強度の絶体測定
- 3 音響輻射圧に関する研究
- 4 高分子材料の粘弾性
- 5 大強度音波におけるキャビテーション
- 6 一般化学平衡にある媒質の超音波吸収並びに分散の研究

(吉岡勝哉, 田淵大作, 大桑恒道, 西村ミチ子, 大村 彰, 石川俊三)

音響機器 (音響機器及音響測定法)

- 1 不均質媒の音質性質
- 2 高速流による音の発生
- 3 工場騒音の軽減 (竹内竜一, 北村音一, 飯田茂隆 原田廉嗣, 佐々木実)

高分子有機化学

- 1 有機遷移金属化合物に関する研究
- 2 アセチレンオレフィン, 一酸化炭素の利用に関する研究

(萩原信衛, 村橋俊介, 山崎博史, 藺頭健吉, 中村 晃, 宍戸経世)

食品化学 (化学及应用燃料)

- 1 澱粉粒の構造に関する研究
- 2 澱粉の生合成に関する研究
- 3 蔗糖および食用多糖類の微生物による生産
- 4 微生物酸素生成の調節
- 5 γ 線による澱粉の誘導体生成に関する研究

(二国二郎, 原田篤也, 福井俊夫, 檜作 進, 松橋通生, 熊谷寛次)

有機化学反応 (潤滑油)

- 1 フルフラールより2—3のアミノ酸の合成
- 2 有機コバルト錯塩の合成と化学反応

(湯川泰秀, 花房昭静, 都野雄甫, 井畑敏一, 酒井 弥, 藤田周子, 金 承建)

有機合成薬品 (合成医薬)

- 1 有機転位反応機構

- 2 天然不飽和化合物の合成

(滝沢武夫, 湯川泰秀, 石丸寿保, 城 崇, 森本秀子)

半導体材料

- 1 有機半導体基礎物質の合成
- 2 半導体有機化合物の再検討
- 3 有機半導体の構造化学

(三川 礼, 鈴木洗次郎, 伊藤一夫, 艸林成和, 岡 誠子, 山本芳久, 谷口融正)

耐熱性絶縁材料

- 1 製鋼用耐水物の侵蝕機構に関する研究
- 2 鋼塊中の非金属介在物の生成経路に関する研究
- 3 新しいビドリフアイト研削砥石の製造に関する研究

(徳田種樹, 尾山竹滋, 伊東隆夫)

無機結晶材料 (琺瑯工学)

- 1 金属酸化物結晶の生成構造物性の構造化学
- 2 結晶水のプロトン磁気共鳴誘電損失の構造化学

(桐山良一, 小泉光恵, 桐山秀子, 金丸文一, 河合七雄, 小林敬子, 石黒三姉緒)

焼結電子材料

- 1 高温高圧下における金属酸化物, 金属硫化物, 金属間化合物の合成
- 2 これらの状態図の作成, 微細組織, 結晶構造の解析
- 3 これらの粉体, 焼結体, 単結晶の電気特性, 磁気特性の測定
- 4 状態の相違による特性の相違から焼結機構, 界面分極の本質の解明

(森本信男, 小藤吉郎)

放射線応用計測

- 1 CO^{60} を用いた積雪計
- 2 硝子水晶, PVC等の γ 線照射効果
- 3 CdS 器結晶
- 4 放射線遮蔽用硝子の γ 線による絶縁破壊

(浅田常三郎, 川西政治, 菊池理一, 杉原 清, 沢井富一, 野垣内武, 木村吉武)

放射線応用加工

- 1 X線による応力の測定
- 2 金属の変形機構

(小島公平, 高村正治, 田丸武好, 吉田 晴, 細原一美)

放射線食糧

- 1 天然油脂成分の分別とその各成分を原料とする合成
- 2 光及び放射線による有機合成並びに生合成
- 3 特殊組織をもつクロレラの培養

(桜井 洸, 高椋節夫, 志摩健介, 岡本能樹, 庄野久子, 久田晴彦)

放射線高分子化学

- 1 放射線重合及び共重合による高分子化合物の合成
- 2 高分子材料の物性的並びに機械工学的性質に関する研究
- 3 超音波振動の材料試験への利用に関する研究

(粟谷文夫, 滝沢武夫, 恒川義徳, 峯恒松生)

ホットラボ施設

- 1 各種放射線を利用した物質構造の変化及び化学反応等の研究
- 2 各種放射線を利用した消毒殺菌, 食料保存等に関する医学及び生物学的研究
- 3 放射線の線量測定に関する研究
- 4 放射線の遮蔽及び防護に関する研究
- 5 前各号の外, 強放射線量を利用した研究

(浅田常三郎, 川西政治, 菊池利一, 杉原 清, 沢井富一, 赤井清, 岸田朋子)

特殊施設, 設備

自記記録式分光光度計, 核磁気共鳴吸収分析装置, 赤外分光光度計, 128チャンネル波高分析器, 電子顕微鏡, 加圧装置, マイクロホンの絶対感度測定装置, C⁶⁰10,000キュリー照射実験用ホットケープ2基, プール3×5×42m 照射兼貯蔵用水プール

神戸大学経済経営研究所

The Research Institute for Economics and Business Administration,
Kobe University

設置年月日 大正8年2月

所在地 神戸市灘区六甲台町2 電話 (86) 0001~6番

目的 経済ならびに経営に関する学理およびその技術の研究

沿革 大正8年2月 神戸高等商業学校商業研究所として設置

昭和4年4月 官制により神戸商業大学研究所と改称

昭和19年4月 神戸商業大学大東亜研究所と改称

〃 8月 官制により神戸商業大学に経営機械化研究所を設置

昭和20年10月 神戸商業大学大東亜研究所を神戸経済大学経済研究所と改称

昭和21年4月 神戸商業大学経営機械化研究所を神戸経済大学経営機械化研究所と改称

昭和24年5月 国立学校設置法の施行により経済研究所と経営機械化研究所を統合して, 神戸大学に経済経営研究所を設置

所長 米花 稔 (任期昭和39.4.1~41.3.31) 事務長 原 利雄

職員数 教授6人, 助教授6人, 講師1人, 助手9人, 事務官5人, 技官2人, 雇傭人7人, 計36人

敷地 1,960坪 建物 建坪数 374坪 延坪数 915坪

刊行物 経済経営研究年報 (欧文年1冊, 和文年2冊)

経済経営研究叢書 (欧文年1冊, 和文年2冊)

経営機械化叢書 (和文年1冊)

アジア経済研究叢書 (和文年1冊)

中南米研究叢書 (和文年1冊)

予算 昭和37年度 29,973,000円 昭和38年度見込 30,000,000円

研究部門 (設置年度) 研究目途, 研究者氏名

国際貿易 (昭和24年度)

国際貿易の発展のための理論的および政策的根拠を解明するために, 世界各国の貿易構造および貿易政策の研究を行なう。

川田富久雄 (教授) 片野 彦二 (助教授) 橋 善子 (助手)

荒井 愛子 (非常勤講師)

海事経済 (昭和28年度)

国民経済および国際経済の発展にとって不可欠な海事経済諸問題を解明するために特に海運経済, 港湾経済, 水産経済に関する理論と実態とを研究する。

佐々木誠治 (教授) 野村寅三郎 (併教授) 山本 泰督 (助教授)

中田 祥子 (助手)

中南米経済 (昭和31年度)

ラテン・アメリカ諸国の経済開発に対する国際経済的関連および政策根拠を解明するために, これらの諸国の経済構造および経済政策を研究する。

川田富久雄 (兼教授) 藤田 正寛 (助教授) 西向 嘉昭 (助手)

田代美也子 (助手)

経営機械化 (昭和24年度)

経営機械化に関するシステム, 組織, 管理運営ならびにこれらを前提とする経営活動に関する理論的, 実証的研究

米花 稔 (教授) 小野 二郎 (助教授) 岡田 昌也 (助手)

都藤希八郎 (講師) 井上 聡子 (助手)

経営経理 (〃)

統一的かつ正確な企業所得概念を解明するために, 税務会計, 財務会計, 管理会計 経済会計の各所得理論を対比研究し, 併せて会計学の技術的側面 (会計オートメーション等) を研究調査する。

渡辺 進 (教授) 能勢 信子 (助教授) 小林 哲夫 (助手)

杉村 優 (助手)

国際経営 (昭和38年度)

わが国企業の在外活動の進展にともなう生ずる国際経営問題の研究で, 海外へ進出する企業ならびに外資企業の企業形態, 資本調達, 経営組織, 経営管理等に関す